

第十四表、住居及人口充溢ノ事

(每室(寢室及客室ヲモ含ム)ニ家族以上ヲ有スル借家ヲ稱シテ人口充溢セルモノト云フ)

一、英吉蘭及威爾斯

借家ノ階級	員數		全人口ニ付テノ百分比	充溢セル借家ノ居住者	
	一八九一年	一九〇一年		一八九一年	一九〇一年
一室ノ借家	六四〇、四一〇	五〇七、七六三	二・三	三五七、七〇七	二四五、五八六
二室ノ借家	二、四一六、六一七	二、一五八、六四四	八・三	一、二二四、〇五六	八八四、六七二
三室ノ借家	三、二二七、四六四	三、一八六、六四〇	一〇・一	九五一、八七七	八〇七、五九六
四室ノ借家	六、八一四、〇六九	七、一三〇、〇六二	二二・五	八二四、四〇四	七二九、六五二
五室以上ノ借家	一五、九〇三、九六五	一五、五四四、七三四	五四・九	六〇・一	—
總計	二九、〇〇二、五二五	三三、二五七、八四三	一〇〇・〇	三、二五八、〇四四	二、六六七、五〇六

二、倫敦

借家ノ階級	員數		全人口ニ付テノ百分比	充溢セル借家ノ居住者	
	一八九一年	一九〇一年		一八九一年	一九〇一年
一室ノ借家	三、八七一、五五六	三、〇四八、七四四	九・二	二、一五二、三三二	一、四七七、七七二
二室ノ借家	六、九〇八、四四四	七、〇一〇、〇三三	一六・三	三、三三三、一一二	二、九六六、六五九
三室ノ借家	六、六六六、一一六	七、五二二、二二二	一五・八	一、九三三、一一九	一、八七六、六一九
四室ノ借家	五、九四七、七一六	六、九一、四九一	一四・一	九二、一八五	九四、〇四七
五室以上ノ借家	一、八八九、四七五	二、〇八六、七五二	四・六	—	—
總計	四、二二八、三三八	四、五三六、五四一	一〇〇・〇	八三三、六六八	七二六、〇九六

第十五表、此表ハ英吉蘭及威爾斯、及倫敦ニ於ル死亡總數每百ニ就テ公共團體ニ於ル死亡比例ヲ示スモノナリ

年次	救貧院其他貧民救助團體ニ於テ	癲狂院ニ於テ	救貧院其他貧民救助團體ニ於テ	病院ニ於テ	癲狂院ニ於テ	英吉蘭及威爾斯 (倫敦ヲモ含ム)		倫敦	
						員數	總死亡數ニ就テノ百分比	員數	總死亡數ニ就テノ百分比
一八七一年	二八、七五三	一三、七〇六	四、〇九七	三、四五〇	一、三、八二二	五・六	九、〇九〇	一一・三	
一八八一年	四二、一四五	一三、八二二	四、八六三	三、四一〇	—	二・六	五、二二八	六・五	

一八九一年	病院ニ於テ	二〇、四四二	三、五	八、〇〇八	八九
	癲狂院ニ於テ	六、二五四	一、一	一、五九八	一、八
	救貧院其他貧民救助團體ニ於テ	四四、四一四	八、二一五	〇四六	一、八九
一九〇一年	病院ニ於テ	三〇、五五九	五、五	九、〇六一	一、一三
	癲狂院ニ於テ	八、五〇八	一、五	一、八六八	二、三
	救貧院其他貧民救助團體ニ於テ	五一、三五六	九、七	一五、四四三	二〇、九
一九〇六年	病院ニ於テ	三五、一六〇	六、六	一〇、六一一	一四、三
	癲狂院ニ於テ	一〇、一一〇	一、九	二、二七二	三、一

三九四

○伯林紐育衛生事務

(千八百九十五年ウヰーン醫事週報附冊)

●伯林ニ於ケル地方衛生事務

今茲ニ普魯西ノ首都トシテ多數ノ國家官廳及自治官廳アル伯林市ノ地方衛生事務ヲ述ヘントスルニ當リ先ツ伯林市ノ地位ニ就キ一言スヘシ伯林市ハ千八百八十年七月二十六日ノ法律ニ依リ千八百八十一年四月一日以來ブランデンブルク州ノ管轄ヲ脱シテ政府ノ行政區劃及州ノ性質ヲ併有スル一ノ行政區劃トナリタリ然レトモ是レ未タ純然タル獨立ニアラスシテ知事及其他二三ノ官廳並ニ醫事會議ハ尙未タブランデンブルク州トノ共有ニ存シタリ

普魯西王國ニ於ケル醫事行政ハ教育宗教醫務大臣之ヲ統轄シ之ニ直隸スル醫務局ハ總テ醫事警察及衛生警察事務ノ中央本部タリ獸醫警察ハ千八百七十二年以來醫務局ヨリ分離シテ農林務大臣ノ管轄ニ屬シタリ是故ニ衛生事項ニシテ一般警察上ノ問題ニ關スルモノナルトキ例之ハ家屋衛生、一般ノ清潔法水路ノ清潔ヲ保持スルコト等ハ内務大臣ノ職權内ニ屬シ行政各部ニ關スル衛生事項ナルトキ例之ハ工業衛生建築警察、懲治場及監獄衛生ノ事項ニ就テハ醫務局之ヲ管轄ス

醫師、齒科醫、藥師ノ國家試驗ハ帝國宰相ノ發シタル試驗規則ニ依リ醫務局之ヲ主管シ醫師タル教育及總テ醫事ニ關スル教育ハ教育宗教醫務大臣ノ管轄ニ屬シ醫務局之ニ參與ス

國ニ於ケル純粹學術的ノ最高會議府トシテハ中央衛生會議アリテ醫務局長ヲ議長トシ十三名ノ委員ヲ以テ之ヲ組織シ醫務ヲ管スル大臣ノ監督ニ屬セシム臨時委員ハ千八百八十七年五月二十五日ノ勅令ヲ以テ設置セラレタル醫師會ノ代表者ヲ以テ之ニ任ス該會ノ本務ハ醫學進步ノ成績ヲシテ醫事行政上ニ力ヲ致サシメ又科學ノ最高諮詢府トシテ裁判醫學上ノ事件ニ干與ス則チ中央衛生會ハ醫務ヲ管スル大臣ノ諮詢ニ依リ醫學上ノ立點ヨリ諸般ノ問題ニ關シテ意見ヲ陳ヘ又裁判所ノ依頼ニヨリ大臣ヨリ諮詢セラレタル裁判醫學上ノ認定ヲ爲スモノナリ其他現行制度ニシテ公衆衛生上ノ障害トナルヘキモノ、廢止ヲ建議シ醫事行政上必要ト認メタル新法規ノ制定ヲ建議シ尙醫務官吏トシテ任用スルノ資格アルモノナルヤ否ヤニ付キ醫師ノ試験ヲ施行ス

醫務局ニハ此他藥劑委員會アリテ藥劑上ノ問題ニ付キ參與ス委員ハ其省ノ醫務參事官ヲ以テ議長トシ伯林

在住ノ藥劑師四名ヲ委員トシテ組織ス

州ニ於ケル醫務行政ハ州長官之ヲ統轄シ州全體ニ關シ或ハ數多ノ縣ニ對シ又或ハ數縣ノ郡ニ對シテ衛生警察及醫事警察ノ法規ヲ必要トスルトキ州參事會ノ協賛ヲ經テ州命令ヲ發ス州ニハ州醫事會議アリ醫師三名獸醫一名及藥劑師一名ヲ以テ之ヲ組織シ州知事ノ監督ヲ受ケ其諮詢府トナリ專ラ屍體檢案郡衛生吏員ノ檢定及裁判所ノ要求ニ依リ醫術上ノ鑒定ヲ爲ス輒近ニ至リ州醫事會議ハ國家ノ衛生事務ニ參與スルコトナク重要ナル事項ニ就テハ臨時委員トシテ醫師會ニ其代表者ヲ出席セシム

州醫事會議ノ外各州ニハ醫師社會ノ代表機關及審事機關トシテ醫師會ヲ置キ醫師中コリ撰出セラレタル者ヲ以テ之ヲ組織スブランデンブルク州ノ醫師會區域ハ又郡區域伯林市ヲ包含シ共ニ事務廳ヲ伯林市ニ置ケリ該會ハ醫業或ハ公衆衛生ニ關スル問題或ハ醫師社會ノ利益代表ニ關スル事項ヲ調査シ其職權ニ屬スル事項ニ付テハ官廳ニ建議ヲ爲スヲ得ヘシ又官廳ハ必要ナル場合殊ニ公衆衛生ニ關スル事項ニ就テハ醫師會ヲシテ其意見ヲ述ヘシメサルヘカラス該會ハ其區域内ノ醫師ト雖モ之ニ對シテ制裁ヲ加フルコトヲ得ス醫師會ハ州知事之ヲ監督ス

縣ニ於ケル公衆衛生事務(即チ衛生警察及醫事警察)殊ニ現行法規ノ實行及新規定ノ發布ハ縣知事之ヲ監督ス之レカ爲メ縣知事ハ醫務參事官ヲ附シ衛生警察及醫事衛生ノ事務ヲ管セシム縣知事ハ縣參事會ノ協賛ヲ經テ各縣下及縣内ノ數郡ニ對シ命令ヲ發スル職權ヲ有ス

醫務參事官ハ他ノ參事官ト同一ノ地位ニ在ルモノニシテ其職務ハ藥劑師及醫師ノ監督、國庫ノ負擔ニ屬ス

ル醫師及藥劑ニ關スル費用ノ檢查、藥品及有毒品授受ニ關スル醫事警察上ノ監視等ナリトス衛生警察ノ事務ニ就テハ其事務カ專ラ衛生警察ニ關スルト否トニ依リ各課ニ分ル傳染病ノ發生蔓延公ノ種痘、飲食物及使用品授受ノ監督、醫事統計免許ヲ與フヘキ業務ノ檢查、屍體檢按、患者運搬ニ關スル監督ハ專ラ醫務參事官ノ分課ニ屬シ汚物掃除、溝渠疏通、飲料水供給、住宅警察、墓地制度、小兒ノ看護及養育、工業及學校衛生、疾病金庫及不具者金庫ノ制度ノ如キ一般ノ衛生情態改善ノ問題ニ付テハ技術上ノ協議者トシテ之ニ參與ス又醫務參事官ハ其管區ノ衛生制度ニ付テ三年毎ニ報告書ヲ作ル此報告書ハ印刷シテ發布セララルヘシ

郡ノ衛生及醫事警察ハ郡クライスフェイス補佐ヲ以テ郡長之ヲ行フ

郡醫ハ衛生警察及醫事警察ニ關スル事務ノ外尙裁判所ニ對シテハ鑑定人トナリ刑事及民事ノ訴訟事件ニ於テ醫術ニ關スル鑑定ヲ要スルトキハ之レカ要求ヲ爲スヲ得ヘク而シテ又裁判上ノ屍體檢案ヲ爲ス

市部伯林ニ於ケル組織ハ其一般ニ行ハル、モノトハ少シク異ナリテ衛生又醫事警察ノ實行ハ警視總監ノ手裏ニ存シ市會ノ協賛ヲ經テ命令ヲ發スルノ權ヲ有ス縣ニ於ケルト同シク醫務參事官之ニ從屬シ裁判ニ關スル事件及衛生警察醫事警察ノ事務ニ付テハ特別ニ裁判事件ヲ管スル市醫及警察事件ヲ管スル市醫アリテ後者ハ當時十名ナリ

郡醫並ニ伯林ノ市醫ハ試驗ヲ經テ官吏タル資格ヲ得タルモノニシテ醫業關係者ノ名簿ヲ整理シ期ヲ定メテ其異動ヲ報告シ產婆生徒ノ豫備試驗及產婆ノ後期試驗ヲ爲シ或ル範圍ニ於テ藥劑舖及生藥賣買ヲ監督シ公

設及私設ノ病院産院及瘋癲院ノ檢閲ヲナシ自己管區ノ衛生制度ニ關シ年報ヲ作り又公施ノ種痘及再種痘ノ年報ヲ調製ス市醫ハ此外尙他ノ事務ニ與ルコトアリ又其職務實行ニ付テハ醫師及警察官ト氣脈ヲ通シ衛生上ノ欠點及傳染病ノ發生ヲ知得シ必要アルトキハ其救護ノ提案ヲ爲スコトアリ但シ單獨ニ此事務ヲ執掌シ命令ヲナスヲ得ルハ其ノ事件カ一刻モ猶豫シ難キトキニ限り緊要ナル處置ノ實行ハ警察官廳ノ任ニシテ郡市醫カ現行法令ノ勵行ヲナスハ特別ニ委任ヲ受ケタル時ナリトス其裁判醫トシテノ行爲ヲ述フルハ本篇ノ趣旨ニアラサルカ故之ヲ略ス

以上述ヘタル大體ノ觀察ハヒストール氏ノ記述ニ依リタルモノニシテ之ニ由テ見ルトキハ普魯西國ニ於ケル市町村廳ハ地方警察命令發布セラルトキニ參與スル場合ヲ除キテハ本來ノ衛生警察ニ手ヲ下スコトナク本來ノ衛生事務ハ一般ノ安寧警察事務ト同シク純粹ノ國家的設備ニ依リテ行ハル、モノトス千八百三十五年衛生委員設置セラレタルモ此原則ハ毫モ變更セラレタルモノニアラストス衛生委員會トハ傳染病ノ豫防ニ從事スルモノニシテ人口五千以上ヲ有スル市ニ於テハ地方警察署ノ署長(首席)自治體事務廳ノ首長或ハ該廳ノ代表吏員、地方警察署カ定ムル二名若ハ數名ノ醫師及自治體議會ノ議員少クモ三名並ニ衛戍隊アル地方ニ於テハ其隊長カ定ムル士官一名若クハ數名ト上級ノ軍醫一名トヨリ組織セラル、モノトス此衛生委員會ハ或ハ會議體トシテ行動シ或ハ地方警察署カ彼レノ補佐或ハ協議ヲ要スル場合ニハ執行事務ヲ行フ大市府ニ於テハ地方警察署ニ於テ必要ト認ムルトキハ特別衛生委員會ノ下ニ特別委員會ヲ設ケ少クモ一名ノ醫師又ハ外科醫一名ノ警察官吏又ハ自治吏員及多數ノ自治體議會ノ議員ヲ以テ之ヲ組織ス伯林市ノ衛

生委員會ハ警視總監カ流行病發生シタルトキ召集スルトキノミ總會議ヲ開ク特別委員會ハ通常其働キ外部ニ表顯セス而シテ警視廳ニ於ケル主務部長(警務參事官ヒストール)ノ意見ニ依レハ特別委員會ハ常設ニシテ又有給制ナル機關則チ衛生巡視官ニ依リテ補佐セラレサルヘカラスト

普魯西ニ於ケル特ニ伯林ニ於ケル衛生警察及醫事警察ノ組織ハ概要右ニ述ヘタルカ如シ而シテ今其重要ナル事務ヲ舉クレハ先ツ第一ニ傳染病蔓延ニ對スル豫防撲滅ニシテ一部ハ地方立法ニ依リ一部ハ帝國ノ法律ニ其規定アリ千八百三十五年八月八日ノ勅令ハ此衛生警察事務ニ關スル法規ノ根本ナリ該令ハ屢改正變更シタルモノナレトモ當今ノ情況ニ適セサルカ故早晚改正ヲナサ、ルヘカラスト此勅令ノ規定ニ依レハ戶主及醫業ニ從事スル者ハ其家族又ハ家内ニ傳染病患者アルヲ知リタルトキハ管轄警察官廳ニ申告セサルヘカラスト然ルトキハ警察官廳ハ醫官ヲシテ檢査セシメ或ハ患者ヲ隔離シ或ハ病院ニ收容シ或ハ患者小兒ナルトキハ學校ニ登ルヲ禁シ若クハ全校ヲ閉鎖セシム該勅令ニ規定セル消毒方法ハ今ハ全ク陳腐ノ方法ナルカ故多クハ地方命令ヲ以テ警察上ノ消毒方法ヲ定メタリ伯林市ニ於テモ千八百八十七年二月此種ノ規定ヲ設ケタリ此規定ニ據レハ絶對的ニ消毒法ヲ要スルハ亞細亞虎列刺、痘瘡、發疹室扶私、回歸熱、實布埤里ニシテ是等ハ皆官廳ノ特別ナル處置ニ從ハサルヘカラスト又消毒ヲ爲スヲ必要トスルモノハ膈室扶私、猩紅熱、流行性赤痢、麻疹、百日咳、肺結核トス患者自身ノ清潔法其身邊ノ物品病室及其内ニ在ル諸物件ノ消毒並ニ病室ノ空氣交換法凡テ傳播ノ虞アル物件及價格高カラサル物品ノ隔離及無害トナス等ハ亦消毒法ニ屬スヘキ行爲ナリトス洗滌スヘカラサル被服、寢具、絨氈、褥布等ハ二ヶ所ノ市設消毒所ノ運搬車ヲ以テ此消毒所

ニ送致シ蒸汽消毒法ヲ行フ患家並ニ死亡者アリタル家ニ於テ施行スル消毒法ハ官廳カ命シタル消毒吏之ヲ行フ其他試験ヲ經タル看病人(ハイムチーネル)ハ嚴格ニ成規ノ消毒法ヲ爲スノ義務アリ

右傳染病ノ中ニ付キ特別ナル豫防制度ヲ定メタルハ痘瘡ナリ千八百七十四年四月八日ノ帝國法律ハ獨逸帝國一般ニ義務トシテ種痘ヲ爲スヘキコトヲ規定シ郡(クライス)ヲシテ之ヲ實行セシム郡ハ種痘醫ヲ置キ總テ種痘費ヲ負擔セサルヘカラス伯林ニ新テ各警察管區ハ亦種痘區劃トナリ各種痘名簿ヲ調査シ置キ又公ノ種痘ヲ爲シタル後最近ニ記帳シタル種痘帳簿ニ依リ未タ種痘ヲ爲サ、ル種痘義務者ヲ調査シ並ニ其ノ法定期間内ノ種痘義務ノ履行ヲ督勵シ或ハ私ニ爲シタル種痘證ヲ承認シ或ハ種痘義務ノ免除ヲナス種痘場種痘醫等ニ關スル總テノ準備整フタル後種痘義務者ハ種痘開始前其ノ通知ヲ受ケ又種痘券ヲ受領スヘシ然レトモ公ノ種痘期限ニ關スルコトナク任意ニ種痘義務ヲ履行スルハ固ヨリ各人ノ隨意ナリ此種痘區域ノ數ハ五十三(千八百八十八年)ニシテ中十個ノ警察區劃ハ王國痘苗製造所之ヲ管轄シ種痘技術學習生ノ教授、續ニ移種スヘキ人化痘ノ採收ヲナス目的ニ供ス種痘醫ハ五十三名ニシテ内七名ハ市醫ナリ(千八百八十八年)王國痘苗製造所ハ千八百八十五年六月十八日ノ聯邦會議ノ決議ニ依リ施行スル種痘ノ痘苗ヲ製造スル爲メ設置セラレタルモノニシテ市廳ト政府トノ協議上市設ノ中央家畜場内ニ置キ賃借契約ニ依リ政府ニ於テ之ヲ營ム痘苗製造ニ使用スル積ハ十二馬克ノ借賃ヲ支拂ヒ特ニ契約シタル屠殺者ヲシテ上納セシメ痘苗ヲ採收シタル後撲殺ス而シテ痘苗ハ獸醫ノ診斷上健康ナルトキニアラサレハ交付セス

梅毒ノ蔓延ニ對スル法規トシテハ警察上賣淫ノ取締アリ

千八百四十一年八月五日及千八百四十五年十月三十一日ノ勅令ヲ以テ從來普魯西ニ存シタル貸座敷ヲ廢シタリ而シテ淫賣ヲ爲シタル者ノ監視ニ付テハ別ニ新規定ヲ設ケス各警察官廳ヲシテ現行法律ノ範圍内ニ於テ淫賣ノ抑制監視ニ關シ適當ノ規定ヲ設ケシムルコト、セリ伯林市ニ於テハ此風俗警察ハ王國警察視廳ノ刑事部ニ屬ス淫賣ノ疑アル者ニシテ之ヲ以テ營業トナスコト明カナル者ハ風俗警察上ノ監視ニ付シ此監視ノ下ニ在ルモノハ傳染性生殖器病ノ蔓延ヲ防ク爲メ每週健康ヲ診査ス之レカ爲メ醫師六名ヲ置ク診査ノ上病者ナルトキハ國立ノ慈惠院ニ收容ス千八百八十八年ニハ警察ノ監視ヲ受クル淫賣者三千三百九十二名アリシト云フモ實際ハ尙是レヨリ多數ナルコト疑ヒナシ即チ生殖器病患者ト認メラレタル女子千五百七十七名ノ内既ニ監視ヲ受ケ居リシ者ハ僅ニ九百四十八名ニシテ爾餘ノ六百二十九名ハ未タ監視ヲ受ケス街衢ニ彷徨スルトキ時々摘發セラレタル者ナルヲ見テモ之ヲ知ルヘシ

普魯西ニ於テハ未タ屍體檢案ニ關スル一般ノ規則ナシ伯林ニ於テハ警察命令ヲ以テ必ス醫師ノ屍體檢案ヲ要スルコト、セリ而シテ埋葬證書ヲ受クルニハ開業醫ノ作リタル死亡證書及戶籍吏カ其死亡ヲ登簿シタル證書ヲ差出ササルヘカラス埋葬ハ流行病等ノ爲メニ特別ノ必要アル場合ヲ除キ其他ハ凡テ死後七十二時間ヲ經過セサルヘカラス而シテ死亡證書ヲ交付スル醫師ニ於テ適當ナル埋葬期日ヲ定ム屍體ヲ屍體置場ニ移スハ各人ノ任意ニシテ義務的ノコトニアラス傳染病死者ノ屍體ハ千八百三十五年八月八日ノ勅令ニ規定アリ即チ死亡確定シタル時ハ屍體ハ成ル可ク速ニ患家ヨリ屍體置場ニ移シ成規ノ通り死亡シタル室並ニ屍體ニ觸レタル總テノ物ヲ消毒セサルヘカス又會葬者ハ死者ノ家ニ集合スルコトヲ得ス

身元知レサル遭難者及ヒ自殺者ノ屍體ハ身元ヲ確メ或ハ探偵上保管シ若クハ供覽セシムル爲メ一兩年前ヨリ巴里ノモルクニ働ヒテ設立シタル屍體一覽所アリ此屍體一覽所ハ衛生上ノ目的ヨリモ専ラ司法上ノ目的ヲ有スルモノナルカ故茲ニ其組織ニハ論及セス

衛生警察事務ニ於テ第二ニ位スヘキ主要ナル事業ハ飲食物販賣ノ取締ニシテ種痘制度ト同シク帝國法律ヲ以テ之ヲ規定セリ就中吾人カ注目スヘキ規定ヲ舉クレハ警察官吏ハ普通營業時間内若クハ營業セル時間内ニ於テ飲食物ヲ販賣スル場所ニ立入り検査ヲ爲スコトヲ得伯林警視廳ニ於テハ目下化學者ヲ置キテ此飲食物検査ニ從事セシメ検査ノ上不良若クハ腐敗シタルモノヲ發見シタルトキハ直ニ警視廳内ノ主務部ニ報告セシメ其成績ニ依リ飲食物取締ニ關スル規則ニ違反セルモノト認メタルトキハ犯則者トシテ檢事局ニ告發シ若シ必要アリト認ムレハ其不良飲食物ノ現物品ヲ封印シ判事ノ處分ニ依リテ之ヲ沒收シ又ハ釋放ス

從來伯林ニ在リタル開放セル市場ハ千八百八十六年ヨリ屋舎アル市場トナリ漸次擴張セラレタル爲メ從前每週ニ開キタル開放セル市場ハ自然之レニ收容セラル、ニ至リタリ之カ爲メ利益アルコト種々アリト雖トモ飲食物ノ取締上ニ於テモ亦大ニ輕易トナリ且ツ益々確實ナルニ至リタリ

各市場ニハ市ノ監督官吏ノ外警官臨檢所及獸醫警察官ノ控所ヲ設ケ總テ検査官ハ時々見廻ハルニ過キサルモ中央市場ニ於テハ取引中常ニ獸醫臨檢シ居リテ隨時ニ飲食物ノ検査ヲ施行ス

伯林ニ於ケル獸肉ノ取締ニ付テハ特ニ觀察セシニ千八百六十八年三月十八日ノ法律ニ依レハ市町村ニシテ家畜屠殺ノ爲メニ市町村立ノ營造物(公設屠畜場)ヲ有スルモノハ市町村會ノ決議ヲ以テ其市町村ノ全區域

内若クハ一部ニ於ケル總テノ家畜若クハ或ル種ノ家畜屠殺並ニ屠殺ト離スヘカラサル關係アル設備ヲ獨占的ニ公設屠殺場ニ屬スルモノトナスコトヲ得ヘク而シテ肉ノ検査ニ關スル規定ハ市町村會ノ決議ニ依ルモノトセリ伯林市ニ於テハ直ニ市會ヲ開キ伯林東部ノ地ヲトシテ中央家畜屠場ヲ新設シ總テ家畜ノ屠殺及之レニ隨伴スル作業ハ公設屠殺場ニ於テノミ行フコト、セリ爾來屠殺及屠獸ノ検査ハ全ク市行政ノ手裏ニ歸シタリ千八百八十三年二月二十三日ニ發シタル規則ハ即チ其ノ規定ニシテ之レニ依レハ獸肉ノ検査ハ伯林中央家畜場ノ監督ニ屬シ市ノ獸醫長之ヲ管掌ス而シテ獸醫長ニハ肉眼の検査ヲ爲ス爲メニ獸醫若干名ト顯微鏡的ノ検査ヲナス爲メニ百五十名以上ノ吏員ヲ附屬セシム肉眼の検査ハ獸ノ屠殺前後ニ施行シ屠場内ノ畜舎ニ於ケル獸ノ診察ヨリ始ム即チ毎日獸ノ健康診斷ヲ爲シ若シ健康ナラサルモノアルトキハ其容態ニ從ヒ或ハ直ニ屠殺シ或ハ一時屠殺ヲ中止シテ爾後ノ經過ヲ視察シ又或ハ全ク屠殺ヲ禁止ス検査ハ單ニ獸肉ノ性質ノミニ止マラス體腔ノ血液及總テノ内臓ニモ施行シ全ク健全ト認メタルモノハ特別ナル色印ヲ押捺シ販賣授與ヲ許シ食料ニ適セスト認メタルモノハ其旨ヲ表記ス食料ニ適セスト認ムヘキモノハ現行法令ノ規定ニ依リ排斥セララルヘキ病獸即チ脾脫疽、狂犬病アル獸及「トリヒーネン」ニ侵サレタル豚等ナリトス其他如何ナル肉ヲ健康ニ害アリトシテ排斥スヘキモノニ付テハ詳細ナル命令アリ即チ結核病或ハ乾酪性肺炎ニ罹レル獸ハ其疾病カ全身ヲ侵シタルトキ又ハ肉若ハ骨ニ結核發生シタルトキハ其ノ消費ヲ禁止シ豚ハ検査ノ當時膿疹アルモ營業上解體シタルトキ若クハ詳密ナル検査ノ爲メ解體シタルトキ其各部分何レニモ第二ノ膿疹ナキトキハ販賣授受スルヲ得ヘキ若シ第二ノ膿疹アリタルトキハ其販賣ヲ禁止ス不健康ト認メタル肉

ニ付法令上之ヲ無害トナシテ除却スヘキ規定ナキモノハ工業ノ目的ニ使用スル爲メ之ヲ皮剥業者ニ引渡スヲ得ヘシ他ノ地方ヨリ輸入シ來ル肉ヲ検査スル爲メ八ヶ所ノ検査場ヲ設ケテ皆市ノ市場ト連絡セシメ検査場ノ爲メニ特ニ若干名ノ獸醫、獸肉検査員及必要ノ吏員ヲ置ク而シテ外部ヨリ輸入シ來リタル肉ニシテ其地方ノ獸肉検査員カ検査ノ上「トリヒーネン」或ハ膿疹ナキモノト認メテ捺印シタルモノモ此伯林ノ検査員カ検査シタルトキ「トリヒーネン」或ハ膿疹アルモノナリシコト尠ナカラス斯クノ如キ場合ニハ其郡長或ハ警察官廳ニ通知ス

馬ノ屠殺ニ付テハ千八百八十七年八月三十日警察命令ヲ以テ之レカ規定ヲ設ケタリ其主要ナル點ヲ擧クレハ販賣スル爲メ又ハ馬肉ヲ以テ腸詰等ヲ製造スル爲メ馬驅馬ヲ屠殺スルハ中央屠畜場ニ於テセサルヘカラス馬肉又ハ馬肉ヲ以テ調製シタル腸詰其他ノ食物ハ之ヲ輸入スルコトヲ得ス馬肉ヲ販賣スル所ハ店頭ニ馬肉販賣所タルコトヲ明記シ警察官署ノ監督ヲ受ケサルヘカラス且ツ其店ニ於テ販賣スルヲ得ルハ馬肉又ハ馬肉ヲ以テ調製シタルモノニ限ル

牛乳販賣ノ取締ニ關シテハ千八百八十七年七月六日ニ發シタル警察命令及同十二月十九日ニ發シタル施行規則アリ此規定ニ依レハ營業トシテ牛乳ヲ販賣スル者ハ警察上ノ検査ヲ受ケサルヘカス牛乳検査器ニ據リ粗惡トナシタル疑アル牛乳ハ直ニ警察部ノ化學者ヲシテ検査セシメ販賣ヲ許スヘキモノナルヤ又ハ廢棄セシムヘキモノナルヤ否ヤヲ決定ス

特ニ注意スヘキハ住家警察ナリ普魯西ニ於テハ建築警察ニ付キ全體ニ行ハルヘキ法規ナキモ千八百八十一

年及千八百八十二年各洲知事ニ對シテ建築警察法規制定ニ關シ一般ノ要領ヲ指示シタルコトアリ伯林ニ於テハ千八百八十七年一月十五日建築警察法ヲ定メタリ今其主ナル規定ヲ擧ケンニ土地ハ其三分ノ二マテハ建築スルヲ得ヘシト雖トモ一建築ニハ必ス少クモ六十平方「メートル」ノ庭園ヲ設ケ（庭園ハ一方ノ長サ六「メートル」ヲ下ルヘカラス）庭園ノ間ニ在ル家屋ノ部分ハ奥行十八「メートル」ヲ超ユヘカラス而シテ總テ後方ニアル家屋及側面ノ翼ヲナス部分ノ正面並ニ前方ニ在ル家屋ノ後面ノ窓ハ必ス此庭園ニ面セサルヘカラス家屋ハ其前面ノ壁常ニ十二「メートル」アルヲ要シ高クモ二十二「メートル」ヲ超過スヘカラス此範圍内ナルハ家屋ノ高サハ改正道路境界線内ノ幅丈ケニ高ムルヲ得ヘシ各家屋ハ人ノ常住スヘキ層五以上ヲ設クヘカラス而シテ最上層ノ床ハ人道ヨリ高サ十七「メートル」五ヲ超過スヘカラス總テ家屋内ニ於テ人ノ常住スヘキ場所ハ乾燥ニシテ適當ノ位置ニ相當ノ大サアル窓ヲ備ヘ街道或ハ前記ノ庭園ヨリ直接ニ空氣光線ヲ取入レサルヘカラス其他ノ人ノ常住スヘキ場所ハ少クモ高サ二「メートル」五十ニシテ周圍床面ヨリ〇、五〇「メートル」深ク床ハ少クモ地下水位ノ上〇、四〇「メートル」ニ在リテ上騰スル濕氣ニ對シテハ不滲透質ノ堅牢ナル底板ヲ張ルヘシ周圍ノ壁モ上騰スル濕氣ニ對シ隔離層ヲ備ヘサルヘカラス厨及浴室ハ直接ニ街路又ハ前掲ノ庭園ヨリ空氣及光線ヲ受クル場所若クハ面積少クモ十平方「メートル」ノ明取り窓ヲ上部ニ有スル場所ニ限ル

然レトモ家屋ノ使用法ニ付テハ未タ何等ノ規定ナキカ故或ル一家ニ於テ其場所ノ使用減スルモ屋内ノ各場所カ如何ニ充溢セラレ居ルヤニ付テハ何人モ之ヲ顧慮スル者ナシ加之ナラス此方面ニ於テハ検査モ亦頗ル

不充分ナリ一例ヲ擧ケテ之ヲ言ハ、千七百八十八年家屋ニ付テ醫師的ノ検査ヲ爲シタルハ僅カニ四百二十三戸ニ過キスシテ而カモ其中六十九戸ハ同一家屋ニ於テ傳染病患者ヲ發生シタル爲メ又ハ營業上ノ危害ノ爲メ縣警察官廳ノ命令ニ依リ又殘リノ三百五十四戸ハ小賣店許可ヲ與フルニ付キ及官廳醫師、私人ノ側ヨリ健康ニ害アリト認メラレタルモノヲ検査シタルニ過キサルナリ

宿屋ノ取締ニ關シテハ千八百八十年十二月十七日ノ警察命令ニ規定アリ此規定ニ依レハ人カ夜間就寢ノ爲メ用ユヘキ寢所ハ少クモ一人ニ對シテ各三平方「メートル」ノ面積ト十立方「メートル」ノ空氣容量ヲ有セサルヘカラス又一寢所ニ於テハ同時ニ異性ノ者ヲシテ就寢セシムヘカラス然レトモ此規程ハ未タ充分ニ勵行セラレサルコト統計ニ就テ知ルヲ得ヘク又實際伯林ニ於テハ宿屋ノ主人殊ニ異性ノ者ト同室ニ宿泊スルコト其數幾千ニモ上ルヘシ

夜間ノ宿所ナキ貧民ニ對スル看護ハ伯林ニ於テハ特ニ周到ニシテ或ハ一家族ニ對シ或ハ單獨者ニ對シテ充分ノ救護ヲ爲セリ之レカ爲メ從來害惡ノ巢窟トナリ常ニ嚴峻ナル警察的検査ヲ爲シタル安泊宿ハ次第ニ衰退スルニ至リタリ然レトモ此種ノ安泊宿今尙絶滅ニ至ラス其宿泊人過多及寢所不充分等ノ爲メ常ニ警察上ノ監視ヲ欠キ難キモノ十ヶ所アリ千八百八十七年伯林市ニ設ケタル家族宿泊所ハ八日間ハ收容シタル者ノ看護ヲ爲シ收容セラレタル者ハ此期日內ニ住居ヲ定ムルノ義務アルモノトセリ而シテ收容シタル者ニハ先ツ沐浴ヲ爲サシメ被服ニハ清潔法ヲ施シテ害蟲ヲ驅除シ其他ノ物品ハ宿泊所ノ後方ニ在ル市立消毒所ニ於テ消毒ス斯ク清潔法ヲ施行シタル後收容シタル者總テヲ雇入レアル醫師ヲシテ診察セシム醫師ハ其健康ヲ

診斷シ病患アル者ハ病院ニ送致シ若クハ自宅ニ於テ醫師ノ治療ヲ受ケシム夜間宿所ナキ者ニ對スル市立ノ救護所ニ於テモ亦先ツ收容シタル者ニ沐浴ヲ爲サシメ其沐浴スル間ニ被服等ニ消毒ヲ施シ患者ハ毎朝醫師ヲシテ診察セシメ必要アルトキハ直ニ病院ニ送致ス又梅毒患者ノ爲メ別ニ患者部ヲ設ク此夜間宿所ナキ者ノ爲メニ設ケタル市立救護所ハ伯林全市ノ衛生上貢獻シタル所尠ナカラスシテ市ノ爲メニハ頗ル有効ノ事業ナリ蓋シ之レアルカ爲メニ傳染病發生ノ場合ニ際シ最モ病毒ニ感染シ易キ是等無宿者ニ對シテ病毒ヲ各地ニ散蔓セシムルニ先ツテ適當ノ病院ニ收容スルヲ得ヘク又他ノ一面ニ於テ沐浴及被服ノ消毒ニ依リテ諸般ノ傳染病芽ヲ撲滅スルヲ得ヘケレハナリ又宿所ナキ者ヲ救助スル爲メニ起リタル救護組合ノ二箇ノ營造物(一箇所ハ男子一箇所ハ女子ノ爲メニ)モ亦市立ノ救護所ニ尠ナカラサル援助ヲ與ヘタリ今千八百八十八年ニ救護シタル人員ヲ擧クレハ市立救護所ニテ家族一萬二千二百八十四夜間宿泊所ナキ者二十二萬三千八百九十名二箇所ノ組合救護所ニ於テ十二萬三千八百七十七名ニ達シタリ

普魯西ニ於テハ學校ハ一般ニ王國政府ノ監督ニ服從シ王國政府ハ所屬醫務吏員及郡ノ醫務吏員ヲシテ衛生上ヨリ學校家屋ノ検査ヲ爲サシム而シテ該醫務吏員カ不適當ト認メタル箇所ハ之レヲ改修セシメテ亦之ヲ検査シ必要ナル場合ニ於テハ之レニ補助ヲ與フ然レトモ伯林ニ於テハ學校監督ニ關シテハ別ニ市醫若ハ特ニ學校醫ヲ置カス兒童ノ天然痘豫防ノ爲メニハ十二歳ニ達シタル者ハ必ス再種痘ノ證明書ヲ要スト定メ傳染病豫防ノ爲メニハ千八百八十四年七月十四日ノ訓令ヲ以テ虎列刺、赤痢、麻疹、蔷薇疹、猩紅熱、實布埤里、痘瘡、發疹室扶私、再歸熱、腸室扶私、傳染性ノ眼疾、疥癬、百日咳ヲ患フル小兒ノ登校ヲ差止メ

又健康ナル小兒ト雖モ其一家族内ニ於テ虎列刺、赤痢、麻疹、蓋微疹、猩紅熱、實布埜里、痘瘡、發疹室
扶私或ハ再歸熱患者アリタルトキハ亦其登校ヲ差止メ最早傳染ノ危險ナキ醫師ノ證明アルカ又ハ疾病ノ種
類ニ依リ通例認メラレタル經過期限ヲ過キタル後ニアラサレハ再ヒ登校シテ授業ヲ受クルヲ許サス全校又
ハ一級ヲ閉ツルハ醫務官吏ノ意見ヲ聞キテ警察官廳之レヲ決定ス

製造所及工業上ノ計畫ニ關スル取締ハ帝國營業條例ノ規定ニ依リ特別ナル工場監督官(工業參事官)之レニ
任ス該監督官吏ハ省ノ參事官及醫務參事官ト同シク政府ノ技術官タリ伯林市ハ特ニ自カラ工業參事官ヲ置
キ尙之レニ必要ノ補助員ヲ附屬セシム該參事官ハ即チ營業條例中ニ規定シタル許可ヲ要スル營業、幼年勞
働者及女子ノ作業、製造所及工業上ノ計畫ニ關スル衛生上ノ設備ヲ監督ス工業上ノ計畫ニ付テハ聯邦議會
ノ命令聯邦法律及地方警察ノ命令ニ之レカ規定アリ特ニ伯林ニ於テハ之レニ關スル命令數多アルモ爰ニハ
之レヲ説述セサルヘシ

伯林ニ於ケル本來ノ醫務警察及衛生警察ノ實行ニ付テハ前既ニ其主要ナル點ヲ説明シ尙醫務及衛生警察ノ
目的ノ爲メニ市ノ行政及警察ニ屬スル機關ニ付テ説明シタリ然レトモ今更ラニ狹義ニ於ケル衛生上ノ設備
ニ關スル市ノ行政ニ付テ左ニ少シク之レヲ論述シ以テ伯林ニ於ケル地方衛生制度ヲ明カニスヘシ

伯林ニ於ケル公ノ衛生事務ハ國家官廳ノ事務ト矛盾セサル限リ市會ノ協賛ヲ經テ市參事會之レヲ行フ市行
政ハ市長之レヲ司トリ區長之レヲ補佐シ尙三十二名ノ有給及無給ノ參事會員アリ市行政ニハ各行政事務ニ
付キ數多ノ分課及市參事會員並ニ市會議員ノ中ヨリ組織スル委員會アリ就中吾人ノ注意スヘキモノハ救貧

委員會並ニ公衆衛生部ニシテ後者ニハ市立病院之ニ屬ス而シテ該病院ハ前記ノ委員會之レヲ監督ス

伯林ノ救貧行政ニ付テ少シク觀察セシニ吾人ノ注意スヘキ事項ハ該事業ノ一部分タル貧民患者ノ救護是レ
ナリ伯林ニ於テハ公ナル貧民救助事業ニ從事スル有給ノ醫師六十餘名アリテ其他尙數多ノ社會學者ハ無給
ニテ種々ナル方面ヨリ該事業ニ協力セリ此患者救護事業ニ付テ消費シタル藥品ハ千八百八十八年ニハ九萬
四千五百五十八馬克綑帶ニ一萬四千四百六十八馬克浴場二千三百四十八馬克ヲ要シ患者運搬費ニ七千八百七
馬克ヲ費シタリ患者收容ノ爲メニハ先ツ市立病院ヲ用ヒ之レニテ不充分ナルトキハ國立病院若クハ慈善會
又ハ私人ノ病院ヲ用井契約シタル費用ヲ支拂フ

伯林ニ於ケル病院制度ニ關シ市行政ノ手裏ニ屬スル事項ハ僅カニ其一部分ナリ市立三大病院トハモアピツ
ト病院フリードリヒスハイン病院及ウルバン病院ニシテモアピツト病院ハバラツケン主義(平ラ家ヲ併立スル建築法)ニ

依リ他ノ兩者ハバクイルロン主義(兩翼ニ家屋ヲ建テ出ス建築法)ニ依リ最近ノ建築ニシテ該主義ノ模範營造物ナリフリード
リヒスハイン病院ニハ所屬看護婦養成所アリ是等市立病院ノ外國立ノ慈惠院アリ專ラ教授ノ目的ヲ以テ設
立シタルモノニシテ貧民患者救護事業ニ力ヲ致スコト尠ナカラス又此慈惠院ニハ所屬產婆養成所アリ梅毒
患者ノ爲メニハ特ニ部分ヲ分チテ醫務警察上生殖器病アリト認メラレタル賣淫婦ヲ收容ス其他貧民患者救
護ノ事業ニ力ヲ致スコト多キハ齒科大學ノ病院トスターゲル街ニ在ル眼科耳科外科病院アルチレリー街ニ
在ル產科院及他ノ大學ニ屬スル醫院モ專ラ教授上ノ目的ヲ以テ存スルモノナレトモ亦貧民患者救護ニ關ス
ル國ノ營造物ナリトス此他慈善事業タル營造物亦尠ナカラス就中最モ著名ナルモノヲ舉クレハベタニエン

中央看護婦養成所エリサベット病院及看護婦養成所ラツアルス病院及看護婦養成所アウグスタ病院皇帝及
 女皇フリードリヒ病院等ナリトス

最近ニ至リ伯林市ハ疾病ノ治療期ニ向ヒタル患者ノ看護ニ着目シ二箇ノ營造物（一ハ男性患者ノ爲メ一ハ
 女性患者ノ爲メ）ヲブランケンブルグ及ハイチルスドルフニ設ケタリ分婉シテ快復期ニ在ル産婦ノ爲メニ
 モ亦不日救護所設置セラレントス

癡癲者ノ看護モ亦一部ハ市行政ニ屬シ一部ハ國ノ行政事務ニ屬ス王國慈惠院ノ癡癲科ハ専ラ治療ノ見込ア
 ル精神病患者ノ治療所ニシテ尙別ニ試験場ヲ設ケ警察官廳ノ申立テニ依リ總テノ精神病患者ヲ收容ス但シ
 收容スルニ付テハ醫師二名若クハ郡醫ノ證明書ヲ要スルモノトス病院ノ醫師該患者ヲ診察シテ治療シ難キ
 モノト診斷シタルトキハダルドルフニ在ル市立癡癲院ニ送致ス然ルニダルドルフノ癡癲院ハ常ニ滿員ナル
 カ故近來第二ノ癡癲院ヲ設クルノ計畫起リ今現ニ工事中ナリ癡癲病者ハ從來一私人ノ看護ニ任シタルモ近
 來ニ至リ病院ヲ設ケテ收容スルノ計畫ヲ立テ亦目下工事中ナリ私人ノ組合事業トシテ特ニ舉クヘキモノハ
 應急治療所トス應急治療所ノ目的ハ大市街ニ於テ夜間醫師ノ救護ヲ受クルコト困難ナルカ又ハ不充分ナル
 場合ニ安全ニ醫師ノ治療ヲ受ケシムルニアリテ當時伯林市内ニ十五ヶ所アリ該治療所ハ初メハ只醫師ヲ指
 示スルニ過キサリシカ其資力稍充分ナルニ從ヒ治療所ヲ設ケ夜間醫師及助手ヲ宿直セシメ尙綱帶材料及重
 傷患者並ニ負傷者ヲ運搬スルニ必要ナル材料ヲ設備セリ尤モ右十五ヶ所ノ内完全ナル設備ヲ有スルハ僅カ
 ニ九ヶ所ニシテ三ヶ所ハ物品ノ設備稍整備セルモ未タ醫師ヲ置カス只常ニ助手一名ヲ現在セシメ他ノ三ヶ

所ハ單ニ醫師ヲ指示スルノミ晝間業務ヲ營ムハ唯一ヶ所ニシテ毎日午前十時ヨリ午後四時マテ及夜間七時
 ヨリ十時マテトス蓋シ晝間ニテモ醫師ノ不在等ノ爲メ直ニ應急ノ手當ヲ受ケ難キコト實例ニ徴シテ尠ナカ
 ラサレハナリ而シテ該治療所ヲ設置シタル場所ハ特ニ貧民ノ住スル處ヲ撰ミ全市ニ配置シタルモノナリ此
 他之ニ類スル目的ヲ以テ設計セラル、慈惠事業年ヲ追テ益盛シナラントス

人體清潔法ニ付テハ伯林市中ニ數多ノ公設河水沐浴場ヲ設置シ市ノ貧民ヲシテ自由ニ沐浴セシメ其料金ハ
 救貧金庫ヨリ之ヲ支出ス尤モ其他ノ者モ五「ペンニヒ」ヲ拂ハ、隨意ニ入浴スルヲ得ヘシ最近ニ至リ二ヶ所
 ノ公共蒸汽浴場及ラツサル主義ノ浴場設立セラレシ「ペンニヒ」ヲ支拂ハ、何人モ入浴スルヲ得ヘシ

公衆衛生上主要ナル事業ヲ市ノ街路清潔法トス街路清潔法ハ平均一週間ニ三回之ヲ施行ス則チ目貫キノ場
 所ハ毎日餘リ繁華ナラサル場所ハ二回其他ハ一回又ハ十四日日ニ一回トス是ニ使役スル人員現ニ六百人ニ
 シテ他ノ地方ニ於ケルカ如ク無職業ナル若ハ職業ヲ嫌惡スル種族ノ者ニアラスシテ純粹雇入レタル養老金
 權ヲ有セサル且ツ充分使役能力アル而カモ有給ノ者ナリ是レ蓋シ伯林ノ街路清潔制度カ効ヲ收ムルコト多
 キモノトシテ有名ナル所以ナリトス其清潔法施行ハ通常夜間十二時ヨリ着手スルモ亦晝間ニモ之ヲ施行シ
 好天氣ニシテ乾燥セルトキハ凡ソ八十人天氣惡シキトキハ凡ソ百人位ハ常ニ街路ニ於テ作業セリ其爲スヘ
 キ作業ハ人道掃除及溝渠排水路中ノ停滯物掃除ヲ爲シ橋梁及「アスハルト」ヲ敷キタル街道ニハ冬期ニ砂ヲ
 散布シ雨天ニ際シテハ水ノ疏通ヲ監理シ砂除ケ網ノ停滯ヲ除キ公共ノ便所ヲ清潔ナラシムルニアリ冬期ニ
 於テハ雪及大寒ノ爲メ清潔法ノ施行甚タ困難ナルカ故場合ニ依リテハ清潔法全部ヲ晝間ニ施行シ必要ナル

トキハ人員ヲ増加シテ補助セシム街路ノ汚物運搬ハ契約上私人ヲシテ之ヲ受負ハシム總テ街路ハ消火銚アル所ハ晴天ノ時毎日一回若クハ二回撒水ス

飲用水及雜用水ノ供給ハ伯林ニ於テモ亦他ノ長足ノ繁榮進歩ヲ爲シタル大市街ト同シク全ク其資力問題ノ立點ニアリテ稍其力ニ餘レルカ如ク實ニ至難ノ一大事業ナリスブレール及ダーメー河ノ中間ケベニツクノ上流ニアルミューゲルベルグニ設ケタル水道事業ハ從來直接ニスブレール河ノ水ヲ採リ瀘過シテ之ヲ下流地方ノ市部ニ供給スル水道ヲ排斥シタリ蓋シ此水道ノ水ハ其取入レ地ノ上流ニ於テ工業益盛ナルカ故自然河水ヲ汚穢スルノ非難少ナカラサレハナリ然レトモテーゲレル湖ノ近傍ニ設ケラレタル汲ミ上ケ井ヲ用井タル水道ハ尙將來ニ成立スルヲ得ヘシ蓋シ此水ヲ瀘過シタルモノハ飲料トシテ先ツ衛生上ノ要求ニ適スルモノナレハナリ

終リニ臨ンテ伯林市ノ衛生上ノ基礎トナルヘキ大事業ニ付テ一言スヘシ則チ此十年間伯林ノ市行政ニ於テ數度ノ計畫ヲ爲シタル下水工事はレナリ是レ從來ヨリ伯林行政區畫内ニ於テノミナラス全獨逸國ノ衛生學者ノ腦漿ヲ惱マシ其大原則ニ關シ議論喧々タリシ問題ニシテ伯林市ハ遂ニ英國ニ模倣シ尙此事業ヲ遂行シタル他ノ獨逸ノ市街ニ則トリ單一ナル灌溉主義ノ下水工事ヲ實行スルニ決シタリ而シテ此事業タルヤ市ノ生存スル限リハ絶ヘス發達セシムヘキモノナルコト今ニ於テ之ヲ斷言スルヲ得ヘク又此大事業ハ能ク設計者ノ企畫シタル要求ニ適合セルモノナルヲ認ム彼レハ實ニ近世衛生工事ノ好箇ノ模範ニシテ伯林市カ此十年以來其人口増殖ニ伴フ弊害ヲ芟除センコトヲ努ムル目的ニ恰適スルモノナリ是故ニ伯林市ハ人口増殖著

シキニ拘ハラズ死亡率ハ千八百七十九年乃至千八百八十八年ノ十ケ年ニ於テ千八ニ付二七、二四ニ過キス殊ニ前記終リノ年ニ於テハ死亡率ハ千分ノ二一、五七ノ少數ニシテ獨逸全國中健康ナル市街ノ第一ニ位セリ

以上伯林市ニ於ケル衛生制度ノ組織設備ニ付テ説述シタル所ハ或ハ梗概ニ失シタルノ謗アルヘキモ是レ此小冊子ノ餘地充分ナラサルカ爲メナリ若シ夫レ其詳細ニ至ツテハ左ニ引用書目ヲ掲ケタルカ故之ニ就テ本篇ノ足ラサル處ヲ知ルヘシ

(引用書目略ス)

●巴里ニ於ケル地方衛生事務

(マイネルス、デストレー氏著)

巴里ニ於ケル公ノ衛生事務ハ一部ハセーオン縣ノ知事ニ屬シ一部ハ巴里警視廳ニ屬スセーオン縣知事ニ屬スル事務ハ第一市ノ醫事統計ニシテ知事ハ之カ爲メニ特ニ醫師ヲ任用セリ第二ハ屍體檢査ノ監督ニシテ之カ爲メ各區ニ一名ツ、八名ノ醫師ヲ置キ同時ニ埋葬制度及墓地ノ監督ヲ爲サシム第三ハ巴里及セーオン縣ノ瘋癲者取締ニ關スル檢査ニシテ之レカ爲メ醫師一名ヲ置ク第四ハ傳染病豫防ニシテ之レカ爲メ二十區(アロンザ)ニ二千名ノ醫師ヲ置ク第五ハ法廷ニ於ケル事務ニシテ之レカ爲メ醫師一名ヲ置ク第六ハ戶籍簿ノ整頓ニシ

テ(出生及死亡)各區ニ二名乃至四名ノ醫師即チ全體ニテ約六十名ヲ置キ専ラ之レニ任セシム稱シテメデサン、ツ、レター、チウイールト云フ第七ハ學校ニ對スル醫師的検査ニシテ之レカ爲メ各區ニ四名乃至六名ノ醫師ヲ置キ全體ニテ百立慈惠院及無料ノ學校ニ對スル醫師的検査ニシテ之レカ爲メ各區ニ四名乃至六名ノ醫師ヲ置キ全體ニテ百ケ所ヲ監督ス第九ハ衛生ニ適セサル家屋ノ監督ニシテ之レカ爲メニハ不健康家屋検査委員會ヲ置ク該委員會ハ千八百五十年一月十日三月七日及四月十三日並ニ千八百六十四年五月廿五日ノ法律ニ依リ常ニ開會セラレセーン縣知事之ニ長タリ而シテ之レカ委員タル者ハ醫師、建築師、化學者及工學者トス第十八病院及貧民救濟ニ關スル行政ニシテ二十名ノ委員ヨリ成立ツ監督官一名ノ長官及左ノ分課ヨリ成立ス(イ)衛生ニ關係アル者ヲ司トル課(ロ)病院及旅人救護所ニ關スル事項ヲ管スル課(ハ)庶務課(ニ)遺兒ニ關スル事項ヲ管スル課是ナリ此他尙醫業ニ關セサル事項ヲ取扱ヒ並ニ二十二名ノ醫師十六名ノ外科醫及三名ノ産科醫ヲ置テ病院收容ニ關スル中央部トス

警視總監ノ職權ニ屬スル事項ヲ舉クレハ第一、淫賣婦ノ名簿調製及其監督第二、風俗警察、ホテル、迷兒及乳母ノ監督第三、監獄、拘禁場及懲治場強制作業場及慈惠院ノ事務第四精神病患者タル疑アル者及既ニ癲狂院ニ在ル患者ニシテ疑ハシキ者ヲ委囑ニ依リ検査スルコト及ヒメーション、ヅ、サント産院並ニ孤兒院ノ監督哺乳年齡兒童ノ保護ニ關スル法律ノ執行第五、市場ノ監視、獸肉販賣ノ監督、食料品ヲ粗惡ニスル者ノ取締、死體一覽所ノ監督船舶航路ノ検査、溝渠ノ掃除及動物死體ノ排除第六、藥品、生藥、香料、種物、鑛泉ノ販賣取締、衛生ニ適セサル作業場ノ監督製造場ニ於テ作業スル兒童ノ監視及獸醫警察事務第七、警視

廳ハ同時ニ巴里市衛生會議ヲ組織ス此會議ハ千八百二年ニ設置セラレタルモノニシテ警視總監之ニ長トシテ二十名ノ會員ヲ以テ組織ス第八、屠殺場ノ獸醫的検査第九、消費稅徵收吏員ノ醫師的検査第十、無償ニテ食物分析ニ屬スル市立試驗所ノ管理、第十一、淫賣婦ノ搜查、之レカ爲メ十四名ノ検査醫及八名ノ助手ヲ置ク而シテ傳染性疾患アル女子ハラツアルニ在ル監獄ノ病院ニ收容ス以上ハ公ノ衛生事務ニ付テ其大體ヲ説明シタルモノニシテ以下小兒ノ衛生、飲食物ニ關スル衛生、家屋衛生、水道事業、下水事業、燈火、埋葬法、患者運搬法及傳染病豫防ニ付キ其大要ヲ述フヘシ

小兒ノ衛生

當歲ノ小兒看護ニ就テハ千八百七十四年十二月二十三日ノ法律ニ規定アリ之ニ依レハ哺乳兒又ハ一名以上ノ小兒ヲ看護ノ爲メニ引受クル婦人ハ豫メ許可證ヲ有セサルヘカラス此許可證ニハ身分ヲ記シ且ツ刑罰ヲ受ケタルコトナク傳染病ナク既ニ種痘ヲナシタルコト等小兒看護ノ資格アル者ナルヲ掲記セルモノナリ又此看護婦ハ屢々醫師ノ検査ヲ受クヘキモノニシテ検査ハ小兒及看護婦ノ健康並ニ住居ノ清潔如何等ニ付施行スルモノトス

千八百八十年六月十七日ノ省令ニハ學校ノ建築構造ニ關スル規程アリ今左ニ其大要ヲ述ヘンニ學校家屋ハ各方面ニ於テ空氣ノ流通自由ニシテ凡テ喧騒ノ音ヲ立ツヘキ建築物及營業上空氣ヲ汚穢スヘキ建築物並ニ墓地ヨリ少クモ百メートルノ距離ヲ保タシメ且ツ其敷地ハ各生徒ニ對シテ少クモ十メートルナカラサルヘカラス一學級ニ於ケル生徒ノ數ハ一級ナレハ五十名二級ニ分ツトキハ四十名迄トス敷場ノ面積ハ生徒一人

ニ對シテ最小限一メートル二五空氣容量ハ五立方メートルトス光線ハ通例一方ヨリ取ルヘク例外トシテ兩側ヨリ取ルヲ許スコトアルモ左側ハ常ニ右側ヨリ強クスヘシ教場ノ明リ取リニ就テハ尙別ニ規程アリテ一教場内ノ各位置ヨリハ少クモ三十センチメートル丈ケ窓ヲ通シテ天ヲ望ミ得ル如クセサルヘカラス暖爐ヲ以テ室ヲ暖ムルトキハ二重ノ被蓋ヲ設ケ外方ニ空氣ヲ通スル爲メ鐵格子ヲ備付クヘシ而シテ煙口ハ室ノ外ニ於テ開放セシムヘシ

各人ノ住家庭園、作業室、階段、前庭等ニ關スルコトニ付テハ茲ニ之ヲ説述セサルヘシ大市街殊ニ巴里ニ於テハ小學校ノ家屋ヲシテ總テノ要求ヲ充足セシムルハ頗ル至難ノ事ニ屬ス蓋シ市區ニ於ケル建築費ハ一メートルニ少クモ一千フランクヲ要スヘク而シテ此ノ如キ多額ノ費用ヲ支出セントスルハ自治體ノ資力ノ堪ユル事ニアラサレハナリ

巴里ニ於テハ此問題ニ力ヲ盡シ各區ニ小學校ヲ新設シタリ然レトモ舊建物ヲ利用シタルモノ尠カラサルカ故皆未タ總テノ要求ニ適シタルモノトハ謂フコト能ハス例セハリユ、ヅ、クロードノ學校ノ如キハ街道ノ地面以下ニ在リテ且ツ最モ衛生上不良ノ状態ニアリ尤モ是レ唯暫時ノ事ニシテ能ク衛生ニ適シ且ツ管理法整頓セル學校ハ次第ニ増加スルニ至ルヘシ即チ中學校ノ如キハ寄宿舎ヲ設ケテ生徒ヲ養成シ千八百七十八年以來只僅カニ改革ヲ加ヘタルニ過キス大ナル寢室ニ多數ノ生徒ヲ就眠セシムル主義ハ今尙廢絶セスシテ隔壁ニ依リテ寢室ヲ各箇ニ區別スルノ主義ハ未タ一般ニ勵行セラレス師範學校ノ建築構造ニ關シ學校建築委員會カ規定シタル事項次ノ如シ

學校ノ寢臺ハ一室三十臺ヲ超ユヘカラス又距離長キ壁面ニ窓ヲ設ケテ光線ヲ取り空氣ノ流通ヲ圖ルヘシ窓ノ高サハ少クモ四メートルニシテ幅ハ約七メートル五ナラサルヘカラス各寢臺間ノ間隔ハ少クモ一メートルアルヲ要シ寢臺ハ板隔リ若クハ動カシ得ヘキ幕ヲ以テ分割スヘシ

右ノ規定ハ學校ニ於ケル或ル種ノ疾病殊ニ傳染病ノ流行ニ付キ又衛生上ノ改善ヲ必要トスル事項ニ付並ニ學校生徒ノ罹病數登校ヲ差止ムヘキ生徒等ニ付キ學ニルツツツ校ニルツツツ檢ニルツツツ査ニルツツツ醫ニルツツツ官ニルツツツノ注意ヲ喚起セリ學校檢査醫ハ傳染病ニ罹リタル生徒ニ對シテ登校ヲ禁シ必要アリト認ムルトキハ時ニ臨ンテ全校ノ調査ヲ爲ス然レトモ患者タル生徒ヲ其自宅ニ見舞フコトナシ流行病アルトキハ必要ナル豫防法消毒方法若クハ或ル期間間學校ノ閉鎖ヲ命ス是レカ實際ノ成績頗ル良好ニシテ學校ノ清潔法行届キ兒童ノ頭部ニ發スル寄生虫病ハ市内ノ學校ニ於テハ全ク撲滅セラレルニ至リタリ

工場ニ於ケル兒童ノ作業

工場ニ於テ兒童ヲ使役スルニ付テハ千八百七十一年五月十九日ノ法律ニ規定アリ之ニ依レハ兒童ハ十二歳以上ニアラサレハ工場ニ於テ使役スルコトヲ得ス尤モ或ル種ノ工場ニ於テハ十歳ヨリ使役スルコトヲ得ヘシ而シテ十五歳以下ノ兒童ノ作業時間ハ一日六時間以内トス

飲食物衛生

飲食物ノ衛生ハ千八百七十八年以來著シキ進歩ヲ爲シタリ即チ市立衛生試驗所ノ創立以來ニシテ就中巴里警視廳内ニアル試驗所最モ著名ナリ巴里試驗所ハ千八百七十六年ニジューマス氏カ各人ノ依頼ニ應ジ僅少

ノ手數料ヲ徴シテ酒ノ粗品ナルヤ否ヤヲ試驗シタル警視廳内ノ試驗所ニ其源ヲ發シ遂ニ一般ノ公衆衛生並ニ飲食物衛生上ノ試驗所トナシ千八百七十八年十月チャールズ、ミラード氏ノ所長タリシ時代ヨリ其事務ヲ開始シ以テ現今ノ如キ欠クヘカラサル必要ノ營造物トナルニ至リタルモノナリ

千八百八十一年該試驗所ハ酒、林檎酒、麥酒ニ付キ開始以來二ケ年間ノ試驗成績ヲ公ニシ又牛乳チヨコレト乾酪、酢等ノ販賣品ノ成分ヲ公示シ人工的着色ノ認識法食品ヲ粗惡ニナシタルヲ認知スル爲メ檢微鏡寫眞的ノ検査方法並ニ香料ニ用井タル芳香品ノ分析法等ヲ定メタリ

該試驗所所屬ノ検査官ハ市場、料理店、酒屋鴈詰販賣店、菓子製造所等ヲ巡檢シ方法ノ粗品ナルモノ常ニ多數アルヲ檢知セリ

家屋衛生

家屋衛生ニ於テハ吾人ハ遺憾ナカラ發達甚タ鈍シト評サ、ルヲ得ス殊ニ勞働者ノ住居ニ於テ然リトス蓋シ彼等ノ住居ハ唯ターツノ場所ニシテ厨トモナリ食堂トモナリ又寢室トモナレハナリ然レトモ凡ソ家屋衛生ニ於テハ輪壯大ノ建築物ナリト云フト雖モ實際ハ表見ノ如ク整備セサルモノナレハ強チ勞働者ノ住居ニ付テノミ非難スヘカラサルカ如シト雖モ巴里市ノ家屋ヲ觀察セハ狹隘ナル暗黒ノ通路厨ノ臭氣放散、廁ノ惡臭、街道ノ地面下ニアル婢僕ノ小室或ハ鳥類ノ巢ト撰フコトナキ家根裏ノ室等總テ是等ハ皆一大市街巴里民家ノ裏面ヲ顯ハシタル言辭ニシテ決シテ輕忽諷妄ノ言ニアラス兩三年前セーオン縣庶務課長グスターズ、ジヨルドンカ著シタル不健康家屋ニ關スル立法ト題セル巴里市民家ノ建築記事ニ依リテ例證スルヲ得ヘシ

而シテ巴里ノ建築法規ハ今ニ至ルモ尙衛生上ノ顧慮ヲ爲シタルコトナク巴里市ニ於ケル不健康家屋取締委員カ住居衛生ニ就テ新規定ヲ設ケタルモ之レカ實施ノ任ニ當レル委員ハ尙古來固陋ノ偏見ヲ墨守シ右ノ規定中僅カニ一小部分而カモ主要ナラサル些細ノ事項ヲ殘シテ其他ヲ棄テ加之ナラス市參事會ニ於テモ又之ニ脩正ヲ加ヘタルカ如キ有様ナリ然レトモ一般ノ人ハ尙其舊規定ノ主要ナル點ニ變更ヲ見タルヲ以テ是ヲ目シテ進歩シタルモノト云フ陋ナリト謂フヘシ

巴里ニ於ケル私人屋内ノ暖室法ハ從來ヨリ討究セラル、問題ニシテ移動シ得ヘキ暖爐ノ各種類ハ危險ヲ招クコト多キニ拘ハラズ未タ廢絶セラル、コトナキカ故警視廳ハ訓令ヲ頒布シ石炭瓦斯毒ノ豫防法ヲ指示シタリ

水道、下水及燈火

巴里ノ飲料水ハセーオン河(市ニ於ケル上流部)マルン河ワソ河及吸上ゲ井ヨリ取りタルモノニシテ鐵管ヲ以テ各地各戸ニ引用ス街路ノ撒水ニハ吸ヒ上ケ唧筒ヲ用井クエーヅ、ビリー及アウステルソツツ橋ノ傍ニアル汲ミ上ケ唧筒ニ依リ又壓搾シタル水ハ游泳浴場ノ用ニ供ス其貯水池ハ幅七十五メートル長サ十五メートル深サ平均二メートルニシテ浴場ノ營業者ハ義務トシテ二日間無料ニテ衛戍隊ノ用ニ供シ一週内ノ他ノ二日間ハ市立學校ノ生徒及公ノ慈善院ノ在院者ニ至十五センチムノ料金ニ對シテ入浴セシメサルヘカラス一般ノ公衆ハ高クモ二十五センチムヲ支拂ハ、入浴スルヲ得ヘク且ツ洗濯ヲ爲スヲ得ヘシ

巴里ニ於テハ夏期ニ至ラハ所謂「巴里ノ臭氣」ト名付ラレテ一般ニ非難セラル、不快ノ時節アリ然レトモ此

時節ニ於テハ却テ總テノ流行病ノ死亡比例減少スルノ事實アルニ由リテ見レハ公衆ノ健康ニ對シ格別ノ害ナキモノ、如シ殊ニ學術上及政治上ノ刊行物ニ於テモ左マテ之ヲ論難シタルモノナシ然レトモ數多ノ委員會ノ命令ニ依レハ總テ衛生ヲ害スヘキ廢敗物ハ密閉セラルヘキ容器ニ入レ若クハ全ク封鎖スヘキ車ヲ以テ運搬セサルヘカラス此他尙汚物ノ蒐集掃除ニ關シテ種々ナル方法ヲ定メタリ新主義ニ依リ建築シタル家屋ニ於テハ汚物ニハ直ニ消毒藥ヲ混和セサルヘカラス又下水道ヲ掃除シタルトキハ實際消毒ノ効アルヘキ分量丈ケ消毒藥ヲ投セサルヘカラス而シテ下水道ノ掃除ハ監督官ノ指揮ノ下ニ之ヲ施行ス

下水渠ヲ流過スル水ノ分量ハ皆甚タ少量ニシテ不充分ナリ横斷面小ニシテ傾斜緩ナル下水ニ於テ殊ニ然リトス殊ニ時々乾燥シテ全ク流過セサルモノアリ概シテ下水渠ノ高低一樣ナラス大ニ水ノ疏通ヲ害シ芥ヲ抑止スヘキ剛ハ其効充分ナラス此故ニ流過スヘキ水量ヲ増加スルモ効ヲ收ムルコト難ク寧ろ溝渠及街路ヲ毎日掃除スルニアラスンハ全ク此障害ヲ除クコトヲ得ス

各下水ヲ直接ニセーシ河ニ流下スルハ最モ有害ニシテ巴里ノ爲メニハ容器主義(コンテナシステム)ニ依リテ汚水ヲ蒐集シテ之ヲ利用スルヲ以テ最モ得策ナリトス

衛生上ヨリ見テ進歩シタリト云フヘキコトハ燈火ニ電氣ヲ應用シテ瓦斯燈火ヲ補ヒタルコト是レナリ蓋シ電氣燈ハ酸素ヲ必要トセス又炭素ヲ發生スルコトナク室内ノ空氣ヲ汚染スルコトナク氣温ヲ増加スルコトナク又爆發ノ危険ナク而シテ其火力常ニ一定ナレハナリ此故ニ現今巴里及地方ニ於テハ大倉庫、商店工場公ノ建物等皆ナ電氣燈ヲ用ユ又電氣燈ハ絶對的ニ眼ヲ害スルノ危険ナキモノナリ

電氣燈ノ利益アル右ノ如キニ反シテ瓦斯燈ハ甚タ危険ナリ其眼ニ有害ナルノミナラス附近ノ大氣ヲ害シ危険ヲ醸シタルノ例多キコト何人モ知ル所ナルノミナラス其成立原素、地下埋没ヲ必要トスル工事並ニ之ヲ吸入スルニ依リ中毒ヲ起ス等ハ市街ニ於テ工業上ニ瓦斯燈ヲ用フルニ付最モ慎重ヲ加ヘサルヘカラサル所以ナリトス

埋葬法

一家ニ於テ死亡者アリタルトキハ其區ノ戶籍役場ビュロー、レタチワイニ届出テシメ役場醫師ヲシテ屍體檢案ヲナサシム死體ハ四十八時間ヲ經過シタル後市ノ運送車ニテ墓地ニ送ル

巴里市ニ於テハ兩三年前ヨリ屍體置場ヲ設ケ屍體ハ住家ヨリ運送シテ埋葬スルマテ此處ニ置カシム但シ傳染病ノ爲メニ死亡シタル者ハ此ニ置クヲ許サス直ニ墓地ニ送ラシム

巴里ニ於テ屍體火葬ノ制ナキニアラサレトモ義務的ノモノニアラスシテ衛生上好マシキ方法ナルニ拘ハラズ未タ一般ニ行ハレス是故ニ巴里ニ於ケル墓地ハ次第ニ餘地乏シク現今ニ至リテハ市外ニ新墓地ヲ設ケントスルニ至リタリ

屍體一覽場

巴里市ノ屍體一覽場ノ目的ハ身元知レサル死者或ハ災難若クハ殺人事件アリテ人ノ引キ合セ又ハ裁判上ノ公示ヲ爲シテ何人ナルヤヲ確定スルニ在リ人口二百萬以上ヲ有スル大市府ニ於テハ此一覽所ニ列セラレタル屍骸驚クヘキ多數ナルコトハ何人モ容易ニ推知スルヲ得ヘク平均一日ニ二三箇ノ屍體此處ニ收容セラル

然ルニ此處ニ列置スル屍體多クハ既ニ二三日經過シタルモノナルニ尙長時間其儘ニ陳列セラレ或ハ又此處ニ收容シテヨリ二三日ニシテ始メテ裁判上ノ解剖ニ付セラルルモノナルカ故ニ大事變出火、鐵道遭難等ノ如キ非常災害ノ場合ヲ除クモ平均十箇ノ屍體ハ常ニ現在シ長キハ八日ヨリ十日マテモ其儘此處ニ列置セラレ而カモ其屍體ノ多數ハ溺死者(多クハ自殺者ナリ)ニシテ此處ニ收容スル當時最早既ニ腐敗ニ傾キタルモノナリ屍體ヲ列置スル場所ハ石敷キニシテ布片ヲ以テ蔽ヒタル屍體羅列セラレ一見人ヲシテ酸鼻ノ感ヲ惹起セシム而シテ死者ノ親族ハ此室内ニ導キ屍體ヲ檢セシム然レトモ此一覽所ニ容レタル屍體ハ則チ腐敗シ易キモノナルカ故ニ惡臭ヲ發スルコト夥シク所在地近傍ノ住民カ常ニ口情ヲ訴フル所ナリ

此腐敗ヲ防ク方法ニ付テハ種々研究セラレタルモ結局化學的方法ヲ用井テハ腐敗作用ヲ防クコト能ハサルノミナラス毒殺ノ場合ニハ絶對的ニ此方法ヲ用井難キ困難アルヲ別トシテモ尙其應用ニ頗ル困難ナルヲ認メ遂ニミグノン氏及ルーセルト氏ノ考案ニ成レル裝置ニ依リ冷却法ニ依リテ死體ヲ保存スルトシタリ爾來全ク右ノ如キ弊害ヲ除クヲ得ルニ至リ一覽所内ニ入ルモ最早腐敗ノ臭氣ヲ感スルコトナク屍體ハ收容セラレタル當時ノ有様ニテ稍長キ時日間其儘ニテ保存セラルルニ至リタリ然レトモ裁判上ノ屍體解剖ヲ爲ス場合ニ於テハ先ツ氷室ニ保存セラレタル屍體ヲ融解セシメタル後ニアラサレハ能ハサルカ故其著手マテニハ少クモ五時間程ヲ要ス

墓地

巴里ニ於テ十五年以前ヨリ墓地ニ付テ頗ル困難ヲ感セリ蓋シ當時現存シタル墓地ハ既ニ狹隘ヲ告ケ全部充

滿シテ殆ント其餘地ナキニ至リタルモノナレハナリ是ニ於テ巴里市外ニ於テ大墓地ヲ選定スルノ計畫ヲ爲シタレトモ巴里市民ノ死者ヲ吊フノ感情深ク葬儀ヲ盛ニスルノ氣風ハ之ヲ肯ンセス遂ニ委員ヲ設ケテ別ニ巴里市内ニ墓地ヲ選定シタリ火葬モ亦巴里ニ於テ之レナキニアラス且ツ其衛生上ノ好方法ナルニ拘ハラス巴里市民ノ氣風ニ適セス

患者運搬及貧民處分

傳染病患者ヲ病院ニ運搬スル車ノ構造ニ關シテハ千八百八十一年其規定ヲ定メタリ是レドクトル、ア、ポイスン氏ノ考案ニ成リブリユツセルニ於テ現ニ使用スル運搬車ニ模倣シタルモノニテ車ニハ溫暖裝置アリテ使用シタルトキハ其都度之ニ消毒法ヲ行フ

貧民ハ病院ニテ無料ニテ收容スルノミナラス各區役場ニ其掛リアリテ自宅ニ於テ醫師ノ見舞ヲ受ケンコトヲ望ム者ハ之レカ願ヲ爲スヲ得ヘク必要アリト認ムルトキハ醫師ニ於テ入院ヲ請求ス

醫師ノ夜間勤務

千八百七十六年巴里市ノ定メタル醫師ノ夜間勤務ハ爾後屢々改正變更セラレタリ現今ノ仕組ハ夜間勤務ヲ爲サントスル醫師ハ其區ノ警察署ニ其旨届出テシメ之ヲ登簿シ置キ夜間醫師ノ治療ヲ乞ハントスル者ハ最寄警察署ニ至リ自カラ治療ヲ乞ハントスル醫師ヲ指定セシメ警察官吏ハ本人同道ニテ醫師ノ宅ニ至リ醫師ヲ同伴シ來リテ患者ヲ診察セシメ亦再ヒ之ヲ自宅ニ送リテ十フランクノ支拂ヲ命ス此仕組ハ大ニ巴里市民ノ歡ヲ所トナリ要求者次第ニ増加スルニ至レリ

傳染病學及其豫防法ニ付テハ輒近盛ニ調査セラレ發見セラレタル學說亦尠ナカラス殊ニ其多數ハ最近ノ發表ニシテ調査ノ成績日トシテ顯ハレサルコトナク此方面ニ於ケル研究資料豊富ナリト云フヘシ總テ是等ノ研究成績ニ由リテ見ルトキハ避ケ得ヘキ疾病(若シ爾カ謂フヲ得ヘクンハ)ハ漸次増加スルモノ、如ク公衆衛生ハ益々是等新發見ノ學說ト駢馳シテ後ルルコトアルヘカラサルノ必要ヲ認ム

流行病及傳染病ノ病因學及豫防法ノ研究ニ關スル最近十年間ノ成績ヲ舉クレハ傳染病毒ヲ微弱ニスル方法發見其目的ヲ達スル安全ナル方法、或ル傳染性病ノ寄生の性質ノ研究、分離作用ニ於ケル有毒性アルカロイドノ發見ニ依リ屍體アルカロイドノ研究流行病及其蔓延ニ關スル詳密ノ調査及人類ノ傳染病タルト畜類ノ傳染病タルトヲ問ハス豫防上公ノ法規ヲ設ケ消毒法ヲ嚴行シ患者ヲ隔離シ種痘ヲ勵行スルノ必要ナルコト是レナリ而シテ予輩ハ左ニ最モ恐ルヘキモノニシテ又最モ其數多キ或ル種ノ傳染病ニ付テ少シク之ヲ述ヘンニ虎列刺黃熱ハ歐州ニ於テモ他ノ流行國ト同シク豫防法ヲ行ハサルヘカラサルモノナリ然レトモ彼レハ外國ヨリ輸入セララルル傳染病ニ對シ施行スル船舶交通上ノ衛生制度ニ關スル行爲ニ屬スルカ故茲ニハ是レニ付イテ論述セサルヘシ流行病ノ中痘瘡ハ最モ安全有効ナル豫防方法アルモノニシテ大學ニ於テモ痘瘡牛痘及種痘ニ關スル事業ニ費ス經費毎年尠ナカラス然レトモ痘瘡ハ今ニ尙撲滅ニ至ラス其佛蘭士民ノ死亡比例ニ於ケル痘瘡ノ勢力ハ決シテ少クニアラサルヘキモ佛國全體ニ於ケル痘瘡死亡者ノ數判明ナラスシテ唯二三ノ市街ノ調査報告ノミニテハ未タ充分ニ之ヲ知ルコト能ハス而カモ醫科大學及衛生局ニ於テ屢其種

痘ノ効力ニ付テ訓示スル處アリタレトモ未タ種痘ヲ以テ義務的ノモノトナサス又是レカ法案屢々提出セラレタルコトアリト雖モ一モ成立シタルモノナシ實布理ハ古來醫師ヲ犠牲ニ供シタルコト最モ多キモノニシテ二ケ年間ニ醫師ノ助手二名ハ業務上之ニ瘡レタリ而シテ今ニ至ルマテ未タ安全ナル豫防法ナキカ故一般衛生上ノ處分トシテ唯患者ヲ隔離セシムル方法アルノミ

梅毒、花柳病ノ病因及淫賣ニ關スル數多ノ新著作ハ或ル意味ニ於テ是等疾病ノ臨床研究ノ進歩ヲ示シ又行政上ノ取締ヲ要スルモノナルコトヲ明カニシタリ梅毒傳播ノ原因中容易ニ知り難キモノハ梅毒ニ罹レル者ノ販賣スル小兒玩弄品及麥酒店ニ於テ華客ヲ誘フ爲メニ雇入レアル酌婦ナルヘシ酌婦カ梅毒ヲ傳播スルコトハ既ニ多數醫學者ノ唱フル所ニシテ彼等ハ則チ客ト對談シ且ツ飲ムヲ以テ其日ノ業務トナスモノニシテ畢竟婦人ノ言フ所ハ人多クハ之ヲ拒絕セサルニ乘シ華客ノ消費高ヲ増サシメントノ手段ニ供セララルモノナリ彼等ハ通例給金ナク或ハ全ク衣服ノ料ヲ自辨スル者ニシク多クハ亞爾加保爾中毒ニ陷レル者ナリ年少ナル學坐ニ梅毒多キハ皆此麥酒店ノ酌婦ヨリ感染シタルモノナリト云フモ誣言ニアラス是故ニ華客ト共ニ對酌セシムル爲メ酌婦ヲ雇ヘル麥酒店ハ行政上ノ取締ヲ設ケテ之ヲ抑壓セサルヘカラス麥酒店ノ酌婦ノ外淫賣ハ多少ノ取締アリ即チ娼家ノ娼妓、及醫務吏員カ八日間毎ニ檢診スル證券ヲ附シタル者はレニシテ全ク檢査セサルモノハ女工、婢、女美術家及麥酒店ノ酌婦トス取締法アル賣淫ハ取締法ナキモノニ比シ梅毒傳播ノ危險少キコト四分ノ一ニシテ秘密淫賣カ梅毒ヲ傳フル多キコト娼家ノ娼婦ニ比シ約九倍證券ヲ附與シアル者ニ比シテ約六倍ナリ

窒扶私ハ病因學上詳密ニ研究セラレ殊ニ土地ノ情況水及各箇人ニ付テ綿密ノ調査アリタリ

死亡原因ノ最モ多數ヲ占ムル結核病ハ傳染セラレヘキ疾病ナルヤ否ヤノ問題ハ常ニ著述ノ題目ニシテ動物ニ就テハ結核病患者ノ吐出シタル空氣カ明カニ害アルコトヲ確メタリ

又猿ニ結核ヲ移種シテ右ノ如キ試驗ヲ爲シタルコトアリ而シテ結核ヲ移種セラレタル猿ハ移種セサル試驗動物ニ比シ不相當ニ多數死亡シタリ人爲的ノ結核病菌移種及動物ノ痘漿ニ依レル傳染ハ詳密ニ研究セラレ其結果豚ハ人爲的ニ培養シタル第四傳種ノ二滴ヲ移種シタルニ全ク結核性トナリタリ又純粹ナル牛痘ハ強度ノ結核性ナル牝牛ニ種ヘ是レヨリ採收シタル痘漿ヲ用井タルニ試驗動物ハ皆結核性トナリタリト

終リニ臨ンテ狂犬ノ咬傷ヲ豫防スル爲メ衛生局ノ發シタル規定ヲ說カンニ凡テ犬ハ公ノ場所ニ於テハ紐ヲ付スルニアラサレハ伴フコトヲ得ス或ハ少クモ其飼主之ヲ伴ヒテ監督ヲ爲サ、ル可カラス街路ニ彷徨スル犬ハ直ニ皮剥業者ニ交付シ頸輪ナキトキハ直ニ撲殺セシメ若シ千八百七十八年八月六日ノ規定ニ依リ頸輪ヲ附シアルトキハ交付シテヨリ八時間内ニ飼主ニ通知ス而シテ此場合ニ飼主ニ科スル罰ハ其犬カ皮剥業者ノ手ニ在リタル時日ノ長短ニ依リ定ムヘク犬ヲ街路ニ放置シテ爲メニ暴亂ヲ爲サシメタルトキハ飼主ハ重キ罰金ニ處セラレヘシ

最後ニ述フヘキモノハ千八百八十一年七月二十一日ノ法律ニシテ流行性傳染性疾病ノ豫防法ヲ規定シタルモノナリ

●英國特ニ倫敦ニ於ケル衛生行政(ドクトル、ランデスマン氏著)

ウイーンニ於テ開會セラレタル次會トシテ倫敦ニ開會セラレタル萬國衛生人口會議ハ各國ノ委員ヲシテ身自カラ英國及倫敦ノ事情ヲ觀察スルノ機會ヲ得セシメタル利益ヲ收メタルモノニシテ而シテ英國ハ即チ是ニ依リテ其衛生ノ實地ノ上ニ豐沃ノ基礎ヲ作り其第一ノ凱歌ヲ奏シタルノ利ヲ得タルモノト云フヘシ英國ノ或ル首相曾テ明言シ曰ク「國民ノ衛生ハ一般ノ幸福ヲ増進シ國ヲ富強ナラシムル所以ノ基礎ナルカ故衛生ノ爲メニ圖ルハ是レ一國政治家タル者ノ將ニ盡スヘキ義務ナリ」ト特ニ倫敦ハ全世界中有數ノ大市府ニシテ其死亡比例ハ他國ノ首都ニ比シテ最モ僅少ナルカ故衛生ヲ説クニ最モ妙味アルヲ感スヘシウイーンモ亦今世紀ニ於ケル如キ人口増殖ノ割合ヲ以テ推移セハ五十年乃至六十年ノ後ニハ倫敦ノ人口ニ達スヘシ余輩左ニ英國衛生ニ關スル立法及行政ノ大要ヲ述ヘ次ニ英國議會ノ制定シタル倫敦市ニ對スル最近ノ法律ヲ説明スヘシ此法律ハ本年一月一日ヨリ施行セラレタルモノトス

英國ニ於ケル錯雜セル衛生上ノ立法並ニ行政ノ討究の歴史ハ英國人ノ手ニ由テス獨逸人ニ由リテ始メテ研究セラレタルモノニシテ是レ固ヨリ偶然ノ事ニアラス寧ロ其國民ノ資性ニ基ツクモノナリトス此困難アル問題ヲ研究シタルハ獨逸人ザンテル、フインケルンブルグ及ゲーテルヲ以テ嚆矢トス然レトモ吾輩カ今此小冊ニ述ヘントスルハ此問題ニ關シテ其創建ニ明晰ナル説明ヲ與フルニアラスシテ既ニ古昔ノ建說ニ係リ而カモ建築學上明瞭ナラサル組立ノ上ニ次第ニ築キ上ケラレ且ツ各時代ノ變遷ヲ經過シ又其家屋ニ庇護セラル、國民ノ需要ニ應シテ轉變シタル一ツノ建物ニ付テ其有様ヲ述ヘントスルニアリ

英國ニ於テ衛生並ニ其他ノ立法及行政ノ基礎ヲ作りタルモノヲセルフ、ガルンメント即チ自治體行政トス

而シテ自治體行政ハ亦市ニ於テモ教會領區ト密着ノ關係ヲ有シタリ是レ蓋シ英國人ノ保守的精神ニ本ツクモノナリトス即チ貧民救濟衛生警察、燈火制度、道路建設街路清潔法等ハ次第ニ教會領及其首長ノ手裏ニ歸シタリ然レトモ教會領區ニ屬セサル即チ教會及自治體ノ經費ヲ負擔セサル地往時ヨリ今ニ至ルマテ尙存在セリ

千八百三十一年英國ニ於テ虎列刺大ニ流行シ勞働者ノ巢窟タリシ倫敦ノ市部ニ於テ殊ニ其猖獗ヲ逞フシタルコトアリテ檢疫線内ニ於テモ弊害多キコト判明セシカ故國民ハ非常ナル熱心ヲ以テ此弊害排除ニ從事シタリ

殊ニ貧民救濟ニ於テハ貧者ニ作業ヲ與フルト云ヘル至當ナル原則ニ據リタルモノナレトモ不適當ニ配置セラレタル教會領區ヲシテ其衝ニ當ラシメタルカ故弊害百出始メテ其組織ノ宜ロシカラサルヲ認メ遂ニ千八百二十四年ニ至リ王國中央救貧廳(フイア、ロイコン)ヲ設ケテ始メテ教會領自治行政ニ一打撃ヲ加ヘタリ即チ教會領トハ全ク分離セル救貧團體(フイア、ロイコン)ヲ設ケ常ニ之ヲ監督シタリ

工業盛ナル地ニ於テハ勞働者ノ死亡比例頗ル多キコトヨリシテ死亡數ノ正確ナル統計ヲ得ンコトヲ圖リ千八百三十六年ニ至リ新法律ヲ制定シテ出生、結婚、死亡ハ皆戶籍簿(レギスター)ニ登記スルコト、シウイリリアム、フアル氏ノ管理ノ下ニ其事務ヲ開始シタリ是レ實ニ英國ニ於ケル現統計ノ基礎トナリタルモノナリ

新設シタル救貧廳ノ報告並ニ下院ノ委員會ニ刺戟セラレ暫時ニシテ數多ノ法令發布セラレタリ倫敦市ノ建

築規則、公設浴場及洗濯場設置ニ關スル法律、市町村ノ水道規則及大市府ニ於ケル市長及市會カトル行政ニ關スル數多ノ地方法律等はレナリ此地方法律モ亦國會ニ於テ議定シタルモノナレトモ我國ニ於テ法律ヲ議定スルカ如ク一般ニ適用セラル、モノニアラスシテ其施行區域カ一地方ニ限ラレタル(命令ノ如ク)モノナリ

從來ノ法律ニ依レハ裁判所ニ階級制度ナク下級ノ裁判所ニ於テ控訴ヲ受理シタルカ故行政ニ於テ長官ノ更迭ノ爲メ影響ヲ蒙ル如キ弊ナシト雖モ裁判官ハ衛生制度上ノ取扱ニ關シ其智識ト經驗トニ乏シキモノナレハ只千變一律ノ取扱ヲ爲シタルノミ

千八百四十八年ノ改革ハ衛生行政ヲ階級的ノ組織トナシタル端緒ニシテ國民ノ衛生保護ニ關スル法律(フイア、ロイコン)發布セラレテ始メテ衛生局ノ創立ヲ見ルニ至リタリ然レトモ此衛生局(セネラル、ボイグセ、パブリック、ヘルス)ハ或ル他ノ官廳ト同シク或ル一定ノ期間即チ初メハ六ケ年間ノ期限ヲ以テ設置セラレタルモノニシテ技術上ノ監督官廳トシテ毫モ政治的趣味ヲ帶ヒサリシモノナリ此法律ハ首都ニハ施行セラレス只最近七ケ年間ニ於テ死亡率千分ノ二十三以上アリタル地方ニノミ施行セラレタルモノナレトモ其實施前既ニ八回修正セラレタリ又此法律ハ他ノ地方ニ對シテモ其納稅者十分ノ一以上ノ請求アルトキハ施行セラル、モノトス此法律ヲ實施シタル地方ニハ地方衛生廳(ロカール、ボイグセ、パブリック、ヘルス)ヲ設ケ市長及市會ヲシテ其任ニ當ラシメタリ地方衛生廳ハ特ニ吏員ヲ有スルモノニシテ該法律ノ第十條ニ所謂「必要ト認ムルトキハ」期限ヲ定ムルコトナクメヂカール、オフイサー、オフ、ヘルス(獨逸ノ郡醫)トシテ醫師ヲ任用スルヲ得ヘシ地方衛生官吏ハ報告

書ヲ中央廳ニ提出シ中央廳ハ之ヲ審査ス特ニ注意スヘキコトハ地方衛生官廳ニ衛生上ノ施設及建築ノ爲メ特別稅ヲ徵收スルノ權ヲ附與シタルコト是レナリ之レカ爲メ一面ニ於テハ容易ニ經費ヲ得他ノ一面ニ於テハ國庫ニ於テ稅ヲ徵收スルノ手數ヲ省クヲ得タリ

然ルニ新設ノ中央衛生局ト地方衛生官廳トノ間ニ劇烈ナル爭議ヲ生シタリエル、フオン、スタイン氏ハ之ニ關シテ記シテ曰ク政府ハ國會ノ命令ニアラサルモノヲ命令トシテ發布スルヲ敢テシタル如ク地方ニ於テハ虎列刺ニ對スル危險大ナルニモ拘ハラス自治體ノ意識ノ毀損セラレタルヲ知得セサリシト而シテ此場合ニ於テ地方ハ實ニ莫大ナル經費ヲ要スル事業ヲ附課セラレタリ然レトモ一般ノ非難ノ爲メ千八百五十八年ニ至リ遂ニ中央官廳ノ非ニ歸シタリ是レ實ハ中央廳ノ退歩ニアラス只其地方廳ニ對スル正面ヲ轉シタルニ過キスシテ總テノ記錄ハ皆內務省ニ收メラレタリ種痘制度及流行病ノ豫防法ハ內閣(ラート)之ヲ管シ勞働者ノ衛生及水道事業ハ商務省ニ屬シ衛戍隊及開港場ニ於ケル或ル種ノ傳染病特ニ徵毒ニ對スル防備ハ陸海軍省之ヲ管ス

然ルニ此制度ヲ單一ニスルノ必要益多キニ至リタル爲メ千八百七十一年地方行政省(ロカール、ガバール)ヲ設置シ統計、醫事制度ヲモ管セシメ尙道路工部ヲ屬セシメタリ而シテ千八百四十八年以來發布セラレタル多數ノ衛生法令ハ千八百七十五年ニ至リ總テ蒐集修正ヲ加ヘテ一法トナシ發布シタリ此法律ノ施行セラレサル倫敦ヲ除キ其他英國全體ヲ地方衛生區(サニテリツチ)ニ分チ一千ノ市衛生區及五百以上ノ地方衛生區ヲ設ケ前述シタル救貧行政ノ吏員ヲ其區ノ衛生吏員ニ屬セシメタリ即チ衛生ニ關スル救貧醫四千名ハ彼レニ隸

屬スルコト、ナリタリ此地方衛生廳ハ撰舉セラレタル者ノ團體ニシテ法律ノ範圍内ニ於テ自由ニ管理及執行スルノ權ヲ有シ其目的ノ爲メニハ特別稅ヲ徵收スルヲ得ヘシ地方衛生廳ノ首長ハ醫師ニシテ(メザカール、サファイサー、ブルス)其下ニ一名又ハ數名ノ検査官、検査官補及消毒吏員ノ本部、數多ノ書記及一名ノ會計官アリ而シテ彼レハ只地方行政省ノ醫務部ニ對シテノミ責任アルモノトス醫務部ノ長ハ醫師ニシテ(メザカール、オツファイ)二名ノ次長及十二名ノ検査官之ニ從屬ス検査官ハ地方廳ノ會議ニ列シ検査法ヲ定メ取扱及其會計等ヲ視察スルノ權アル者ナルカ故彼レハ亦地方廳ヲ代表ス而シテ若シ地方廳ノ要求アルトキハ意見ヲ述ヘサルヘカラス

千八百四十八年及千八百七十五年ニ發布セラレタル前記ノ二大法律ハ既ニ述ヘタルカ如ク倫敦ニハ施行セラレサリシモノトス前年倫敦ニ衛生會議開會セラレタルトキ其議員ニ配布シタル倫敦ノ記事ニ曰ク現今倫敦ニ行ハル、法律頗ル多數ニシテ或ハ前法律ヲ再録シ或ハ修正シ又或ハ廢止シタルモノアリ而シテ倫敦市ハ自カラ常ニ其獨立ノ地位ヲ維持センコトヲ計リタリ是故ニ倫敦市カ倫敦衛生法(ロンドン、アクト)ヲ制定シテ總テ現行ノ法律ヲ編輯或ハ修正シ且ツ倫敦ニ行ハル、衛生法規ヲ蒐メタルハ英國政府ノ利トナリタルコト尠ナカラス

倫敦ハ市部(シチー)及此市部ヲ圍繞スル教會領區ヨリ成リ市部ハ又再ヒ小ナル教會領區百餘ヨリ成立シテ市長(ロールド)市會(コンモン)及市會議員(チルダ)ヲ有スル市府ヲ組織ス

市部ト市府ヲ圍繞セル教會領區トノ關係ハ甚疎ニシテ今世紀ノ上半期ニ於テハ其關係ハ只下水及建築ニ關

スル官廳ト救貧行政トニ於テ互ニ共同ノ働作ヲ爲シタルニ過キサリシモ同世紀ノ五十年代ニ始メテ首都土

木署(メトロポリタレ、ボ)ヲ設置シテヨリ以來稍密接ノ關係ヲ生シタリ

此ノ團體ハ千八百八十八年ノ法律ヲ以テ倫敦私領區參事會(ロンドンネル、ケラ)ナル名稱ヲ付セラレ稍廣キ權

限ヲ有シタリ該會ハ百三十八名ノ會員ト十九名ノ長者議員(オルダ)ヨリ組織セラル、モノニシテ下水幹線

ノ所有權ヲ有シ村落下水街路、家屋、橋梁、公園、市場及其他一般ノ衛生ヲ監督シ又免許證ヲ附與シ屠殺場

牛舎、牛乳業及危害アル營業ニ對シテ命令ヲ發スルノ權ヲ有ス又特ニ醫師ヲ雇入ル、ヲ得ヘク而シテ此醫

師及地方衛生廳ノ衛生検査官ノ俸給半額ヲ負擔ス彼レハ醫官ノ特別報告及年報ノ副本ヲ受ケ之ニ依リテ或

ハ命令ヲ下シ且ツ地方行政省ニ對シテ報告ヲ爲ス又今日ヨリ一ケ年前發布セラレタル勞働者住家ニ關ス

ル法律ハ此參事會ニ不健康ナル市區ノ改修工事ヲ爲スノ權ヲ附與シタルニ暫時ノ間ニ於テ數百ノ家屋ニ閉

鎖ヲ命シ約二百ノ市區ニ改修工事ヲ施シタリ就中廉價ニシテ且適當ナル勞働者家屋ノ建築最モ稱スヘシ

此私領區參事會ニ有益ナル援助ヲ與ヘタルモノヲ首府庭園會社(メトロポリタン、パブリック)トナス此會社ハ

八年前ニ創立セラレタルモノニシテ其目的トスル所ハ赤貧者多キ區ニ庭園ヲ設ケ成年者ノ爲メニハ休憩安

息スル場所ヲ供シ幼少ノ者ノ爲メニハ遊戯所ヲ供スルニアリテ專ラ貧民ノ利益ヲ圖リタルモノナレトモ亦

同時ニ一般人民ノ用ニ供シタルモノナリ蓋シ貧者ノ休憩所ハ主トシテ街路ニシテ街路ハ則チ紅塵深クシテ

彼レ等ノ安息所ニ適セス却テ有害ナルモノナレハナリ加之ナラス人家櫛比ノ街ニ住スル者ハ其不健康ナル

地ヲ離レテ市ノ外部新鮮ナル地ニ安息ヲ求ムルコト洵ニ困難ノコトナレハナリ今此會社ノ作業ヲ列記セハ

第一、總テ市内ノ空地ハ大小ヲ問ハス衛生及休憩所ノ目的ヲ以テ之ヲ保存スルコト第二、最早使用セサル

墓地及總テノ空地ハ之ニ樹木ヲ植ヘテ庭園トナスカ或ハ遊戯場トナスノ特權ヲ得ルコト第三、設計ヲ終リ

タル場所ハ之ヲ地方廳ニ引渡シテ保存ヲ求ムルコト是レナリ又英國ニ於テハ体操ヲ以テ學生ノ義務課程ト

ナサ、ルカ故体操教授ニ付テモ之レカ獎勵ヲ努メタリ而シテ千八百八十二年以來該會カ單獨又ハ他ノ者ト

協力シテ施設シタルモ庭園及遊戯場六十五ヶ所、腰掛ケヲ据ヘ付ケタルコト三十一ヶ所街路ニ樹木ヲ植付

ケタルコト三十七ヶ所等ナリ我ウイーンニ於テモ市ノ區域擴張ノ爲メ此種ノ事業ハ目下必要ナルヘシ

私領區參事會ノ經費ハ通例其地ノ衛生廳之ヲ負擔ス即チ教會領區ニ於テハ領區長、小ナル教會領區ニ於テ

ハ數多領區ノ中ヨリ共同工事ノ爲メ選ハレタル村落土木署(チストリクトボールド)市部ニ於テハ土木署(コミシオ

ニス、セ)トス而シテ市部ノ土木署ハ倫敦私領區參事會ニ從屬セサル唯一ノ地方衛生廳ナリトス其地衛生省ノ

ミハ市部(シチ)ニ對シテ衛生ノ施設ヲ命スルコトヲ得ヘシ

各地方衛生廳ハ衛生學、國民衛生及國家醫學ノ得業證ヲ有スル醫師一名又ハ數名ヲ雇入レテ衛グランドハイフムアムテ生官

ニアラサレハ免官スルコトヲ得ス是蓋シ數多衛生廳ニ於テ任意放漫ニ勤勉ナル醫師ヲ免シタルコトアルカ

爲メナリ而シテ此醫師ノ報告ハ衛生廳ノ年報ニ掲記スルモノトス

其他地方衛生廳ハ衛生検査官若干名ヲ置カサルヘカラス検査官トハ即チ從來不健康事情検査官ト名ツケラ

レタル者ノ新官名ニシテ醫師ノ下ニ位シ總テ衛生ニ適セサル弊害ヲ檢出報告スルノ任務ヲ有ス其發見シタ

ル弊害ハ總テ之ヲ帳簿ニ登記シ衛生廳ノ會議ノ際報告ヲ爲サシム此報告及發布シタル命令ハ帳簿ニ記載シ置キ何時ニテモ一般人民ヲシテ閱覽セシメ且ツ又私領區參事會吏員ノ査閲ニ供ス其他衛生検査官ハ衛生廳ノ監督ノ下ニ於テ不健康情況ニ付責任アル者ノ處罰ヲ裁判所ニ要求セサルヘカラス

不健康情況トハ新法律第二條ニ據レハ全ク不健康ナル若クハ其疑アル情態ニ存スル建築物、厠園、塵棄場等、飼養法不良ノ家畜、住居人過多ナル家屋、住家ニ於ケル飲料水缺乏、不潔ニシテ空氣流通惡シク且ツ人員過多ナル工場ナリトス若シ故意ヲ以テ是等ノ弊害ヲ生セシメ若クハ命スル所ヲ爲サ、ルトキハ十磅ノ罰金ニ處セラルヘク又此判決ニ服セスシテ控訴シ棄却セラレタルトキハ別ニ一日二十シルリングツ、ノ罰金ヲ附加セラルヘシ一家若ハ家屋ノ一部分ニ於テ住人過多ト認メラレタルコト三ヶ月間ニ二回アリタルトキハ裁判所ハ衛生廳ニ通知シタル上其家屋ノ閉鎖ヲ命ス衛生廳モ亦通氣及光線ノ不十分ナル家屋及他ノ原因ヨリ住居ニ適セスト認メタル家ニ對シテハ閉鎖ヲ命セサルヘカラス

有害物排除ニ付テハ該法律第十六條ニ依リ地方衛生廳ハ地方命令ヲ發スルヲ得ヘシ即チ街路ノ清潔法及築造法汚物及有害物排除等ニ關スル事項是レナリ最初是等ノ事業ハ私領區參事會ノ職權ニ屬セシモ後今ノ制ニ改正セラレタルモノナリ蓋シ國會ノ會議ニ於テ數多ノ演說者カ之ヲ地方廳ニ屬セシムルノ適當ナルヲ説キタルトキ政府委員リツチー氏カ之ニ對シテ總テ系統ヲ一ニシテ之レカ草案ヲ提出スヘキコトヲ明言シタルニ基ツクモノナリ

特ニ進歩シタリト認メラル、ハ第三十七條ノ規定ニシテ之レハ塵棄場及便所(ワオスターク)ニ充分ナル洗滌裝

置ナキ家屋ヲ新築シ又ハ右ノ如ク改築スルコトヲ得ス違反シタル者ハ二十磅ノ罰金ニ處セラルヘシ但シ之ニ付テハ私領區參事會ニ控訴スルヲ得又衛生廳ハ便所及洗濯場ノ設置ニ注意シ之レカ爲メニハ人道以外ノ地下ヲ用井ナルヘカラス是レ一度倫敦ニ遊ヒタル者カ交通頻繁ナル場所ニ於ケル適當ノ設備トシテ稱揚スル所ナリ

第二十九條ノ規定ニ依レハ衛生廳ハ街路ヲ清潔ニスルノ義務ヲ有シ家屋ノ所有者ハ亦家屋ニ沿フタル人道及水路ヲ掃除セサルヘカラス今試ミニ此街路ノ長サヲ一直線トナシテ其距離ヲ算セハ西ニシテハ北亞米利加ノ加奈太ニ達スヘク東ニシテハウラル山ヲ超ヘテ亞細亞ニ達スヘシ

家計上ノ汚物、塵棄場、厠等ノ掃除ハ無料ニテ地方衛生廳之ニ任ス衛生廳若シ之ヲ怠リタルトキハ家主ハ四十八時間以内ニ其掃除ヲ要求スルヲ得ヘク全ク責務ヲ怠リタルトキハ衛生廳ハ二十磅ノ罰金ヲ科セラルヘシ次條ニテハ總テ糞及塵芥ハ衛生廳ノ所有權ニ屬シ之ヲ窃取シ又ハ賣却シタルモノハ處罰セラルヘキコトヲ規定セリ

市ノ汚物焼却場ハ尠ナカラサル收入アルモノニシテ其燒渣ハ之ヲ堆積シ置キ緻密ナル石材ヲ得ハ建築用石材ニ用ユルヲ者ヘシ最モ完全ナル仕組ヲフライアイ氏ノ考案ニ成レル裝置(ダスト)トス此器械ハ頗ル廉價ニシテ總テ市街ノ汚物ハ四十%以上ノ水分ヲ有スル汚物ニテモ一度ヒ火ヲ點スレハ自カラ全部ヲ燒燼シ得ル裝置ニシテ而カモ其熱度ハ動力トナルヘク或ハ壓搾空氣ヲ作ルヘク又或ハ電氣燈等ニ利用スルヲ得ヘキカ故市ノ美觀ノ上ヨリ云フモ衛生上ヨリ觀ルモ又經濟上ヨリ計算スルモ頗ル良方法ナリトス

第四十八條ニハ重要ノ規定アリ即チ新築又ハ改築シタル家屋ハ衛生廳ニ於テ水ノ供給ヲ検査シテ充分ト認メタル後ニアラサレハ住居スルコトヲ得ス若シ其以前ニ住居シタル借主ハ十磅ノ罰金ヲ科シ尙續テ住居スルトキハ一日一磅ツ、ヲ附加ス次條ハ源泉、雨水貯溜場、用水桶、井戸等ノ清潔維持及之ヲ不潔ニナスヲ防クノ規定ニシテ殊ニ瓦斯製造所ニ於テ其汚水ヲ注流セシメタルトキハ二百磅ノ罰金ヲ科スト定メタリ
倫敦ニ於テハ今尙飲用水問題アリテ近來此工事を付テ王國調査委員會ヲ設置シタリ倫敦私領區參事會ハ此頃其改選ヲ行ヒタルハ選舉競争ノ結果自由黨員多數ヲ占メタリ彼等ノ宣告書ヲ讀ムニ從來數多ノ私立會社ニ任シタル飲料水供給ハ之ヲ改良シテ市ノ事業トナサ、ルヘカラスト而シテ前年公ニシタル報告書ヲ見ルニフランシスボルトンノ設計シタル工事は二億五千萬グルテンノ經費ヲ要スルモ倫敦市ハ優ニ之レカ負擔ニ堪ユルヲ得ヘシト倫敦水道工事監督官長曰ク何處ニ於テモ水道會社ハ一センチムニ對シ一日二百リールノ水ヲ供給シ得ヘク而シテ二乃至三プロセントハ豫備金トナシ十プロセントハ株主ニ配當スルヲ得ヘシト

最モ必要ナル飲料ノ水ニ關シテ規定アルト同時ニ彼ノ新法律ハ又他ノ飲食物ニ付テ之カ規定ヲ設ケタリ醫官及衛生検査官ハ何時ニテモ各戸ニ付キ食用及販賣ニ供スル家畜並ニ食用ニ供スル總テノ物件ヲ検査シ不健康品ト認メタルトキハ之ヲ沒收スルヲ得ヘシ而シテ之ヲ販賣シタル者或ハ製造シタル者ハ裁判上五十磅以下ノ罰金又ハ苦役アル禁錮六ヶ月ノ刑ニ處セラルヘシ若シ一ケ年間ニ二回此罪ヲ犯シタルトキハ裁判所ハ其趣ヲ二十一日間該家ニ公示ス是レ實ニ營業者ノ最モ苦痛ヲ感スルコトナルヘシ然ルニ前年ヨリハ衛生官吏ヲシテ飲食物ノ検査ヲ爲サシメス專門ノ化學者(パブリック、アナリスト稱ス)ヲシテ専ラ之ニ任セシメタリ其數千八百八十九年ニハ全國ニテ二百二十八名倫敦ノミニテモ四十二名アリ此制度カ良結果ヲ收メタルハ粗惡トナシタル者ノ百分比例千八百七十七年ニハ十九ナリシモノ千八百八十九年ニハ十二以下ニ減シタルニテ知ルヲ得ヘシ

屠殺場ノ検査ハ從來工場検査官ノ任務ニ屬シタルモノナレトモ新法律ハ衛生廳ニ移タリ其規定ニ依レハ牛舎及屠殺場ノ所有主ハ毎年新タニ私領區參事會ノ許可ヲ受ケサルヘカラスト茲ニ訝ムヘキハ歐洲各國ニ於ケル如ク倫敦ニ公設屠殺場ナキコト是ナリ牛乳ノ販賣ニ付テハ地方衛生省ヲシテ特ニ命令ヲ發シ主トシテ牛乳ニ由レル結核病及猩紅熱傳染ノ豫防ヲ爲サシムルコト、セリ殊ニ英國ニ於テハ猩紅熱ガ牛乳ニ由リテ傳播流行シタルコト多シ

傳染病ニ關シテハ彼ノ法律ニハ詳細ノ規定アルモ多クハ從來ノ規定ヲ其儘採用シタルモノナリ

戸主或ハ患家ノ隣家ハ醫官ニ届出ヲ爲スノ義務ヲ有ス主治醫モ亦然リ違反シタル者ハ二磅以下ノ罰金ニ處セラルヘシ主治醫カ届出ヲナスニハ豫メ地方衛生省カ定メタル記名白紙(ブランケット)ヲ用井一年ノ終リニ至リ一回ノ届出ニ付テ二志六片ツ、ヲ受ク

當時傳染病ト認メタルモノハ痘瘡、虎列刺、實布埤里、格魯布、赤痢、猩紅熱、窒扶私チボイト再歸熱及產褥熱トス各衛生廳ハ又新タニ發シタル傳染病ニ對シテ届出義務ヲ規定スルヲ得ヘシ

各地方衛生廳ハ適當ナル場所ヲ選定シテ消毒或ハ病毒ニ汚染シタル物件ノ棄却場トナスヘシ消毒及運搬ハ

衛生廳ノ費用ヲ以テ無料ニ施行ス又時トシテハ無料ニテ患者ノ家族ヲ保護給養スルコトアリ若シ不必要ナル損害ヲ蒙ラシメ若ハ消毒ノ目的ヲ以テ物件ヲ滅却シタルトキハ所有者ニ之レカ賠償ヲ與フ官廳ノ命アルニ拘ハラス病毒ニ汚染シタル寢具、衣服等ニ自カラ消毒法ヲ行ハス又ハ消毒ノ爲メニ交付セサル者ハ十磅以下ノ罰金ニ處セラルヘク傳染病患者カ住居シタル家ヲ消毒セス從テ醫官ノ證明書ヲ得ルコトナク他人ニ貸與シタル者ハ二十磅以下ノ罰金ニ處セラルヘシ若シ此家ニ住居シタル者カ傳染病ニ罹リタルニ消毒法ヲ施行セス或ハ家主ニ告知スルコトナクシテ他ニ轉居シタルトキハ右罰金ノ半額ヲ負擔セサルヘカラス傳染病患者ニシテ相當ノ豫防法ヲ守ルコトナク公開ノ場所ニ止マリタル者或ハ病毒ニ汚レタル物件(寢具、被服等)ヲ他人ニ貸與シ販賣シタル者ハ重キ刑ニ處セラルヘシ殊ニ傳染病患者ハ飲食物ヲ販賣シ若ハ牛乳搾取等ニ從事スルコトヲ得ス傳染病患者カ公設ノ車類ニ乗シタルトキハ彼レノ乗車ヲ諾シタル者ハ十磅以下ノ罰金ヲ支拂ハサルヘカラス但シ車ハ無料ニテ消毒ス患者適當ナル住家ナキトキハ病院ニ入院セシム傳染病院ハ首都慈惠院ノ六ヶ所ノ熱病院ヲ以テ之ニ充ツ該病院ニ二千三百八十三ノ寢臺ヲ有シ兩翼ニ病室ヲ建テ出ス建築法(パウイロンシスラーム)ニ依リタル病院ニシテ病種ニ依リテ各其棟ヲ區分ス痘瘡患者ハテームス河上ノ浮動病院(フロートンゲ)ニ收容ス該病院ハ三艘ノ船ニ建設セラレタルモノニシテ三百五十ノ寢臺ヲ有スコール、フアーム病院ハ痘瘡ノ輕易ナル患者及快復期ニ在ル患者八百名ヲ收ムルヲ得ヘシ病院ニ患者ヲ運搬スル爲メ並ニ傳染病患者ヲ其地ニ運搬スル爲メニハ首都慈惠院ニ特別ナル運搬車駐車場アリテ八十五輛ノ車ヲ備フ其効用著シク救助會社ノ如キハ大ニ彼レニ對シテ嫌厭ノ情ヲ起セリ痘瘡患者ヲ

テームス河ノ浮動病院ニ送致スルニハ亦特別ノ運送船アリ

總テ此ノ如キ豫防法及命令カ倫敦ノ衛生ニ貢獻シタル所多キハ次第ニ傳染病患者ノ數ヲ減シタルニ依リテ之ヲ知ルヲ得ヘク殊ニ痘瘡ノ死亡比例著シク減少シタリ蓋シ一般ノ強制種痘ヲ爲スニ由ルモノナリ即チ救貧醫カ種痘ヲ爲スノ外尙特別ナル種痘吏員アルカ故ニシテ此吏員ハ其管轄内ノ出生者名簿ヲ有シ種痘ヲ忘リタル兩親ヲ捜査シテ之ヲ處罰ス是故四百萬以上ノ人口ヲ有スル倫敦市ニシテ千八百八十九年ハ痘瘡死亡者一名モナク千八百八十七年及八十八年ニ各九千八百九十年ニハ僅カニ四名アリタルニ過キヌ千八百八十九年以來首都慈惠院ニハ資力アル者モ入院スルヲ得ルコト、ナシタル故該院ハ茲ニ貧民院タルノ性質ヲ失ヒタリ然レトモ彼ノ萬國會議ノ時政府ヨリ提出シタル報告ニ依レハ首都ノ死亡比例ハ之レ等ノ爲メ大ニ減少シタリト而シテ其無資力ノ患者ニ對シテハ尙該地方衛生廳ニ於テ其經費ヲ負擔ス首都慈惠院(メトロポリタン、アソルムホールド)ノ經費ハ千八百九十年ニハ四百萬グルデンニ上リタリ而シテ此慈惠院ニハ前記病院ノ外尙四ヶ所ノ附屬瘋癲院此寢臺數六千箇及三百名ヲ收容シ得ヘキ附屬快復患者院アリ新法律ノ規定ニ依レハ傳染病死者ノ屍體ハ醫官ノ許可ヲ得シテ廿四時間以上其住家内ニ置クコトヲ得ス違反シタル者ハ五磅以下ノ罰金ニ處セラルヘシ其死體ヲ屍體運搬車ニアラサル他ノ車ニテ運送シ消毒ヲ爲サ、リシ者モ亦同一ノ刑ニ處セラルヘシ我國ニ於ケル如キ屍體置場ハ此新法律ニ於テ始メテ規定セラレ倫敦ノ各區ハ義務トシテ設置セサルヘカラス而シテ傳染病死亡者ノ屍體ハ直チニ此處ニ送置セラル、モノトスバリニ於テ其屍體置場ニ傳染病ノ死體ヲ置クヲ許サ、ルハ吾人ノ解スル能ハサル所ナリ

死體檢案ニ就テハ其制度改正ヲ要スヘキコトナレトモ新法律中ニハ別ニ規定ナシ近頃リバープールノ一警察醫カ公ニシタル小冊子ニシテ「何故ニ官ノ屍體檢案者ハ醫師タル身分アルモノナラサルヘカラサルカ」ト題スル著書ニ詳カナリ

其他該法律ニハ建築警察上ノ規程アリ即チ穴藏居室ヲ許スヘキ條件ノ規定是レナリ

第二十三條及第二十四條ニハ煤烟豫防ニ關スル規定アレドモ不充分ナリ即チ總テ工業場ニシテ構造惡シキ暖爐ヲ用井又ハ不適當ニ使用シ若クハ煤烟及有害發散氣ヲ豫防スル裝置ヲ爲サ、ル者ハ五磅以下ノ罰金ニ處シ再ヒ之ヲ犯シタル者ハ二倍ノ罰金ニ處スト然レトモ一私人ノ住家ニハ此規定ヲ適用セス之ニ關シ有名ナル畫家フンデリツク、ライイトン氏曾テ曰ク「何人ト雖モ自家ニハ長ク煤烟ヲ出サスト言ヘハ皆容易ニ免除セラル、ヲ得ヘシ」ト又有名ナル倫敦ノ霧ハ必竟放漫ニ不經濟的ニ暖爐ヲ用ユルニ因ルモノナリトス以上述ヘタル所ハ本年一月一日ヨリ倫敦ニ施行セラレタル新法律ノ大要ナリトス而シテ此法律制定ニ付政府ノ代表者ミスター、リツチー氏カ國會ニ於テ如何ナル態度ヲ取リタルヤト云フニ彼レハ反對者ノ頗ル多數ナルニモ拘ハラズ之ヲ說破シテ巧ニ通過セシメタリ即チ英國ニ於テハ總テ政府ノ干渉ニ對シテ自由ヲ唱ヘ反對運動ノ盛ナリシコトハ權利及自由維持期成同盟ナルモノ起リ家屋ノ構造不完全ナルトキニ強制隔離ヲ爲スノ不當ヲ唱ヘ「隔離院ハ即チ監獄ト撰フ所ナシ」トマテ絶叫シタルニテモ之ヲ知ルヲ得ヘシ之ニ反シ英國ノ醫事新聞ハ自國ノ哲學者スベンサーウイル、及スチユアト、ミル氏ノ言ヲ掲ケテ之ニ反對シ兩氏カ自由論者ノ錯々タル者ナルニ尙箇人ノ權利ヲ展フルハ他人ニ損害ヲ與ヘサル程度ニ限ラルヘキモノ

ナリト云フノ說ヲ主張セリ

此法律ハ英國ニ於ケル總テ他ノ衛生法規ト同シク權限ノ限定及或ル事件ノ取扱ヲ單一同様ナラシムルヲ以テ一定ニシテ變スヘカラサルモノトナサス是レ實ニ此法律ノ缺點ト云フヘキモ亦英國ノ衛生制度特殊ノ優點ト云フヘシ蓋シ歐洲大陸ニ於テ衛生ニ關スル立法ニ於テハ國民ニ其智識ナキト怠慢ナルトヲ顧慮シテ常ニ絶對的嚴格主義ヲ以テ之レカ規定ヲ爲セハナリ又英國ノ衛生法規ハ單ニ紙片上ノ規定ニ止マラスシテ能ク實際ニ勵行セラレタリ而シテ衛生上ノ立法及行政ハ自治制度ト國民ノ勤勉トニ依リテ着々進捗シ政府ノ統計ニ依レハ千八百七十五年ヨリ千八百九十八年ニ至ル間ニ於テ衛生ニ關スル建築物及執行ノ爲メ三十億フランクヲ支辨シタリト今若シウイリアム、フアー氏ノ如ク英國國民ノ性命ヲ百五十九磅トシテ計算セハ右ノ金額ハ千八百八十年乃至千八百八十九年間ニ死亡者減シテ八十七萬六千五百八十一人トナリタル價格ヲ超過スルモノナリ

● 紐育市ニ於ケル公ノ衛生事務

ドクトル、ヨゼフシエランク氏著

紐育市ノ衛生事務ハ衛生廳(ボールドオ)及衛生院(ヘルスマン)ノ管轄ニ屬ス

衛生廳ハ二名ノ委員ト警部長及港ノ衛生官(サニタリー、オウフィチール)ヨリ成立シ二名ノ委員ノ内一名ハ醫者以外ノ者ニシテ廳長トナリ他ノ一名ハ醫師ヲ以テ之ニ任ス二名ノ委員ハ市會之ヲ選舉シ其他ノ者ハ市ノ長者ヨリ任命ス

衛生廳ニハ知名ノ病理學者、衛生學者、細菌學者、氣象學者、皮膚病學者、獸醫及衛生工學者ヨリ組織ス

ル補助官ヲ附屬セシム

衛生院ハ衛生ニ關スル法令ノ實行ヲ管シ出生及死亡帳簿ヲ整理ス

衛生院ニ二部アリ第一衛生部及第二統計部是レナリ

衛生部ニハ傳染病課、飲食物課、鉛作業及通氣課病院等ノ監督課アリ

統計部ハ出生及死亡ノ届ヲ受ケ之ヲ整理シ且ツ統計報告ノ編輯ヲ爲ス

傳染病課ハ検査官長之ヲ管シ二名ノ衛生検査官(診斷學者)アリテ傳染病ノ疑アル場合ニハ實地診斷ヲ爲ス

又學校及其他營造物ノ検査官一名醫務衛生検査官部種痘醫部消毒及患者運搬部獸醫一名及夏期事務部アリ

醫務衛生検査官ハ衛生院ニ傳染病患者ノ届出アリタルトキ之ヲ検査シ其種類、系統ヲ報告シ時宜ニ依リ治

療ヲ指示ス此方法ヲ實施スル爲メ紐育市ヲ十一區ニ分チ各區ニ一名ノ衛生検査官ヲ置ク

千八百九十一年ニハ此検査官カ傳染病ヲ検査シタルコト二萬六千三百三十二回ニシテ其他検査ヲ爲シタルモ

ノ住家及旅宿二萬九百四十四戸私人ノ家屋二千三百十三戸學校及其他ノ營造物千五百六十一戸ホテル四十、

其他ノ家屋千二百七十四アリタリ

醫務検査官カ記述シタル件數ハ届出テタル者及衛生廳ニ報告アリタルモノ八千六百八十三、傳染病ニ罹リ

タル小兒アリタルタメ其登校ヲ差止メタルモノ一萬四千五百七件アリタリ

又醫務検査官カ疑似患者ヲ診斷シタルコト二千三百五十二回アリタリ

種痘ノ爲メ八名ノ種痘醫ヲ常置シ尙時々補助醫ヲ加ヘテ種痘ノ事務ニ從事セシム

千八百九十一年市ヲ十五區ニ分チ種痘醫一名ツ、ヲシテ各一區ヲ擔當セシム

種痘ハ一月ヨリ六月ノ末日マテ間斷ナク施行シ七月ヨリ九月迄ノ間ハ休止ス

種痘醫ハ區内ノ各戸ヲ巡廻シ種痘ヲ爲ス學校及其他營造物ニ於ケル種痘ハ二三名ノ種痘醫ヲシテ専ラ之ニ

任セシム

種痘ニ用ユル種痘ハ純粹ノ牛痘苗ニシテ種痘針ハ種痘ヲナス毎ニ新ラシキヲ用井一回使用シタルモノハ廢

棄ス

痘苗ハ痘苗製造所ニ於テ衛生検査官ノ管理ノ下ニ製造シタルモノヲ用ユ

千八百九十一年中ニ種痘ヲ爲シタルコト左表ノ如シ

二萬五千五百五回

初種痘

八萬四千三百三十二回

再種痘

合計十萬九千六百三十七回

紐育ノ種痘ハ相對的強制々度ナリ即チ規則ニ依レハ學校ニ於テハ種痘善感シタル兒童ニ非レハ登校セシム
ルコトヲ得ス教師モ亦之ヲ學校ニ入學セシムルヲ得ス種痘検査官ハ時々學校ニ至リ生徒ノ種痘濟ナルヤ否
ヤヲ検査シ若シ種痘セサルモノアルトキハ授業時間ト雖モ直ニ種痘ヲ爲ス

消毒及患者運搬部ハ傳染病課ト連絡ヲ通セルモノニシテ消毒部ハ八名ノ消毒吏ヨリ成立ス八區ニ分タレタ
ル市ハ各消毒吏ヲシテ一區ツ、擔當セシメ區内ノ民家ニ傳染病患者アルヤ否ヤヲ検査シ若シアリタルトキ

ハ消毒法ヲ施行セシム消毒ヲ要スル物件ニシテ運搬シ得ヘキモノハ東シハキスチーン、ストリートノ近傍ニ在ル消毒所ニ送致ス該所ニハ此目的ノ爲メニ消毒装置ヲ設備シ熱氣及蒸氣ヲ用井テ物件ヲ消毒ス又此消毒所ニハ燒却竈アリテ病毒汚染ノ物件ヲ燒却ス千八百九十一年中ニ於テ消毒シタルモノ居室二萬八千三百四十七、營造物ニ於テ物件三萬五千五百十九、車千五百八輪ニシテ燒却シタル物件八千四百二十箇アリタリ千八百九十二年十二月ニ至リ衛生院ハ衛生廳ノ提議ニ基キ消毒法及消毒藥ニ關スル規定ヲ設ケタリ即チ消毒ヲ要スルモノハ猩紅熱、麻疹、實布埤里亞、結核病、痘瘡、窒扶私、黃熱及虎列刺トス前記ノ規定中又小兒ノ營養品トナスヘキ牛乳ノ殺菌ニ關スル規定アリ患者運搬部ハ八名ヨリ成立シ傳染病患者ヲ病院ニ運搬スルニ任ス千八百九十一年中傳染病患者ニシテ病院ニ送リタルモノ千六十五人アリタリ又傳染病患者ノ屍體ニシテハーツ島ニ埋葬スルタメ避病院(レツエブチオン)ニ送リタル者ノ數十九アリタリ

獸醫ハ傳染病課ニ屬シ痘苗採收ニ供スル犢及罹病ノ疑アル畜類ヲ検査スルヲ以テ任トス

夏期事務部ハ七月八月及九月ノ第一週日間開設セラル、モノニシテ住家ニ於ケル衛生上不良ノ點ヲ検査シ又貧民患者ノ治療ヲ看護スルニアリ此ノ期節ニハ種痘ヲ爲サ、ルカ故種痘部ハ共ニ此事務ニ執掌ス

紐育ニ於テハ又或ル種ノ傳染病ニ届出義務ヲ定ムルコトアリ即チ衛生廳カ指定シタル疾病アリタルトキハ醫師ハ届出テサルヘカラス違反シタルトキハ二百五十弗以下ノ罰金ヲ科セラルヘシ

實布埤里ノ蔓延豫防ニ付テハ左ノ如キ取扱ヲナス即チ衛生院ハ疑似患者ノタメニ豫メ實布埤里菌培養器ヲ置キ主治醫ヲシテ移植セシメ或ハ衛生院ノ検査官ヲシテ直ニ之ヲ施行セシム

醫師ハ無料ニテ藥劑師ヨリ培養盤ヲ受クヘク藥劑師ハ亦之レヲ衛生院ヨリ受領ス培養盤ヲ藥劑師ヨリ受ケントスル醫師ハ二箇ノ培養器ヲ受取ルヘシ一ハ實布埤里菌培養ニ供スヘキ血清盤ナリ

他ノ一ハ移植器ニシテ移植シタルトキハ醫師ハ之ヲ藥劑師ニ渡スヘシ衛生院ハ毎夕之ヲ集メテ細菌學的試験ヲ爲ス而シテ患者ノ診斷ハ翌日ノ正午即チ約十二時間ノ後ニ施行ス醫師ハ衛生院ノ試験部ヨリ電話又ハ郵便ニテ其試験成績ノ通知ヲ受ク實布埤里ニアラサルトキハ衛生院ハ爾後検査ヲ爲サス若シ實布埤里ナルトキハ傳染病ニ關スル規定ニ從ヒ處分ス

流動物及物品ニ虎列刺菌アルヤ否ヤノ細菌學的試験ハビルウエー病院、チャルネー、ジ試験所ニ於テ大學教授之ニ任ス

傳染病患者ヲ收容スル病院三アリ猩紅熱及實布埤里患者ヲ收容スルウイルラード公園病院、傳染病疑似患者ヲ收容スル避病院(レツエブチオン)痘瘡及窒扶私患者ヲ收容スルリバーサイド病院之レナリ

紐育島ニモ病院及ヒ慈惠院數多アリ即チブラツクウエル島ニハシヤリチーハウス、ベニテンシアーリー、アームス、ハウス、ウオークハウス及ルナチツク慈善院アリウオーツ島ニハ移住民病院アリラレダン島ニハ避難院アリ

此他尙衛生部ニハ衛生検査掛アリ(サニテイツイン)紐育市ヲ分ツテ二十五検査區トナシ検査官一名ヲシテ各一區ヲ擔當セシム検査官ハ衛生ニ適セサル事情ヲ搜查シ住民ノ訴フル所ヲ衛生廳ニ報告スルモノトス又貸長屋(インメントハウス)検査掛アリテ毎半年ニ一回此種ノ家屋ヲ検査ス警察部ハ此ノ事務ニ應スル爲メ所謂衛

生組(ザンパニーツ)ヲ設ケ警部一名検査官一名及熟練ナル巡查四十三名ヲ以テ之ヲ組織セリ此目的ノタメニ市ヲ三十一區ニ分チ一名ノ巡查ヲシテ各一區ヲ擔當セシム此衛生警察上ノ検査ハ各戸ニ付キ左ノ事項ヲ検査スルモノトス即チ家族及在住者ノ數、廁圍、窟ノ有様、床ハ濕氣ニ對シテ堪ユルヤ否ヤ庭園ハ石敷ナルヤ否ヤ又排水路アルヤ否等ニシテ其他下水、通氣、廁圍、塵棄場等ヲモ検査ス

千八百九十一年ニハ貸長屋十七萬五千二十七ヲ検査シ又旅舎六百四十五ヲ檢シ其寢床及廁ノ清潔法ヲ檢シタリ而シテ同年間旅舎ニシテ一萬四千二百三十二人ヲ宿泊セシメタルモノ百十六戸アリタリ

屠殺場ノ數ハ千八百九十一年ニハ牛及羊ヲ屠殺スル處六十九ヶ所豚ヲ屠殺スル所九ヶ所アリタリ是等ニ付テハ毎日清潔法ヲ検査ス又紐育ニハ鶏ノ屠殺場三ヶ所アリ

畜舎ニハ時々検査ヲ爲ス其數千八百九十一年ニハ四千二百九十七ヶ所アリテ此處ニ飼養セル馬六萬二千二百八頭アリタリ内八百五十四ヶ所ニ於テハ糞ヲ桶ニ容レ十九ヶ所ハ塊ト爲シ十七ヶ所ハ燒却ス又畜舎ノ内ニ糞ヲ置クモノ二千二百七十六ヶ所ニレテ舍外ニ保存スルモノ千三百三十一ヶ所アリタリ

鉛作業及通氣法ヲ管スル課ハ新築又ハ改築シタル建物ニ於ケル鉛作業筒管敷設ノ検査並ニ家屋光線通氣ノ検査ヲ施行シ此目的ノタメニ市ヲ二十五區ニ分チ検査官一名ヲシテ一區ヲ擔當セシム凡テ新築又ハ改築シタル家ニ於テハ光線ヲ取ル裝置鉛作業及通氣ノ設備ヲ爲ス前其設計ニ付テ検査ヲ受ケサルヘカラス千八百九十一年鉛作業物取締法ニ依リ検査シタルコト四萬三千七百十一回住居規則ニ依リ光線及通氣ノ検査ヲ爲シタルコト一萬二千九百九回アリタリ

飲食物販賣ノ検査課ハ化學家之ニ長トシテ牛乳、肉、果實、及總テノ飲食物ヲ検査シ又衛生院ノ化學上ノ作業及衛生ニ害アルヘキ種々ナル商業工業ニ付テ検査ヲ施行ス牛乳ノ検査ノ爲メ市ヲ分ツテ七區トシ一區ニ検査官一名ト衛生官(サニテーツ、オ)一名トヲ置キ毎週一回管轄區内ノ販賣店ニ付キ検査ヲ爲サシメ且ツ時々牛乳ヲ市内ニ輸入スル各本店ニ就キ検査ヲナシ粗惡ノモノアルトキハ廢棄セシム總テ市内ニ飼養スル牝牛ハ時々其健康ヲ診察シ牛舎ニハ衛生ニ宜ロシカラサル情況ナキヤ否ヤヲモ検査ス千八百九十一年中ニ検査ヲ爲シタルコト九萬六千三百七十七回乳ノ検査ヲナシタルコト十四萬六千八百二十二回アリタリ

肉類、魚類、果實及其他ノ飲食物検査ノ爲メ八名ノ検査官ヲ置キ四名ヲ肉類ニ一名ヲ魚類ニ二名ヲ果實ノ検査ニ充テ他ノ一名ヲシテ其他ノ飲食物検査ニ任セシム是等ノ物品販賣店ハ肉ノ性質、冷却裝置ノ有様及溝渠ノ検査ヲ受ケサルヘカラス公設ノ肉類市場ハ三週間毎ニ検査ヲナシ魚類市場ハ毎日検査ヲ施行ス果實野菜其他ノ飲食物ヲ販賣スル店舗ハ亦毎日検査ヲ爲ス而シテ千八百九十一年中營業検査官(インスバクトル、オフ、オツフエン、トリード)ハ二萬七千回ノ検査ヲ爲シタリ中屠殺場ニ於テ一萬四千六十回、旅宿ニ於テ千六百四十七回家畜市場ニ於テ千九回施行シタリ

衛生上ノ調査ヲ爲ス化學的及細菌學的試驗所ハ衛生院ノ構内ニ在リテ化學者三名此處ニ執務セリ千八百九十一年中ニ分拆ヲ爲シタルコト千二百二十四回内比較分拆ヲナシタルモノ四百九件アリ

紐育ノ飲料水ノ源ハ紐育市ヨリ四十哩ヲ距リタルウエストチエスタ一區ニ在ルクロトン河ナリ水管ハ地下約四十五メートルニ在リテ一日百五十萬立方メートルノ水量ヲ供給ス貯水池ハ唯中央公園内ニ

一ヶ所アルノミニシテ其敷設シタル鐵管ノ長サ六百六十哩ニ達スト云フ

其水道ノ水ハ通例毎週一回化學的試験ヲナシ千八百九十二年ヨリハ尙細菌検査ヲナス

模倣スベキ價値アル衛生上ノ組織ハ醫師ノ夜間勤務ニシテ千八百八十年ノ法律ニ依リ始メテ紐育市ニ實施セラレタリ

該法律ノ規定ニ依レハ夜間勤務ハ十月ヨリ五月ニ至ル迄ノ間ハ夜十時ヨリ翌朝七時迄トシ四月ヨリ九月迄ハ夜十一時ヨリ翌朝六時迄トス

市ハ三十五ノ警察區ニ分レ各警察署長ハ其管區内ニ於ケル夜間勤務ヲ爲ス醫師ノ名簿ヲ調製シ置キ衛生廳カ名聲アル醫師ナル旨ノ證明ヲ爲シタル醫師ノ名ヲ登錄ス

醫師ノ治療ヲ求ムル者アルトキハ吏員ハ其近傍ニ住スル醫師ヲ伴ヒテ該患者ニ至リ治療ヲナサシム警察署ヨリ來リタル吏員ハ患者ノ族籍並ニ疾病ノ情況ヲ報告シ警察署長ノ承認ヲ受ク患者無資力ナルトキハ此ノ承認ニ依リ衛生廳ヨリ醫師ニ手當三弗ヲ支拂フ

紐育ニ於テハ我^レ救^フ會^ト社^トノ如キモノナシ遭難者アリタルトキハ巡查ハ電話ニテ附近ノ病院ニ通知ス然ルトキハ病院ヨリ直ニ醫師衛生吏員ト共ニ患者運搬車ヲ送致ス

千八百九十一年中紐育ニ於テ患者運搬車ニ依リ病院ニ送リタル患者負傷者ノ數九千名ニ上リタリ

紐育ニハ貧民施藥所アリ(ヂスペンサー)獨乙施藥所ニハ三十二名ノ醫師ヲ置キ千八百九十年ニハ二萬七千七百六人ノ患者ヲ治療シタリ其他獨逸^{トイフ}往診所等市内ニハ此種ノモノ十二以上アリ皆貧民ニ對シ無料ニテ治

療ヲナシ若クハ一度十セントツニテ治療ヲ爲ス但シ貧民ノ治療ニ付テハ特ニ救貧醫アリ

紐育ノ市立病院ハ市ヲ距ルコト稍遠キカ故患者ハ多クハ市立治^{ハイルランド}療^所ニ收容ス

佛國ニ於ケル模型ノ如キ死體一覽場ノ設ケナク身元知レサル死者アルトキハ棺ニ納メ周圍ニ水ヲ充填シテ穴ニ納ム死體ヲ閱覽セントスル者アルトキハ水箱ヨリ棺ヲ出シテ一覽セシム

紐育ニ於テハ主治師カ死體検査ヲ爲シ其證明書ニ依リテ埋葬ヲ爲ス突然死亡シタル者アルトキハ二名ノ檢死者臨檢シ或ハ解剖ヲ爲スヘキモノトシ又或ハ埋葬セシム而シテ死亡後二三日ニシテ埋葬スルトキハ裏板ヲ張リタル棺ニ頭ヲ出タシテ收メ之ニ水ヲ充填ス

紐育ノ浴場ハ多クハ理髮所ト合併シシ浴料ハ十五セントツトス其浴場ハ通例地下ニアル理髮所ヲ通過シテ達スル如クセリ

公設ノ河川浴場ハフドン、リーバー及イースト、リーバーニ在リテ各六十名ヲ容ル、ニ足ル浴客雜踏スルトキハ二十分以上入浴スルト能ハス其開設ハ六月一日ニシテ閉鎖ハ十月十五日トス總テ無料ナレトモ入浴者ハ自ラ浴衣ヲ携行セサルヘカラス

尙茲ニ述フヘキコトハ北亞米利加合衆國ニ於テハ二箇ノ社會的害惡即チ酒僻ト賣淫ニヨリテ蔓延シタル微毒ニ對シ公ノ衛生制度ハ如何ナル地步ヲ占ムルヤ是ナリ

酒僻ハ北亞米利加ニ於テハ法律ノ規定ニ依リ又一般ニ酒精飲料ヲ嗜ムヲ擯斥スル公觀念ニ依リ並ニ紐育ニアル數多ノ節約若クハ勤儉組合ニ依リ抑制セラル所ニシテ料理店ニ於テモ多クハ酒精飲料ヲ供セス

紐育ニハ酒僻者療院(トリシケル)アリテ其維持ノ爲メ酒類販賣免許手数料ノ收入十五%ヲ支出ス入院者ニ任意ノ者ト否ラサル者トアリ任意ノ者ハ書面ヲ差出シテ自ラ或ル期間(通例三ヶ月乃至六ヶ月)在院スルノ義務ヲ負フタル者ニシテ他ノ者ハ裁判所ノ宣告ニ依リ通例三ヶ月乃至十二ヶ月在院スルモノトス

自ラ嗜好品ヲ禁斷シタル者及節約者組合起リタルハ亞米利加ニ於ケル共濟社^{フライマウエイ}ノ設立ヲ容易ナラシメタルモノニシテ是等ノ結社ハ多數ノ集會所ト會員ト有シ國モ亦公許シタルモノナリ

紐育ニ於テハ淫賣ニ付正規ノ醫師の検査アリトハ一般ニ思惟スル所ナレトモ事實ハ全ク之ニ反セリ是レ蓋シ千八百八十六年賣淫取締法制定同盟會起リタルニ由リテ生シタル誤見ナルヘシ該會ハ立法部ニ對シテ取締法ノ制定ヲ迫リタレトモ拒絕セラレタルニ由リ已ムヲ得ス自カラ獨力ヲ以テ目的ノ遂行ヲ企圖シ醫師ヲ雇入レテ公ノ賣淫ヲ検査シ健康證書ヲ附與スルコト、セリ而シテ彼レハ是レニ依リテ處女ノ安全ヲ圖リ且ツ之ヲ保護シ又他ノ淫賣ヲシテ競争ノ結果ヨリ自カラ降服セシメンコトヲ企テタリ然レトモ事ハ徒勞ニ屬シ彼レハ其期セシ所ヲ達スル能ハスシテ解散シタリ

紐育ニ淫賣婦少キ理由ハ女子ノ賃銀高キコト、生計品ノ價格低廉ナルトニ由ルモノニシテ伯林ノ如キ大都市府ニ於テ女子ノ賃金低落スルトキハ淫賣婦ノ増加スルニ徴シテモ之ヲ知ルヘシ

又賃金高キトキハ男子ヲシテ早ク既ニ二十年代ニ於テ結婚スルノ機ヲ與フルカ故ニ自然淫賣ニ近寄ラシメサルモノナリ

北亞米利加合衆國ニ於テハ淫賣禁制主義頗ル盛ンニシテ合衆國政府モ亦彼レニ對シテ毫モ假借スル所ナク

一度曝露シタルトキハ直ニ之ヲ壓倒ス紐育ノ警察モ亦娼家ヲ許サス千八百九十一年中ニ此種ノ營業ヲ爲シタルモノ男五十二名女百六十名ヲ禁錮セリ娼家ニ對シテハ其ノ申告アリタルトキ之ヲ處分ス而シテ此申告ハ多クハ宗教的團體又ハ牧師ニ出ツ若シ一度ヒ警察ノ手ニ歸セハ娼婦及漂客ト共ニ營業主ヲ捕縛ス

單獨ノ淫賣婦ニ對シテハ其現法律ニ違反シタルトキ之ヲ處分ス千八百九十一年紐育市ニ於テ拘引シタル淫賣婦六百五十五人ニシテ多クハ他ニ犯罪アル者ナリシト云フドクトルロイス氏ノ著シタル亞米利加合衆國ノ淫賣ニ關スル記事ハ實際ノ事實ニ適合セス寧ロ倫敦ノ賣淫ヲ記述シタルモノニアラサルヤノ疑アリ合衆國ニ於テハ其社會的事情及風儀ハ他國ニ比シテ淫賣排斥論ノ利益トナルコト多ク反對論甚タ稀ナリ故ニ賣淫問題ハ亞米利加ニ於テハ常ニ存スル問題ニ非ス紐育ノ公衆衛生制度モ亦微毒及其蔓延ニ就テ深ク考慮スル所ナシ即チ紐育ニ於テハ男女ヲ問ハス假令ヘ微毒ノ疑アリト雖モ公ナル生殖器検査ヲ施行スルコトナク又微毒病院ナシ此故ニ梅毒患者ノ多數ハ新聞ニ廣告セル藥品ヲ以テ姑息ノ治療ヲナスカ若ハ貧民施藥所ノ治療ヲ受ク病院ニ於テモ微毒患者ノ入院要求アルモ著シク重症トナリタルモノニアラサレハ之レカ入院ヲ拒絕ス

○倫敦府ノ衛生法施行ニ就テノ記事

今マ子カ讀者諸君ニ向ツテ簡短ニ述ベント欲スル事柄ハ、倫敦府ノ各所ニ於ル下水疏通事業ヲ新設シ、或

ハ改造スル設計ニ係ル數年間ノ實驗ナルモノ是レナリ、然レトモ下水道疏通ノ事業タルヤ夫レ々々専門家ナルモノナリテ、予輩ヨリ尙ホ一層善ク詳悉セラル、カ故ニ、此等ノ人々ニ對シテ耳新ラシキ事柄ヲ吹聴セント欲スルノ意ニアラス、只予ノ述ル所ノ事柄カ一ノ討論問題トナリテ、衛生事業ノ進歩改良上一生面ヲ啓クノ端緒トモナルアラハ、予ノ願亦タ足ランノミ

倫敦府會ハ一千九百年十月下水道通事業ニ關スル附則ヲ編成シタリ、即チ一千八百五十年ノ制定ニ係ル市政取扱條例第二百二條ニ基キテ編成シタルモノニシテ、水管ノ大サ、形狀、其構造法、之ヲ掃除シ之ヲ維持スルノ方法、其他下水道通ニ關スル諸般ノ事ヲ規定スルモノ是レナリ、而シテ斯ク編成サレタル附則ハ其翌六月地方政務局ノ認可スル所トナリタリ

後一千九百三年七月復タ下水道通事業ニ關スル附則カ編成セラレタリ、其附則ノ大要ハ左ノ如シ、曰ク凡ソ下水道通工事ヲ起サント欲シ若クハ之ヲ改造セント欲スルモノハ、必ラス其地方々々ノ衛生局ヘ其設計等ヲ呈出シテ、之カ指導訓誘ヲ受ケサルヘカラス、而シテ此附則ハ倫敦地方全般ニ適用スベキモノトス、乃チ倫敦地方部ハ其數二十八部アリテウエストミンスターノ如キ此内ニ包有セラル、モ倫敦市ハ然ラス此附則全體ノ上ヨリ之ヲ見レハ嘉ミスヘキモノタルハ亦タ疑フヘカラスト雖モ、或ハ批難スヘキ點ナキニアラス、此事ニ關シテハ後段ニ於テ簡短ニ論述スル所アルヘシ

而シテ先ツ第一ニ強イテ論述セサルヘカラサル事ノアルアリ、他ニアラス、今マ予ノ意見ヲ以テセンニ此等ノ附則ヲ實行スルノ權能ヲ地方議會ノ手ニ一任センハ甚ハタ不可ナリ、蓋シ斯ク一任シタランニハ偏見

ヲ以テ公衆衛生ノ利害得失ヲ判定シ、從ツテ衛生事業ノ進歩改良上妨碍トナルコト多カルヘケレハナリ、彼レ此レノ事情ヨリ之ヲ見ルニ倫敦ヲシテ一層清潔一層健康ニ幸福ナラシメント欲セハ、衛生事務ヲ取リ扱フ所ノ中央部ナルモノナルヘカラス、今日衛生上ノ有様ヲ見ルニ斯ル中央部ヲ設クルノ必要ナルコト益々明ラカナルニ至レリ、蓋シ此中央部トハ衛生事業ノ中樞ニシテ其主權ヲ握レルモノ、謂ヒナリ

請フ是レヨリ衛生事業ノ中央部ヲ設クルノ必要ニ就テ聊カ述ル所アラント欲ス、先ツ吾人ノ知友ナル衛生視察員ノ事ヨリ述ヘンカ、抑モ此衛生視察員ナルモノハ地方議會ヨリ任命セラル、モノニシテ、其任期ノ如キハ僅カ一ケ年間ニ過キササルナリ、而シテ其任期ノ終末ニ於テ地方議會カ其職ヲ解クカ如キハ、地方政務局ヘ經伺スル等ノ手續ヲ要セス、議會限リニテ無造作ニ解職スルヲ常トス、衛生視察員ノ地位斯クノ如ク輕クシテ毫モ重ミナキカ故ニ、公衆衛生事業ノ舉ラサルハ毫モ怪シムニ足ラサルナリ、又タ地方ナル地方議會ナルモノ、組織如何ト云フニ、概シテ地方議會ノ議員ト云ヘルハ商人、粗造家屋建築者、貧民窟ノ家屋地所等ノ所有者カ其大半ヲ占メ、皆ナ是レ地方ノ利害ト直接ノ關係ヲ有セサルハナシ、地方議會ノ組織既ニ斯クノ如クニシテ、衛生視察員ノ地位亦タ彼レカ如シ、此間ニ立チテ衛生視察員タル者毫モ恐ル、所ナク十分ニ其職責ヲ盡サント欲ス、嗚呼亦タ難イカナ、今マ實例ヲ掲ケ來リテ其困難ナル有様ヲ述ヘンカ、衛生視察員カ見テ衛生上ニ適セサル家屋ト認定シ、或ハ牛乳ニシテ成規ノ品質ニ非ラスト認定シテ、夫々處分セントスルノ場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テ視察員カ先ツ第一ニ其心ヲ若シメルハ、其不衛生ノ家屋及不良牛乳カ己ヲ任兔黜陟スル權能ヲ有スル地方議會ノ議員中ノ何人カノ所有又ハ監理スル

所ナルヤ否ナヲ見定ムルコト是レサリ、今マ茲ニ衛生視察員カ見テ以テ某々家屋ヲ不衛生ナリト認定シ、而シテ之ヲシテ清潔法ヲ行ハシムルカ、若クハ改造セシムヘシトノ意見ヲ立テ、之ヲ地方議會ニ提出シタリトセンカ、此場合ニ於テ此家屋カ議員中ノ一人ノ所有タランニハ、清潔法ヲ施コシ又タ改造スルノ必要ナシト議決スルハ珍ラシカラサル事實ナリ、而シテ斯ル議員カ其後果シテ如何スルヤト云フニ、幾干モナクシテ斯ル家屋ヲ他ニ賣却シ、新タル其所有者トナリタル者ヲシテ清潔法ヲ施コサシムルカ或ハ改造セシメテ以テ、其家屋ヲ衛生上ニ適セシムヘキ手段ヲ取ルモノナリ、實ニ不都合千萬ナリト云ハサルヘカラス、斯ル不都合ナル實例ハ蓋シ一ニシテ足ラサルナリ、畢竟スルニ是レ衛生視察員ノ任免黜陟ヲシテ地方議會ノ掌握中ニ歸セシメタル結果ニ外ナラサルナリ、此ニ於テ乎衛生事務ヲ取り扱フ中樞主腦ナル中央部アリテ、衛生視察員ヲ任命シ毫モ地方議會杯ノ掣肘ヲ受ケスシテ、更ニ恐ル、所ナク充分ニ其職責ヲ盡サシムルノ途ヲ啓カサルヘカラス

尙ホ此外中央衛生局ヲ設立セサルヘカラサル第二ノ理由ナルモノアリ、曰ク斯ル中央部之レナキカ爲メ衛生法ノ附則ヲ實行スル上ニ於テモ、又タ其事業ヲ監督スル上ニ於テモ、區々ニシテ統一スル所ナキコト是レナリ、今マ之ヲシテ統一ニ歸セシメント欲セハ之ヲ取り締ルヘキ中央衛生局ナルモノナカルヘカラス、其之ヲ統一スル所ナキヨリ生スル所ノ弊害ニ就テ之ヲ云ハンカ、或ル地方ニ於テハ衛生視察員カ下水疏通工事ニ就テ舊式ヲ排撃シテ、新式ヲ嘉ミシ、他ノ地方ニ於テハ衛生視察員カ同ジク舊式ヲ排撃スルモ、其新式ニ至リテハ測量家ノ監理ノ下ニ屬サシムルコトアリ、第三ニ至リテハ衛生視察員カ自カラ排撃シタル下水

疏通工事ノ改造ヲ監督スルモノアリ、又タ衛生視察員カ地方測量家及地方技師等ニ謀ル所アルモ、其工事ヲ實行スルニ就テ手段方法區々ニシテ一定スル所アラサルカ如キ、皆ナ是レ其之ヲ統一スルモノナキ所ヨリ生スル弊害ニ外ナラサルナリ、而シテ斯ル意見ノ區々ナル場合ニ於テ其作業家ノ迷惑スルコト果シテ如何ナルヤ、得テ想像スヘキノミ、斯ル弊害ヲ救治セント欲セハ之ヲ統一スヘキ中央衛生局ナルモノナカルヘカラス

予以爲ラク我々ノ衛生法施行上ニ就テ更ニ區々ナルコトナク、何レノ個所ニ於テモ皆ナ均一ナランニハ、時間ト努力トヲ省クコト著シクシテ且ツ其効果モ一層大ナルヘキノナリ、然ルニ或ル人ノ説ニ曰ク抑モ衛生視察員ノ職責タルヤ下水溝等不都合ナル個所アランニハ之ヲ指摘スレハ足ランノミ、其職責茲ニ盡キノミ、之ニ就テ適當ノ新工事ヲ起サンハ地方技師ノ手ニ一任セサルヘカラス、而シテ此等ノ技師カ斯ル新工事ヲ爲サンニハ其著手ノ始メヨリ其落成ノ終リニ至ルマテ、衛生視察員ノ制御ヲ受ケンコトヲ要ス、此外衛生法ノ附則ニシテ衛生工事ノ設計ニ關スルモノアリ、其意義錯雜ニシテ明瞭ナラサル所アリ、又タ此附則ノ實行ヲ一任スルコトトセシニ、地方廳ノ之ニ對スル方針一定スル所アラサルヨリ、其附則ノ効用ヲ見ルコト能ハサルニ至レリ、而シテ其附則中ニ記載サレタル衛生工事ノ設計圖式ナルモノハ稍ヤ精密ナルモノナリ、中ニ就テ通常ノ平家建ナル家屋中ニシテ、下水疏通ノ改良工事ヲ要スル場合ニ於ル設計圖式ヲ舉クレハ左ノ如シ、曰ク此改良工事ニ關スル地盤ノ設計、下水疏通ノ個所ヲ示スヘキ事、衛生的設備ヲ爲スヘキ各地盤ノ區分ヲ示スヘキ事、而シテ此等ノ工事ハ皆ナ是レ附則中ニ規定サレタル事項ニ該當シ居レル

ヲ示スヘキ事、又下水道管所在ノ個所若クハ其個所ノ地盤ノ高サヲ示スヘキ事、或ハ其個所ト高サトヲ併セ示スヘキ事、地中ノ水管所在ノ個所及下水放出管所在ノ個所ヲ示スヘキ事、地中ノ水管ヨリ二十呎以内ナル窓扉及煙突ノ所在全部ヲ示スヘキ事等是レナリ、而シテ諸ロノ地方ニ於テ此等ノ附則ヲ實行スル所ノ有様如何ト云フニ、區々ニシテ毫モ一定スル所アラサルナリ、今マ實例ヲ舉ケテ之ヲ示サンカ、或ル地方ニ於テハ一ノ設計ト其區分ノミヲ示シテ以テ足レリト爲シ、他ノ地方ニ於テハ下水管所在ノケ所カ道路ノ平準面ヨリ幾干ノ勾配ニテ下降セルカ、或ハ其深サ幾許ナルカ等ヲ正シク示サルヘカラサルコト、セリ、又タ或ル他ノ地方ニ於テハ屋敷地ノ全部(後庭ノ障壁等ヲモ含有ス)ヲ示スヲ必要トセリ、尙ホ其他精密ヲ要スル所ノ地方ニ在リテハ、既ニ前述シタルカ如キ設計區分等ヲ示スヘキ事ハ云フマテモナク、尙ホ之ニ加フルニ其家屋ト之ニ最モ接近セル街路ノ隅角ト如何ナル關係ヲ有スルカ、其道路ノ名稱等ヲモ併セ示サンコトヲ必要トセルモノアリ、然ルニ最モ短簡ヲ主トスル所ノ地方ニ在リテハ、僅カ三十分以内ニシテ調製シ得ラルヘキ略圖ノミニテ事足レリトセリ、即チ僅カニ下水溝等ヲ示セル家屋ノ周圍線ノミヲ示スヲ以テ足レリトセルモノ是レナリ、今マ以上述ヘタル所ヲ概言スレハ、或ル地方ハ餘リ簡易ナルニ失シ、他ノ地方ハ餘リニ精密ニ過クルモノニシテ、共ニ是レ中庸ヲ得タルモノニアラサルナリ、須ラク過キタルハ之ヲ削リ足ラサルハ之ヲ補ハサルヘカラス、即チ衛生工事ノ設計ハ倫敦ノ各地方ヲシテ平等畫一ナラシメンコトヲ要ス、否ラスンハ衛生事業一般ニ善ク發達スヘキモノニアラサルナリ

衛生事業ノ進歩發達ヲ妨碍スルモノ一ニシテ足ラスト雖モ、衛生事業ノ何モノタルヲ知ラサル事モ亦タ是

レ其妨碍物中ノ一ナリト云ハサルヘカラス、吾人ハ斯ル無智ヲ啓發シテ衛生上ノ進歩發達スルコトヲ勸メサルヘカラス、吾人ハ以爲ラク今マ其レ衛生上ニ係ル行政法ニシテ、到ル所平等畫一ナランニハ、斯ル無智ヲ啓發スルノ一助タルニ相違ナカルヘシト、試ミニ見ヨ彼ノ神學ヲ研究スルニ際シテ、古來ノ荒唐無稽ナル傳説ナルモノアリテ人心ヲ誘惑シ、爲メニ斯學ノ進歩發達ヲ妨碍セラル、コトアルヲ、衛生事業ニ於テモ之ト均シク傳説ナルモノアリテ、爲メニ其事業ノ進歩發達ヲ妨碍セル、ハ、亦タ疑フヘカラサル事實ナリ、彼ノ衛生事業ノ設計ヲ規定セル附則ナルモノハ、今日ノ發達シツ、アル科學ヲ應用シテ編成シタルモノナレトモ、彼ノ無智ヲ啓發スルノ用ヲ爲サスシテ、寧ロ迷路ニ導クノ傾向アルハ嗚呼亦タ歎ハシキ次第ナラスヤ、是レ畢竟スルニ此等ノ附則ナルモノカ到ル所平等畫一ニ實行サレスシテ、隨時隨意ニ變更セラレテ實行セラレレハナリ、且ツ今日目撃スル所ノ衛生状態ニシテ甚ハタ不都合ナルモノアリ、ハイド、バークノ近傍ナル廣小路ノ或ル個所ニ於ル衛生状態ノ如キ是レナリ、蓋シ其衛生状態タルヤ曾テ以前ニ貧民窟ニ於テ實見シタルモノニ異ナラサルナリ、斯ク衛生事業ニ關シテ無頓著無智ナルハ其原因果シテ何レニアリヤト云フニ、彼ノ下水道ノ地下ニ伏在シタルニ基カスンハアラス『目ニ見ヘサル所之ヲ念頭ニ置カス』ト云ヘル古諺アリ殊ニ斯ル衛生事業ニ適シタルモノト云ツヘキナリ、而シテ或日斯ル不衛生ノ事實カ予ノ眼前ニ出現シ來レリ、其ノ事實ヲ舉レハ左ノ如シ、曰ク茲ニ相當ノ生計ヲ營メル一ノ紳士アリ、其紳士ハ其住宅内ニ於ル下水疏通ノ利害如何ヲ知ラサルモノナリ、即チ其住宅内ニ於ル下水疏通ノ途久シク杜絶サレタルカ爲メ、其下水屋敷内ニ停滯シテ其衛生上ニ害アルコト亦タ云フヘカラス、然レトモ其家ノ主人ハ

此等ノ事實ニ對シテ毫モ注意ヲ拂ハサリシナリ、斯クテ試ミニ其下水ノ停滯セル個所ヲ發掘セシニ直徑十
八吋ノ下水土管ヲ見出セシカ、其土管中ニハ固形の塵埃カ充滿シ居レルカ故ニ、下水更ニ疏通スルコト能
ハス、從ツテ其周邊ノ地ハ惡臭鼻ヲ衝クノ下水カ、一杯ニ飽和サレテ其不潔ナルコト得テ想像スヘキノミ
斯クテモ尙ホ且ツ其家ノ主人ハ其不衛生ナルコトヲ知ラサルモノ、如シ、嗚呼亦タ思ハサルノ甚ハタシキ
モノナラスヤ

今マ予ハ衛生事業ヲ改良進歩セシムヘキ方法ヲ簡短ニ左ノ數項ニ區分セント欲ス

- (一)、個人トシテ有志者ノ盡力スル事
- (二)、傳染病發生ニ際シテ善ク視察スル事
- (三)、届出ニ就テ視察スル事
- (四)、借家ヲ視察スル事

第一個人トシテ有志家カ衛生事業ノ改良進歩ヲ圖ランハ固ヨリ好マシキコトナリ、其筋ノ手ヨリ強制的ニ
改良進歩セシメントスルハ畢竟スルニ萬止ヲ得サルニ出ルモノナリ、出來得ヘクンハ有志家ノ手ニ成ラン
コトコソ望マシケレ、然レトモ個人ハ衛生視察員ノ視察センコトヲ恐ル、ヨリ、敢テ爲サル、モノ多キニ居
レリ、今マ個人カ斯ク衛生視察員ヲ恐ル、ハ多クハ其レ謂レナキモノナリ、衛生視察員ハ衛生工事ノ姑息策
ニ出ルヲ好マサルモノナリ、安リニ個人ノ衛生工事ニ容喙シテ之ヲ妨グント欲スルモノニアラズ、改繕衛
生工事ノ適當ニ出來上リタル以上ハ決シテ咎ムルモノニアラサルナリ、然ルニ個人ノ衛生工事ヲ起スヤ概

シテ一時ノ姑息策ニ出テント欲スルモノナリ、衛生視察員ハ斯ル姑息策ヲ許サス、完全ナル設計ヲ爲サシ
メント欲スルモノナリ、斯ク設計ヲ完全ニ爲シタランニハ、之ニ要スル所ノ費額其姑息策ニ要スルモノヨ
リ四倍乃至五倍多カラサルヲ得ス、是レ個人カ衛生視察員ヲ恐ル、所以ナリ、斯ル恐レハ實ニ謂レナキコ
トナラスヤ、今マ個人ヲシテ斯ル恐レヲ懷カシメサル様注意ヲ密ニシタランニハ、改良衛生工事ノ個人ノ
手ニ成ランモノ、今日ニ於ルヨリモ一層多カルヘキナリ

傳染病發生ニ際シテ衛生上ノ視察ヲ爲スノ場合、飲用水ノ良否如何ハ必ラス試験セサルヘカラス、又タ下
水管ニシテ漏泄スルノ個所アランニハ、譴責ヲ加ヘテ充分ニ修理セシメントヲ要ス、若シ夫レ家屋及屋
敷内ニ不衛生ノ個所アランカ、傳染病蔓延ノ原因タルコトハ珍ラシカラサル事實ナリ、下水疏通ノ道具宜
シキヲ得サランニハ殊ニ然リトナス

予ハ終ニ臨ンデ聊カ論述セサルヘカラサルコトアリ、衛生法ノ附則ニ關スルコト是レナリ、附則中ノ一二
ハ隱語ニ類スルカ如キモノアリテ其意義判然セス、從ツテ其實行ニ際シテ甚ハタ不都合ナルモノアリ、請
フ此事ニ就テ聊カ論述スル所アラント欲ス、曰ク彼ノ附則中ニ規定セラル、所ニ據ルニ、洗濯水ヲ雨水管
ヘ棄ルハ之ヲ禁スルト雖モ、風呂水ヲ之ニ棄ルハ曾テ禁スルコトナキカ故ニ、更ニ憚ル所ナクシテ之ヲ雨
水管ニ放流スルモノ多シ、洗濯水ト風呂水トノ差ハ果シテ何所ニアルカ、二者均シク是レ不潔ナルモノニ
アラシヤ、然ルニ風呂水ハ之ヲ雨水管ニ棄ルヲ許シテ、洗濯水ハ何カ故ニ然カスルヲ禁スルカ、其理由ヲ
見出スコト能ハサルナリ、又タ第二ニ解決スルコト能ハサルハ下水管ノ大サニ關スルコト是レナリ、第一

下水管ノ大サハ其内面ノ直径四吋以下タルコトヲ許サストアリ、又タ他方ニテ同一ノ個所ニ於テ久シク下水管ノ用ヒラレタル場合ニハ、同シク内面ノ直径三吋半ニシテ足レリトアリ、三吋半ニシテ既ニ足レトシタランニハ何カ故ニ四吋ト定メタリシヤ、是レ亦タ其理由ノアル所ヲ見出スコト能ハサルナリ

家屋内ニ於ル下水管及其放出管ニハ必ラス鉛材ヲ用ヒサルヘカラサルコト、セリ、之カ爲メニ不必要ナル工事ヲ起シ又タ不必要ナル費用嵩マサルヲ得ス、即チ其下水管ヲ敷クノ個所ハ臺所、石炭小屋、書齋若シクハ厩等何レニテモ皆ナレ是レ鉛材ノ外用フルヲ許サ、ルコト、セリ、若シ外部ノ小サキ建物ノ下邊ヲ通シテ鐵管ノ敷設セラレタルモノアラシカ、直チニ鉛管ニ取り替ヘシムルヲ常トセリ、吾人ト雖モ家ノ内部即チ飲食物ヲ貯ヘ置ク所杯ニ鉛管ヲ用フルノ適當ナルコトハ決シテ異論ナキモノナリ、然レトモ鉛管ヲ敷カシヨリ鐵管ヲ敷カン方一層優レルノ個所モ亦タ少ナカラサルナリ、例之ヘハ厩、馬車小屋若シクハ外部ノ便所ノ如キ個所ニ鉛管ヲ用ヒサルヘカラサルノ理由アルヤ否ヤ、吾人ハ其理由ヲ見出スコト能ハサルナリ

直径三吋ノ鐵管ハ其重サ六呎毎ニ四十八封度ナカルヘカラス、斯ル重量ヨリ一層輕キモノハ放出管トスヘキモノナリ、但シ此放出管ト雖モ摩損スル所ナク又タ些ノ虧隙ナクシテ瓦斯ノ漏泄セサルモノナランコトヲ要ス、鐵管ノ重量ニシテ輕キモノハ其價一層下廉ニシテ、之ヲ据ヘ付ルノ費用モ亦タ稍ヤ少ナキモノナリ

屋内ニ於ル小便所若シクハ厩ノ下水取扱ニ關シテハ、附則中特ニ何等ノ規定モ之レナキナリ、凡ソ屋外ニアルヘキモノト定メラレタル溝ハ、皆ナレ衛生上ニ適シ居レルハ亦タ疑フヘカラサル事實ナリ、然レトモ現在ノ厩ノ下水取扱ニ就テハ然ラサルモノ甚ハタ多キナリ、厩ノ下水取扱ヲシテ充分適當ナラシメンハ

中々困難ナルモノナリ、附則中之ニ關スル特別ノ規定ナキ故、其衛生上ニ適セサルモノ多キハ決シテ怪シムヘキニアラサルナリ

右ハ現今ノ衛生状態ニ外ナラス、若シ予カ論述シタル事柄カ他日衛生事業ヲ進歩發達セシムルノ一動機トナルアラハ予カ願ヒ亦タ足ランノミ

市ヲシテ清良ナル牛乳ヲ得セシムル方法如何

予カ今マ此紙上ニ於テ論述セント欲スルハ『市ヲシテ清良ナル牛乳ヲ得セシムル方法如何』ト云ヘル問題是レナリ、シンシンナチーニ於テ此問題ノ起ルヤ予ハ何トカシテ其方法ヲ見出サンモノヲトテ、之カ研究調査ニ力ヲ盡スコト殆ント一ケ年ノ久シキニ亘リシカ、其結果トシテ左ノ如キ事實ヲ見出シタリ、曰ク予ノ見ル所ヲ以テスレハ現今行ハレ居ル所ノ牛乳ノ製造及ヒ販賣ノ方法ニテハ、到底清良ナル牛乳ヲ得ヘキ見込タサルナリ、清良ナル牛乳ヲ得ント欲セハ勢ヒ現行ノ製乳法等ヲ一變セシメサルヘカラス、根本的ニ其方法ヲ全ク一變セシメサルヘカラス、僅カニ姑息策ヲ施コスカ如キ有様ニテハ、到底清良ナル牛乳ヲ得ヘキ見込之レナキナリ、製乳ノ方法上一大改革ヲ行フハ到ル所何レノ市府ニテモ目今ノ急務ナリト云ハサルヘカラス、然ルニ斯ル改革ニ着手シタルモノ果シテ幾干カアル、シンシンナチーニ於テハ此改革殊ニ必要ヲ感スコト最モ深キモノナリ

今マ其レ清良ナル牛乳ヲ得ント欲セハ之ニ關シテ注意スルコト最モ周到緻密ナラサルヘカラス、其注意ノ周到緻密ナルコト恰カモ外科醫ノ施術スル時ノ如クナランコトヲ要ス、外科醫固ヨリ相當ノ教育ナカルヘ

カラス、牛乳營業者モ亦タ是レ然リ、農夫ニシテ相當ノ教育ヲ受ケタランモノハ清良ナル牛乳ヲ製出スルコトヲ得ヘシト雖モ、牛乳營業者ノ大半ハ無智蒙昧ニシテ只タ利ノミヲ事トセルカ故ニ、製乳ノ良否ハ顧リミル所ニアラサルナリ、試ニシンシナチーノ近傍ニ於ル牛乳營業者ヲ見ヨ、概シテ然ラサルハナキナリ、斯ル無智蒙昧ノ營業者ヲシテ俄カニ教育アルモノタラシメンハ、到底望ムヘカラサルナリ、兎ニ角清良ナル牛乳ヲ得ント欲セハ前ニモ云ヘルガ如ク其製造法等ヲ全然一變セシムルノ一法アルノミ

シンシナチーハ是レ他ヨリ呪ハレタル所ナルカ、數多ノ牛乳製造所アリト雖モ、概シテ清良ナル牛乳ヲ製出セサルナリ、尙ホ之ヲ詳言スレハ左ノ如シ、曰クシンシナチー市内及其近傍ニ於ル製乳所ハ共計二百五十ヶ所ノ多キニ及ヘリ、而シテ此等ノ製乳所ハ概シテ木造ノ小屋ニシテ便利善ク夫レノ群團ヲ成シ居リテ、通常水流ニ臨メル、カ故ニ其糞尿ノ如キハ皆ナ是レ水中ニ洗ヒ去ラル、ナリ、又タ此等ノ製乳所ニハ冬季ニ際シテ牛ノ徘徊邊遙スル個所之レナク、又牧場アルモ牛ノ食料トナル、ヘキ草更ニ見當ラサルナリ曾テ牛乳營業者ノ言ニ曰ク予ノ牧場ノ廣サハ「六エーカー」(一)「エーカー」ハ我カ凡ソ一千二百二十四坪餘ニ當ル)アリテ二百五十頭ノ牛ヲ飼養スルニ足レリト、又此等ノ製乳所ノ大半ハ牛ノ身體ヲ洗フニ(洗フノ必要アリトセハ)足ルヘキ水ノ供給アラズ、好シ又タ井戸アリトスルモ辛フシテ冷乳管ニ供給スルニ過キサルナリ、然レトモ此等ノ製乳者ニシテ大賣捌人ニ販賣スル者ハ毫モ其牛乳ヲ冷却セサルモノ多キニ居レリ

シンシナチーニハ三大蒸溜所アリ、此蒸溜所ヨリ生スル所ノ濕潤的糟粕ハ他ニ利用セラルヘキ性質ヲ有

スルモノナリ、即チ牛杯ノ飲食物トナルヘキ性質ヲ有スルコト是レナリ、同市ニ於テ前ニモ述ヘタル如ク數多ノ製乳所ノ設立セラレタルハ、畢竟スルニ斯ク利用セラルヘキ糟粕アレハナリ、其設立後數年間之ヲ維持シ得タルモ蓋シ之ガ爲メナルノミ、且ツ此濕潤的糟粕ハ畜ニ乳牛ノ分泌力ヲ盛ンナラシムルノ効力ヲ有スルノミナラス、併セテ肥大ナラシムル効力ヲ有スルモノナリ、今マ茲ニ一ノ牝牛アリ其骨格ハ甚ハタ大ナルモ、痛ク羸瘦シテ憫レムヘキ爲體ナリトセンカ、然ルニ斯ル牛ヲ飼養センニ右ニ述ヘタル濕潤的糟粕ヲ充分ニ供給シタリトセンカ、其牛速カニ肥ヘ來ラン即チ往々六ヶ月位ニシテ其身體非常ニ肥大トナリ、以前骨立セル所モ全ク圓滿トナリテ、一見以テ犢牛カト疑ハル、ニ至ラン、此ニ於テカ牛乳營業者ハ其心ヲ兩端ニ馳セサルヲ得ス、即チ斯ル牛ヨリ乳汁ヲ絞リ取りテ利ヲ得ンカ、將タ牛肉トシテ利ヲ得ンカトノ二途是レナリ、而シテ二者ノ間利ノ多キ方ニ其心ヲ傾ケルハ人情ノ然ラシムル所ニシテ、概シテ牛肉トシテ販賣スル方ニ其心ヲ向ケサルハナシ、又タ或ル牛乳營業者ハ牛商人ト相談ノ上生レタ儘ノ犢ヲ預リテ之ヲ飼養シ、充分ニ肥大ナラシメテ後再ビ之ヲ牛商人ヘ返スノ策ヲ取ルモノアリ、但シ此二者ノ間果シテ如何ノ相談ヲ爲セシカ、其詳細ナルコトハ之ヲ知ルニ由ナシト雖モ、兎ニ角牛乳營業者カ牛商人ヨリ犢牛ヲ預リテ飼養スルハ疑フヘカラサル事實ナリ、又牛乳配達人カ僅カニ數日ノ後牛乳營業者トナルコトアリ、以上述ヘタル所ヲ概言スレハ好シ牛乳營業者ノ名アリトスルモ、專ラ製乳ノ事ニ其心ヲ傾ケサルモノ是レナリ

牛乳營業者ハ既ニ前述セルカ如ク其心ヲ兩端ニ馳セ居ルカ故ニ、其牛小屋等ノ清潔及牛乳ノ清良等ニ就テ

深ク注意スルノ餘地ヲ有セサルナリ、凡ソ事斯クノ如クンハ清良ナル牛乳ノ製出セラレサルモ亦タ怪シムニ足ラサルナリ、製乳事業ノ有様尙ホ今日ノ儘ニテ繼續シ、彼ノ濕潤的糟粕ノ食料ニ供セラル、コトヲ禁セス、此等ノ製乳所ヲ閉鎖セサル以上ハ、シンジナチーニ於テ到底清良ナル牛乳ヲ得ルコト能ハサルナリ子ハ濕潤的糟粕ノ食料ニ供セラル、コトヲ禁止スヘキ法令ヲ出サシメント欲シテ、種々力ヲ盡ス所アリト雖モ、一方ノ利益問題中々ニ強クシテ其意ヲ達スルコト能ハサリシ、然レトモ予ハ立法部ニ於テ斯ル禁止條例ノ少シモ早ク通過サレンコトヲ最モ切望シテ止マサルモノナリ、讀者諸君モ亦タ各々其地方選出ノ代議士ニ對シテ、斯ル禁止條例ノ通過スヘキ様盡力セラレタシト申シ込マレナハ、其効果アルヘシト信ス、蓋シ彼ノ濕潤的糟粕ヲ牛ノ食料ト爲スヲ禁止スルハ、畢竟スルニ清良ナル牛乳ヲ得ント欲スルカ爲メナルノミ、之ヲ禁止スルニアラスンハ到底清良ナル牛乳ヲ得ルコト能ハサルナリ

試ミニ製乳事業ヲ營ム者ノ爲人如何ヲ見ヨ、概シテ自己ヲ利センコトヲノミ計リ、如何セハ清良ナル牛乳ヲ得ヘキカノ注意ヲ爲サ、ルモノナリ、其人格既ニ斯クノ如クナルカ故ニ清良ナル牛乳ヲ製出スルコト能ハサルハ毫モ異トスルニ足ラサルナリ、此ニ於テカ予ハ左ノ如ク斷言セスンハアラス、曰ク清良ナル牛乳ヲ製出セシムヘキ根元的動力ハ、牛乳業ヲ營ム者ヲシテ智識アリテ其人格ヲ一層高カラシムルコト是レナリ、是レ市ヲシテ清良ナル牛乳ヲ得セシムヘキ問題ヲ解決スル所以ニアラスヤ、如何セハ清良ナル牛乳ヲ製出スヘキカノ方法ヲ知ルニ足ルヘキ智識ヲ備ヘ、人格一層高キ者ヲシテ製乳業ヲ營マシムルノ外、清良ナル牛乳ヲ得ルノ途アラサルナリ、眼ヲ轉シテ他ノ方面ヨリ之ヲ觀レハ牛乳ヲ需用スル所ノ公衆ノ方ニ取

リテモ、亦タ是レ其飲用スル牛乳ニ就テ充分注意スルニ足ルヘキ教育ナカルヘカラス、是レ他ナシ其飲用スル牛乳ノ清良ナルト否ラサルトハ其營養上ニ大關係アレハナリ、例之ヘハ今マ假リニ牛乳ハ如何ニ清良ナリトスルモ、其配達ヲ受ケタル者ニシテ無智ニ且ツ不注意ナランニハ、其清良ナル牛乳モ一變シテ不良ナルモノトナルヘシ、斯ク不良ナル牛乳ハ幾干カ有毒性ヲ含ミ居リテ、之ヲ飲用シタル幼童ノ健康ヲ害スルコト知ルヘキノミ、試ミニ見ヨ牛乳ヲ需用スル所ノ公衆ニシテ不注意ノ甚ハタシキヲ、何カナシニ牛乳屋カラ買ヒ受ケ其良否如何ヲ見定メルコトナクシテ飲用スル者滔々然ラサルハナシ、而シテ不良牛乳ノ影響ヲ蒙フルハ斯ル公衆ニアラスヤ、斯ル惡影響ヲ受ルハ是レ果シテ誰レノ愆チンヤ、今マ假リニシンジナチーノ牛乳費消者カ一日製乳所ニ赴キテ仔細ニ其實況ヲ視察シタリトセンカ、其濫製粗造ナルニ一驚ヲ吃セサルハナク、從ツテ今日ノ需用高ノ三分ノ二ヲ減スルナラン

右ノ如キ次第ナルカ故ニ市ニ供給スル牛乳ノ性質ヲ改良センニハ、其根元的動力ナルモノ二種アリト云ハサルヘカラス、左ノ如シ

第一、牛乳營業者ノ人格ヲ一層高クスル事

第二、牛乳消費者ノ注意ヲ一層密ニスル事

不良牛乳ノ弊ヲ根絶セント欲セハ勢ヒ此二動力ニ依ラサルヘカラス、然レトモ牛乳營業者ノ人格ヲ高フシ之カ消費者ノ注意ヲ密ニセシメンコトハ、一朝一夕ノ能クシ得ヘキ所ニアラス、是レ予ノ固ヨリ知ル所タリ、此ニ於テカ牛乳ノ視察取締規則等ニ關シテハ、須ラテ衛生事務當局者ノ力ヲ仰カサルヘカラス、現行

ノ市制ナルモノヲ見ルニ市會ノ權能トシテ、通常人(醫師衛生家杯ニ對照シテ云フ)ヨリ組織セラレタル政事團體ニ於テ衛生事務ヲ取り扱ヒ居レリ、是レ其當ヲ失シタルモノト云ハサルヘカラス、抑モ衛生事務ナルモノハ通常人ヨリ成レル政事團體ニ於テ取り扱フヘキモノニアラス、須ラク醫師及衛生家ノ手ニ於テ料理セサルヘカラス、然ルニ衛生事務ヲ司トル官吏ニシテ通常ノ政事團體ニ屬スル以上ハ、幾分力掣肘セラル、所アリテ充分ニ其事務ヲ進行セシムルコト能ハス、此等ノ事ハ衛生行政上ニ大關係ヲ有スルモノナリ即チ斯ル市制ヲ改メスンハ市ヲシテ清良ナル牛乳ヲ得セシムルコト能ハサルナリ、他ヨリ毫モ牽制セラル、コトナク獨立シテ充分ニ其事務ヲ取り扱フヘキ衛生局ノ設立セラレサル以上ハ、到底清良ナル牛乳ヲ得ルノ望ミ之レナキナリ、次回ノ國會ニ於テ斯ル不都合ナル市制ノ廢止セラレンハ亦タ疑フヘカラサルナリ斯ル市制ノ廢止セラレンハ清良ナル牛乳ヲ得ヘキ方法中ノ最重要ナルモノナリ

本問題ヲ解決スルニ就テ尙ホ其他ニ重要ナル事アリ、即チ衛生局員ヲシテ他ノ政事上ヨリ關涉ヲ受ケサラシムルコト是レナリ、凡ソ衛生局員カ其事務ヲ取り扱フニ就テハ毫モ他ヨリ關涉ヲ受ケスシテ實行セサル以上ハ、決シテ其効果ヲ見ルコト能ハサルナリ、今マ其レ清良ナル牛乳ヲ得ント欲セハ衛生局員トシテ行動スル牛乳視察員ナルモノナカルヘカラス、蓋シ此牛乳視察員ヲ選定センニハ最モ注意ヲ密ニセンコトヲ要ス、此視察員ノ候補者タラン者ハ教育アル獸醫ニシテ其視察事業ニ全力ヲ盡スノ覺悟ナカルヘカラス、復タ此視察員ノ部下ニ助手視察員ナルモノナカルヘカラス、助手視察員モ亦タ是レ適當ノ心得アリテ、忠實ニ其視察ニ從事スヘキ人ナランコトヲ要ス、今マ吾人ハ幸ヒニモシンシンナチニ於テ右ニ述ヘタルカ

如キ理想上ノ視察主任ニ適セル人ヲ見出セリ、尙ホ助手視察員モ四名ヲ得ラルヘキナリ、助手視察員モ正當ニ之ヲ云ヘハ少ナクモ十人ヲ要スヘキナリ、然レトモ尙ホ未タ衛生局ノ設立セラレサル今日ニテハ、左マテ多キヲ要セス、差シ當リノ所四名位ニテ事足ルヘキナリ

而シテ茲ニ牛乳ノ製造販賣ヲ取り締ルヘキ最良ノ方法アリ、他ナシ牛乳ノ製造販賣ヲ爲ス者ニ對シテ其筋ヨリ認可證ヲ與フルコト是レナリ、凡ソ牛乳ヲ製出シ若シクハ之ヲ販賣セント欲スル者ハ、何人ニ限ラス先ツ其筋ヘ願ヒ出テ認可證ヲ受ケサルヘカラス、其筋ニ於テハ斯ル出願人アル毎ニ認可證ヲ與ヘサル前、實地ニ就テ最モ精密ニ検査ヲ遂ケ、若シ不都合ナルケ所アランニハ其由ヲ告ケテ改修セシムヘク、而シテ認可證中ニ斯ク改修セシムヘキ條項ヲ加フルコトアルヘシ

而シテ牛乳取締規則ナルモノハ最モ完全ナランコトヲ要シ、且ツ全國ヲ通シテ區々ナラス、平等畫一ナラシコト最モ肝要ナリ

今マ純良ナル牛乳ヲ製出シ及之ヲ販賣スルニ就テ最モ重要ナル取締法二種アリ、左ノ如シ

第一、細菌學の標準

第二、溫度的標準

予ハ先ツ細菌學の標準ノ方ヨリ説キ出サント欲ス、今マ其レ牛乳製出ニ從事スル人ニシテ其中心ヨリ清良ナル牛乳ヲ製出セント欲スル者ハ卒知ラス、其他ノ者ノ製出セル牛乳ニ至リテハ、一定量ノ中ニ極メテ多數ノ細菌ヲ含ミ居ラスンハアラス、即チ牛乳ヲ製出スル人ニ密ニ注意ヲ加フルコトヲ爲サス、何カナシニ製

出シタリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ若干ノ定量中ニ五十萬以下ノ細菌ヲ含ミ居ルモノハ殆ント之レナキナリ、今マ茲ニ甚ハタ不潔ナル牛乳アリテ之ヲ濾過シテ清潔ナラシメント欲スルモ、決シテ其細菌數ヲ減少セシムルコト能ハサルナリ、今マ茲ニ一ノ牛乳アリ之ヲ他へ賣リ渡スノ際若干ノ定量中ニ五十萬個ノ細菌アランニ、尙ホ引キ續キ四日間ノ試験ニ於テヨリ多クノ細菌數ヲ見出シタル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ牛乳販賣ノ許可證ヲ取り上クヘキモノトス、斯ル規定ノ效果ハ實ニ著シキモノナリ、其效果ノ著大ナルコト他ノ規定ノ數者ヲ併セタルモノヨリ尙ホ優レル所アリ、蓋シ他ノ規定ノ數者トハ牛乳製造所及其所用ノ器具等ノ清潔ニ關スル規定是レナリ、右ノ如ク牛乳中ニ含有スル細菌ノ標準ヲ若干ノ定量中ニ五十萬個トナシタランニハ、吾人ハ牛乳製造所ノ有様ヲ改良スルニ就テノ無益ノ勞ヲ省クコトヲ得ヘキナリ、即チ斯ク細菌ノ標準數ヲ定メタル以上ハ牛乳製造業ヲ營ム者ハ自カラ其製乳所、搾取者、牝牛及器具等ヲ清潔ニ爲サ、ルヘカラス、否ラスンハ其牛乳中ニ含メル細菌カ其標準數ヨリ一層多クナルノ恐レアルヘケレハナリ

右ノ外牛乳製造取締ニ關スル重要ナル規定ハ溫度ノ標準ヲ定ムルコト是レナリ、シンシンナチーニ於テ吾人ハ尙ホ未タ牛乳製造ニ關スル細菌學の標準ヲ見スト雖トモ、溫度の標準ハ既ニ一定セラレタルナリ、即チ牛乳ノ溫度ハ華氏ノ五十度ヲ標準トナシ是レヨリ一層高キ溫度ノ牛乳ヲ販賣スル者ハ犯則者トシテ處分セラル、モノトス、既ニ斯ク溫度ノ標準ヲ定メタル以上ハ、之レカ視察官タル者此標準以上ノ溫度ヲ有スル牛乳ヲ販賣スル者アルヲ見出シタランニハ、其牛乳ヲ全ク廢物タラシムヘキ權能ヲ有スルモノトス、視察

官カ標準以上ノ高溫度ヲ有スル牛乳ヲ見出シテ、之ヲ廢物タラシメンニハ洋深紅ノ溶液ヲ注キテ赤色ヲ呈セシメ、一見以テ其廢物タルコトヲ示サンコトヲ要ス、斯ル方法ハ其他ノ方法ニ優ルヘキモノナリ

牛乳製造ノ取締上右ノ如ク細菌學の標準ト溫度の標準トヲ定メンコトハ、牛乳製造ニ關スル他ノ取締法ヲ一切綜合シタルモノヨリ、一層優レル效果アルヘシト信スルモノナリ、從來牛乳製造ニ従事スル者不正ニシテ不良ナル牛乳ヲ製出スルニ就テ、非難攻撃ヲ受ケタルモノ少カラサリシカ、右ノ如ク細菌學の標準ト溫度の標準トヲ定メテ之ヲ實行シタランニハ、斯ル非難攻撃モ自カラ消滅スルナラン、今マ其レ牛乳ノ製造法ニ關シテ之ヲ取り締ルノ必要アリト雖モ、斷ル間ナク常ニ牛乳製造所ヲ監視スルコトハ實際ニ於テ行フヘカラサルナリ、清良ナル牛乳ヲ得ント欲セハ牛乳製造所ヲ監視セサルヘカラストセンカ是レ、甚ハタ長キ時間ヲ要シ且ツ困難ナリト云ハサルヘカラス、又タ牛乳製造所ニシテ無潔ナリトテ裁判所へ訴訟ヲ提起スルノ場合ニ於テ之カ確證ヲ得ルコト殆ント不可能ナリト予ハ信スルモノナリ、又タ牛乳製造所ノ有様カ甚ハタ不都合ナリトテ其營業許可證ヲ取り上ケル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ其營業者カ其筋ニ向ツテ自今以後大ニ注意ヲ加ヘテ不都合ナカラシムルニ依リ、營業許可證御取上ノ儀御見合セ下サレタシト哀訴歎願スルハ、決シテ珍ラシカラサル事實ナリ、而シテ清潔ナル牛乳製造所トハ果シテ如何ナル意義ナルカ、判然タル解釋ヲ與フルコト能ハサルナリ、尙ホ之ヲ細言スレハ牛乳製造所ノ事業ハ中々ニ複雑シ居ガ故ニ、其清潔ナルト不潔ナルトノ分界線ヲ判明ナラシムルコト甚ハタ困難ナルモノナリ、斯ク清潔ト不潔トノ分界ヲ立ルコト困難ナルヨリ、一旦不潔ナリトテ營業許可證ヲ取り上ケラル、モ、其營業人

ヨリ將來清潔ニナスヘキコトヲ誓約シ、又々實際清潔ニ爲スヘキ計畫ヲ立テタリトセンカスル場合ニ於テハ營業許可證ノ再下渡ヲ出願スルコトヲ得ヘキナリ、既ニシテ其再下渡ヲ得タル以上ハ再ヒ從前ノ如ク營業シテ妨ケナカルヘキナリ

今マ其レ一般ノ衛生上取締規則ヲ實行シテ以テ清良ナル牛乳ヲ得ント欲スルモ到底得ヘカラサルナリ、清良ナル牛乳ヲ得ント欲セハ、牛乳ニ關スル特別ノ規定ヲ設ケスンハアルヘカラス即チ彼ノ細菌學的標準及溫度的標準ヲ定メ、且ツ之ヲ實行スルノ機關ヲ設クルノ類是レナリ、是レ取リモ直サス清良ナル牛乳ヲ市ニ供給スル問題ノ解決セラル、モノト謂ツヘキナリ
以上述ヘ來リタル所ノ要領ヲ約言スレハ左ノ如シ

一、牛乳製造人ノ品格ヲ一層高クスヘキ事

此牛乳製造業タルヤ人類ニ對シテ重要ナル關係ヲ有スルカ故ニ、其計畫一層高尚ナランコトヲ要ス、二、ヲハイオ地方到ル所ノ市ハ夫々衛生局ナカルヘカラス、蓋シ此衛生局ハ専ラ衛生事務ヲ取り扱フ所ニシテ、毫モ政黨杯ノ牽制ヲ受ケサランコトヲ要ス

三、公衆モ亦タ是レ相當ノ教育ナカルヘカラス、即チ自カラ飲用スル所ノ牛乳ノ良否ヲ識別シ得ルノ教育アランコトヲ要ス

四、牛乳取締上ニ關スル規則ハ特ニ明瞭ナランコトヲ要ス、判明セサル規則ハ好結果ヲ得ルコト能ハス清良ナル牛乳ヲ製造セシムルニ就テ最重要ナル規則ハ、細菌學的標準及溫度的標準ヲ定ムルモノ是

レナリ

製乳業ニ幼童ヲ用フヘカラサル事

街頭ニ於テ罐内ニ牛乳ヲ詰メ込ムヘカラサル事

罐ノ口木ナクシテ買却スヘカラサル事

●大英國ニ於ル肉商ノ有様

此程英國ハムブルグニ於テ開催サレタル萬國肉商會議ハ、甚ハタ有益ナルモノニシテ大ニ世間ノ人氣ヲ得タリシナリ、抑モ此萬國肉商會議ナルモノヲ開クニ至リシハ、合衆國屠畜者協會ノ勸誘ニ基ツケルモノナリ、而シテ此會議ノ問題ヲ舉レハ左ノ如シ

(第一) 如何ナル衛生法カ諸國ニ於ル肉商ニ適合シ得ベキヤ

(第二) 諸國ニ於テ疾病ヲ防遏スルニハ如何ナル方法手段ヲ取ルヘキヤ

(第三) 自今諸國ニ於テ肉商ノ受ケ居ル不利益ノ重モナルモノハ如何、又タ肉商等カ首トシテ達セント

欲スル目的ハ如何

(第四) 諸國ニ於ル衛生法ニ就テ討論ノ結果此萬國會議ハ如何ノ決議ヲ爲スヘキカ

斯クテ開會ヨリ第二日目ニ於テ蘇格蘭ノ代表者ノ一人カ、大英國ニ於ル肉商ト云ヘル論題ヲ書面ニ認メタルヲ朗讀シタリ、其代表者ノ一人ト云ヘルハビレチン氏ニシテ氏ハ先ツ第一ニ衛生状態ヲ述ヘ、夫レヨリ現行ノ衛生法ノ不完全ニシテ人民ニ最モ多クノ利便ヲ與フヘキ筈ナルニ、實際ニ於テ然ラサルモノアリト

云ヒ、且ツ肉類輸入等ノ事ニ就テ左ノ如ク述ヘタリ、曰ク一千八百九十六年ニ於テ外國ヨリ輸入シタル生活セル動物ハ牛五十六萬一千二百十五頭、羊十萬三千三百五十九頭ニシテ其代價共計九百七十三萬二千八百八十封度ナリ、尙ホ之ニ加フルニ生肉輸入サレタルモノ牛肉六億一千九百二十六萬二千四百四十八磅、羊肉四億五千七百九十三萬三千一百六十八磅、豚肉五千五百十二萬三千一百五十二磅ニシテ、其代價ハ牛肉九百七十九萬三千六百七封度、羊肉七百六十五萬五千五百四十三封度、豚肉一百十三萬九百五十封度ナリシ、而シテ同年中ニ於ル生活セル動物ト生肉トノ代價ノ總額ハ二千八百四十六萬九千二百九十封度ニ下ラス、今マ之ヲ一週間宛ニ割リ當ルモ尙ホ且ツ五十四萬七千四百八十六封度、以上ニ上レリ、而シテ公立屠畜場ニ於テ牛及羊等ノ屠殺セラル、場合ニハ臨檢者ナカルヘカラス、或ル場合ニハ獸醫之カ臨檢者トナリ他ノ場合ニ於テハ屠殺ノ心得アル者カ臨檢者トナルコトアリ、然レトモ臨檢者ハ皆ナ是レ屠殺ノ心得アルモノニアラス、或ハ自カラ屠殺スルコトヲ知ラサルモノモ之レアリ、又タ私立屠畜場ニ對シテハ其屠畜場所在地ノ視察員之ヲ視察センコトヲ要ス、而シテ此等ノ視察員ハ何時タリトモ時ヲ擇ハス隨時隨意ニ臨檢スルコトヲ得ヘク、其臨檢ノ際不都合ナル行爲アリト認定シタランニハ、直チニ之ニ對シテ罰金ヲ課スヘキ權能ヲ有スルモノトス、又タ之ニ加フルニ視察員タルモノハ人類ノ食用トシテ肉類ヲ調理シ且ツ販賣スル所ノ店舗若シクハ其他ノ個所ヘ、隨時不意ニ臨檢スルノ權能ヲ有スルモノナリ、故ニ其ノ權能ハ管ニ強大ナルノミナラス、或ハ壓制的ニ陷井ルコト往々ニシテ之レアリ、又タ私立屠畜場ニ對シテハ左ノ如キ說ヲ抱クモノアリ、曰ク私立屠畜場ナルモノハ公衆ニ對シテ利便ヲ與フルモノニアラス、又公衆ヲシテ危險

ナラシメサル様保護スルモノニアラサルナリト、或ル人ノ說ハ私立屠畜場ハ弊害アルカ故ニ屠畜場ハ須ラク公立ナラサルヘカラスト云フモノ、如シ、然レトモ予ハ此說ニ贊同ノ意ヲ表スルコト能ハサルナリ、予ハ私立屠畜場ノ所有者ニ對シテ同情ヲ寄セスンハアラス、既ニ營業トシテ屠畜場ヲ私立セルモノニシテ、命令的ニ廢業セシメラレタレハ如何、其迷惑スルコト得テ想像スヘキノミ、若シ夫レ私立一シテ弊害アラハ其弊害ヲ除却スルノ方法ヲ設クレハ足ランノミ、公立ニシテ市ノ所有ニ係リ市ノ取扱ニ屬スル屠畜場ハ具羅斯哈市ノ内外ニ於ル人ノ食用ニ供スル諸動物ヲ屠殺スル所ニシテ、其公立タルヲ以テ自カラ誇リ居ルカ、其屠畜場ノ事務ヲ取り扱ヒ居ル者ノ心事如何ト云フニ、自家ノ葡萄園ノ中ヲ徘徊シ自家ノ無花果ノ下ニ座シ、毫モ他ヨリ檢束セラル、コトナク、自立自營ノ業ニ就キ居ル者ヲ羨ミ見ルコト數々ナルニアラスヤ、是レ予カ親シク實見スル所タリ、公立強チ取ルヘキニアラス、私立強チ棄ツヘキニアラス、殊ニ具羅斯哈市ノ公立屠畜場ハ市民一般ノ信用ナキヲ如何セン、具羅斯哈ノ市政當局者ハ夙ニ此事ヲ知ルト雖モ尙ホ且ツ正當ニシテ必要ニ迫リ居レル私立屠畜場ノ設置ヲ許サス、法律上既ニ其設置ヲ許サ、ルカ故ニ又タ如何トモスルコト能ハサルナリ

又タ肉類視察ノ事ニ就テ之ヲ云ハンカ、我國ニハ外國ヨリ輸入スル所ノ肉類ハ甚ハタ多シ、而シテ其肉類ハ概シテ甚ハタ善良ニシテ、且ツ其肉類ニハ之ヲ屠殺シタル地方ノ視察員カ檢印ヲ附シテ、其良質ナルコトヲ證明シ以テ各方面ニ送致スルモノナリ、然ルニ斯ル外國ノ肉類ニ對シテ更ニ保護法ヲ設ケザルハ、實ニ謂レナキノ至リナラスヤ、翻ツテ内國ノ肉類ニ對スル取締法如何ト云フニ、英吉利及愛蘭ノ肉類ニ關シ

テハ一層嚴重ナル視察法ヲ行フコトニセリ、是レ外ヲ寬優ニシテ内ヲ嚴峻セルモノニシテ嗚呼亦タ不公平ナラスヤ、抑モ肉類ノ視察法ハ其物ノ内外タルヲ問ハス我カ合衆王國中ヲ通シテ須ラク平等畫一ナラスンハアルヘカラス

又タ家畜病及之ヲ撲滅スル方法手段ニ就テ聊カ論スル所アラントス、「牛ベスト」肋膜炎兼肺炎、口蹄疫、炭疽、羊ノ疥癬等ハ今日家畜病中ノ最モ甚ハタシキ傳染病ト認定セラレタリ、然レトモ今日英國ノ諸島中ニハ肋膜炎ニ罹レル動物ヲ見ルコト能ハサルナリ、但シ予ノ記憶スル所ニ據レハ今ヨリ餘程以前ノ事ナルカ、此病カ家畜ノ群中ニ暴威ヲ逞フシタルコトアリキ、當時其病症ハ餘リニ激烈ナラサリシト雖モ、尙ホ且ツ家畜ヲ飼養スル者ニ取リテハ、其記憶内ニ存シ居リテ之ニ就テ幾分カ懸念スル所ナクンハアラス、口蹄疫モ又タ是レ之ト同一ナル有様ナリシナリ、最後ノ肋膜炎甚タシキ發生以來今日ニ至ルマテ人ノ一代以上ノ歲月ヲ經過シタリト雖モ、苟クモ肋膜炎、「ベスト」、炭疽、口蹄疫等ノ發生シタル場合アランカ、斯ル場合ニ於テハ毎ニ此等ノ病ニ罹リタル動物ハ云フヲ要セス、斯ル動物ト觸接シタル動物ヲ併セテ強制的ニ屠殺スルヲ常トス、中ニ就テ肋膜炎ニ罹リタル動物ヲ屠殺シタル場合ニ於テハ、其動物ノ代價ノ四分ノ三ニ相當スル金圓ヲ其所有者ニ下ケ渡シ、斯ル動物ニ觸接シタルノミニシテ實際病ニ罹ラサル者ニ對シテ其代價ノ全額ヲ下ケ渡サル、モノトス、而シテ口蹄疫ニ罹リタル動物及斯ル動物ニ觸接シタル動物ヲ屠殺シタル場合ニ於テハ、共ニ是レ其代價ノ全額ヲ其所有者ニ下ケ渡サル、ナリ、又タ炭疽等ニ罹リタル動物ヲ屠殺シタル場合ニハ、其代價ノ半額ヲ下ケ渡シ、斯ル動物ニ觸接シタルノミニシテ實際其病ニ罹ラサルモノヲ屠

殺シタル場合ニハ其全額ヲ下ケ渡サル、モノトス、斯ク屠殺サレタル動物ノ所有者ニ夫々下ケ渡サル、所ノ金圓ノ出所如何ト云フニ、斯ル目的ニ對シテ支拂ハンカ爲メニ特ニ募集サレタル資金ヨリ支出セラレ、モノ是レナリ

以上掲ケ來レル諸ロノ傳染病中ニ編入セラレサル疾病ニシテ尙ホ一層甚ハタシキモノアリ、之カ爲メニ肉商ノ損害ヲ蒙フルコト極メテ甚ハタシク、之ヲ以上述ヘタル諸傳染病ヲ一團トシテ受ケタル損害ニ比フルモ尙ホ一層甚タシキモノト謂ツヘキナリ、蓋シ此疾病ハ他ニアラス、家畜ヲ侵害スル結核是レナリ、飼養法ノ最モ善ク行キ届ケル家畜ニテモ、尙ホ且ツ全ク此病ヲ免カル、コト能ハサルナリ、然レトモ此結核ナル疾病ハ官邊ニ於テ非傳染性ノモノト認定シタリシナリ、時トシテハ何故ニ之レヲ非傳染性ト認定シタリシヤト反問スルヲ許サ、ルモノサヘアリ、斯ル反問ニ答フルハ極メテ易々タランノミ、曰ク若シ其レ結核ヲ傳染病中ニ編入シタリトセンカ、自然ノ結果トシテ勢ヒ之ニ罹リタル動物ハ悉ク皆ナ強制的ニ屠殺セサルヘカラス、傳染病豫防ノ最モ有効ナル方法トシテ必ラスシモ然カ爲サ、ルヲ得ス、實際果シテ斯ク爲シタランカ、其結果トシテ我カ合衆王國中ノ家畜ヲシテ殆ント全滅ニ歸セシムヘキナリ、斯ク家畜ヲ全滅ニ歸セシムルハ策ノ得タルモノニアラスト云フヲ口實トシテ、須ラク傳染病ノ蔓延スルヲ豫防センカ爲メニ嚴重ナル取締法ヲ設クヘキニ、左ハセスシテ等閑ニ放任スルコト、ハナレリ、此ニ於テ乎家畜ヲ飼養スルノ有様甚ハタ不完全ニシテ不衛生ニ陥ルノ地方決シテ少ナカラサルナリ、文明ノ度大ニ進ミタル今日此國若シクハ他ノ國ニ於テ、僅カニ一日タリトモ斯ル不衛生ノ有様ヲ其儘ニ許シ置クヘキモノニアラサルナ

リ、近年ノ事ナルカ蘇格蘭ニ於テハ結核検査法ナルモノヲ家畜ニ適用シ、以テ其家畜ニ結核ノ在ルヤ否ナ
 ヲ判別スルノ好方法ト爲セリ、茲ニ一人アリ以爲ラクスル検査法ニ關スル智識一層増進シタランニハ、
 肉商ヲ營ム者ニ取リテハ大ナル賜モノナルヘク、又タ英國諸島ノ藩園内ニハ家畜ノ結核ニ罹ルモノ全ク之
 レナキニ至ラント、然レトモ事實ハ斯ル豫想ニ全ク反シタルヲ如何セン、曰ク此國ニ於テ斯ル検査法ノ行
 ハル、由ヲ聞キ傳ヘテ各所ヨリ肉商カ最モ良キ家畜ヲ買ヒ取ラント集ヒ來レリ、而シテ斯ク集ヒ來レル
 購買者ハ内國人アリ外國人アリテ共ニ其目的トスル所ハ、結核検査ニ不合格ノモノヲ避ケテ合格セル動物
 ヲ購入セント欲スルニ在リ、蓋シ其合格セルモノニ對シテハ如何ニ高價ナルモ更ニ意トセサル有様ニテ、
 購買者ノ大半ハ斯ル意見ヲ抱カサルハナシ、然レトモ又タ他ノ方面ヨリ之ヲ見レハ巧ミニ斯ル結核検査ヲ
 免カレタル牛、羊、豚モ亦タ少ナカラサルナリ、斯ク検査ヲ受ケサルモノハ其牝タルト牡タルトヲ問ハス、
 如何ニ利用セラルヘキヤノ疑問起ラサルヲ得ス、其検査ヲ受ケサル動物ハ固ヨリ結核ニ罹リ居ラサルヲ保
 スヘキモノニアラス、實ニ危險ナリト云ハサルヘカラス、内國ニ於テハ斯ル動物カ尙ホ引キ續キテ増殖ス
 ヘク、從ツテ動物ノ結核ニ罹ル統計數カ自カラ増加セサルヲ得ス、又タ地方ニ於テハ斯ル動物カ動物市場
 ニ持チ出サレテ賣買セラル、ニ至ルヘキナリ、此際肉商等ハ斯ル實際ノ有様ヲ知ラスシテ、兼テ評判善キ
 賣主ナレハ之ヲ信シテ買ヒ取ルモノナリ、既ニ買ヒ取リタル後其動物ノ結核ニ罹リ居ルコトヲ見出スト雖
 モ事既ニ晚シ、亦タ如何トモスヘカラス、之カ爲メニ空シク甚ハタシキ損失ヲ受ケサルヘカラス、斯クノ
 如キ事實ハ實ニ不都合極マルモノト云ハサルヘカラス、斯ル不都合ナル事實ハ何時マテモ繼續セシムヘキ

モノニアラス、斯ル弊害ハ何トカシテ早ク除却セシムハアルヘカラス、加奈陀、亞米利加合衆國、亞爾然
 丁、若シクハ其他ノ國ニ於テ飼養スルニ不都合ナル動物ナリトセン乎、英國ニ取リテモ亦タ不都合ナリト
 云ハサルヘカラス、即チ結核ニ罹レル動物ハ何國ニテモ決シテ歡迎セラルヘキモノニアラス、今茲ニ動物
 ノ所有アリ其動物ノ既ニ結核ニ罹リ居レル實證アルニモ拘ラス、自カラ之ヲ知リナカラ人ノ食用ト爲スノ
 目的ヲ以テ故意ニ窈カニ之ヲ他ニ販賣スルカ、若シクハ他ノ者ヲシテ販賣セシムルトセンカ、是レ不正不
 德ノ甚ハタシキモノト云ハサルヘカラス、斯ル不正不德ノ人ヲ嚴重ニ取り締ルヘキ方法ヲ設ケサルヘカラ
 ス

● 水流及蠅飼育所ニ於ル細菌豫防法

下水ノ流レ込ミ來レル河水ノ汚穢ナルコトハ今更云フヲ要セス、斯ル河水ヲ飲用水ニ爲シタランニハ、其
 衛生上ニ大害アルコト知ルヘキノミ、是レ既ニ世人ノ認識セル事實ニシテ、其有害ナルコト漁獵場及蠅飼
 育所ノ汚穢ナルヨリ生スルモノト同一ナルモノナリ、國立下水取締委員會ヨリ發セラレタル第四會報ヲ見
 ヲ、其衛生上ニ有害ナル實證ヲ充分ニ叙述セラレタルヲ見ルナラン、即チ其會報中ニハ左ノ如キ記事アリ
 曰クカメロン氏(一千八百八十年ニ於ル)、スロン、スロン氏一千八百九十四年ノ地方政務局報告ニ於ル)
 ドクトル、ニウスホルン氏一千八百九十四年、一千八百九十六年、一千八百九十七年ニ於ルブライトンノ
 窒扶斯ニ關シテ)、ドクトル、ナス氏(一千九百年ニ於ル)等ノ記事ノ如キ、又タドクトル、スラツス氏ドク
 トル、クレイン氏及其他ノ人々ハ皆ナ是レ專ラ貝類ノ汚穢ナル飼育所ト傳染病トノ間ニ最モ密接ナル關係

アルコトヲ叙述シタリ、是レ既ニ世人ノ認識シタル事實ナルカ故ニ今更喋々スルノ必要ヲ見ス、今マ其レ下水ヲ清化セシメテ細菌ノ跡ヲ絶ツハ最も重要ナル事ナレトモ、近年ニ至ルマテ通常一般ノ下水處分法ニテハ之ヲ等閑ニ付シテ顧ミル所ナカリシナリ、然レトモ今マ茲ニ一ノ水流アリ、清良ニシテ些ノ臭氣ナク從ツテ物ノ腐敗スヘキ機會ナク、化學的試験ヲ行フニ全ク純清ナリトセンカ、是レ全ク細菌ノ存在セサルコトヲ證スルニ足ルヘキモノナリ、又タ下水ノ流レ込ム河水ハ其河水如何ナル状態ニアルモ、皆ナ是レ衛生上有害ナルモノト認定スルコト能ハス、例之ハ水嵩莫大ナル河水中ニ下水流レ込ミタル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ恐ラクハ何等ノ病原菌モナカルヘキナリ、茲ニ腐敗物排除器ナルモノアリ、此器ノ効用ハ液體ヲ濾過セシメテ以テ其液體中ニ含メル汚物細菌等ヲ除却スルニアリ、今マ此排除器ヲ以テ實驗シタル成績ヲ見ルニ、彼ノ下水中ニ含メル顯微鏡的單純ナル細菌及其他一層複雑セル病原菌等ヲ除却スルニ就テ、其効用最モ顯著ナルコトヲ見出シタリ

又タドクトル、ライデル氏ハ曾テカターハムニ於テ試験シタル結果トシテ左ノ如キ事實ヲ見出シタリ、曰ク硝酸の濾過法ヲ用ヒタル場合ニ於テハ、單純ナル有機物及腸炎ヲ惹キ起スヘキ有機物ヲ殆ント全ク排除シ得ヘキナリ、尙ホ之ヲ詳言スレハ下水中ニ含メル此等ノ有機物ノ百分ノ九八、五ヲ排除シ得ヘキナリ、斯ル結果フーラー氏ノ曾テ記述シタル所ト甚ハタ善ク相似タリ、フーラー氏ハ一千九百五年ニ於テ下水濾過法ニ關スル一書ヲ著ハセシカ、其書中ニ曰ク下水ノ濾過セラレタルモノノ中ニ含メル細菌ハ、之ヲ濾過セサル以前ノモノニ比フレハ僅カニ百分ノ一二過キサルナリト、是レ二者甚ハタ善ク相似タルモノニアラスヤ、去レハ濾過法最モ其宜シキヲ得タランニハ、下水中ニ含メル細菌ハ殆ント排除シ得ラルヘキハ亦タ疑フヘカラサルナリ

●王國下水取調委員會々報

然レトモ王國下水取調委員會ハ下水清化法ニ就テ一定ノ意見ヲ有シ、同會ヨリ發兌シタル第四報告ニ左記ノ如キ事ヲ掲載シタリ、同會ノ意見ニテハ右ニ述ヘタルカ如キ濾過法ニテハ、全ク安全ナリト云フヲ得ス且ツ地方廳ノ下水取締ニ關スル行動ヲ見ルニ、尙ホ未タ何等ノ濾過法ヲモ施コサ、ル所謂生下水ハ、之レヲ潮水中ニ放流スルコトヲ禁止セリ、是レ習慣法ノ然ラシムル所チリト雖モ、成文法ノ上ヨリ之レヲ概論スレハ、斯ル汚水ヲ潮水中ニ放流スルコトヲ禁シ居ラサルナリト、是レ右下水取調委員會ノ意見ナリ、勿々之ヲ看過スレハ此論一理アルカ如シト雖モ、其實決シテ然ラサルナリ、斯ル所論ハ畢竟スルニ下水取締法ヲ無視スルモノニ外ナラス、抑モ下水取締法ナルモノハ嘗ニ所謂生下水ヲ潮水中(魚類及貝類ノ之カ害ヲ蒙ルヘキケ所)ニ放流スルコトヲ禁スルノミナラス、尙ホ亦タ化學上ニテハ清良ナリトスルモ、細菌學上純清ナラスト認メタランニハ、之ヲ彼ノ潮水中ニ放流スルコトヲ禁シ居レリ、然ルニ右委員會ノ說ニテハ斯ル下水取締法ヲ無視セルモノト云ハサルヘカラス、是レ容易ナラサル問題ト云ツヘキナリ、今マ右委員會ノ第四報告中ヨリ抜粹シ來リテ右ニ述ヘタル事柄ノ確實ナルコトヲ證サント欲ス、其二十三章ニ左記ノ如キ事ヲ記述セリ、曰ク或ル人ノ唱フル說ニ曰ク、現行ノ下水取締法ヲ改正シテ、凡ソ下水ヲ

潮水中ニ放流センニハ、必ラス先ツ之ヲ清化セシムルハアルヘカラスト爲シタランニハ、其害ヲ除却スルコトヲ得ヘシト、然レトモ今マ我輩ノ考フル所ヲ以テスレハ斯ル改正法律ヲ發布シタカトテ決シテ其効果アルヘカサルナリ、現今ノ學識ニ照シテ之ヲ見ルニ、貝類ノ居ラサル潮水中ニ好シ彼ノ所謂生下水ヲ放流スルモ何タル害ヲモ爲スヘキモノニアラス、是レ眞ニ疑フヘカサル事實ナリ、且ツ如何ナル場合ニ於テモ皆ナ悉ク下水ヲ清化セシムルコト、センカ、之ニ要スル所ノ費用莫大ナリト云ハサルヘカラス、サレハ濫リニ下水清化法ヲ行フタランニハ、無益ニ浪費スルノ場合ナクンハアラス、且ツ好シ貝類ノ棲息スル個所ト雖モ、下水ヲ放流スルニ就テ右ノ如キ改正法律ヲ發布スルノ必要ヲ見サルナリト、今マ斯ル所論ノ要旨ヲ換言スレハ左ノ如キニ外ナラサルナリ、曰ク通常一般ノ下水清化法ニテハ其必要ニ應スルコト能ハサルナリ、即チ充分ノ効果ヲ奏スルコト能ハサルナリ、試ミニ彼ノ報告書中ノ三十四章ヲ見ヨ、其清化法ノ不充分ナルコトヲ證明シ居レリ、即チ一千九百一一年七月十二日發兌ノ報告書中第三十四章ニ曰ク、彼ノ清化法ヲ行ハサル生下水及清化法ヲ行フタル下水モ、共ニ是レ顯微鏡的有機物ノ多數ヲ含ミ、殊ニ此等ノ有機物ハ概シテ腸胃病ヲ醸成スルニ足ルヘキコトヲ見出シタリ、而シテ尙ホ其後此等ノ二種ノ下水ニ就テ試験スル所アリシカ、其結果矢張り前説ヲ翻ヘスコト能ハサルナリ、即チ其前説トハ生下水及清化シタル下水モ共ニ是レ疫病ヲ醸成スヘキ有機物ヲ含有スルト云ヘル是レナリ、尙ホ此外下水清化法効用少ナキコトヲ證サンニ、ドクトル、ホーストン氏ノ下水清化法ニ從ツテ試験シタル下水中ニモ、矢張り顯微鏡的有機物ノ多數ヲ見出シタリシナリ、サレハ折角手數ト金錢トヲ費シテ下水清化法ヲ行フモ殆ント其効用ヲ

見サルナリ、然レトモ將來智識著シク進歩シ從ツテ下水清化法大ニ發達シタランニハ、下水中ニ含有セル危険ナル有機物モ其跡ヲ絶ツニ至ルノ時期或ハ來ルヘキナリ、餘リニ莫大ノ費用ヲ懸ケスシテ斯ル清化法ノ行ハル、時期或ハ來ルヘキナリ、然レトモ現今行ハレ居ル所ノ下水清化法ニテハ、危険ナシト云フコト能ハサルナリ、尙ホ之ヲ詳言センニ好シ清化法ヲ行フモ其甲斐之レナキカ故ニ、斯ル下水ヲ貝類ノ棲息シ居ル潮水中ニ放流シタリトセンカ、斯ル個所ノ貝類ヲ食シタルノ結果トシテ疾病ヲ惹キ起サンハ、當ニアリ得ヘキノ事實ナリト云ハサルヘカラス、故ニ斯ル個所ヘ下水ヲ放流スルコトヲ若シクハ貝類飼育所ヲ閉鎖スルカ、二者其一ニ居ラサルヘカラス

右ニ掲ケタル報告書ナルモノハ一千九百四年ニ記述セラレタルモノナリ、故ニ其以來下水處分法ガ著シク發達シ來リ、左マテ大ナル費用ヲ掛ケサルモ、下水中ニ含有セル衛生上ニ危害アル成分ヲ除却シ得ルノ方法案出セラレタリシナリ、尙ホ其他一千九百三年ニ發セラレタル愛爾蘭政務局ノ報告書中ニ左ノ如キ事ヲ記載セリ、曰ク貝類飼育所ノ近傍ナル潮水中ヘ下水放流スルモ、現今ノ清化法ヲ施コシタル以上ハ左マテノ危害ヲ及ホサ、ルモノナリ、即チ其下水中ニ含有セル病原菌ヲ全ク撲滅スルニ至ラサルモ、其數ヲ減少セシムルニ就テハ大ニ効力アルモノト謂ツヘキナリ

●下水處分法ノ原則

下水處分法トハ何ソヤ、化學的清化法及細菌的清化法ヲ行フニ就テノ原則ナルモノ是レナリ、蓋シ此原則タルヤ近キ過去數年間ニ當協會ニ於テ朗讀セラレタルモノナリシカ、其朗讀セラレタル書類中二個ハ今日ノ

記者中ノ一人ノ朗讀ニ係レルモノ是レナリ、去ルカラニ今マ下水ヲ清化セシムルニ就テノ原則ヲ詳論スルノ必要ヲ見サルナリ、但シ此等ノ原則ニ就テノ朗讀セラレシ以來特ニ進歩發達セシ點ハ之ヲ論述セサルヘカラス、最早今日ニ至リテハ化學上下水ヲ清化セシムルコトハ何人ト雖モ復タ疑ハサル所ナリ、而シテ此清化法タルヤ種々ノ方法アリテ行ハル、モノナリ、又タ其下水ヲ清化セシムル度合如何ハ隨時場合ノ必要ニ應スヘキモノナリ、過去十年間ノ經驗ト觀察トノ大多量ヲ以テ之ヲ考フルニ、下水清化法中或ル一種格段ナル方法アリテ、是レ其中ノ最良ナルモノナリト斷定スヘキモノ曾テ之レアラサリシナリ、或ハ總テノ場合ヲ通シテ適用スヘキ方法モ之レナカリシナリ、尙ホ之ヲ再言センニ一旦下水清化法ノ原則カ見出サレシヨリ此原則ヲ實行スルノ方法手段ハ數多之レアルモノト知ルヘシ、然レトモ殊ニ人ノ考慮ヲ要スヘキハ或ル場合ニ最モ善ク適當スル格段ナル清化法ヲ見出サンコト是レナリ

尙ホ右ノ外下水清化法中不都合ナルコト之レアリ、清化法ノ或仕組ニテハ其清化シ得ラル、水量ニ定限アリテ、其レヨリ以上ノ水量ヲ清化セシムルコト能ハサル是レナリ、然レトモ此等ノ事實ハ實際其當ヲ得サルモノト思ハル、ナリ、是レ他ナシ、彼ノ濾過床ヲ使用スルコト一層過度ニシテ其清化水量從ツテ一層多カルヘケレハナリ、今マ試ミニ化學士及細菌學士カ下水清化法ノ事ニ就テ經驗ニ經驗ヲ重ねタリトセンカ、左ノ如キ事實ヲ見出スハ亦タ疑ヒナカルヘキナリ、曰ク下水ノ若干量ヲ或ル程度マテ清化セシメント欲セハ、先ツ第一ニ其下水ノ成分如何ヲ見定メ置カンコトヲ要ス、尙ホ之ヲ復言スレハ其下水中ニ含有セル細菌ノ量如何ヲ見定メテ後、其清化法ニ着手センコトヲ要ス、其精密ナルコトヲ知ランハ甚ハタ困難ナリト

雖モ其概算ヲ得ンハ左マテ難カラサルナリ、即チ清化セシムヘキ若干水量ノ一立方呎中ニ幾千ノ細菌ヲ含有シ居ルヤヲ確メ得テ後、之ニ適應セル清化法ヲ行フコト是レナリ、斯クノ如ク爲シタランニハ趣味アリテ且有益ナル好結果ノ表ヲ製シ得ヘキコト亦タ疑フヘカラサルナリ、今マスコツト、モンクレフ氏ノ試驗法ニ從ツテ之ヲ實驗シタランニハ、好シ完全ナル結果ヲ得サルモ相當ノ結果アルニ相違ナキナリ

今マ其レ下水清化法ヲ行フニ就テ總テノ場合ニ於テ平等均一ニ清化セシムヘキ必要アラサルナリ、其場合々々ニ應シテ臨機應變ノ清化法ヲ行ハ、足ランノミ、今マ衛生上ニ有害ナリト認メラル、下水ヲ放流スルカ、或ハ下水カ其他何等カノ危害ヲ與フルコトアリトセンカ、是レ下水工事其宜シキヲ失シタルニ基カスンハアラス、斯ル事ハ云フマテモナキコトナリ、然レトモ尙ホ此外事情ノ必要ニ應スルヨリ一層優等ナル下水工事ヲ爲シテ納稅者ヨリ得タル金圓ヲ濫費スルモ亦是レ失當ノ工事ト云ハサルヘカラス、如何ナル場合ニモ總テ適用スヘキ清化法、若シクハ場合ノ大半ニ適用スヘキ清化法スラ實際ニ行ハルヘキモノニアラサルナリ、今マ其レ下水清化法ニ就テ最モ重要ナル事柄ハ、左ニ記スルカ如キ事實是レナリ、曰ク下水清化事業ヲ適當ニ取り扱フ事、而シテ其得タル所ノ結果ニ就テ常ニ精密ナル注意ヲ怠ラサル事等是レナリ、實際果シテ能ク斯クノ如ク爲シタランニハ其効果ヲ奏スヘキハ亦タ疑フヘカラサルナリ

●細菌除却法

下水中ニ含有セル細菌ヲ除却スルノ問題ハ種々ノ方面ヨリ論述スヘキモノナリ、(第一)細菌除却ノ必要ナル事、(第二)細菌ヲ除却スルノ方法、(第三)細菌除却ニ要スル所ノ費用、(第四)其費用ヲ支拂フノ方面如

何等ノ如キ是レナリ、中ニ就テ化學作用ヲ以テ下水ヲ清化セシムルノ方法ハ、既ニ論述シタル所ナレハ今更再言スルノ必要ヲ見ス、今將ニ論述セント欲スル所ハ細菌學上ノ見地ヨリ下水ヲ清化セシムルノ方法は是レナリ、從來行ハレタル所ノ下水清化法如何ト云フニ、只タ僅カニ化學作用ニ依ルノ一法アリシノミ、斯ク下水清化法トシテ化學作用ニ依レル多年間、地方政廳へ對シテ斯ク清化シタル下水中ニ尙ホ有機物ノ存シ居ルトノ苦情起リタルコト數々ナリシナリ、此ニ於テカ地方政廳タルモノハ公衆一般ノ爲ニ河流及河床ヲ清良ナラシムルノ方策ヲ考究シ、以テ漸次其汚穢ヲ去リテ清良ニ就カシメタリ、彼ノ一般人民ノ死亡比例ノ減少シタルハ其他ニ種々ノ原因アルヘシト雖モ、河水等ノ清良トナリタル事モ亦是レ其一因ト云ハサルヘカラス、斯クノ如キハ下水清化法トシテ化學作用ニ依賴シタルニ外ナラサルナリ、今マ吾人記者タルモノハ單ニ斯ル清化法ヲ以テ足レリト爲スモノニアラサルナリ、斯ル清化法ハ可ナリト云フヲ得ヘシト雖モ尙ホ未タ完全ナリト云フコト能ハサルナリ、斯ル清化法ニシテ尙ホ不充分ナル所アリト云ヘルハ左ノ如キ事アレハナリ、曰ク斯ル清化法ヲ行フタル下水中ニハ尙ホ(イ)有機物ノ存在スルアリ、又タ(ロ)各種ノ病原トナルヘキ有機物ノ存在スルカ如キ是レナリ、而シテ斯ル有機物ハ互ニ反動力ヲ生スルモノナリ、彼ノ細菌ノ如キハ水流中ニアリテ常ニ有機物ノ酸化作用ヲ司レルモノナリ、彼ノ濾過床ニ依リテ能ク清化サレタル下水中ニハ有機物甚ハタ少ナキカ故ニ、其結果トシテ細菌ハ自カラ滅絶シ得ヘキモノナリ、然レトモ下水中ニ有機物ヲ含有スルコト極メテ夥多ナリトセンカ、其濾過床ニ來ルノ際有機物及細菌ヲ伴ヒ來ルヘキナリ、實ニ危險ナリト云ハサルヲ得ス

今ヨリ數年前ニ在リテ下水中ニ於ル細菌ヲ除却スルノ方法如何トノ問題起リタルノ場合、化學士ハ之ニ答ヘテ云ヘリ、其下水中ニ含有セル有機物ヲ禁遏スルノ方法ヲ取リタランニハ、其下水中ノ細菌ハ自カラ滅絶スルノニ相違ナカルヘキナリト、匆々看過スレハ此說一理アルカ如シト雖モ、其實決シテ然ラサルナリ、斯ル化學士ハ左ノ如キ事實ヲ其眼中ニ置カサリシナリ、曰ク斯ク清化シタル下水ヲ一ノ河水中ニ放流シタル場所及時間ト、飲用ニ供スルノ目的ヲ於テ其河水ヲ汲ミ取リタル場所及時間トノ間ニ差異アルコトヲ其眼中ニ置カサリシナリ、又タ降雨及水流ニ緩急ノ差アルコトヲ其眼中ニ置カサリシナリ、然ルニ細菌學士ノ主張スル所ヲ舉レハ左ノ如シ、曰ク凡ソ下水ヲ清化セシメンニハ先ツ其中ニ含有セル細菌ヲ除却セサルヘカラス、今マ其レ下水中ニ病原タルヘキ有機物會テ之レナシトセンカ、之ヲ河水中ニ放流シタル場合ニ於テ、其河水中ノ酸素カ有機物ノ若干量ヲ溶解スルニ足ルヘキナリト、而シテ記者ノ說如何ト云フニ眞理ノ存スル所ハ、右二者ノ說ヲ併セ兼ネタル所ニアリト云ヘル是レナナリ、然レトモ化學士ノ唱道スル所ハ微弱ナル所アルヲ如何セン、蓋シ化學士ハ下水中ニ含メル病原菌ニ左マテ重キヲ置カサレトモ、是レ最モ大切ナルモノニシテ、此病原菌ニ際會スル毎ニ之ト飽クマテモ戰闘セサルヘカラス、且ツ其病原菌ハ如何ニ微弱ナリト雖モ、其病芽ヲ飲用水中ニ在ラシムヘキモノニアラサレハナリ、尙ホ之ヲ約言スレハ疾病ハ之ヲ治療センヨリ之ヲ豫防スルノ優レルニ若カサルナリ、又タ細菌學士ノ方モ尙ホ是レ其主張スル所全ク強健ナリト云フヲ得サルナリ、是レ他ナシ、或ル格段ナル局所ヨリ來レル所ノ下水中ノ細菌ハ之ヲ除却スルコトヲ得ヘシト雖モ、斯ク除却法ヲ行フタル液體中ニ尙ホ不潔ナル有機物ノ存スルアリテ

疾病ヲ醸成スル素因タレハナリ、而シテ今日ノ智度ヲ以テ考フルニ、傳染病ト下水ノ汚穢トノ關係如何ト云フニ、彼ノ化學上ノ清化法ノミニテハ尙ホ不充分ナリト云ハサルヲ得ス、從ツテヨリ以上ノ清化法ヲ行フコトコソ望マシケレ、即チ細菌除却法ヲ行フコト是レナリ、又タ此際左ノ如キ説ヲ主張スルモノアリ、曰ク下水ハ固ヨリ社會ニ實際危害ヲ與フルモノナレトモ、之ヲ河水中ニ放流スルモ、其河水ニシテ惡臭ヲ生スルカ如キコト之レナシトセンカ、是レ其下水ノ汚穢ナル度合左マテニ甚ハタシカラサルモノナリト云ツヘキナリ、斯クノ如キ下水ヲ清化セシムルノ適當ナル方法ハ、彼ノ下水處分事業中ノ濾過法ヲ用ヒテ然ルヘキナリト、然レトモ記者ハ斯ル説ニ對シテ同意ヲ表スルヲ躊躇スルモノナリ、今マ試ミニ斯ル清化法ヲ行フノ場合アラニ、之ニ從事スル工夫ノ不注意ナルコト、其監督ノ不行届ナルコト、若シクハ濾過床其モノニ不完全ナル所アリタリトセンカ、斯ル場合ニ於テ其結果如何ハ得テ想像スヘキノミ、彼ノハムブルグニ於テ過般虎列拉病ノ流行セシ場合ノ如キハ不結果ノ好適例ト謂ツヘキナリ、同一ノ事柄ニ就テ過去ノ不結果ヲ見テ將來ニ同シク不結果アルヘシト推定スルハ人事上當然ノ事ト云ツヘキナリ、種々ノ下水處分法多年間行ハレタリト雖モ、好結果ヲ得タルモノ甚ハタ少ナク、多クハ是レ不結果ニ終リタリシナリ、彼ノ下水中ニ含有セル病原的有機物ノ公衆衛生上ニ有害ナルコトハ亦タ疑フヘカラサルナリ、須ラク各種ノ清化法ニ從ツテ斯ル有機物ヲ除却スルノ方法ヲ考究セサルヘカラス、然レトモ清化法ヲ實行スルニ就テ要スル所ノ費用ノ點モ亦タ深ク考フル所ナクンハアルヘカラス、如何ニ完全ナル方法ト雖モ之ニ要スル所ノ費用極メテ莫大ナリトセンカ、折角ノ良法モ之カ爲メニ實行スルコト能ハサルナリ、パスチユアー氏式ノ濾

過法ノ如キハ蓋シ此種ニ屬ス

今マ理想上適當ナル下水清化法即チ下水中ニ含有セル有機物ヲ除却スル方法ヲ舉レハ左ノ如シ、曰ク(一)先ツ設計費ノ少ナキ事、(二)實行上(イ)材料、(ロ)勞力二者ノ廉價ナル事、(三)如何ニ多量ナルモ其性質有毒ナラサル事、(四)其有種種々異ナル所アルモ容易ニ整頓セシメ得ヘキ事ノ如キ是レナリ、今マ記者ノ信スル所如何ト云フニ、下水中ノ有機物ヲ除却スルニ就テ最モ費用少ナクシテ學術上ニ適スル方法ハ、電氣應用ノ重曹稀薄液ヲ用フルニアリ、蓋シ此方法タルヤ決シテ新説ニアラス、最モ知名ノ學士ノ實驗スル所ニシテ、費用少ナク且ツ細菌除却ニ就テ有効ナルモノナリ

○蘇格蘭ノ聯合衛生會

アベルデーニ於テ開催サレタル年會

アベルデーニ於テ開催サレタル年會ニ於テ去ル木曜日第三十三次蘇格蘭聯合衛生會年會開催セラレタリ

先ツ開會ノ初メニ於テアベルデーノ地方長官レキサンダー、リオン氏立チテ來會ノ諸氏ニ對シテ歡迎ノ挨拶ヲ爲シタリ、今マ其來會者中ノ重モナルモノヲ舉レハ左ノ如シ、曰クバイレース、バーネット氏、ブリス氏、ミルネ氏、ローリマー氏、アベルデーニ公衆衛生委員會々長デエン氏、地方議會議員ダーン氏、同トッド氏、アベルデーニ衛生醫官ドクトル、マツチウ、ヘイ氏、ドクトル、レスソー、マツケンジー氏、(エジルバルフ)グレースター博士(グラスゴ)公衆衛生委員會々長ドクトル、キユーレン氏(エジン

バルフ)、地方議會議員アレデルソン氏、ドクトル、チャーマース氏(グラスゴー)及當衛生會ノ書記ゼラ
ード、ミッドルトン氏等はレナリ

右地方長官アレキサンダー氏尙ホ語ヲ繼イテ曰ク當衛生會々員諸君ニシテ此アベルデーン市ニ來集セラレ
タルハ、予ノ衷心最深ク喜フ所ニシテ之ヲ歡迎セント欲スルノ情自カラ禁スルコト能ハサルナリ、當
アベルデーン市カ自カラ誇ル所ノ事業一ニシテ足ラスト雖モ、今回ノ如ク衛生事業ニ關スル會議ノ當市ニ開
設サル、程誇ルニ足ルヘキモノハ、其他ニ曾テアラサルナリ、去ルカラニ當蘇格蘭衛生會々員ヲ歡迎スル
程深ク且ツ切ナル歡迎ヲ爲シタルコトハ未タ曾テ之レアラサルナリ、予ハ又タ之ト同時ニドクトル、ヘー
氏及カメロン氏カ當市ニ對シテ顯ハサレタル功績ヲモ併セテ附言セント欲ス、此兩氏ノ當市ニ對スル功績
ノ顯着ナルハ今更云フヲ要セス、彼等ノ賜モノトシテ水ノ供給甚ハタ潤澤ナリ、或ハ其水純良ナラスト云
フモノアルモ、此等ノ言ハ畢竟スルニ取ルニ足ラサルモノナリ、且ツ當地方ハ空氣新鮮ニシテ海濱アリ鹹
水亦タ多ク、其他死亡比例ヲ低少ナラシムル所以ノモノ少ナカラス、試ミニ見ヨ客月ノ死亡比例ハ人口一
千人ニ就テ死亡者僅カニ十人五九ニ過キサリシナリ、尙ホ前週間ノ死亡比例ニ就テ之ヲ云ハンニ、同シク
人口一千人ニ就テノ死亡數ハ僅々十人九ニ過キサリシナリ、最近ノ死亡比例其レ斯クノ如ク僅少ナルカ故
ニ、當會員諸君ノ當地ニ滯在中重症ノ疾病ニ侵サル、カ如キコトハ殆ント之レナカルヘシト信ス、當地方
ノ者カ會員諸君ノ健康保護ニ留意セルハ云フマテモナク、叮嚀懇切以テ其生命ヲ危フセシメサルヘク、飽
クマテ歡迎ニ心ヲ盡シ諸君ヲシテ出來得ヘキ丈ケ愉快ニ滯在セシメント欲スルモノナリ

次ニ當衛生會々長ドクトル、ジョン、ウヰルソン氏起ツテ本會ヲ代表シテ、會員歡迎ニ對スル謝意ヲ述ヘ
且ツ會員ニアベルデーンニ滯在中便利幫助ヲ與ヘラル、諸ロノ設備ノ能ク行キ届キ居レルニハ會員一同滿
足ノ外ナキ旨ヲ述ヘタリ

斯クテウヰルソン氏ハ其席ニ就テ會長ノ意見トシテ左ノ如キ演題ニテ説キ出シタリ、曰ク

疾病及傳染

予カ今マ會長トシテ本會ニ對シテ意見ヲ述ヘ得ルハ予ノ最モ光榮トスル所ナリ、殊ニアベルデニンノ大學
ノ此室内ニ於テ斯ク予ガ説ヲ吐露スルコトヲ許サル、ノ光榮ハ何モノカ之ニ加ヘン

凡ソ人類ノ事業中慈善事業ニ屬スルモノ千種萬類ニシテ數フルニ遑マアラスト雖モ、中ニ就テ疾病ヲ豫防
シ疾病ニ伴フ所ノ痛苦悲酸ヲ輕減セシムル事務程、尊崇スヘク且ツ稱讚スヘキモノハ其他ニ決シテアラサ
ルヘシ

公衆衛生ノ事ヲ司トル官衙ノ實行セル事業ハ、皆ナレ幾干カ疾病豫防ノ事ニ關係セサルハナシ、然レ
トモ今マ此等ノ事業ヲ大別スレハ二種類ニ大別スルコトヲ得ヘキナリ、試ミニ見ヨ、家屋、給水、下水疏
通、清潔、害毒除去、工場等ニ關スル事業ハ、其目的トスル所主トシテ人ノ生活狀態ヲシテ、衛生上ニ一
層善ク適合セシメント欲スルニアリ、尙ホ之ヲ細言スレハ人ノ周邊ヲ改良シ人ノ健康狀態ヲ發達セシメテ
以テ、疾病ニ對スル抵抗力ヲ増進セシムルコト是レナリ、中ニ就テ人ノ周邊ヲ一層改良セシメタランニハ
從ツテ疾病ノ傳播感染ヲ容易ナラシムル所以ノモノヲ制限シ得ヘキモノナリ、之ヲ人ノ周邊ニ屬スル事業

ノ種類ト云フ

次ニ他ノ事業ノ種類ニ就テ述ル所アラント欲ス、即チ個人々々ニ關スル事及個人ト其周邊トノ關係ニ屬スルモノ是レナリ、例之ヘハ病院ノ事務取扱ニ關ル事、疾病ノ視察ニ係ル事、其他官吏ノ監督病原ノ研究等是レナリ、蓋シ此等ノ事務ハ直接ニ疾病及其傳染等ノ事ニ關係シ、且ツ必ラス個人々々ニ關係スヘキ事柄ナルカ故ニ、好結果ヲ奏セシメンハ尙ホ一層困難ナリト云ハサルヘカラス

又タ傳染病豫防法ニ關スル簡易ナル說ハ之ヲ附録トナシテ示スヘシ、今マ此等ニ關シテ統計的ニクタクシク述ヘサルヘシ、是レ諸君ヲシテ聞クコトヲ飽カシムルヲ恐レテナリ、僅カニ其結果ヲ擧ゲテ以テ諸君ノ參考トナルコトアラハ足ランノミ、此國ヲ通シテ八種ノ傳染病アリ、内之カ豫防法ノ改良シ得ラレサルモノハ僅カニ二種アルノミ、麻疹及百日咳是レナリ

最近十五個年間に有様ニ微スルニ公衆衛生ノ事ヲ司トレル官衙ノ行動ハ甚ハタ活潑ニシテ、公衆衛生ノ事業從前ヨリ一層善ク改良セラレ、從ツテ之ニ要スル所ノ金圓モ年々多額ニ上リシナリ、然レトモ吾人ノ皆ナ善ク知ル如ク豫防ヲ要スヘキ疾病ノ尙ホ夥多ナルハ亦タ争フヘカラサル事實ナリ、左レハ吾人ハ今マ過去ノ事ヲ兎ヤ角ト研究スルノ必要ナク、將來ノ衛生事業ハ果シテ如何ナル方面ニ向ツテ、一層善ク發展スヘキカヲ講究セサルヘカラス

疾病及其傳染性タルコトヲ認定スルノ困難、抑モ傳染病豫防法ヲ實行スルニ至ルハ、毎ニ傳染病ト認定セラレタル後ニ過キサルナリ、而シテ疾病ノ傳染性タルコトヲ認定スルコトハ甚ハタ困難ナリト云ハサルヘ

カラス、予カ公衆衛生事業ニ身ヲ委ネシ以來傳染病豫防法ヲシテ其功ヲ奏セシメサル所以ノモノハ、主トシテ其傳染病タルコトヲ認定スルコトノ困難ナルニ歸セリト思ハル、ナリ、予ハ今マ其困難ノ種類ヲ分チテ三種トナサント欲ス、即チ醫術上ノ困難、個人ニ就テノ困難、法律上ノ困難是レナリ

(一)、醫術上ノ困難、或ル疾病ハ其傳染性タルコトヲ認定セラル、前、早既ニ其病毒劇烈ニシテ傳染性タルモノ之アリ、麻疹及百日咳ノ如キモノ是レナリ、幼童ニシテ麻疹ニ罹レル者ハ四日間、百日咳ニ罹レル者ハ殆ント十日間咳ヲ爲シ噴嚏ヲ爲スモノナリ、而シテ此間既ニ他ニ傳染スル病毒ヲ發スルモノナリ、故ニ此際此等ノ父母ニシテ一層注意ヲ密ニシ、其屋内ニ充分ナル設備ヲ爲シテ、警誡スル所ナシトセンカ、續々トシテ他ニ傳染スルハ亦疑フヘカラサルナリ

(二)、或ル疾病ノ發作スルヤ其當初甚ハタ温和輕微ニシテ、其疾病タルコトヲ認定スルコト甚ハタ困難ナルモノアリ、傳染性ノ疾病スラ尙ホ且ツ其症候一定セスシテ種々様々ナルモノアリ、例之ヘハ其疾病ノ發作スル當初、其體內ニ於ル或ル微細ナル寄生蟲ト人體ノ組織ト葛藤ヲ起スノ際、其本人ハ之カ爲メニ毫モ痛苦ヲ感セス、又タ疾病ノ何タル微候タモ示サ、ルモノアリ、或ル者ハ輕微ナル痛苦ヲ感シ或ル者ハ稍ヤ重キ痛苦ヲ覺ヘ、又タ他ノ者ハ之カ爲メニ劇烈ナル痛苦ヲ受ルカ如キ是レナリ、又タ同一ノ疾病ニテモ人々ニヨリテ其初期ノ中ヨリ種々其趣ヲ異ニスルコトアルハ、既ニ世人ノ認識スル所タリ、然レトモ病原ヲ研究スル計畫ノ起リシ以來、殊ニ諸種ノ疾病ニ就テ細菌學的研究ノ起リシ以來、吾人ハ從前ヨリ尙ホ一層温和輕微ノ状態ニアル疾病ヲ認識スルニ至レリ、尙ホ之ヲ細言スレハ從前ニテハ疾病ニ罹リ居レリト認メラ

レサリシ人ニテモ、顯微鏡的試験ニ依リテ爾カノノ疾病ニ罹リ居レリト断定セラル、カ如キ是レナリ、斯ク顯微鏡的試験ノ成績上既ニ爾カノノ疾病タルコトヲ断定スト雖モ、其症候尙ホ温和輕微ナルカ故ニ其個人ニ取リテハ何等ノ痛痒ヲモ感セサルモノ、如ク、從ツテ患者トモ認メラレスシテ其儘ニ爲シ置カル、コト蓋シ珍ラシカラス、然レトモ其疾病カ他人ニ傳染シテ由々シキ重患トナレルハ、蓋シ珍ラシカラサル事實ナリ、實ニ恐ルヘキコトナラスヤ

(三)、最後ニ予カ論セント欲スルハ疾病傳染ノ事ヲ認定スルノ困難ナルコト是レナリ、今マ茲ニ猩紅熱窒扶斯熱、若クハ窒扶埤里亞ノ如キ傳染ニ罹リタル患者ニシテ既ニ本復シタリトセンカ、斯ル人ハ既ニ本復シタルカラニハ最早ヤ其病ノ他ニ傳染スル憂ヒハナカルヘシト斷言スルヲ得サルナリ、斯ル人ニ對シテハ適當ナル離隔法ヲ施コシ、且ツ其身邊周圍ノモノニ對シテ夫々消毒法ヲ行フテ後、初メテ他ニ傳染スルノ憂ヒナシト謂ツテ可ナリ

個人ト社會トノ關係、傳染病ノ苦難ヲ受ルコト貧賤ノ者ハ富貴ノ者ヨリ一層甚ハタシキハ、善ク人ノ知ル所ニシテ今更ニ贅スルノ要ナシ、而シテ貧賤ノ者ハ何カ故ニ傳染病ノ苦難ヲ受ルコト富貴ノモノヨリ一層多キヤト云フニ、貧民窟ニ於テハ傳染病ヲ認識スルコト困難ニシテ、且ツ之ヲ認識スルニ躊躇スルノ然ラシムル所ト云ツテ不可ナカルヘシ、試ミニ見ヨ貧民窟ニ於テハ好シ疾病ノ徵候アルモ其日ノノ生計ニ追レテ之ヲ顧リミルノ遑マナキナリ、例之ヘハ貧民ノ幼童ニシテ其咽喉カ痛ミ苦シムトカ、或ハ頭痛カスルトカ云ヒ出スコトアリトスルモ、其母親タルモノ左マテ之ニ注意ヲ拂ハス、斯クテハ或ハ窒扶埤里亞ニ罹

リハセヌカ、或ハ窒扶斯熱ニ侵サレハセヌカ杯ト、心配スルモノ曾テアルナシ、サレハ斯ル幼童ハ數日間若クハ數週間之カ爲メニ痛苦ヲ受クヘキナリ、此際幸ヒニシテ重症ニ陥弗ラサレハ別ニ醫療ヲ要セスシテ本復スルコトモアルヘシ、然レトモ然ラサル場合決シテ少ナカラサルヘシ、此等ノ幼童ヲ侵シタル疾病カ果シテ傳染病ニシテ、他ノ者カ之ヲ憫レンテ介抱シタランニハ、其疾病自カラ蔓延セサルヲ得ス、嘗ニ其患者ノ家族中ニ傳染スルノミナラス、延イテ其近傍ニモ傳染スヘキナリ、是レ貧民ノ傳染病ニ罹ルモノ一層多キ所以ナリ

好シ亦タ此等ノ貧民窟ニ於テ醫師ヲ呼ビ迎フルノ便アリトスルモ、傳染病ヲ認識スルノ困難ハ尙ホ未タ免カル、コト能ハス、醫師カ貧民窟ヲ得意ニシテ其生計ヲ營マント欲セハ、一日間ニ四十戸乃至五十戸ヲ回診セサルヘカラス、僅カ一日間ニ斯ク多數ノ家ヲ回診スルコトユヘ一々叮嚀懇切ニ診察スルコト能ハス、サレハ好シ傳染病ニ罹リ居ル者ニテモ尙ホ其初期ニシテ病症ノ温和輕微ナルモノハ、斯ル醫師ノ診察ヲ受ケスシテ其儘ニ經過スルモノ多シ、好シ僅カ一兩回ノ診察ヲ受ルトスルモ、其果シテ傳染病タルコトヲ認識スルハ困難ナリト云ツヘキナリ

然ルニ生活狀態カ前者ヨリ一層上等ナル西端地方ニ至リテハ、全ク反對ノ事實ヲ示セルナリ、即チ一家庭中ノ幼童ニシテ最モ輕微ナル疾病ニ罹リタリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ最モ迅速ニ之カ手當ヲ施コサ、ルハナシ、最モ適當ナル醫師ヲ呼ビ迎ヘテ之ヲ救治セシムルノ方法ヲ取ルハ云フマテモナク、若シ其症狀ニシテ窒扶埤里亞ノ疑ヒアランニハ、其患者ノ口中ヲ拭ヒ去リタル布片ヲ取リテ顯微鏡的試験ヲ行フヲ常

トス、又タ他ノ方面ニ於テハ斯ル患者ヲ離隔シテ、其病症ノ判明スルマテ、相當ナル警戒ヲ加フルコト、セリ

然ルニ貧民窟ニアリテハ傳染病ニ罹リテ死亡スル者前者ヨリ一層多キハ亦タ争フヘカラサル事實ナリ、是レ種々ノ原因アルヘシト雖モ中ニ就テ其重モナル原因ハ、適當ナル注意ヲ拂ハサルニ歸セスンハアラス、試ミニ見ヨ生計ノ程度一層高キ社會ニアリテハ、彼ノ癩疹及百日咳等ノ傳染病ニ罹リテ死亡スルモノハ、極メテ稀レナルニアラスヤ、アベルデーノ統計表ヲ一見スレハ其事實自カラ明カナルヘシ、然ルニ僅カ一室ヨリ成レル家屋内ニ住スル貧民中ノ死亡比例ヲ見ヨ、癩疹ニ就テノ死亡比例六人・八ニシテ、百日咳ニ就テノ死亡比例ハ七人・八ノ多數ナリシナリ

法律上ノ困難、右ニ掲ケ來リタルモノ、外醫術上疾病ヲ豫防スヘキ方法手段ハ決シテ少ナカラサルナリ、然レトモ今マ一々之ヲ論述スルコト能ハサルナリ、予カ今マ茲ニ論述セント欲スル事柄ハ、彼ノ傳染病ヲ認定スルニ就テノ一困難事是レナリ、其概要ヲ舉レハ左ノ如シ、曰ク判然タル傳染病ノ發シタル際、時ニ或ハ開業醫カ適當ナル時ニ臨ンテ診察スルコトヲ爲サス、若クハ誤診ヲ爲スコトアリ、之カ爲メニ其傳染病甚ハタシク蔓延スルハ、蓋シ珍ラシカラサル事實ナリ、彼ノ傳染病取締規則中ニハ醫師ヨリ診斷書ヲ添ヘテ届ケ出テシムルケ條アリ、醫師カ此ケ條ニ從ツテ届出ヲ爲ス場合ニハ其責任ヲ重ンスルカ故ニ、最モ慎重ノ態度ヲ取りテ容易ニ届出ヲ爲サ、ルナリ、即チ自カラ其傳染病ナルコトヲ確認スルニアラサレハ、決シテ斯ル届出ヲ爲スモノニアラサルナリ、好シ其病症カ避病院ヘ送付スヘキモノナリト雖モ、自カラ確

認スルニアラスンハ決シテ其運ヒヲ爲サ、ルナリ、又タ好シ傳染性ノ疾病中ニテモ室扶斯熱或ハ傳染性腦膜炎ノ類ニシテ、若干期間餘リニ廣ク蔓延セサリシトセンカ、斯ル場合ニ於テハ開業醫タランモノハ確乎タル診斷ヲ爲サシテ遲疑スルヲ常トス、開業醫ノ斯ク躊躇遲疑スルノ結果如何ト云フニ、傳染病トシテ夫々手當ヲ爲サ、ルノ前其病毒早既ニ四邊ニ蔓延セサルヲ得ス、亦タ衛生醫官ナル者カ傳染病豫防救治ニ就テ必要ナル幫助ヲ與フルハ、之カ通告ヲ得テ後與フルニ過キサルナリ、然ルニ傳染病ニ罹リタル患者ニシテ世間ニ然カク吹聴サル、ヲ嫌忌シテ、之ヲ隱蔽スルモノモ往々ニシテ之レアリ、斯ル有様ニテハ衛生醫官タルモノカ之カ豫防救治ニ就テ幫助ヲ與フルニ由ナキナリ、彼レト云ヒ此ト云ヒ實ニ歎カハシキ次第ナラスヤ、吾人ハ此邊ノ事ニ就テ適當ニ考究スル所ナクンハアルヘカラス

諷諭、傳染病ノ豫防救治上以上叙述シタルカ如キ諸種ノ困難アリ、斯ル困難ハ其レ將タ如何シテ除却シ得ヘキカ、其之ヲ除却スルノ方法手段ハ予カ上來述ヘ來リタル話説中ニ諷諭シ置キタレハ、今更喋々セサルモ既ニ諸君ノ心中ニ了解セラレタルモノト信スルナリ、而シテ其困難ヲ除却スルノ方法手段中ニハ、醫學上ノ研究ヲ要スヘキモノモ少ナカラサルヘキナリ、今マ地方廳タルモノカ細菌學研究所ノ如キモノヲ設ケテ醫學上ノ發達進歩ヲ計ル方法ヲ考究スルハ、最モ重要ナル問題ト云ハサルヘカラス、而シテ此細菌學研究ナルモノハ公衆衛生ノ當局者ト須ラク聯絡一致スヘキモノト予ハ深ク信スルモノナリ、抑モ傳染病ノ發生ヲ見顯ハシテ適當ニ之カ豫防法ヲ施コサント欲セハ、必ラスシモ醫學之ニ伴ハサルヘカラス、然ルニ此際一ノ疑問ナクンハアラス、曰ク近年醫學ノ進歩發達著シキモノナルカ、斯ク進歩發達セル醫學カ實際傳染病

ノ豫防救治上ニ應用セラレタルノ度合如何ノ疑問是レナリ、今マ實際ノ例證ヲ掲ケ來リテ以テ其應用ノ度合如何ヲ示サント欲ス、彼ノ窒扶埤里亞ノ如キハ醫學上其當初ニ於テ之ヲ認定スルコトヲ得ヘキナリ、好シ此病ニ侵サレタルモ適當ノ藥劑ヲ用ヒタランニハ、危キ生命ヲモ繋キ留ムヘク、亦タ其患者ニ接シテ感染シ得ヘキ者モ保護セラル、コトヲ得ヘキナリ、醫學上ヨリ説ク所ニ依レハ窒扶埤里亞患者ハ決シテ死亡スヘキモノニアラスト云ヘリ、然レトモ事實ニ至リテハ然ラサル所アルヲ如何セン、試ミニ彼ノ死亡登記ナルモノヲ見ヨ、其死亡者中ニ窒扶埤里亞ニ罹リテ死亡セルモノ毎年九百人以上アルニアラスヤ、又タ傳染病豫防救治上ノ一策トシテ、現行ノ傳染病届出條例ヲ改正スルノ必要アリト謂ツヘキナリ、蓋シ此届出條例ナルモノハ苟クモ患者ニシテ傳染病ノ疑ヒアルモノアラシカ、斯ル場合ニ於テハ其患者ヲ診察セル醫師ヨリカ、若クハ家族ノ者ヨリ其筋ヘ届ケ出テシムルモノ是レナリ、而シテ此届出條例ナル者カ善ク實行サレタランニハ、傳染病ノ豫防救治上ニ一層多クノ利便アルヘキナリ、曰ク醫師カ貧民窟中ニ入りテ患者ヲ診察シタル場合、彼ノ傳染病ノ疑ヒアリテ其旨其筋ヘ届ケ出テタランカ、斯ル場合ニ於テハ其筋ヨリ相當ノ者ヲ差シ向ケテ、細菌検査ヲ行ハシメ以テ右醫師ヲ幫助スルカ如キモノ是レナリ、而シテ醫師タル者ハ斯ル幫助ヲ利用シテ事ニ當ルヘキ職責ヲ有スルモノナリ、然レトモ醫師カ斯ク爲サンニハ勞ト時トヲ費ヤサ、ルヘカラス、貧民窟中ノ醫療、斯ル時間ト勞トヲ費シタルニ對シテノ報酬如何、得テ想像スヘキノミ、故ニ醫師トシテ貧民窟ノ患者ヲ治療センハ、中心決シテ悦フ所ニアラス、殊ニ傳染病ニ於テ然リト云ハサルヘカラス、然レトモ今マ假リニ相當ノ生計ヲ營メル者ノ中ニ窒扶斯熱ニ罹リタルモノアリトセンカ、

斯ル場合ニ於テハ醫師クラン者若干期間ハ毎日少ナクモ二回ハ其患者ノ往診ヲ必要ト認メサルハナカルヘシ、且ツ其病症已レ一人ニテハ稍ヤ不安心ナリト思惟シタランニハ、其相談相手ニ他ノ同業者ヲ呼ビ迎フルヲ常トス、畢竟スルニ是レ報酬ノ然ラシムルニ外ナラス、然レトモ貧民ハ悲イカナ斯ル便益ヲ有セサルカ故ニ、其管轄地方廳タランモノハ貧民ノ傳染病ニ罹リタル場合ニハ、須ラク注意シテ醫療ノ手當等充分ニ行キ届カシメンコトヲ要ス

ドクトル、ウヰルソン氏ハ右ノ如ク述ヘ終リテ後更ニ傳染病ニ關スル統計表、及蘇格蘭ニ於テ採用サレタル一層重要ナル傳染病豫防法ヲ示シタリ

會長ノ此演説ニ對シテハ會衆一同中心ヨリ出テタル感謝ノ挨拶ヲナシヌ

● 腦脊髄膜炎

ドクトル、チャルコーズ氏(具羅斯哈市ノ人)ハ腦脊髄膜炎ニ關スル左ノ如キ意見書ヲ朗讀シタリ
茲ニ一ノ疾病アリ其行政上ノ取締ヲ受ルニ至リタルハ全ク軌近ニ過キサリナリ、而シテ此疾病タルヤ豫防スヘキ傳染病ノ表中ニ加フヘキコトニ就テハ、衆人皆ナ一致同意シテ異論ナキコトコソ望マシケレ
予ハ此腦脊髄膜炎ノ事ヲ本會ノ討論題トシテ提出シ、而シテ此疾病ニ關シテ實地經驗アル人ヨリ其說ヲ聞カント欲スルモノナリ、故ニ予ハ此問題ヲ本會議事ノ「プログラム」中ニ加ヘ置カレンコトヲ切望シテ止マサルモノナリ

予ハ自カラ以爲ラク此問題ヲ本議案ノ一ニ加ヘ置キタランニハ、此病ニ關スル左記ノ如キ事實ハ自カラ

明カニナリ得ヘキナリト

(第一)、此病ノ性質

(第二)、同時ニ起レル他ノ病トノ關係、及其發生セル當初ノ情況

(第三)、其蔓延セル進路

(第四)、最モ有効ナリト思ハル、豫防法

第一、此病ノ性質如何ニ就テ聊カ論述スル所アラント欲ス

抑モ此病ノ性質タルヤ其名ノ示スカ如ク腦及脊髓ノ周邊ノ膜ニ變狀ヲ呈スルモノ是レナリ、而シテ之ニ對スル現今ノ治療法中改良ヲ要スヘキモノハ只タ僅カニ之レアルノミ、且ツ其病症ハ甚ハタ危險ナルモノナリ、凡ソ此病ニ罹リテ死亡スル者ノ比例ハ極メテ多キナリ、即チ四人ノ患者中三名マテハ其死ヲ免カレサルナリ、好シ又タ全癒スルトシテモ其全癒スルマテハ、數多ノ時月ヲ費ヤサルヘカラス、之ニ加フルニ何等カノ不具トナルモノ多キモノ、如シ、時ニ或ハ一生涯ノ不具者トナリ、其不具ハ神經系ノ不具ト相伴フモ、如ク、思ハル、ナリ、即チ聽神經痛ク遲鈍ニナルカ、若クハ全然聾者トナリ果テルモノ最モ多キニ居レリ、殊ニ其劇症ナルモノニ至リテハ發病後僅カニ十二時間乃至十八時間ニシテ斃ル、ナリ、然レトモ通常數週間ハ維持スルモノナリ

右ハ予カ此病ニ就テ知レル所ノ概略ニ過キサルナリ、而シテ予以爲ラク此病ノ及ホス害毒ノ度合如何ハ蔓延ノ區域如何ニ依リテト知スヘキナリト

而シテ此腦脊髓膜炎ノ危險ナルコトハ、予カ既ニ前段ニ於テ述ヘタル如ク四人ノ患者中殆ント三人ハ死亡スル程ナリキ、此患者ニシテ死亡數ノ斯ク非常ニ多キハ果シテ何ニ原因スルヤト云フニ、予ノ考フル所ヲ以テスレハ臨床診斷ノ智識不充分ナルニ歸スヘシト思ハル、ナリ、此疾病モ亦タ是レ他ノ傳染病ノ通則ト均シク、其發病當時ノ症候ニ至リテハ決シテ一定スル所アラス、其間必ラスシモ輕重ノ差ナクハアルヘカラス、然ルニ萬篇一律同様ノ診斷ヲ下サンカ、是レ誤解ナリト云ハサルヘカラス、斯ク其當初ノ診斷ノ誤マレルコト其死亡數ノ非常ニ多キ所以ナランカ、發病ノ當初甚ハタ輕症ナリトノ診斷ヲ下シタランモ、其實決シテ然ラサルカ如キ場合往々ニシテ之レアルヘキナリ、是レ誤診ニアラスシテ何ソヤ、發病當時ノ診斷ハ斯ク誤リ易キモノナレハ、其際最モ深ク留意スル所ナクハアルヘカラス、予以爲ラク彼ノ「インフルエンサ」ノ中ニハ是症候全ク疑ハシキモノアリテ、恐ラクハ肺病ト誤診セラル、場合アリ、故ニ決シテ輕々シク診斷ヲ下スヘキモノニアラス

此腦脊髓膜炎モ其發病ノ當初ハ其症候甚ハタ輕微ナルカ故ニ、從ツテ斯ル疾病ト認定セラレスシテ空シク經過スルコト少ナカラス、蓋シ此事ヲ其心中ニ存シ置キテ診察シタランニハ、其疾病ヲ認識スルノ一助トナルニ相違ナカルヘキナリ

今マ又タ此腦脊髓膜炎ト最モ親密ナル關係ヲ有スル疾病ノ事ニ就テ聊カ論スル所アラント欲ス「インフルエンサ」及肺病ノ如キ疾病是レナリ中ニ就テ肺病ノ死亡比例カ此數年間著シク増加シツ、アルハ、亦タ疑フヘカラサル事實ナリ、是レ最モ注意スヘキコトナラスヤ、且ツ此肺病ノ特有性ヨリ一種ノ腦脊髓膜炎

ヲ惹キ起スコトアリ、而シテ其一種ノ腦脊髄膜炎ノ性質タルヤ、臨床診斷上今日ノ所謂ル腦脊髄膜炎ト殆
ント區別シ難キモノ之レアリ、又タ一方ノ「インフリュエーション」ハ如何ト云フニ、十七年間繼續シテ流行
シタリシカ、其或ル發病ニ際シテ明カニ其神經上ニ一ノ症候ヲ顯ハセルヲ見出スコトアリ、而シテ過去ニ
於ル此「インフリュエーション」流行記事ヲ見ルニ、其中今日ノ所謂ル腦脊髄膜炎ト殆ント同一ナルモノカ、
其ノ發作形態モ同一ニテ發作シタル事實ヲ見ルヘキナリ、斯クテ予ハ更ニ諸君ノ清聽ヲ煩ハサント欲スル
一事ノアルアリ、目今ニ於ル腦脊髄膜炎ノ傳染形態ヲ述ヘント欲スルコト是レナリ、予ハ今マ此事實ヲ述
ント欲スル方リテ、予カ讀了シタル一書ノ概要ヲ左ニ抄録セント欲ス

具羅斯哈市ニ於テハ此腦脊髄膜炎カ最モ廣ク蔓延シタリ、而シテ此病ニ侵サル、モノハ重モニ幼童ニシ
テ、其發病ノ時日タルヤ互ニ關係ヲ有シタルモノ、如シ、然レトモ其傳染ノ中心點トモ謂ツヘキ個所ハ
通常見出スコト能ハサリシナリ

又タ此病ノ發生スル通常ノ有様ヲ見ルニ、其傳染スル區域カ或ル局部ニ限ラレテ、其周邊ニ蔓延セサル
モノ、如シ、而シテ其發病セル有様ヲ見ルニ多クハ是レ彼ノ實布埜里亞ノ如ク何等カノ媒介ニ依リテ感
染スルモノト見ヘタリ、然レトモ或ル限ラレタル場所ニテ其空氣ヲ不潔ナラシムルカ如キ場合アリトセ
ンカスル場合ニ於テハ實扶斯熱若シクハ麻疹ノ如ク其空氣ヨリ傳染スルモノナリ、即チ其不潔ナル空氣
ヲ呼吸スル者ノ大半ハ此病ニ罹レルモノナリ

此病ノ蔓延ト不衛生ノ有様トハ極メテ親密ノ關係ヲ有スルモノナリ、例之ヘハ此病ニ罹レル患者ノ臥シ

居ル所カ狹隘ナル一室内ニシテ、其室内ノ空氣甚ハタ不潔ナリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ他ニ蔓延ス
ルノ勢ヒ甚ハタシキ如キ是レナリ

又タ此病ニ罹レル者大ニ増加シタランニハ、數多ノ人カ殆ント同時ニ感染スルコトアリ、或ハ僅カニ一
日若シクハ二日間ノミ隔テ、感染スルモノアリ、然レトモ其晚キニ至リテハ一二週間ノ後ニ發病スルモ
ノアリテ必ラスシモ一定シ居ラス

腦脊髄膜炎患者ヲ收容セル病院ニ在リテハ、醫員及看護婦ニシテ此病ニ感染シタルモノ曾テアラサルナ
リ、然レトモ予ノ使ヒ居タル助手ノ一人ハ不幸ニシテ感染シタリ、此助手ハ該病患者ノ家ニ往診シタル
日ヨリ六日目ニ感染シタルモノナリ、而シテ此助手ノ往診シタル際嘔氣ヲ催フスヘキ一種ノ惡臭ヲ聞キ
タリシト云フ、其空氣ノ不潔ナリシコト得テ想像スヘキノミ

此ニ由リテ是レヲ觀レハ此病ノ傳染スル度合如何ハ、其不衛生ナル有様ニ遭遇スル人ノ感受性如何ト、
其不衛生ナル有様ニ暴露セラル、度合如何ニ依ルコト得テ知ルヘキノミ

幼童ノ鼻喉組織カ極メテ鋭敏ナランカ、是レ外界ノ刺激ニ甚ハタ感シ易キモノナリ、又タ幼童ヲ他ヨリ
頻々接吻スルノ習慣カ流行スルコトセンカ、是レ他ヨリ有機物ヲ其幼童ニ移スノ媒助タルヘキノナリ
今マ之ヲ換言スレハ二者共ニ腦脊髄膜炎ニ罹リ易キモノナリ、而シテ或ル場合ニ於テ彼ノ幼童カ年稍
ヤ長シテ、其鼻喉組織ノ鋭敏ナルコトカ既ニ中止サレタリンセンカ、斯ル場合ニ於テハ以來此病ニ罹ル
ノ機會一層少ナクナレリト云フ

今マ吾人カ個人ノ一身上ニ係ルコトヲ止メテ、其周邊ノ有様如何ニ注目スルトセンカ、即チ空氣ノ不潔ナルカ如キ、殊ニ人ノ呼吸スルカ爲メニ其空氣カ不潔ニナリタリトセンカ、是レ此病ニ罹リ易クナレル顯象ニシテ實ニ由々シキ一大事ト云ハサルヘカラス

然レトモ病ノ感受シ易キ者若シクハ其周邊ノ有様甚ハタ不適當ナル者カ、強チ第一ニ發病スルトモ限ラサルモノナリ、サレハ此病カ如何シテ社會中此患者ト毫モ關係ナキ者ノミナラス、其他遠隔ノ地方ニ傳播スルカ、是レ吾人ノ一考ヲ要スヘキモノナリ

予輩ハ今マ以上掲ケタル數項中ヨリ或ルモノヲ抜粹シ來リテ、尙ホ仔細ニ研究セント欲ス

年齢ノ關係、發病ノ時日ト場所ノ異ナルニ從ツテ、罹病者ノ年齢モ亦各自カラ異ナレルモノ、如シ

ドクトル、グリムサウ氏カ腦脊髄膜炎ノ愛爾蘭ニ發生シタル事ヲ記載シタル書類中ニ曰ク、此病ニ罹レルモノハ通常成年ニ間近キ者、若シクハ成年ニ達シテ幾干モ經サルモノニ多シ、然レトモ幼童中ニモ亦數々發シタリシナリ

ジヨネスバルグニ於テ近コロ發病シタル時ニハ、白人種ノ幼童トカツフヒア一族ノ成年者ヲ侵シタリシナリ、但シ此等ノ成年者ハ鑛山事業ニ身ヲ委ネ居タリシモノナリ

又タドクトル、ターヴスノ此病ニ關スル報告書ニ曰ク、紐育ニ於テ發生シタル時其患者百分ノ九十一ハ十月五月以内ノ幼者ナリシカ、具羅斯哈市ニ於テハ其ノ流行ノ時ヲ異ニシテ、同百分ノ八二乃至八七ナリシナリ

イ表

年齢ニ關スル患者ノ百分比例

一歳	九三八	二三	二一	六	三				
五歳	一八	二〇五	一〇二	四四	三九	二九			
十歳	一四・五	三三八	一八・二	一一・六	五・五	二・八	五・五	二・八	一・七
十五歳									
二十歳									
廿五歳									
卅五歳									
四十五歳									
五十五歳									
五十五歳以上									

然レトモ予輩ノ知レル所ノ他ノ方面ニ於テハ、一歳未満ノ幼童ニシテ此病ニ罹レルモノ百分ノ十五以上ニ達セリ、但シ百分ノ二十四ハ全ク人ノ乳ヲ以テ養育セラレタルモノニシテ、此等ノ幼童ハ皆ナ是レ此病ニ罹ラサルモノ、中ニアリ、去レハ其食物ノ如何ニ依リテ傳染スルトセサルトノ別アルコトヲ證スルニ足ルヘシ

傳染ノ模様、今表ニ依リテ此病ノ傳染セル模様ヲ示サント欲ス、即チ(イ)表ハ發病者ノ増加セル有様ヲ示シ、(ロ)表ハ個人ノ家族内ニ於テ猶豫アル第二ノ發病數ヲ示シ、(ハ)表ハ患者ニ接觸スルヨリ發病シタルモノヲ示シ、(ニ)表ハ傍側ノ蔓延ヨリ發生シタルモノヲ示シタルモノ是レナリ

(イ) 患者増加ノ有様、一千九百六年中ニ個々別々ノ家族内ニ此病ノ發生シタル者其計百八十六軒ノ多キニ及ヘリ、然レト内一人以上ノ患者發生ノ家ハ僅カニ七軒ニ過キサリシナリ、之ヲ全數ノ百分比例ニシ

テ見レハ僅カニ百分ノ四弱ニ過キサリシナリ、然レトモ他ノ方面ヨリ之カ觀察ヲ下サンニ、同年ノ最初三個月間ハ其病勢極メテ甚ハシカリシナリ、即チ此病ニ侵サレタル家屋ノ百分ノ七・五ハ更ニ患者ノ増發ヲ見タリシナリ、其病勢漸次激甚ヲ加ヘ來レルモノト見ヘタリ、今其一例ヲ掲ケ來ランカ、此等ノ病家中ノ一ニシテ其家屋ノ廣サニ割合ニ人數多クシテ、殆ント充溢センハカリナリシカ、此病ノ外ニ最モ激烈ナル窒扶斯熱患者ヲ併發シタリ、其家族其計十名ノ内五名病臥シタリシナリ、其家屋全般ノ廣サ如何ト云フニ、立方呎ニシテ二千一百呎ニシテ此内ニ大人五名幼童五名合セテ十名棲息シ居レルカ故ニ、其有様ノ如何ナリシヤハ得テ想像スヘキノミ

此病ニ侵サレタル家屋ノ衛生上ノ有様如何、凡ソ流行病發生スルノ場合ニ於テ衛生家カ夫々適當ナル處分ヲ爲スノ際、不衛生ノ事柄カ其病勢ヲ盛ンナラシムルコトハ、何人モ異論ナキ所ナルカ、其不衛生ノ腦脊髓膜炎ニ影響ヲ及ホスノ度合ハ、他ノ疾病ニ比較シテ、一層輕少ナルハ亦タ疑フヘカラサル事實ナリト思ハル、然レトモ予輩以爲ラク衛生上最モ大切ナル事ニ就テハ常ニ注意ヲ怠ルヘカラス、是レ他ニアラス、空氣流通ノ便宜シカラス、空氣ノ不潔ナルヨリ此病ノ發生スル場合甚ハタ多ケレハ、此事ニ就テハ最モ深キ注意ヲ拂ハサルカラス

一旦此病ニ侵サレタル家屋ニハ概シテ清潔法ヲ行フコト、セリ、而シテ其清潔法ヲ行フヤ其地方ニ於テ普通一般ニ行ハル、標準ニ基ケルモノナリ、是レ然ルヘキコトニシテ更ニ異論之レナキモ、復タ他方ニ於テ不潔ト云ヘル通語ヲ忘ルヘカラス、殊ニ人ノ常ニ呼吸スル空氣ノ清潔ト否ナトニ就テハ最モ深ク留意セサ

ルベカラス

ロ表

互ニ大サヲ異ニセル家屋ニ發生シタル此病ノ割合ト此等ノ家屋内ニ棲息セル人數ノ割合トノ比較

一 室ヲ有スル家屋 二 室ヲ有スル家屋 三 室ヲ有スル家屋 四 室及ヨリ以上ヲ有スル家屋	(一) 發病ノ割合 一九〇六年	(二) 大サヲ異ニセル家屋内ニ住居スル人員ノ割合(一九〇三年ノ戶籍調査ニ據ル)	(三) 發病ノ割合 (自一月至三月) 一九〇七年
	二二	一四	一八
	六二	四七	六一
	一四	二一	一五
二	一〇〇	一〇〇	一〇〇

ハ表

此病ニ侵サレタル家屋内ニ住居セル者ノ員數ト、此等ノ家屋ト同一ノ大サヲ有スル總テノ家屋内ニ住居スル者ノ平均數トノ比較

一 室ヲ有スルモノ	家屋ノ大サ	此病ニ侵サレタル家屋 一九〇六年	平均ノ居住者 (一九〇一年ノ戶籍調査ニ據ル)	此病ニ侵サレタル家屋 一九〇七年(自一月至三月)
		四・三	三・一八三	四・一

二室ヲ有スルモノ	六〇	四九二七	六一
三室ヲ有スルモノ	六七	五四〇九	七四

ニ表

毎戸此病ニ侵サレタルモノ、員數	家毎ニ居住スル者			
	一室ヲ有スルモノ	二室ヲ有スルモノ	三室ヲ有スルモノ	四室ヲ有スルモノ
毎戸一人	四二	五八	七四	七二
同 二人	五〇	七〇	七五	七五
同 三人	五〇	八〇	八〇	八〇
同 四人	—	八〇	—	—
同 五人	—	一〇〇	—	—

(ロ) 猶豫アル第二ノ發病、此病ニ侵サレタル家屋ニ對シチ一旦消毒法ヲ行フタル後、更ニ發病スルノ實例少ナカラス、而シテ此數個ノ實例中此發病ト彼ノ發病トノ中間ニ其期間ノ長短ナクンハアラス、今マ其實例ヲ左ニ示スヘシ

彼ノ病家ニ消毒法ヲ行フタル時ト其後發病シタル時トノ中間ナル期間

日數	週數	月數
一一三	二	四二
一四六	三	四二
一七九	四	二三

發病數	二	一	一	一	一	三	一	四
-----	---	---	---	---	---	---	---	---

此表ニ依リテ之ヲ見レハ、彼ノ病家ニ消毒法ヲ行フタル日ヨリ、以後五日間ニ發病シタルモノ六名アリシヲ證スルニ足ルヘシ、此等ノ發病者ハ皆ナ是レ以前ノ患者ニ直接ニ觸レタルヨリリ感染シタルモノナルヘシ、尙ホ彼ノ消毒後二週間内ニ發病シタル者ハ恐ラクハ矢張り直接ニ前患者ニ觸レタルモノト見テ妨ケナカルヘシ、然レトモ彼ノ消毒後二ヶ月ニシテ發病シタルモノ四名ハ、或ハ更ニ此病ニ侵サレタルナラント推定スルモ妨ケナシト雖モ、其感染ノ有様ヲ見ルニ矢張り前患者ヨリ傳染シタルモノト認定シテ然ルヘシ只タ其發病ノ時期晚レタルニ過キサルノミ

(ハ) 患者ニ觸接シタルヨリ發病シタルモノ、患者ニ觸接シタルヨリ其病ニ感染セルモノ、内ニハ、其觸接後僅カニ一日ヲ經過セサル内ニ發病スルモノモ之レアリ、然レトモ其觸接後二週間、殊ニ甚ハタシキハ二個月後ニ發病スルコトサヘアリ、其期間ノ遅速ハ決シテ一定シ居ラサルナリ

公衆衛生及地方政務案

(バブリック、ヘルス、アンド、ローガル、ガバーンメント、ビル)

第一讀會

(一千八百七十一年七月二十五日)

サー、チャーレス、アッダーレー氏 公衆衛生及地方政務ニ關スル法律ヲ改正シテ之ヲ統一スルノ議案ヲ

提出シ其理由ヲ述ヘテ曰ク本案ハ議案組織ヲ以テ編成セル衛生委員ノ報告書ニ由ルモノナリ衛生委員ノ第一主眼ハ衛生事務及地方政務ニシテ過ル二十五年間ニ於テ片々隨時議會ヲ通過シタル諸法律ヲ一括シテ一大法制ト爲サントスルニアリ該諸法律ハ各特種ノ性質ヲ有シ除害條例(スイザンス、リムーヴアル、アクト)病疾豫防條例(ブレヴエンション、ヲフ、テスイーセス、アクト)下水利用條例(スウェトジ、ユテリゼーションアクト)衛生條例(サニタリーアクト)普通地方政務條例(ゼネラル、ローカル、ガバーンメント、アクト)等ニシテ一千八百四十八年及一千八百五十八年ノ間ニ發布シタルモノヲモ含有シ且吸烟及食物ノ妨害都府改良及市街道路ノ改善ニ關スル諸規則モ含有スルカ故ニ本案ニ由レハ少クモ二十ノ諸條例ヲ一條例ニ一括スルヲ得ルモノナリ元來此等既定ノ諸條例ハ各特種ノ性質アリト雖モ重複ノモノアルカ故ニ之ヲ總括シテ一法令トナスハ實地ノ便宜法ニシテ實際錯雜ノ諸法律ヲ廢止センコトヲ希望スルモノナリ

彼ノ諸條例ハ隨時各議員ヨリ特別ノ理由ニヨリテ提出セラレタルモノニシテ多クハ所謂一時試驗的法律ナリシヲ以テ深ク既定ノ法律ニ鑑ミテ考查シタルモノ甚タ少シ今ヨリ二年前ノ選出ニ係ル衛生委員ハ上下兩院議員、學識經驗アル醫師、帝室技師土木技師高名ナル法律家及政府官吏其他各種ノ永久事務ニ參與スルモノ等ヨリ組織セラレ各種ノ人々ヨリ成レリ然レトモ未タ衛生上ニ關スル完備ノ法律ナリ又恰當ノ行政機關ナシ而シテ今日ノ現況ニアリテハ除害ノ事(リムーヴアル、ヲフ、スイザンス)ハ屢々刊法院ノ訴訟ニ上リ極メテ無用ノ費金ヲ要シテ其効ナシ法律不完備ニシテ其實用ナキノミナラス錯綜混雜ノ法律ニ

支配セラル、カ故幾多ノ官衙ヲ設ケ官吏ノ給料ニ費ス所亦少カラズ故ニ機關備具セルカ如クニシテ更ニ其効力アラサルナリ

故ニ衛生委員ノ重要ナル第二ノ目的ハ國中ノ諸官ヲ合并シ各種ノ諸法律ヲ統一セントスルニアリ此諸官衙中ニハ各種ノ地方官廳改正委員會、下水署除害官廳(スイザンス、ヲフリター)ヲ包有シ地方區ニ於テハ衛生事務ヲ或ハ教會委員又ハ管吏委員會(ポールド、ヲフガータアンス)ニ委任シ裁判權ニ屬スルモノト屬セサルモノトアリ而シテ公衆事業又ハ普通衛生事務ノ缺亡アルニ當リ又ハ人民住處ノ近傍ニ除害事件ノ必用アルニ際シ之ヲ國會議員ニ訴フルトキハ議員ハ何レノ官衙ニ申請スルノ相當ナルヤヲ判明シ得ヘキヤ否ヤ疑ハサルヲ得サルナリ

衛生委員ノ第三ノ目的ハ從來各種衛生法律ノ適用ハ實際有名無實ナリシヲ以テ大不便ヲ除却セントスルニアリ而シテ此法律ノ責任ヲ設備シテ其權利ヲ應用スルハ各地方ノ自由選擇ニアルモノナリ今ヤ委員ハ新ニ官衙ヲ設クルノ意見ヲ提出スルノ必用ナシト雖モ既定ノ法律ニヨリテ現在ノ官衙組織ヲ實施セント欲スルノミ決シテ殊更ニ奇說ヲ弄スルニ非サルナリ國中ノ諸都府ニハ既ニ都府會又ハ都會委員ノ組織アリ又都會ニヨリテハ地方會(コトガル、ポールド)ノ組織アリ其他ノ地方ニアリテ衛生法律ヲ執行スルノ機關ハ管理委員會(ポールド、ガータアンス)ヲ以テ最モ適當ノモノト爲スヘシ是レ衛生委員ノ意見ナリマンチエスター、リバープール、バルミンダ、ハム其他ノ大都會ハ本案ノ關係スル所ニアラス此等ノ大都會ニハ既ニ各其地方條例アリテ從テ恰當ノ官衙アルカ故ニ充分ナリ只本案ハ此大都會ニシテ自ラ望マハ其

法律ヲシテ普通大法ニ該當セシメ普通法ノ條項ヲ其地方條例ニ適用スルノ便益ヲ得セシメント期スルノミ普通大法ヲ設ケ之ヲ地方條例ニ適用スルノ便利アルコトハ明瞭ニシテ疑フヘカラス

衛生委員ノ注意ヲ要セル第四ノ點ハ現行地方政務ノ區域錯綜シテ互ニ相混雜スルコトナリ之ヲ例セハ「ベツター、セシヨナル、デストリクト」ト「ブーア、ロー、ユニオン」トノ區域相一致セスシテ或ハ二三郡ニ跨ルモノアリ又大道區（ハイウエー、デストリクト）ノ如キハ其區域極メテ不規則ニシテ不便甚シ各種ノ地方政務ニシテ其區域錯雜セルトキハ爲ニ無用ノ政費ヲ要スルコトヲ免レサルナリ云云

時ニ四十名ノ議員缺席シタリトノ注意ヲ爲スモノアリ仍テ議員ノ數ヲ調査シタルニ四十名ハ出席シタルコト判明セリ

サー、チャールレス、アツダーレー氏尙ホ前論ヲ主張シテ曰ク本案第五ノ目的ハ中央官廳ヲ倫敦ニ設ケ地方官廳ノ政務ヲ統一シ其事務ヲ獎勵補佐スルニアリ故ニ本案即救貧局長ノ立案ニ反對スルモノ、論理ヲ發見スルコト能ハス彼等ハ中央官廳ノ設置ヲ必要ト認メサルヤ又ハ中央官廳ノ設備ナクシテ地方政務ヲ充分ニ實施スルヲ得サルトナスヤ否ヤ其意ヲ解スル能ハサルナリ元來中央官廳ヲ設クルノ主旨ハ地方實施政務ノ實施ヲ獎勵セントスルニアリ地方官廳ニ於テハ其地方政務ヲ執行スルノ外更ニ熟練達識ノ技術官ヲ要スルノ責務少カラサルカ故ニ中央官廳ノ裁判ヲ仰クヘキ事件モ亦甚多キニヨリ統一ノ中央官廳ヲ設クルノ必要アルヲ信スルナリ現在ノ中央官廳ハ充分其希望ニ應スルヲ得ヘキヤ否ヤハ一大疑問ナルヘシ現在ノ中央官廳ニシテ地方政務ニ關スルモノ大別シテ四トナスヘシ内務省ニ關スルモノアリ内閣ニ關スル

モノアリ商務局（ホールド、ラフ、トレード）ニ關スルモノアリ又救貧局ノ統轄ニ屬スルモノアリ此等ノ中央官廳ヲ一局ニ合併セントスルノ論旨ハ中央集權反對者ノ好マサル所トナレルナリ

本案ハ國家ノ費用ヲ増加スルモノニ非ス寧其事務ヲ短縮簡便ニシテ地方政廳ノ効力ヲ強盛ナラシメントスルモノナリ地方政務ニ變革ヲ加フレハ出費ヲ増加スルカ故ニ徵稅ヲ増加セサルヲ得サルヘシトハ普通ノ感情ナリト雖モ徵稅問題ト地方政務實施ノ簡便問題トヲ混同スルトキハ誤謬ノ反對ヲ生スルコトアラシ然レトモ本案ノ各條ハ悉ク經濟問題ヲ含蓄シテ官廳ヲ新設シテ官吏ヲ増員スルカ如キモノニ非ス寧ロ官廳ノ數ヲ減シテ出費ヲ省畧セントスルノ方案ナリ中央政務ノ整務ヲ缺キ無用ノ官廳ヲ存シテ無用ノ官吏ヲ置クコソ不經濟ノ極ナリトス夫レ現行衛生法ノ不完備ニヨリテ防禦シ得ヘキ疾病ノ爲メニ死亡スルモノ少カラス數千ノ人口ハ年々防禦シ得ヘキ疾病ノ爲ニ死亡シ勞動ニ適スル大數ノ人民ハ衛生不完備ノ結果トシテ其數ヲ減スルノ景況ナリト雖トモ本案ノ主旨ニヨレハ比較的ニ貧民ノ數ヲ減シテ國內ノ救貧稅ヲ輕減スルヲ得ヘキナリ我國都會ノ住民ノ汚穢ノ空氣ヲ呼吸シ不潔有害ノ水ヲ飲用スルノ止ムヲ得サル狀況ニアルヲ以テ本案ハ現行ノ法律實施ヲ有効ナラシメ以テ防禦シ得ヘキ疾病ト死亡トヲ減却セシメントセリ現行法律中改正ヲ要スルモノハ本案ノ初編ニ於テ之ヲ修正統一シ英國及ウエールズニ實施スヘキ衛生條例ヲ考定シテ之ヲ統一完全ナル法律トナスヘキノ大目的ニ適合セシメントスルナリ本案ハ四百五十條ヨリ成ルト雖モ其十分ノ九ハ全ク舊來ノ法律ニシテ衛生事務ヲシテ國中ニ洽カラシメ衛生區内ニハ至ル所責任アル衛生官廳ヲ設ケ衛生官廳ニハ充分ノ權力ヲ與ヘテ其實績ヲ擧ケシメント謀レルモ

ノニシテ全國各所ニ地方衛生官衙ヲ設ケテ其法律ヲ實施セシメ之ヲ中央官廳ニ統括スルノ便法ヲ設備セントスルニアリ且、ロード、エヴァースレー其他ノ地方官ニ於テ實施シタルカ如ク地方區域ヲ簡明ニシ各地ヲ通シテハムブシエアー地方ノ如キ組織トナサンコトヲ期セリ今ヤ全國ハ通シテ六百ノ救貧區アリト雖モ其境界ハ互ニ相錯雜セリ救貧區(ブーア、ローユニラン)ヲ組織スルニ當リ「ベター、セシセシヨナル、デヒシヨン」トノ關係ニ注意セサリシモノ、如シ故ニ成ルヘク好機會ヲ得テ之ヲ改正スルコト希望ニ堪ヘサルナリ

本案ノ第三編ハ二三ノ中央官廳ニ跨レル地方事ヲ一局ニ集メントスルモノニシテ救貧局長ノ意見モ亦同一ナリ本問題ニ關スル法規ヲ集メテ一大法律トナサントスルニハ現行ノ諸條例ハ悉ク之ヲ廢止シ其條項ヲ改纂シテ之カ實施ヲ謀ラサルヘカラス

又本案ニハ給水傳染病豫防市府改正其他ノ事項ニ關スル法規ニシテ從來各地方官廳ニ布令又ハ訓示シタルモノヲ統括シテ之ヲ列記シ以テ其執行上混雜ヲ防止セントシタリ本案ノ末文ハ會計檢査、訴訟順序、公訴、公債、公債募集其他ノ事項ヲ記載シ過去ノ經驗ニヨリテ現行ノ法律ヲ改良シタルモノナレトモ本案ハ決シテ當初ノ階段ヲ超越セサルコト勿論ナリ本案ノ議院ニ入ルヤ之ヲ國中ニ配布シテ休會中ノ考査ニ供シ從來ノ錯雜セル衛生大法典ヲ簡明ナル一法律トナスコトヲ得ハ政府モ亦之ニ満足ナル同意ヲ表スルニ躊躇セスシテ次期議會ノ開會中ニハ本案同様ノ法律發布ヲ見ルニ至ルヘシ諸君願クハ本案ノ趣旨ヲ議會ニ受納アランコトヲ

公衆衛生及地方政務ニ關スル法律ノ統一改正案ハサー、チャールズ、アツダーレー、ラツセル、ガーネー氏、ステフエン、ケーブ氏、ホイット、ブレツド氏、ロードロバート、モンタリ、リチャード氏、マクレーン氏ノ委員ニ附托シテ再議ニ付スルコトトナシタリ
本案ハ議會ニ之ヲ受ケ第一讀會ヲ了セリ

● 地方政務局案

(ローカル、ガバンメント、ビル)

(スタンズツイールド氏、セクレタリー、ブルード氏、ダブリユー、エ、フォースター氏) 委員 議案第二百三十號

第二讀會

スタンズツイールド氏 本案第二讀會ノ動議ヲ呈シテ曰ク本案ノ目的ハ一政局ヲ新設シテ救貧局(ブーア、ロー、ポールド)ノ現行事務衛生ニ關スル内閣ノ職務、傳染病豫防殊ニ種痘實施ノ監督地方政務ニ關スル内務省及地方政務條例署(ローカル、カバンメント、アクト、ヲツフィース)ノ權限及責務、出生、死亡、結婚ニ關スル内務省ノ統計事務及地方收稅及地方收稅報告ノ參照事務ヲ悉ク此一局ニ集メントスルニアリテ決シテ未設ノ事業ヲ新ニ置カントスルモノニアラズ

本案ノ趣旨ハ曾テ海軍事務官フレンド閣下ノ提出ニ係ル徵稅及地方政務案(レーテングアクト、ローカル

カバンメント、ビル)第六章ニ包含セルモノニシテ閣下ハ之ヲ撤回シタリト雖モ本案ハ其意義大要相同ジキヲ以テ閣下諸氏ノ反對アラサルベキヲ信スルナリ本案ノ主意ハ本期議會ニ提出シタル衛生委員ノ報告ニ基キタルモノニシテ第三議案ニ於テ該委員ハ公衆衛生及救貧ノ二大事務ハ全ク之ヲ一大臣ニ委任シ從來ノ二局ヲ兼務スベキ一官衙ヲ新設スルノ執務上有効ナルコトヲ認知シタリ

本案ハ新設ノ中央官廳ヲシテ地方衛生官衙ヲ監督検査シテ之ヲ指導スルノ全權ヲ有セシメ且從來内閣(ブリヅイーカーランシル)内務省(ホーム、ヲツフェイス)又ハ商務局(ボード、ヲフ、トレード)ノ現行セル衛生事務ヲ執行セシメントスルニアリ本案ハ内閣及商務局ノ獸醫ニ關スル事務ニハ更ニ干涉スルコトアラズ只出死亡結婚ノ調査局内閣ノ醫務局、トム、テロー氏ノ管轄ニ係ル地方政署ノ事務ハ悉ク之ヲ新設ノ地方政務局(ローカル、カバールメント、ポールド)ニ移サント欲スルナリ

本案ハ中央集權的政策ノ端緒ヲ示スニ過ストナスモノアラン然レトモ若シ本案ノ目的及政府ノ政策ヲシテ此點ニアリトナサハ本案ノ趣旨ハ敢テ見ルヘキモノナカルベシト雖モ發議者ガ衛生委員ノ報告ニ鑑ミ我邦地方政務ノ進歩上必用ト認メタルニヨルモノナリ故ニ本案ハ我國地方政務ノ進行ヲ妨害セントスルニ非スシテ寧ロ之ヲ改進スルノ新勢力ヲ加ヘントスルモノナリ云々

チャーレス、アツダーレー氏 本案ヲ賛成シテ曰ク本案ハ衛生委員長ノ報告ニ基キタルモノニシテ議案ノ名稱ニヨリテ或ハ誤解セラルルニ至ルコトアランウヲセスターシヤエア選出議員フレンド閣下(ナイド氏カ本案ノ計議ヲ廢止セシメタルハ誤レルモノナリ衛生委員ノ目的ハ全ク地方政務ヲ改進セントスル

ニアリテ本案亦同一ノ目的ニ出テタルモノナリ本案ハ三個ノ目的ヲ有スヘシ即チ(1)法律ヲ統一スルコト(2)地方政務ヲ統一シテ活動セシムルコト(3)中央政府ノ監督ハ四省以上ニ跨リ不便ナルヲ以テ一大中央政府廳ヲ設ケ地方政務局(ローカルガバールメント、ポールド)ト稱シテ之ニ救貧局ヲ併セテ政績ヲ擧ケントスルコト之レナリ

地方政務ハ爾來頗ル錯雜シテ之ニ關スル法制ハ殆ト其効力ナキカ如シ地方政勢ハ全ク其効ナキノミナラス實際ノ狀況ハ概シテ地方政務ノ執行實績ヲ擧クル能ハサルナリ是レ中央官廳ニ於テ其政務ヲ實施スルノ必用ヲ生シタル所以ナリ本案ニ於テ中央官廳ノ制ヲ設ケタルハ蓋シ衛生委員ノ報告意見ヲ賛成シタルモノニシテ衛生委員ハ總テ地方政務ノ統一ヲ謀リ以テ衛生事務ノ目的ヲ達セントシタルナリ

衛生委員ノ草案ハ四百條ヨリ成レリ次ノ火曜日ヲ以テ之ヲ議會ニ朝讀スルノ榮ヲ得ハ國民ノ休會中ニ之ヲ考查シテ次期ノ議會ニ於テ政府ノ協賛ヲ經テ實施スルヲ得ヘキナリ抑々本案ハ獨立ノ條項多シ是現行ノ諸條例中ニハ本題ニ反對スルモノ少カラサルヲ以テナリ夫レ地方政務ノ統一組織ヲ成立スルノ法律ヲ制定スルハ最モ希望ニ堪ヘサル所ニシテ此希望ヲ達セントスルニハ一大中央政廳ヲ設ケ地方政務ノ執行ヲ獎勵補助スルコト必要ナリ殊ニ政務官ニ關スル經濟モ亦大ニ其効力ヲ増進スヘシ之ヲ例セハ幾種ノ條例ニ基キ種々ノ検査官ヲ設ルノ必要ヲ省キ一大中央政廳ノ下ニ地方政務ヲ總括スルノ便利アリ救貧局ノ機關ハ此事務ヲ執行スルニ充分ニシテ其官吏ハ地方政務ノ全般ヲ總括スルヲ得又理事員會(ポールド、ヲフ、ガーデアンス)ノ事務ハ之ヲ各地ノ地方廳ニ放任スルヲ得ヘシ此理由ニヨリテ考フルトキハ中央政

應ヲ設ケテ本案ノ趣旨ヲ執行スルトモ決シテ中央集權ノ弊ヲ恐ルルニ足ラサルナリ寧ロ本條例ノ實施ニ依リテ中央集權ニ關スル現行ノ弊害ヲ省畧スルヲ得ヘシ而シテ本案ノ實施ハ地方政務ヲ國中ニ洽カラシムルノ利便ナルヲ信スルナリ云々

動議ヲ入レ直チニ二讀會ヲ通過スヘキノ發議アリ

ナイト氏 本案組織ノ不完備ニシテ殊ニ本期議會ノ開會ニ近キテ之ヲ提出シタルヲ遺憾トセリ本案ハ一大問題ニシテ其本旨ハ地方政務ヲ悉ク救貧局(ブーア、ロー、ポールドノ)統轄ニ歸セントスルモノナリベシス氏ノ救貧局長タルヤ決シテ蠶食運動ヲ實施セルコトアラサリシカ今ヤ本案ハ地方廳ノ權力ニ侵入セント試ミ全ク之ヲ一中央局ニ統治セントスルカタメ種々ノ條目ヲ設ケタリ然レトモ其大要ハ救貧區負擔條例(ユニラン、チャーヂアビリテアクト)ト同一ニシテ地方諸稅ヲ增加セントスルモノナリ「ユニラン、チャーヂアビリテアクト」ノ發布以前十二年間ノ救貧稅ヲ見ルニ年々平均六百〇一萬六千磅ニシテ該條例發布後四ケ年ノ平均徵稅ハ七百四十四萬三千磅ニ昇レリ是レ寺院負擔ノ大主義ヲ損害スルモノト云フヘシ今ヤ人民食品ノ廉造ヲ防禦シテ之ヲ改良スルノ急務アリ其他國中ノ醫事的救助ノ不振ハ今日ノ如ク甚タシキモノニ非ス政府ニ於テハ此等ノ問題ニ對シテ注目苦心スル所少カラス然ルニ政府ハ此等ノ事務ヲ警察事業トナセシカ此組織ニシテ進行セハ政府ノ監督モ亦甚タ安全ナラサルモノアラン故ニ本案ハ修正ノ必要アルヲ以テ三ヶ月ノ考査ヲ要スヘシ云々

ニーデクレート氏 修正說ヲ贊シテ曰ク本案ハ中央集權說ニ一歩ヲ進メタルモノニシテ各種ノ權力ヲ中央

政廳ニ統一セントスルニアリ然レトモ其權力ノ實施方法ヲ細說セス故ニ先ツ之ニ反對ヲ表シテ三ヶ月考査ノ修正說ヲ贊成セントス云々

ホイットブレッド氏 本案ハ救貧局ノ蠶食的的政策ニ出テタリトノ說ニハ同意スルコト同意スルコト能ハス元來本案ハ衛生委員ノ勸告ニ出テタルモノナリ故ニ真正ノ意義ヲ以テセハ本案ハ中央集權說即チ地方ノ權力ヲ收斂スルノ目的ニ出タルモノト見ルベカラス既ニ中央政府ノ權内ニアル事業ヲ一局ニ集メ之ヲ責任大臣ノ管轄ニ歸セシメントスルニ過キサルヘシ云々

サー、マッセル、ローブス氏 初ハ本案ニ反對セントシタレドモ今ヤ其所見ヲ變スヘキノ理由ヲ發見セリ救貧局長ノ所說ニ満足シタルヲ以テ本案ノ二讀會ヲ贊成ス云々

ヂエ、フレルデン氏 新法制定ノ議ナルヲ以テ本案ニ反對ス

デラハンター氏 本案ハアイルランドヲ除キタルヲ以テ反對ナリ總テ地方政務ノ法律ハ地方ノ事務ニノミ干繋スヘキナリ云々

本案ノ大意ヲ議シ同意ヲ得テ第二讀會ヲ通過シ次ノ月曜日ノ再議ニ附スルコトトナレリ

●地方政務局案

委員

第二百三十號

スタンフィールド氏、セクレタレーブル氏、ウヰリアム、エドワードフヲースタ

委員會

ヂエフイーデルデン氏 議長ノ退席ヲ動議シ且曰ク本案ハ本期議會ノ初ニ於テ提出シタリト雖モ撤回セラレタルモノナリ今ヤ議會ノ末期ニ臨ミ考查ノ餘日ナク政府案中ニモ此短期間ニ於テ議了スルヲ得ヘキヤ否ヤ頗ル疑ハシキモノアルニ際シ本案ヲ討議スルコトニ反對ス云々

フイーデルデン氏ノ動議ニヨリ議長ノ退席ヲ決議セリ
サー、ヘンリーセルウイン、エベツトソン 本案ヲ當議會ニ於テ討議スルコトニ反對ナリ委員ノ再考ヲ望ム云云

ニーデグード氏 本案ノ設備セントスル官廳ニ就テ議會ハ未タ其要領ヲ認メス且本案ハ其片要ヲ舉ケタルモノニシテ議會カ之ヲ討議スルハ國庫ノ負擔ニ注意セスシテ架空ノ議論ヲ弄スルニ過キス故ニ反對ナリサー、チャーレス、アツダーレーヨークシユア 東部選出議員フイーデルデン氏及北ウワイウイックシユア選出議員ニーデグート氏ハ全ク本案ノ目的ヲ誤解セラレタリ本案ハ數個ノ中央官廳ヲ一中央官廳ニ統一シテ地方政務ノ實施ヲ補助セントスルモノナリ政務執行ノ効力ヲ増進スルノミナラス又經濟上ノ問題ナリトス云々

ニーデグート氏 本案ノ趣旨ヲ誤解セリトスルモ本案ハ先ニスタンスフイーデルド氏ノ提出シタルモノト同様ナリ

ムンツ氏 本案ノ提出ハ何時モ午後一時ナリ余ハ本案ニ反對スルニ非スト雖トモ此等ノ重要問題ヲ討議ニ不適當ナル時間ニ於テ提出セラルルコトヲ好マス云云

スタンスフイーデルド氏 本案ハ所謂八議案ノ一ニシテ決シテ多額ノ費用ヲ要スルノ問題ニ非ス從來三四ノ官廳ニ跨リテ錯雜セルモノヲ一局ニ纏メテ事務ノ執行ヲ敏捷ナラシメントスルモノナリ即チ地方政務ヲ鼓舞改善セントスルニアリ本案ニヨリテ費用ヲ増加スルモノニアラサルナリ

ダブリユ、エム、トールレンス氏 本案ノ如キハ國庫ノ負擔ヲ増加セストスルモ少クモ地方稅ヲ増加スヘキノ問題ナルカ故ニ議會末期ノ今日ニ於テ輕々ニ議了スヘキモノニアラス本案又一小問題ニ非ス本案ノ結果ニヨラハ恐クハ地方政務ノ要領ヲ破壊スルニ致ラン故ニ之ニ反對ス

ホワールレー氏 本案ノ設備ニ係ル組織ニハ反對ナリ云々
ドクトル、リランブレーフエアー 本案ハ曾テ議會ニ於テ議定セル家畜保護案ト同様ナリ夫レ家畜ニ疾病ノ流行スルコトアレハ内閣ノ責任トシテ之カ防禦ヲナスヘシト雖トモ痘瘡虎列刺又ハ他ノ流行傳染病ニシテ國民間ニ發生スルコトアルモ責任官廳ノ之ヲ防止スルコトナク四五ノ官廳ニ跨リテ其實効ヲ舉クル能ハサルヲ如何セン本案ハ内閣、内務省其他救貧事務ニ關係ヲ有スル諸官廳ノ發布ニ係ル二十五ノ諸條例ヲ一括シタルモノナリ現行ノ錯雜ヲ更正シテ其順序ヲ明ニシタルモノナリ未タ實行セサル權力ヲ新設シタルニ非スト雖トモ新ニ中央衛生局ヲ設ケテ其行政ニ一勢力ヲ與ヘタリ即チ統轄的中央集權ノ問題ナリ本案ノ趣旨ハ常ニ必要ナリト雖トモ殊ニ虎列刺病ノ如キ傳染病アルニ際シテハ一日モ欠クヘカラサル

ノ設備ナリト云フヘキナリ

ナイト氏 本案ハ一大中央官廳ヲ設クルノ議ニシテ國家ノ開發上有害ナリトス本案ハ其保護ヲ全ク政府ノ手ニ委セントスルモノニシテ寧ロ國民ノ奮起ヲ妨クルモノニアラサルナキヲ得ンヤ

コーリンス氏 本案ノ主旨ハ好良ナリトスルモ午後一時三十分ノ提出討議ニ係ルハ反對ナリ云々

サー、ドミニツク、コーリガン 本案ヲ賛成シテ一千八百四十八年ダブリン府ニ於テ虎列刺病流行ニ際シ主管ノ官廳ナク衛生政治ハ幾多ノ官廳ニ分屬セルノ結果トシテ數百ノ生命ハ不幸ノ運命ヲ遂ケタリ云々實驗上ノ説話ヲナセリ

サー、ジョン、バツキングトン 本案ノ主旨ヲ賛成スルト雖トモ如何ニモ之ヲ考査ノ餘日ナキヲ悲マサルヲ得ス本案ノ如キ重要問題ニハ黨派的反對モアルヘキヲ以テ此短日時ノ間ニ熟議スルコトノ不利ナルコトヲ信スルナリ

採決ニ際シ百四十二ニ對スル二十ニシテ百二十二ノ多數ナリ

第一條

ダブリユ、エツチ、スミス氏 本案ノ事務ヲ執行スルハ局長ニ非スシテ大臣タラサルヘカラス故ニ一ペーヂ十行目ノ局(ポールド)ハ之ヲ省(ヲフェイス)ト改正スヘシ

ラスポーン氏 本務大臣ニシテ行政事務ノ變更スルト共ニ交代スルハ宜シカラス宜シク永任ノモノトナスヘシ

フホーセツト氏 本案ノ賛成モ少カラスト雖トモ各員討議ニ疲レタルノ時間ニ於テ強テ之ヲ議決セシムルハ不可ナリ特別ノ方法組織アルニ非サレハ國家重要ノ官省ヲ變更スルハ其執政ニ弊害ナキ能ハス「フホースト、ロード、ヲフ、ゼ、アドミラルター」ノ政務ニ熟練シタルニ際シ之ヲ救貧局ヨリ退クルハ非常ノ不幸タルコトヲ覺悟セサルヘカラス云々

スタンスフィールド氏 政府ハウエストミンスター選出ノ議員ダブリユ、エツチスミス氏ノ發議ヲ容ル、コト能ハサルヘシ云々

グラドストーン氏 發案ハ本案ヲ以テ一大要件トナスカ故ニ修正說ニ同意セサルヘシ反對者カ官廳ノ名稱ニ就テ或ハ省ト云ヒ局ト云フノ議論ヲ呈スルハ本期議會ニ於テ本案ヲ議了スルヲ好マス之カ討議ヲ防カントスルニ過キスウエーラストミンスター選出議員ダブリユ、エツチ、スミス氏ノ修正說ノ如キハ本案ニ對スル相當ノ修正ニハ非サルナリ

ナイト氏 ウエーラストミンスター選出議員スミス氏ノ修正說ニ反對ナリ

ダブリユ、エツチスミス氏 大藏大臣ト交渉ノ上其修正說ヲ取消スヘシ然レトモ本議ハ頗ル考査ヲ要スルノ價值アルヲ以テ他日之ヲ論議スルノ機會ヲ待タン云云

第二條

(地方政務局ノ設置)

議長ニ議事ノ報告ヲ乞フノ動議アリ

討議ニ附シ採決セシニ八十九ニ對スル二十一ニシテ六十八ノ多數ナリ可決

第三條 (地方政局ノ規定)

ヂエ、フイールデン氏 議長ノ採決ヲ求ム

フホーセツト氏之ヲ賛成シ動議成ルスタンズフイールド氏之ニ反對ヲ唱フ

リランズ氏 本案ニヨリ官吏ヲ新任スルハ不可ナリ

スタンズフイールド 救貧局官吏及トム、テーラ氏ハ新設官廳ニ移ルヘシ云々

議事成リ採決スルニ六十八ニ對スル三十二ニシテ三十六ノ多數ナリ

ニーデグート氏 委員ノ報告ヲ求ムト動議ス動議成ル委員ノ報告アリ議事ハ明日ニ譲レリ

○獨逸帝國衛生院

第一編 總論

獨逸帝國憲法第四條ニ據リ醫務及獸醫ニ關スル第十五編ノ警察制度ハ明ニ帝國ノ立法及監督權ニ服從スルモノナリ而シテ帝國ノ憲法ニ本キタル北獨逸同盟國ノ憲法モ亦此規定ヲ採用シタリ是レ流行病ノ豫防撲滅ヲ計リ一般ノ健康ヲ増進セントスルニ當リ一般ニ通スル規定ヲ設クルヲ得ヘキハ猶帝國ニ於ケルカ如ク交通生産運輸社會ニ對シ全體ニ通スル事件ナルトキニ限ルトノ考ニ基キタルモノナリトス然レトモ往時ハ此監督ノ實行、法規ノ制定ヲ主管事務トシ國權ノ直下ニ存立スル主務官廳アルコトナク唯一ニ各同盟聯邦ノ

補助ニ依頼シタリ是ヲ以テ一方ニ於テハ各聯邦ノ官廳ハ恰モ其職權アリテ存在スルカノ如キ觀ヲ呈シ(此點ニ就テハ普魯西政府ノ負擔シタル所最モ多シトス)他ノ一方ニ於テハ國家權ノ認ムル所ハ各聯邦ノ要求ノ爲ニ實際必要ノ程度以外ニ超脱セントスルノ危險ヲ醸成スルニ至リタリ

然ルニ醫務及獸醫ニ關スル警察制度國家ノ經營スヘキ事業益増殖シ主務官廳ヲ設置スルノ必要逼迫スルニ及ヒ各聯邦ノ宰相ハ勅旨ヲ奉シテ千七百七十年二月普魯西王國ノ醫務大臣ト商議シ凡テ醫務高等會議ノ意見ヲ諮フテ共同ニ處置スヘキコトヲ協定シタリ北獨逸同盟國ノ議會ハ千八百七十年四月六日其願委員ノ可決シタル請願及之ニ關スル他ノ請願ヲ採用シ聯邦宰相ニ左ノ建議ヲ爲シタリ

一、同盟國憲法第四條第十五項ニ據リ北獨逸聯邦ノ公衆衛生上主務機關設置ニ關スル法律案提出ノ件

二、其機關ノ一トシテ醫事統計ニ關スル中央官廳ヲ伯林ニ設置スルノ件

千八百七十二年十一月廿七日聯邦議會ハ亦再此建議ヲナシタリ

千八百七十一年十一月十五日普魯西醫務高等會議ノ決議ヲ見ルニ獨逸帝國ニ於ケル公衆衛生ノ統轄制度ハ現行憲法ノ規定ニ據レル中央集權ノ不完全ヲ以テシテハ到底其實効ヲ奏スル能ハサルモノトシ且又中央官廳ヲ設ケテ之ニ執行權ヲ付與スルノ甚タ不可ナルヲ説キ尙一步ヲ進メテ曰ク學術上専門ノ中央官廳ヲ設ケ醫務上ノ統計其他衛生ニ關スル報告ヲナサシメントスルハ有益ナル計畫ト云フヲ得ヘキヤ否ヤ今遽ニ斷定シ難シト雖モ實際ニ於テ常ニ其材料ノ欠乏ヲ感スルコトナキヤ頗ル疑ナキ能ハサルナリ

千八百七十二年四月九日帝國宰相カ聯邦會議ニ提出シタル説明書ニ曰ク全國ノ衛生事業ヲ帝國自ラ統轄セ

ントスルハ不可ナリ何トナレハ衛生ノ事業ニハ各行政部門ニ關スルコト多ク其部門ハ各聯邦各制ヲ異ニスルコト少カラサレハナリ左レハトテ各聯邦ノ手裏ニ存スル行政ノ組織ヲ同一ナラシメンニハ容易ノ事業ニアラサレハナリト然レトモ彼ハ普魯西醫務高等會議ニ於テ決議シタル如ク一概ニ之ヲ排斥スルニモアラス寧ロ帝國憲法ノ規定ニ本ツキ帝國ニ屬スヘキ事業ニ對シテハ中央官廳設置ノ必要ヲ認メ居ルカ如シ而シテ其必要トハ

醫務警察及獸醫警察上ノ事項ニ關シ帝國ノ利害ヲ主眼トシテ監督シ之ニ關スル各聯邦ノ現行制度ヲ悉知シ帝國ノ法律ヲ制定シ公衆衛生ニ關スル制度ノ實績如何ヲ觀察シ或ハ國家官廳又ハ自治體機關ヲ指導シ各外國ニ於ケル衛生制度ノ發達ヲ視察シ帝國ニ於ケル完全ナル醫事統計ヲ作ルコト是レナリ

其官廳ノ組織ニ就テハ中央集權ノ實ヲ擧ケテ事業ノ發達ヲ容易ナラシムル如クセサルヘカラス之レカ爲メニハ專任官及補助官ヲ置キ專任ノモノハ伯林在住ノ者トシ行政官一名及醫官二名(若クハ醫官一名ト統計家一名)ヲ以テ之ニ充ツルヲ可トス

聯邦議會ハ其商事及交通事業ニ關スル委員會ヨリ差出シタル千八百七十三年六月十日附ノ報告ニ本ツキ千八百七十三年六月三十日ノ決議ヲ以テ左ノ事ニ合意シタリ

- 一、獨逸帝國憲法第四條第十五項ニ規定アル醫事警察及獸醫警察ニ關シ各聯邦全體ノ利益ヲ保持スル爲メ帝國宰相ニ直隸スル機關ヲ設ケテ諮訊府トナスコト
- 二、特ニ重要事件ノ審議ニ關シテハ各聯邦ヨリ專門家ヲ召集スルコト

此他帝國ノ醫事統計ニ關シ同時ニ決議シタル事項アリ

千八百七十四年ノ帝國議會ハ種痘規則審議ノ際五月十五日ヲ以テ左ノ決議ヲナシタリ

千八百七十一年十一月廿七日ノ帝國議會決議ニ依リ又種痘規則ニ關聯スル諸般ノ必要事項ニ關シ種痘制度實施ノ監督ヲ勵行スルタメ速ニ帝國衛生院ヲ設置スルコトヲ宰相ニ建議スルコト

又獨逸獸醫會議(獨逸獸醫會ヨリ選舉セラレタル委員ノ會議)ハ千八百七十四年四月十四日ヲ以テ帝國獸醫局設置ヲ建議スル決議ヲナシタリ

右等ノ目的ハ千八百七十六年ノ帝國豫算案ニ於テ始メテ其形體ヲ表シタリ即チ該豫算書第八編ニ於テ衛生院ノ經費豫算毎年四萬八千四百四十馬克ヲ掲記シタリ

該豫算案ニ添付シタル説明書ニハ(卷末ニ附録トシテ掲記セリ)當時ニ至ルマテ衛生事業ノ沿革ヲ略述シ且其主管事項ヲ掲記シタリ右ハ殆ト前述シタル聯邦會議ノ決議ニ同シ而シテ該官廳ハ内閣ニ直隸シ三名ノ吏員ヲ以テ構成シ之ニ必要ナル事務員ヲ附屬セシメタリ千八百七十六年四月廿八日普魯西王國軍隊附醫官伯林在勤陸軍々正「ドクトル」ストルツク氏其院長ニ勅任セラレ千八百七十六年六月廿二日ニ至リ普魯西王國ノ醫務顧問兼ボン大學助教「ドクトル」フィンケルンブルヒ氏衛生院ノ委員ニ任セラレタリ此ノ如ク千八百七十六年四月院長ノ任命ト共ニ始メテ帝國衛生院ハ成立シ次テ七月中旬ニ至リ漸ク其實體上ノ事務ヲ開始シタリ即成立後初メテ一ヶ月ハ院長ノ執務準備等ノ爲メニ經過シ千八百七十六年七月十六日ヲ以テ其働作ヲ起シタリ而シテ「ケルンブルヒ」氏ハ醫官タルト同時ニ統計家タルノ事務ヲ掌リタルカ後普魯西王國

ノ獸醫官兼ハルン大學助教トドクトル、ロロツフ氏事務官ニ任セラレ獸醫警察ニ關スル事務並ニ庶務ニ關スル事務ヲ執掌シタリ(一千八百七十六年十月廿五日任命)

衛生院第一着ノ事業タリシハ其計畫ニ必要ナル材料ヲ蒐集スルコト即チ各聯邦及外國ニ於テ施行セル諸規ヲ蒐メ得タルコト及圖書ヲ新設シタルコト是ナリ又醫事統計ニ關シ其正否ヲ検査スルコト是亦必要ナル事項タリ而シテ往時ノ衛生ノ狀況調査ニ關シテハ相當ノ取調ヲナシタリト雖モ觀察點ヲ異ニシタル爽雜ナル材料ヲ得タルニ止マリテ國家事業トシテノ目的上ニ於テハ別ニ何ノ得タル所ナシ罹病統計及死亡統計ニ就テハ其基礎タルヘキ法律上ノ規定ナキカ故ニ(罹病者ノ届出)充分ニ遂行スルコトヲ得ス只大都市ニ於テハ自ラ死亡統計表ヲ作り居タルカ故此ノ如キ自治體ニ就テノミ僅ニ其調査ヲナシ得タルニ過キス即多數ノ大都市ニ於テハ特ニ規則ヲ設ケ死亡アリタル場合ニハ必檢屍ヲ受ケシメ或死亡原因ニ就キ醫師ノ證明書ヲ添テ届出テシムルコト、シ又此ノ如キ規定ヲ設ケサル處ト雖モ死亡ノ場合ニハ多クハ醫師ノ診察ヲ受ケタルモノナルカ或ハ醫師若クハ官廳ノ檢屍ヲ受クルモノナルカ故ニ此ニ依テ其死亡者ノ數ヲ知ルヲ得タリ蓋シ死亡原因ニ就テ官廳ニ届出ツルコトハ田舎地方ニ於ケルヨリモ都市ニ於テ信ヲ置クニ足ルモノアリタレハナリ

是等蒐集シタル統計及其他衛生院ノ調査シタル事項ヲ地方ノ群市ニ知ラシメントメ千八百七十七年ノ初メ帝國衛生院公報ナル題號ヲ以テ一ノ週報ヲ發兌シタリ該公報ハ千八百八十二年六月末日迄北獨逸圖書出版所ヨリ發行シ千八百八十二年七月一日ヨリ千八百八十五年六月末日迄ハ伯林ノオイゲン、グロツセル、書店

ヨリ千八百八十五年七月一日ヨリ現今ニ至ルマテハ同地ノ「ユリウス、スプリングル」書店ヨリ發行シ定價ハ當初ヨリ變更シタルコトナク半年五馬克ナリ

千八百八十五年該公報ノ體彩ヲ更メテ携帶ニ便ニシ且一般ノ利益ヲ計リテ單ニ數字上ノ統計表ヲ掲クルニ止メス論說ノ項ヲ設ケタリ即公報ヲ七章ニ分チ左ノ事項ヲ掲載スルコト、シタリ

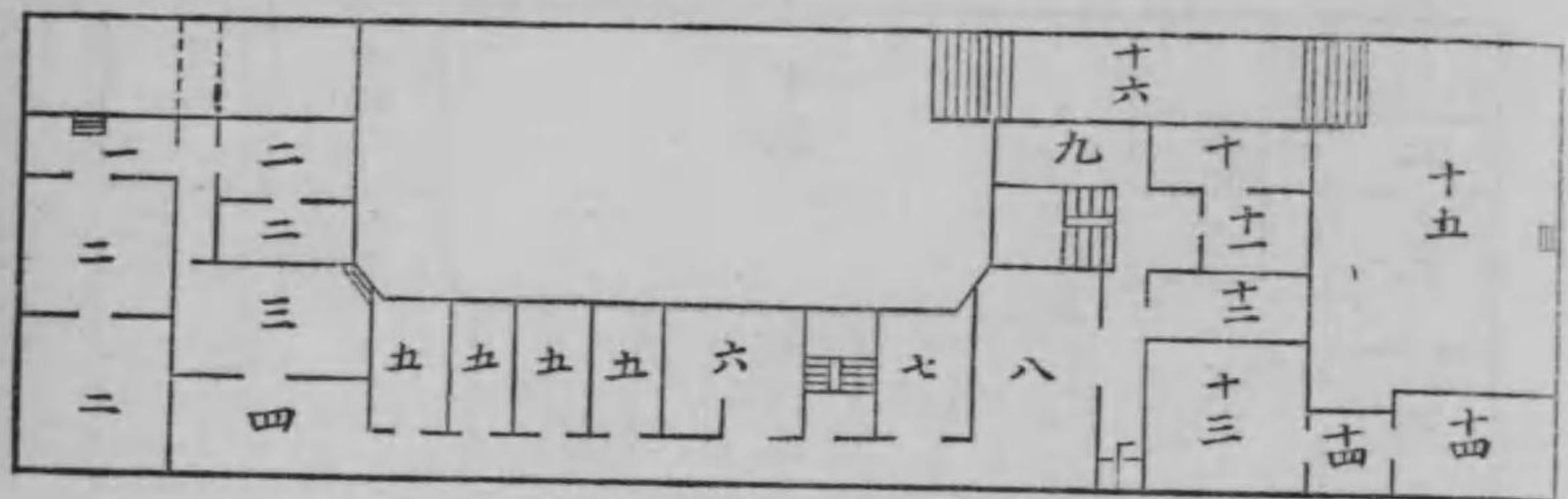
保健ノ狀況流行病ノ經過並ニ流行病及獸疫ノ豫防撲滅ニ關スル其時々ノ規則氣象ニ關スル必要事項衛生及獸醫ニ關スル法律及諸規則必要ナル裁判々決例公衆衛生ニ關スル總テノ設備其他萬國ノ會議立法者ノ意見及ヒ衛生院ニ收納シタル書籍ノ公示

衛生院開始ノ初年ニ於テ早ク必要ヲ感シタルコトハ著書又ハ其一般ニ知ラレタル學術上ノ研究成績ニ就キ衛生局ニ於テ單ニ検査評論スルニ止メス足ラサル所アルトキハ尙之ヲ改善シ之ヲ補足シテ完美ナラシメントシタル計畫是ナリ之カタメ衛生院內ニ研究室ヲ設置スルノ必要ヲ生シ千八百七十七年及七十八年ノ會計年度ニ於テ之カ經費ヲ要求シタルニ帝國議會ハ之ニ承諾ヲ與ヘサリシト雖モ千八百七十七年四月十四日ノ會議ニ於テ衛生院ハ説明書ヲ提出シ該研究室設置ノ目的所管事務及其進行ノ方法ニ就キ諄々其欠クヘカサル事務タル所以ヲ説キタルカ爲メ議會モ稍其必要ナルコトヲ認識シタリ然レトモ聯邦會議及帝國議會ハ尙衛生院ヨリ提出シタル千八百七十八年及七十九年ノ會計年度ニ於ケル計畫ノ凡テヲ承諾セス多少ノ削減ヲ加ヘテ衛生院ノ吏員ヲ増加シテ四人トナスコト之ニ各一名ノ事務官一名ノ書記官及一名ノ書記ヲ附屬セシムルコト及必要ナル補助吏員採用ノ爲メ八千馬克其雜費用トシテ一萬三千五百馬克支出ノコト

ヲ協賛シタリ

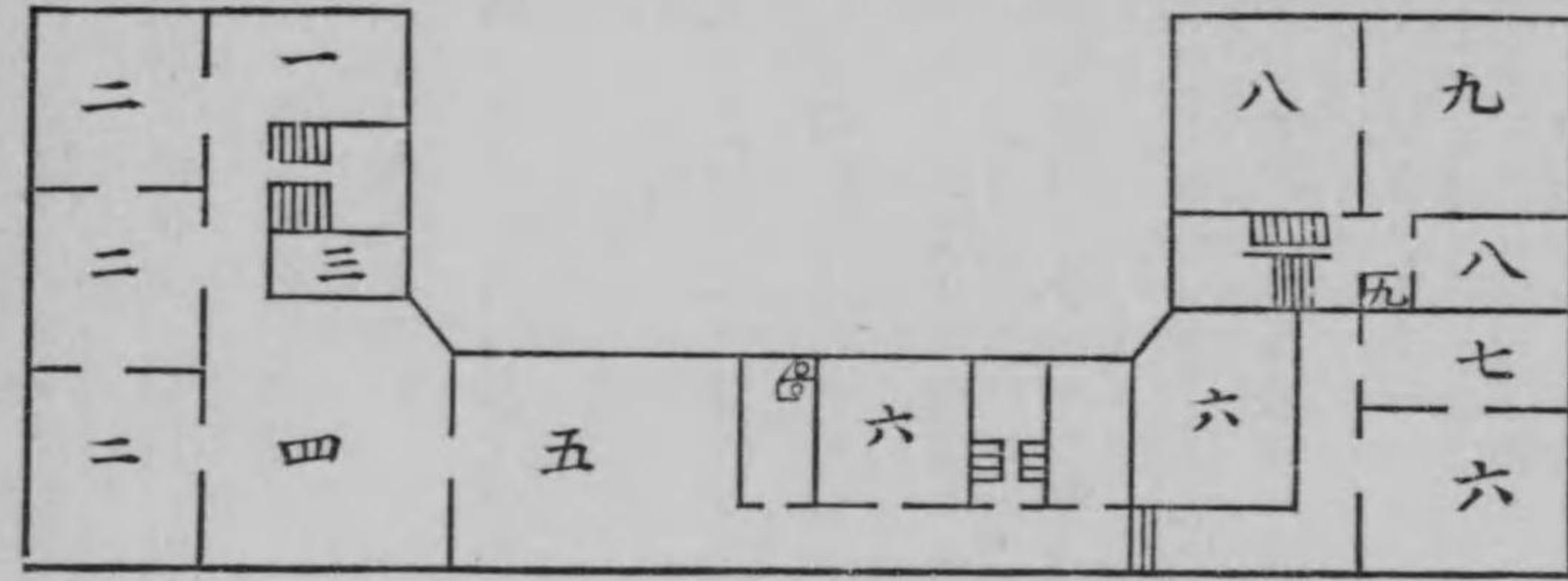
最初ニ着手シタル事業ハ飲食物取扱ニ關スル規則ヲ設ケタルコト及化學上ノ研究室ヲ設置シタルコトニシテ伯林大學助教工業學校教授ドクトル、セル氏其長ニ任セラレタリ然ルニ衛生院ノ綜雜ナル事務ニ對シ試驗ノ調査ヲナスニ只一化學研究室ノミニテハ到底其事業ト駢馳シ難キカ故別ニ衛生研究室ヲ設置シ千八百七十九年衛生試驗所一等助手ミュベン大學講師ドクトル、ウオルフヒューゲル氏其長ニ任セラレタリ此研究室ニテ主管セル事務ノ細目ニ付テハ以下各關係ノ章ニ於テ説明スヘシ

千八百七十九年五月始テ帝國衛生院所用ノ廳舎ヲ設ケタリ該家屋ハルイーゼン街五十七番ノ私有家屋ニシテ二十萬馬克ヲ以テ買ヒ上ケ十二萬二千馬克ノ費用ヲ投シ官廳ニ適スル様改造シタルモノナリ其前面及側面ノ一部ノ下層及第二層ヲ以テ事務室及圖書室トシ其内ニ會議室及事務官ノ室ヲ設ケ其他ノ部分及後面ヲ研究室ト定メ院長ノ執務室ヲ第三層ニ置キタリ地下層前方ノ室ヲ監守吏ノ詰所トシ其次ヲ庖廚及洗滌場トシ後面ノ室ニハ鐵扉ヲ設ケテ火災ノ危險ヲ避ケ之ニ化學藥品ヲ貯藏シ且研究室ノ附屬室ヲ設ケ試驗用ノ獸畜繋留場ト定メタリ(獸舎ハ特ニ外出斗出セリ)而シ此等ノ各層ニハ水管ヲ通シ特別ノ裝置ヲ設ケテ火災ノ不慮ニ備ヘタリ其分畫ハ左圖ニ示スカ如シ



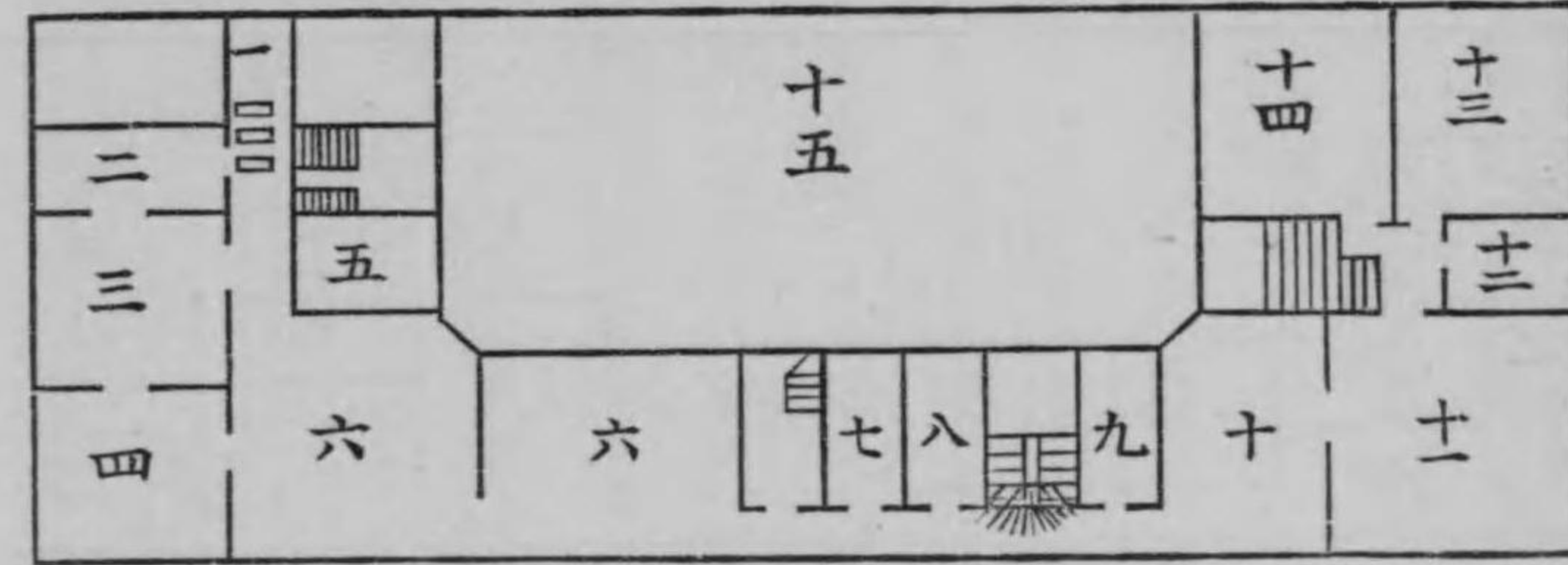
地 下 層

- | | | | |
|------|--------|------|----------|
| (一) | 監視員詰所 | (二) | 監視員宿直所 |
| (三) | 燃料室 | (四) | 硝子器貯藏室 |
| (五) | 庖廚 | (六) | 器物洗場 |
| (七) | 可燃ノ藥品室 | (八) | 瓦斯發動機 |
| (九) | 作業室 | (十) | 暖室 |
| (十一) | 準備室 | (十二) | 元素分析室 |
| (十三) | 洗滌場 | (十三) | 試驗用獸畜繋留場 |
| (十四) | 庭園 | (十四) | 廊下 |



第二層

- | | | | |
|--------------|-----------|-----------|-----------|
| (七) 委員一名ノ執務室 | (五) 事務室 | (三) 技手執務室 | (一) 書記室 |
| (八) 衛生研究室 | (六) 病菌研究室 | (四) 會議室 | (二) 委員執務室 |



第一層

- | | | | | | | | |
|-----------|-----------|-------------|---------|---------------|-------------|--------------|---------------------------|
| (五) 庭前 | (三) 標本室 | (二) 化學研究室 | (九) 藥品室 | (七) 暗室 | (五) 事務室ビュロー | (三) 書記室レジストラ | (一) 入口 |
| (四) 衛生研究室 | (六) 衛生研究室 | (三) 天秤室ソーゲン | (十) 器械室 | (八) 瓦斯分析室ガスアナ | (六) 圖書室 | (四) 庶務室カンツライ | (二) 書記長室ビュローフオー
ルステーヘル |

千八百八十年衛生院故參ノ委員タル樞密委員ドクトル、フンケルンブルヒ氏 其官ヲ辭シ字漏西王國ウルス
 タインノ郡醫ドクトル、コツホ氏帝國衛生院ノ副委員トナリテヨリ以來院內ノ研究所ニ著シキ變更ヲ來シ
 醫事統計ヲ擔任セシ委員ハ其事務專任トナリタリ

衛生院ノ最モ主要ノ事務タリシハ年々猖獗ヲ逞フスル流行病ヲ防遏スルニアリタリ此目的ヲ達スル爲メニ
 ハ其病毒ノ輸入ヲ豫防シ若シ不幸ニシテ一朝其發生ヲ見タルトキハ可及の小區域ニ防止スルニアルヤ明カ
 ナリ而シテ此防禦方法ヲ選擇スルニハ先ツ豫メ病疾ノ本性即チ其傳染ノ原因發育ノ條件ヲ研究シ置カサル
 ヘカラス「ドクトルコツホ」氏專ラ之ヲ研究シ現今微菌學上ノ研究ヲ以テ其傳染病ノ本性ヲ説明シ爰ニ傳染
 病學上ニ一新正面ヲ開キタリ此成績ニ關スル詳細ハ後段傳染病ニ關スル章ニ於テ説明スヘシ

然ルニ常國衛生院ノ事務漸ク多端トナルニ及ヒ該研究所モ亦擴張セサルヘカラサルノ進運ヲ來タシタリト
 雖モ固ヨリ其經費ニ制限アルヲ以テ止ムヲ得ス帝國衛生院自ラ處理セシ事務經費一部ヲ割キテ之ニ充テタ
 リ即醫事統計ニ關スル費用及他ノ研究所ノ經費ヲ以テ隨時之ヲ補ヒ幸ニ事務ノ澁滯ヲ來シタルコトナシ而
 シテ其職員割合ニ少ク家屋又ハ狹小ナルカ故ニ後來必ス之ヲ擴張スルノ必要ヲ生スルニ至ルヘシ元來帝國
 衛生院ノ事務タル各聯邦ニ涉リテ頗ル多端ノモノナルカ故ニ須ラク劃一ノ制度ヲ設ケ各聯邦政府ノ補助材
 料ヲシテ其據ル所ヲ一ニセシムルカ故或ハ各事業ニ關シ智識經驗ニ豊カナルモノヲシテ院務ニ協力セシム
 ルニ非スンハ良結果ヲ得ルコト難カルヘシ是ヲ以テ帝國衛生院ハ補助委員ヲ置クノ制ヲ定メタルニ今日ニ
 及テハ其効著大ナルニ至レリ此補助委員ナルモノハ已ニ前ニ述ヘタル如ク衛生院設立ノ當時ニ於テ已ニ豫

定セラレ千八百八十年始メテ任命アリタルモノニシテ其多數ハ各聯邦政府ノ高等衛生官吏及行政部門内ノ
 有識者ヨリ組織シタルモノナリ院長ハ職權ヲ以テ補助委員ヲ召集シ正委員ト協議セシメ又ハ文書上各補助
 委員ノ意見ヲ徵スルヲ得ヘシ而シテ該委員ノ實際ニ於ケル効用ハ外部ニ發露シタル所少シト雖モ時ヲ經ル
 ニ從ヒ益顯著トナルニ至リタリ然レトモ彼ヲシテ細大洩ラサス日常ノ事務ニ參與セシメタルコトナシ此事
 タル多數補助委員ノ院務ニ誤過ナカラシメントスルノ希望ニ背キタルモノナレトモ是レ畢竟常置吏員ノ本
 務ニシテ補助委員ノ喙ヲ容ルヘキコトニアラサレハナリ當初ヨリ補助委員トナリタル者ノ姓名ハ卷末附錄
 ニ掲記セリ該補助委員ハ醫務及獸醫務ヲ主ル地方高等官廳ノ代表者及字漏生ノ醫務高等會議々員ヲ以テ組
 成シ且ツ一名ノ正委員ハ必ス右字漏生高等會議ノ議員ナラサルヘカラスト定メタリ元來衛生院ノ事業タル
 殆ント同一ノ目的ニ駢馳スル各專體ニ對シテハ直接ノ關係共ニ離ルヘカラサル關係アルモノナルカ故ニ少
 ナクモ互ニ其公示ヘキ事項ヲ交換シ或ハ衛生院ノ正委員ヲシテ是等ノ團體ニモ屬セシムルカ若クハ獨逸
 帝國醫會帝國藥劑師會ノ會長ヲシテ帝國衛生院ニ關係セシムルヲ以テ最モ適當ノ方法ナリトス

千八百八十五年樞密委員「ドクトル、コツホ」氏新設セラタレル柏林大學ノ衛生研究所長ニ任セラレタルヲ以
 テ其衛生院ニ於ケル關係ハ從前ノ通り正委員タルヲ失ハスト雖モ兼任トナリタリ而シテ氏ニ代リ本務トシ
 テ衛生院ニ屬シタルハ氏カ多年ノ助手トナリ且ツ印度埃及遠征ニ同伴シタル前ノ字漏生ノ軍醫正「ドクト
 ル、ガフキー」氏ナリ

又院長「ドクトル、ストルツク」氏ハ千八百八十四年十二月非職トナリ其後任トシテハ法律家タル行政官吏

即チ内務參事官樞密委員「ケーレル」氏院長ニ任セラレタリ

衛生院ノ爲メニ惜ムヘキ事ハ千八百八十五年ノ終リニ至ルマテ衛生院ノタメニ盡力シ功勞尠カラサル獸醫
務ニ關スル委員「ドクトル、ロロツフ」氏ノ不歸ノ客トナリタルコト是レナリ氏ハ千八百七十八年王國獸醫
學校長ノ職ヲ探リテヨリ衛生院ニ對シテハ兼勤ノ地位ニアリタレトモ院務ノ爲ニ頗ル盡力シタリ千八百八
十六年以來獸醫統計事務益多端トナリ兼勤ノ者ヲ以テシテハ事務進捗ノ敏快ヲ望ム能ハサルコト明カトナ
リタルカ故ロロツフ氏ノ後任者トシテハ「スツツトガルト」獸醫學校教授ウエルテンベルビ王國醫事會議報
告委員「ドクトル、レツクル」氏同年十月一日委員ニ任セラレ専ラ衛生事項ノ事務ニ執掌シタリ

研究所ノ助手ハ特別ノ技術ヲ要スルモノニシテ從來ハ日給或ハ無給(所謂隨意助手)ノ者ナリシカ昨年ノ會
計年度ニ於テ始メテ從來ノ化學家ヲ以テ常置委員トナスコトニ定メタリ又隨意助手(凡ソ廿四人)ノ外ニ内
外各國ヨリ化學衛生學微生物學等ノ研究ノ爲メ一時帝國衛生院ノ事務ニ從ヒタル者尠カラス千八百七十七年
ヨリ同七十九年ニ至ルマテ獸醫學校ノ學說十二名ハ飲食物試驗ノ研究ヲ見習ヒ三名ノ警察官(伯林及アル
トーナ)ハ飲食物検査ニ關スル學理ノ大要ヲ修得シタリ千八百七十九年ヨリ以後衛生院ニ於テ化學及微菌
學ニ關スル事務ヲ修業シタルモノ三十九人アリ(醫師獸醫化學者藥劑師)此研究生隨意助手ノ國籍左ノ如シ

獨逸	三十五人	露西亞	五人
奧太利	六人	塞爾維	一人
伊太利	六人	合衆國	一人

佛蘭西	二人	印度	一人
英吉利	一人	日本	四人
那威	一人		
計			六十三人

而シテ千八百八十四年九月十五日ヨリ千八百八十五年一月十八日迄衛生院ニ於テ虎列刺研究ニ從事シタル
モノハ衛生官吏及開業醫ヲ合シテ總テ百四十六人ナリ(後段傳染病ノ章中虎列刺ニ關スル項ヲ參照スヘシ)
此ノ如ク衛生院ニ於テ教授ノ方法ヲ採リ多數ノ者ヲ養成シタルハ能ク實地ノ需要ニ應シ大學ニ於ケル右ニ
關スル教授項目ノ缺乏ヲ補ヘテ大ニ經驗ヲ表ハシタリ然レトモ輓近衛生ニ關スル大學ノ營造物等漸ク多キ
ヲ加フルニ及ヒ衛生院本來ノ事務進捗ヲ計ル爲メ漸次此教授的ノ事務ヲ縮少スルニ至リタリ
又陸軍醫務局ヨリハ軍醫命ヲ受ケテ衛生院ノ事務ヲ補佐シタリ特ニ茲ニ掲記スヘキ價值アルコトニシテ衛
生院カ彼ニ負フタル所蓋シ少ナカラス加之ナラス他ノ一方ニ於テハ衛生院ノ事務ヲ補佐シタル軍醫ヲシテ
其職務上ニ尙一層ノ練磨經驗ヲ得セシメタルノ効アリタリ

當時衛生院ノ職員ハ院長一名專務正醫員四名兼勤正委員一名補助委員二十八名助手タル醫官二名(内圖書
主任一名)助手タル化學家一名派遣軍醫四名(内字漏生ヨリ二名索遜ヨリ一名(ウエルデンベルヒ)ヨリ一
名)化學家タル日給ノ雇員二名書記官及會計官吏四名庶務員五名書記三名使丁四名(内門衛一名研究所守
衛一名)ナリ而シテ衛生院設立ノ當初ヨリ院務ニ與リタルモノノ氏名ハ掲ケテ卷末附録ニアリ

千八百七十六年以來毎年ノ豫算及各會計年度ニ於ケル決算ノ總額モ亦附録ニ記載シタリ今千八百八十五年及八十六年ノ會計年度ニ於ケル第六編ノ支出金額ヲ掲クレハ左ノ如シ

炭、燈、水費	三、三六五	馬克	五四
事務室清潔方及整理費	一、八四一	馬克	六二
器物保存費	二、三七七		二五
郵便費其他雜費	三七二		一二
書籍購入費圖書館ノ整頓費	八、〇三六		四五
文房具及印刷費	二、五四〇		八二
寫字費	七五四		九四
研究所費	一四、一六六		五八
院長及委員ノ旅費日當	四〇五		三六
補助委員ノ旅費日當	一、八二七		七六
雜費(翻譯料等)	四八八		四四
計	三四、〇三六		

外部ニ對スル事務ニ付各年取扱ヒタル重要ノ件數ヲ年別トシテ掲クレハ左ノ如シ

- 千八百七十六年 五三〇
- 千八百七十七年 二、六九七
- 千八百七十八年 二、六〇七

- 千八百七十九年 三、九一二
- 千八百八十年 一二、三一〇
- 千八百八十一年 一四、四三九
- 千八百八十二年 一五、九〇〇
- 千八百八十三年 一六、三〇五
- 千八百八十四年 一六、九五三
- 千八百八十五年 八、六二二

前表ヲ見ルニ千八百八十五年ノ件數減少シタルヲ見ルハ其年ノ調査未タ完結セス只概數ヲ示シタルカ故ニシテ且又記録掛ハ其事務最モ繁忙ナルカ故獨逸及外國ノ市府ニ於クル患者死亡者等統計ノ(週報、月報、年報)検査事務ハ官房書記ヲシテ執掌セシメタルニ依ルモノナリ然レトモ實際千八百八十五年ニ於ケル事務ハ前年ニ比シテ増加シタルモノナルコトハ疑フヘカラス

又千八百八十五年間ニ於テ處理シタル鑑定件數ハ五十二件ニシテ内官廳ノ依頼ニ應シタルモノ四十一件聯邦官廳ノ依頼ニ應シタルモノ四件自治體ノ依頼ニ應シタルモノ六件一私人ノ依頼ニ應シタルモノ一件ニシテ學術上若クハ實驗上一ヶ月以上ノ調査ヲ要シ且其成績紙數一臺ヲ超ヘタルモノ少カラス而シテ裁判所警察署自治官廳及一箇人ノ依頼ニシテ事件ノ性質ヨリ又ハ事務ノ都合上檢定ヲ拒絕シタルモノ凡テ百九件ノ多キニ上リタルカ故衛生院ニ於テモ各依頼ノ取捨撰擇ヲ爲スニ付標準タルヘキ規則ヲ設ケサルヘカラザル

ニ至リタリ(後段飲食物ノ章ヲ見ヨ)

衛生院ノ事務中ニ就キ學術ニ關シテ調査シタルコト尠ナカラス然レトモ直ニ之ヲ社會ニ公示シ得タルモノ稀ニシテ多クハ只關係官廳ヲ訓示シ得タルニ過キス又公衆衛生ニ關シ衛生院ニ於テ調査シ法案ヲ制定シタルコト尠ナカラサルモ當時尙此等ノ事件ニ關スル各般ノ障害未タ全ク芟助セラレサルノ故ヲ以テ多ハ審査ノ局ニ當ル官廳ノ拒否スル所トナリタリ然レトモ將來ノ爲メニ諸般ノ準備ヲ整ヘ置クヘキハ固ヨリ衛生院當然ノ務メナルヲ以テ是レカ爲メニ其調査ヲ停止セス着々歩武ヲ進メテ事務ノ進捗ヲ圖リタリ而シテ其調査ノ結果ハ帝國規則ノ體裁ヲ以テセス帝國政府ノ訓示ニ基ツキタル聯邦ノ規則トナリテ社會ニ現出シタリ(例之ハ牛乳ノ性分ニ關スル規則或ハ獨乙帝國ノ港灣ニ入港スル船舶ニ對シ衛生警察上ノ検査ヲ施行スルノ規則等是ナリ)又正委員及助手ノ調査シタル學術上ノ成績ハ法律又ハ命令ノ説明トシテ社會ニ公示セラレタルモノヲ除キ其他ハ皆之ヲ編纂シテ印刷ニ付シ初メハ帝國衛生院報告ナル題號ヲ以テ發行シ(第一卷ハ千八百八十一年北獨逸印刷所ヨリ發兌シ第二卷ハ千八百八十四年「ア、ヒルシユワルド」書店ヨリ發兌シタリ)千八百八十五年以降ハ帝國衛生院事務成績ナル題號ヲ以テ發行シタリ(第一卷ハ千八百八十六年「ユリウススプリングル」書店ヨリ發兌シタリ)

從來ハ科學上ノ會議又ハ博覽會ニ參同シ之ヲ利用スル機會ナカリシモ千八百七十八年佛京巴里ニ開設セラレタル萬國衛生(デモクラフヒー)會議ニハ委員トシテ始メテ衛生院ヨリ一名ノ正委員ヲ參列セシメ又千八百八十一年英京龍動ニ於ケル萬國醫事會議ニハ二名ノ助手ヲ差遣シテ之ヲ參列セシメ且其決議ニヨリ開設

セラレタル博覽會ニ關スル報告ヲ爲サシメタリ又千八百八十二年デンブノ萬國衛生會議ト共ニ開設セラレタル博覽會ニハ委員一名ヲ差遣シ報告ヲ爲サシメタリ

獨逸帝國ニ於テ普通博覽會ヲ開設シタルトキハ(千八百八十三年柏林ニ於テ)衛生及救助事業ノ部門ニ關シ益々學術上研究ノ必要ヲ増シタリ其成績ニ就テハ內務書記官詳細ノ報告ヲ作り且ツ該博覽會記事ノ發兌者ニ其發賣ヲ免許シタリ該博覽會ニ於テハ帝國衛生院亦自出品者トナリ別ニ假小屋ヲ設ケテ飲食物試驗室及微生物學上ノ研究法雛形並ニ醫事統計ノ範圍ニ屬スル各種ノ表ヲモ出品シタリ

飲食物化學ニ關スルバイエルンノ私立組合會ニ對シテハ衛生院ヨリ特ニ委員ヲ定メテ參同セシムルコト、シタリ

又衛生院ノ重要問題ニ就テハ特別委員會ヲ組織スルコト、シタリ(例之ハ飲食物取締規則藥局法種痘法石油取締規則有害色料取締規則等ノ調査ニ關シ)

法律ノ纂編鑑定ノ交付統計材料蒐集ノ事務ヲ除クモ帝國衛生院ノ爲スヘキ仕事ハ日ヲ追ヒ月ヲ累スルニ從ヒテ各種科學上ノ範圍ニ於テ擴充シ(醫術獸醫術、藥劑學、物理學、氣象學、化學生物學國家醫學及陸海軍衛生工藝學法律學農業經濟學牧畜學等)尙工業商業ノ範圍ニマテ干係ヲ生スルニ至リタリ而シテ之ニ就テハ現在ノ文運ニ伴ヒ學術工藝商業ノ範圍ニ涉リ充分ナル智識ヲ得ルニアラサレハ適切ノ判斷ヲ下シテ帝國ヲ裨益スルコト能ハサルカ故ニ單ニ內國ニ於ケルノミナラス地球上各文明國ニ對シテモ亦手腕ヲ伸張シタリ即チ帝國衛生院ニ收容スル内外雜誌ノ種類凡百五十種ニ上ルヲ以テ見ルモ亦其一般ヲ窺フニ足ル

○紀元一千九百〇八年九月ウイスバーテンニ於テ開會シタル獨逸公衆衛生會議事抄譯錄

●郡部ニ於ケル給水事業

報告者 樞密建築顧問 シュミツク (ダラムスタット)

要 旨

(一) 郡部ニ水道ノ必要ナル所以ハ

- (イ) 概シテ給水所ニ缺點多キ事(多クハ汚染地附近ニ在ル不完全ナル井戸、若クハ當該地方ヲ貫通シテ流レ時々不潔ヲ呈スル小河ヨリ用水スルヲ常トシ、尙ホ高地ニ至リテハ一般ニ井戸ノ設備スラ無シ)及ビ一般ニ排水上ノ缺點多キ事
- (ロ) 前項ニ掲ケタル缺點ニ因リ人畜ヲ侵害スル疾病ヲ發生シ、尙ホ該缺點アルカ爲メニ其清潔法ヲ完全ニ行フコトヲ得サルニ因リ、益々其病毒ヲ蔓延セシムヘキ事
- (ハ) 不潔ナル牛乳、牛酪、及ヒ野菜等ヲ市街地ニ供給スルカ爲メニ、該市街地ノ人類ニ病毒ヲ輸入シ又疾病ニ罹レル家畜ヲ市街ノ屠肉場ニ運送スルカ爲メ、其ノ通過スル地方ノ家畜ニ病毒ヲ傳染セシムヘムキ危険アル事

(ニ) 水道ヲ設置スレハ自然ニ水ヲ十分ニ使用スルコトヲ得、隨テ又家屋、屋敷、及モ厩舎ノ清潔ヲ期待シ得ヘキ事

ホ出火ノ際、消防ヲ輕易ナラシメ、且ツ收穫後ハ殊ニ其危険ノ多カルヘキ類焼ノ難ヲ輕減スヘキ事

(三) 郡部ニ於ケル水道工事ニ就テハ、十分ナル學識ト技術トヲ要スルコト、恰モ他ノ大事業ニ於ケル場合ト異ナラス。猶ホ特ニ工事ハ完全ナルヲ要シ、カモ其經費ハ出得ル限り節約セサルヘカラスト云フ困難アリ。サレハ其ノ設計並ニ工事ノ監督ハ、之ヲ斯道ニ經驗アル技師ニ一任スルカ、又ハ官設若クハ公設ノ水道局ニテ之ヲ經營スルヲ要ス

(四) 水道ノ給水量ハ其當初ニ於テ現ニ多量ヲ要セストモ、未來ニ對スル豫備トシテ十二分ノ計畫ヲ成スヲ要ス。而シテ水量計ヲ設ケテ水道ノ取締ヲ爲スコトハ、度外ニ浪費セラル、カ、若クハ現在ノ設備ニテ不足ヲ告クル場合ニ於テノミ、之ヲ適用スヘキモノナリトス、又水源池(淨水場)ノ裝置及ヒ高位貯水場(給水場)並ニ給水管ノ設備ニハ特ニ注意セサルヘカラス。猶ホ水道ハ、之ヲ共同水道制トナシ、數町村若クハ全郡合同シテ之ヲ敷設セハ、各町村ノ負擔スヘキ費用カ大ニ節減セラル、ノ便アリ

(五) 水道ノ管理ニ就テハ周到ナル規則ヲ設ケ、且ツ場合ニ由リテハ強制加入制ヲ採用スルヲ要ス。又水道維持ノ爲メ三年乃至五年毎ニ地方廳監督ノ下ニ技師、醫師、及ビ行政官ヲシテ完全ナル検査ヲ爲サシムルヲ要ス。猶ホ地方消防官吏ハ消防演習ノ際、消火栓ノ検査ヲ爲スコトヲ要ス

諸君、吾カ獨逸テ整然タル水道ノ價值ヲ認メタノハ、漸ク茲ニ三十年來ノコトデアル。其以前ハ唯大都會ノミテ技術進歩ノ德ニ由ツテ、漸ク水道ヲ設ケテ其ノ必要ヲ充タシタニ過キナイノテアツタ、トコロカ今日ニ至ツテハ小都會テモ此ノ設備ノ無イ所ハ稀レナ程デアル。概シテ豐富ナ南部及ヒ西部地方テハ、昨年中ニ大抵之ヲ敷設シタカ、猶ホ東部地方テハ未設ノ個所カ多イ

扱又、地方自治體テモ良水ノ供給ニ就テ種々努力ハシタカ、猶ホ放任シテ居ル地方ヘハ監督官廳、或ハ衛生局、若クハ土木局等カラ度々良水供給ノ利益ヲ訓示シタノテアル、シカモ猶ホ郡部ノ良水缺乏ハ甚タシイモノデアル

一般ニ農家ノ井戸ハ古クテ、且ツ其構造カ粗惡テ、多クハ漆灰ヲ用ヒナイ粗雜ナ石疊テ造ラレテ居ル。ソコテ、高イ地層カラ不潔物カ雨水ニツレテ容易ク浸入スル。又井戸ノ牆壁ヲ別ニ高クシナイテ、井桁ノ上縁カ平地ヨリハ却テ凸ンテ居ルカ、或ハ漸ク平均シテ居ル位テ、シカモ多クハ其ノ蓋カ無イカ、又縱令蓋ハ有ツテモ井戸ノ全面ニ行渡ツテ居ナイカ、又ハ不完全ナ木製ノ物テ、決シテ之ヲ密閉シテハ居ナイ、タカラ大雨ナトノ場合ニハ、排水ノ方法カ不十分ナ爲メニ、泥土ハ勿論糞尿ナトカ屢々雨水ニツレテ井戸ニ流レ込ムコトカアル、又縱令井戸ノ構造カ巧ニ出來テ居テ、地上ノ不潔ナ水カ之ニ流レ込ムコトハナイ場合テモ、其ノ附近ニ汚染地ヤ糞尿溜カアレハ、矢張其ノ水ハ汚染スル虞カアル。但シ斯ノ農業上欠クコトノ出來ナイ糞尿ノ貯藏所ニ就テハ、近頃種々ノ規則カ出來テ、其ノ糞尿カ外部ニ浸潤スル虞カナイヤウ

ニ、緻密ナ障壁ヲ造ラネハナラヌコトニナツテ居ルカ、シカシ此規則モ所謂命令スルコトハ易イカ、實行スルコトハ難イトイフ格言ノ一例ニナツテ居ル。全體地方テハ斯様ニ堅牢ナ肥溜ヲ造ルホト堪能ナ左官ハ頗ル得難イカ、縱令コレカ立派ニ出來上ツタトシテモ、ナホ其ノ障壁ヤ「ベトン」即チ「セメント」ヲ混和シタ漆灰ハ追々糞尿中ノ酸類ニ侵サレテ終ニハ破壊セラル、モノデアル。マシテ此カ最初カラ不完全ナ物デアツタナラ直ニ其ノ周圍ノ土地ニ汚染スル、隨テ又此ノ土地ヲ通過シテ井戸ニ這入ル水モ亦不潔デアル。ナホ斯ノ缺點ノ豫防策トシテ、糞尿溜ハ井戸ヲ距ルコト三乃至七米突ノ間隔ヲ保タネハナラヌトイフ規則カ設ケテアルカ、此規定テハ無論總テノ場合ニ就テ井戸ノ汚染ヲ豫防ストルコトハ出來ナイ、蓋シ右ノ間隔テ満足スヘキヤ否ヤトイフ問題ハ、土地ノ地質ニ大關係カアルコトテ。若シ土地ノ最上層カ粘土質テ糞尿溜ハ其地層ヨリ下ニハ達シテ居ナイテ、又一方井戸ノ水ハ其ノ下ノ砂層カラ湧出シテ居ルヤウナ場合ニハ、井戸水ノ汚染スル虞ハ先ツナカラウ。又土地カ自然水ヲ濾スヤウナ砂礫カラ出來テ居ル場合ニハ、糞尿溜ト井戸トノ間ノ土地ハ多年間汚染スルヤウナコトハナラウカ、シカシ、絶エス汚物カ浸潤シテ居ルカラ終ニハ此中間ノ砂礫モ井戸水ノ汚染スルノヲ防遏スルコトハ出來ナイ結果トナル。次ニ又砂石脈ヤ石灰脈ノ土地テハ、此關係カ頗ル危險デアル。斯ル土地テハ往々龜裂カアツテ、コレニ粘土ヲ含有シテ居ル砂礫カ充滿シテ居ルカ、コレカ漸々雨水ニ洗ヒ流サレテ隙間カ出來ルカラ、終ニハ不潔ナ雨水カ糞尿溜カラ直接ニ井戸ニ注入スルヤウニナル

河流ニ沿ウタ土地テハ、一般ニ家事用ノ水ヲ此河カラ採ツテ居ルカラ、其結果トシテ惡疫ノ流行ヲ惹キ

起シタ實例カ澤山アル。是レハ別ニ不思議ハナイノデ、大雨等ノ場合ニハ肥料ヲ撒布シテアル田野ヲ通過シタ水カ此河ニ流レ込ミ。マタ其上ニ、工場ノ排泄物ヤ上流ニ在ル人家ノ下水ヤ又ハ糞尿ナトカ之ニ注入スルカラテアル

土地カ高ウテ河流ハナク、且ツ地理上ノ關係カラ井戸ヲ造ルコトカ出來ナイ所テハ、其住民ハ多少隔ツタ水源カラ水桶テ其用水ヲ運搬シテ居ルノテ、水ノ不潔ニナルノヲ防ク道ハ殆ントナカラウ

凡テ不潔ナ飲用水ハ人類並ニ動物ノ健康ヲ害シ、且ツ傳染病流行ノ源トナルノテ、人ニ對スル室扶斯、赤痢、虎列刺、又動物ニ對スル脾脫疽等ハ病毒ニ汚染シタ水ヲ飲用スルニ由ツテ傳播スルノテアル。又家畜ノ口及ヒ足ノ疾病カ發生傳播スルノハ、主ニ厩舎ノ不潔ニ起因スルノテアル

サテ此等ノ疾病ハ其ノ發生シタ地方ノミニ限ラナイテ、其ノ周圍ヘモ蔓延スルカ常テアル。尙其上其地方ト交通スル大都會ヘモ傳播スルコトテアル。即チカノ室扶斯カ牛乳ヲ介シテ郡部カラ市内ニ傳播シタ例ハ、既ニ屢々確認セラレタコトテ。又不潔ナ野菜及ヒ牛酪ナトモ同様ニ病毒ヲ傳播スルモノテアル。カ、ル危險ハ動物ニ對シテモ亦人間ト同様テ、若シ病畜カ町村カラ市街ノ屠肉場ニ附屬スル厩舎ニ運搬セラレタナラ、直ニ流行ヲ惹キ起シテ夥シク損害ヲ與ヘルコトニナル

斯ル危険ナ状態ニ對シテ、如何ニ理想的ノ井戸規則ヲ發布シタカラトテ、到底之ヲ救済スルコトハ出來ナイ、ソコテ、健全ナ水ヲ何時テモ十分ニ家屋並ニ厩舎ヘ供給スルニハ、水道ヲ敷設スルヨリ外ニ道ハナイノテアル。水カ何時テモ自由ナラハ自然ニ澤山之ヲ使用スルコトニナル。然ルニ、之ヲ屋敷カラ釣瓶テ

繰上ケルトカ又タハ遠クノ村井戸カラ汲ンテ來ナケレハナラナイヤウテハ、自然水ノ使ヒ方ヲ節約シテ、之ヲ運搬スル勞力ヲ減シヤウトスルノハ人情ノ常テアル。ソコテ不潔テアルトカ、衛生ニ適ハストカイフコトハ一向無頓着テ同シ水ヲ何度モ種々ノ目的ニ使用スルヤウニナルノテアル。シカシ、水道カ敷設シテアツテ唯僅ニ其ノ活栓ヲ開クタケノ勞力テ二階ヘテモ三階ヘテモ又厩舎ヘテモ自由ニ良好ナ水カ供給セラ、コトニナラハ自然ニ水ヲ多少浪費スル習慣カ出來ル、サテ斯ノ水ヲ浪費スルノハ金錢ヲ浪費スルノトハ違ツテ非常ナ收益カアル。即チ水ヲ澤山ニ使フホト益々ス清潔ニナツテ益ス、確實ニ健康ヲ保全スルコトニナルノテアル猶ホ水ヲ澤山ニ使用スルノハ、人類ノ健康ヲ進メルト同様ニ亦タ家畜ノ健康ヲモ保護スル。不潔ナ濕ツタ厩舎ハ家畜ノ爲メニ不利益ヲ清潔テヨク換氣スル室ハ其ノ利益ナルコトハ當然ノコトテ清潔ナ厩舎テハ家畜カ健全テアルカラ、其ノ病氣ニ對スル抵抗力モ強イ、タカラ傳染病モ傳播スル餘地カナインテアル。又タ水ヲ供給スルコトカ困難ナラハ、自然家畜ハ十分ニ水ヲ飲ムコトハ出來ナイ。殊ニ夏、家畜カ渴シテモ、下女下男ハ其ノ渴ヲ止ムルホト十分ニ水ヲ與ヘナイ。此事實ハ家畜飲水所ヲ設ケタ結果ヲ見レハ分ル。即チ、牝牛ハ此所ヲ思フ存分ニ水ヲ飲ムノテ、牛乳ノ產出量カ大變ニ増加スル。ソコテ、前ニハ十分ニ水ヲ飲ンテ居ナカツタコトカ了解出來ルノタ。尙ホ又水ヲ運フニハ必ス勞働者カ入用テアル。ダカ、場所ニヨツテハ勞働者ノ不足ヲ告ケテ居ルカ假令、全ク此事實ヲ認メナイトシテモ、ナホ之レカ爲メニハ勞働賃ヲ拂ハネハナラナイ。トコロカ、家ヤ家敷ヤ厩舎ヤ臺所テ水道カラ自由ニ水ヲ出スコトカ出來ルナラ、コノ勞力ト賃銀トヲ節約スルコトニナル。タカラ水道ハ富者ヨリハ貧者ニ便利タトイフ

格言カアル。水ヲ運フ必要カナクナレハ貧乏人ハ敢テ下女ヲ置カストモ暮ラセルタラウ。若シ又下女カ置ケナイ者テ妻君ヤ小供ト共々水ヲ運ンテ居タトスレハ、水道ノ爲メニ其ノ手數カ省ケルカラ其ノ時間テモツト有益ナ仕事カ出來ルタラウ

右ノ次第テ郡部ニ水道ヲ敷設スルノモ市街地ニ於ケルト同様テ、衛生上ノ利益カアル上ニ、社會經濟上ニモ亦一ノ著目スヘキ意味カアルノテアルカ尙今一ツ同シク社會經濟上ノ利益カアル即チ、水道ヲ適當ニ敷設スレハ、火災ノ損害ヲ一層輕減スヘキコトテアル。元來郡部テハ出火ノ危險ハ市街ト同様テアルカ、其ノ延燒ノ危險ハ一層多大ノテアル。ナセナラハ、家屋ノ構造カ一般ニ堅牢テナイ上ニ、殊ニ收穫後ハ澤山家屋及ヒ厩舎ノ直接附近ニ秣ヤ糞カ堆積シテ在ルカラテアル。サテ出火ノ際直ニ水道ノ消火栓ヲ開イテ、火ノ中心ニ水瀧ヲ浴セ掛ケタナラ、多分其ノ延燒ヲ未然ニ防クコトカ出來ルタラウ。タカ、モシ水道カナクテ、先ツ消火唧筒ヲ運ハネハナラヌヤウテハ、コレカ爲メニ時間ヲ要スルカラ十分延燒ヲ防クコトカ出來ナイ、ナホ其上ニ往々消火池ニ水カ缺乏シテ居テ一層、消防ノ効ヲ奏シナイコトカアル

コレテ、郡部ニ水道ノ必要ナ事ハ略ホ説明シタカ、サテ茲ニ、近頃水道ノ敷設シテアル小市街テ、現ニ屢々大火カ起ツタ實例カアル。シカシ、之ハ何レモ其水道ニ欠點カアツテ役ニ立たナカツタカラテアル、ナホ又、水道カアルニモ拘ハラヌ、傳染病カ發生シテ、シカモ、コレカ廣ク傳播シタトイフ事實カ數度アツタ、ソコテ、其原因ヲ穿鑿シタ結果或ハ其ノ水源池若クハ淨水裝置カ不完全ナモノテアツタカラカ。或ハ又水カ不足ナノテ管理者カ無謀ニモ汚染シタ河水ヲ之ニ注入シテ居タカラテアツタ事カ發見セラレタ。

タカラ、水道ノ敷設ト其ノ管理トニ就テハ十分ニ注意シテソノ要件ヲ總テ完成シナケレハナラナイノテアル。今茲ニ、ソノ要件ヲ一口ニ言ツテ見レハ、則チ

完全ナ水道ハ、先ツ、善良テ且ツ健康ナ水ヲ十分ニ供給シナケレハナラナイ。ナホ其上ニ、街道ヲ網狀ニ行キ渡ツテ居ルトコロノ給水管ノ水ハ、消火栓カラ直接ニ噴水シテ、其水カ常ニ家屋ノ最高層ニ達スルタケノ壓力ヲ加ヘラレテ居ナケレハナラナイ

トイフコトテアルカ。コレカラ、ソノ各要項ニ就テ、簡單ニ説明シヤウト思フ

ト健康ナ水ヲ要スルコト、並ニ、何ヲ標準トシテ之ヲ求ムヘキカトイフ事ニ就テハ、紀元一千九百〇六年發布ノ内務省ノ訓令ニ示サレテアル。ソノ個條ヲ一々此所テ讀上クル必要ハナイカ、唯、特ニ二三ノ點ニ就テハ辯明シナケレハナライ

先ツ、郡部ヘ給水スルニハ、暫時テモ非常ニ汚レタ水ヲ河川カラ收用シテハイケナイ。シカシ、深イ湖水カ又ハ人工貯水池ノ水ハ少シモ懸念スルニハ及ハナイ。タカ、小規模ノ工事テハ、多分、地下水カ若クハ泉水カ其ノ問題トナルノテアル。トコロカ、コノ兩者ハ大體ソノ水源ハ同様テアルカ、其水ノ性質ハ場合ニ依ツテ善惡兩様ニ分レル。タカラシテ、之ヲ水道ニ收用スルニハ、先ツ、泉水ヲ長時日ノ間觀察シ地下水ヲ十分ニ試験シタ上ノコトニシナケレハナラナイ。但シ、昔ハ透明無臭テ且ツ佳味ナコトヲ良水ノ要件トシテ居タカ。今ハコレテ満足カ出來ナイノテ、技師カ特ニ化學者及ヒ衛生學者ト共カシテ、其ノ良否ヲ鑒定シ、尙ホ場合ニ依ツテハ、地質學者ノ力ヲモ借ルノテアル

サテ、水ハ健康ニ適スルモノト確定シテモ、ナホ第二ノ要件ニ進ンテ、此泉水又ハ地下水ハ四季常ニ必要分量ヲ供給スルニ足ルヤ、否ヤトイフコトヲ査定シナケレハナラナイ

前ニ述ヘタ内務省ノ訓令ニハ別ニ數學的ニ給水量ヲ指定シナイテ「現在並ニ遠カラサル將來ニ對スル給水設備ハ四季毎日ノ需要ヲ十分確實ニ供給スルニ足ルモノテナケレハナラヌ」トアル、ナホ、土地カ將來發展スルニツレテ、水ノ需要モ亦大變ニ増加スルカラ、之ニ適應スル見積リヲモシテ置カナケレハナラナイノテアルカ。シカシ、此事ニ關スル說明ニモ亦數字のノ指定ハ別ニ與ヘテナイ。尤モ、此事ニ就テハ種々ノ理由カアツテ、一般ニ適應スル數量ヲ示スコトハ難事テアル。全體、獨逸各地方ノ用水量ハ、塲所ニ依ツテ非常ノ差異カアツテ縱令、餘リ隔ツテ居ナイ塲所ニ就テ比較シテ見ルモ、其ノ用水量ニハ大差カアル。且チ、小規模ノ水道テ、若シ工場ナトノヤウナ水ノ大需要者カアレハ、其ノ平均用水量ニ及ホス影響ハ實ニ非常ナモノテ、トテモ大都會ノ設備ニ於ケル影響トハ比較カ出來ナイ。又都會テハ市街清潔法トカ噴水裝置トカ、又ハ庭園ナトノタメニ、郡部ニ比較スレハ非常ニ多量ノ水ヲ使用スルカラ其ノ用水量ヲ直チニ郡部ヘ適用スルコトハ出來ナイノテアル。サレハトテ、其ノ用水量ヲ根據トシテ新ニ郡部ノ用水量ヲ算出セントシテモ尙ホ獨逸ノ各都會テハ其ノ用水量ニ非常ノ差違カアルカラ、其ノ取捨ニ當惑スルノテアル

右内務省ノ訓令中既ニ說明シタ要件ニ依ツテ凡テ給水量ヲ見積ルニハ、其地方ノ平均用水量ニハ據ラナイテ、其ノ最大用水量ヲ根據トシナケレハナラナイコトカ分ル。ナセナラハ、夏ノ非常ナ旱魃ニ際シテハ

水ノ需要カ大變ニ増加スルノテ之ヲ充タスコトカ最大要務テアルカラタ。サテ、普通ノ經驗ニヨレハ家事用トシテハ一人一日約三十「リートル」カ其平均使用量テアル。シカシ、全體テノ使用量ハ猶ホ多額ニ上ルモノタ。殊ニ郡部テハ、其ノ家畜ノ數カ之ニ大關係ヲ及ホスモノテアルカ、土地ノ繁榮及ヒ其ノ狀況ニ依ツテ其ノ頭數ニ差違カアルノテ之ヲ一樣ニ考フルコトハ出來ナイ。ソコテ、普通、牛馬ノヤウナ大家畜ニ對シテハ少クモ一頭一日五十「リートル」ヲ其ノ平均使用量トシテ居ルカラ、之ニ依ツテ計算スヘキモノタ。又工場ノ影響ニ就テハ既ニ述ヘタ通りテアル。ソコテ、今水道ヲ敷設スルニ當ツテ、モシ現在ノ人口ト家畜ノ數トヲ給水量算出ノ基礎トシテ、之ヲ設計シタナラハトウカトイフニ、之ハ多分全ク失敗ニ歸スルタラウ。猶ホ其上ニ、必ス人口ノ増加ト家畜ノ増殖トニ就テ、十分ニ斟酌シテ置カナケレハナラナイノテアル。シカシ、コノ將來ニ對スル豫算ニ就テハ確實ナル數量ヲ定ムルコトカ頗ル難事テアル、ナセナラハ、或ハ比較的迅速ニ發展スル地方モアリ。或ハ又交通ノ要路ニ隔離シタ山地テ、多年發達シナイノミカ、却テ退歩シテ居ル地方モアルカラテアル

シカシ又、餘リ長時期ニ亘ル將來ノ發達ヲ見積リテ、之ヲ設計スルノモ亦其ノ當ヲ得タモノテハナイ。ナセナラハ、若シサウシタナラハ、現在ノ住民カ將來ノ住民ノ爲メニ餘リ過大ノ負擔ヲスルコトニナルカラテアル。タカラ、コノ將來ノ發達トイフコトニ就テハ先ツ今後二十年乃至二十五年ヲ其期限トシテ、ソシテ、ソノ從來ノ發達程度カラ推度シテ此期限ニハ幾許ノ人口ニ達スルカトイフコトヲ計算シ、之ニ據テ又水ノ需要ノ増加額ヲ勘定シテ、ソコテ、之ヲソノ標準ニスルノカ適當テアルト考ヘル。但シソノ撰擇シ

タトコロノ水源池カ、右ノ期限ヲ經過シタ後マテモ、ナホ其ノ役ニ立ツヤウニ出來テ居レハ、勿論結構タカ。又、カクスルニハ過大ノ建設費ヲ要スルノテ、當然其ノ利子カ損失トナル點ニ着目シテ、只期限ノミノ用ヲナスタケノ設計ヲシテモ、亦差支ヘハナイ理テアル。

又、土地ノ發達ノ程度カ不確實ナ場合ニハ一般ニ種々ノ項目ヲ分ケテ其給水量ヲ見積ルニハ及ハナイ。例ヘハ大小ノ家畜ノ現在數ニ對シテ幾許ノ水ヲ要スルカトイフヤウニ、精細ニ見積ルニハ及ハナイテ、單ニ人口ヲ土臺ニシテ、其ノ二十年乃至二十五年間ノ増殖ヲ見積リ、ソシテ其ノ給水量ヲ計算スレハ十分テアラウト考ヘル。

サテ又、新ニ水道ヲ敷設シタ當年ニハ普通ノ最大用水量ハ一人一日六十乃至七十「リートル」ニ上ルニ止マルモノタカ多量ヲ望ム此方テハ百「リートル」以上シカモソレカ大地方ナラハ百二十「リートル」以上ノ準備ヲシナケレハナラナイノテアル。但シ、經驗ニヨレハ水量計ヲ設ケタ家屋並ニ庭園等テハ其ノ用水量カ一般ニ少ナイ。コレハ水量計ニヨツテ用水料ヲ拂ハネハナラナイカラテアル。タカラ水量計ハ水ノ濫費ヲ防クニハ最も適當シタ利器テアツテ、殊ニ水ヲ多量ニ供給スルニハ非常ニ多額ノ費用ヲ要スル場合ニハ之カ最モ必要ナ設備テアル。シカシ、郡部テハ水ヲ十分ニ供給スルコトカ困難ニナラナイ限リハ之ヲ適用スルコトヲ見合スヘキモノテアル。即チ、水ノ濫費ニ就テ一々之ニ課税スル事ハ、ナルヘク猶豫スヘキモノテアル。次ニ、水道ニ對スル第三ノ要件ハ、即チ水ニ適當ナ壓力ヲ與ヘテ置カナケレハナラヌ事テアル。コレハ一ニハ高地ニ在ル家ニ水ヲ送り、又一ニハ出火ノ際ニ給水管ノ水ヲ家屋ノ頂上ニ達セシムル爲メニ必要ナ

ノテアル。サテ之カ爲メニハ幾許ノ壓力カ必要ナルカトイフニ、ソレニハ、網狀ニ行キ渡ツタ給水管ノ最モ高イ處カラ尙ホ二十乃至二十五米突高ク上ケラル、ナラハ宜シイ。サウテナイト、火事ノ際ニ、郡部テモ少シ高イ家屋ニハ十分ナ消防ノ功ヲ奏スルコトカ出來ナイ、シカシ、丘陵ノ多イ地方テ極少數ノ家屋カ、他ノ多數ノモノニ比ヘテ非常ニ高イ處ニ在ツテ、此少數ノ家屋ニ十分達スル丈ケノ壓力ヲ水ニ與フルニ非常ニ費用ヲ要スルヤウナ場合ニハ、強テ右ノ要件ヲ充スコトハ出來ナカラウ。タカ、カウイフ場合ニハ自動揚水機又ハ其他ノ新式水力機械ヲ設備スレハ、別ニ多大ノ費用ヲ要シナイテ、特ニ此等丘陵上ノ家屋ニ對シテ十分ナル消防裝置カ出來ルノテアル。蓋シ此ノ第三ノ要件ハ非常ニ必要ナモノテアルニモ拘ハラスナセカ、内務省ノ訓令中ニハ合マレテ居ナイ。

扱、調査ノ結果、良質ノ水カ十分ニ得ラル、コトカ確定スレハ次ニ壓力ノ問題ヲ考究シソコテ、初メテ水道工事ヲ設計スヘキモノテアル。カクテソノ設計ニ就テハ小規模ノモノテモ大規模ノモノト同様、周到ナ注意ヲ加ヘネハナラナイ、即チ、其個々細微ナ點ニ到ル迄、學理上及ヒ技術上並ニ衛生上ノ要求ニ適應シタモノテナクテハナラナイ、ソレカラ猶ホ經費上ノ問題ニ進ンテ小規模ノモノハ却テ大規模ノモノヨリモ一層嚴密ナ注意ヲ要スル。ナセナラハ經費ハ出來得ル限リ節約シナケレハナラナイカ、シカモ其ノ設備ハ完全ナモノヲ要スルカラテアル。タカラ、其ノ水源池並ニ高位貯水場及ヒ給水管ノ大小裝置及ヒ其附屬品ニ至ルマテ非常ニ嚴密ニ設計シテ、絶對的ニ必要ナ費用ノ外ハ、凡テ節約シナケレハナラナイ。カウシテ置カナイト、元來需要者カ少ナイノタカラ、直ニ敷設資金ノ利子カ水道ノ收入ノミテハ拂フコトカ出來ナクナル、

カウイフ次第テ、小規模ノ水道テモ、其工事ハ小サイカ、矢張少クモ大規模ノモノト同様ニ熟慮ト智識ト又經驗トヲ要スルノテ、凡テ水道ヲ設計スルニハ、斯道ノ經驗アル専門家ニ依頼スルノカ最上ノ策テアルサテシカシ、個々ノ町村トシテ、斯カル専門家ヲ招聘スルコトハ、先ツ出來ナイ相談テアル。タカラ、數多ノ州政府テハ此事情ヲ諒察シテ、各町村カラ委任ヲ受ケテ水道ノ設計並ニ工事ヲ擔任スル官廳ヲ設ケテアルカ、之レハ特ニ感謝スヘキコトテアル。就中、ウヰルテムベルヒテハ今ヨリ約四十餘年前ニ既ニ當時ノ土木技師エーマン氏ノ指導ノ下ニ公共給水事務ヲ取扱フ處ノ官廳カ出來テ居タカ他ノ諸州テモ間モナク之レニ倣ウタ。即チ、バイエルンテモ丁度カヤウナ官廳ヲ設ケ。又、バーデン及ヒエルザス、ロトリンゲンテハ開化監督署、又ヘッセンテハ開化監督署並ニ地方土木監督署ヲ設ケテ給水事務ヲ取扱ウテ居ル。又、北獨逸テハ既ニ餘ホト其以前カラ此問題ヲ研究シテ居テ州、政廳ノ外ニ縣行政廳テモ、町村ノ水道事業ニ就テ種々保護ヲ與ヘテ居ル

扱、前ニ度々述ヘタ内務省ノ訓令中ニ、水道ノ設計ニ就テ遵守スヘキ技術的の原則ヲ説明シテアル。タカラ、吾輩ハ個々微細ナ點ニ立チ入ツテ之ヲ述フル必要ハナイカ。唯、最モ重要ナ點ニ就テ少シ述ヘヤウト思フ

先ツ、水源池即チ淨水場ニハ地上ノ水カ流れ込ムノヲ絶對ニ防止シナケレハナラナイ。タカラ、地下ニ淺ク之レヲ造ルコトハ禁物タ。水源用ノ井戸モ亦同様テ且ツ地下水カ這入ルヤウニ、十分深ク地下ニ掘リ込マナケレハナラヌ。猶ホ、此ノ水源池及ヒ井戸ハ、ナルヘクハ人カ其ノ内ニ這入ルコトカ出來ルヤ

ウニ造ツテ置イテ必要ナ場合ニハ何時テモ其ノ中ヲ十分ニ検査スルコトカ出來ルヤウニスヘキテアル又、水ヲ水源池ヘ導ク水管モ亦非常ニ注意シテ地上ノ水カ這入ラナイヤウニ造ラナケレハナラナイ

次ニ、高位貯水場即チ給水場モ亦水道ノ重要部ノ一テアツテ、コレハ日常ノ用水量ヲ調和シ、且ツ消防用ノ水ヲ貯藏スル役目ヲスルノタ。但シ若シ被給水地附近ニ適當ナ高地カアラハ其處ニ之ヲ建設スルノカ便利テアル、ソコテ、コノ給水場ノコトニ就テ、少シ述ヘヤウ

凡テ被給水地ノ水ノ使用量ハ、一個年中ノ期節ハ勿論、七曜中ノ日コト、又ハ一日中ノ時刻ニ依ツテモ種々變動カアルモノタカ。高地ニ在ル泉又ハ高地ニ在ル掘貫井戸カ水源トナツテ居ル場合ニハ、其水カ給水場ニ流れ込ムノハ、一日二十四時間平等テアル。シカシ、低地ニ在ル泉又ハ井戸カ水源トナツテ居テ、コカラ機械力ニヨツテ水カ給水場即チ高位貯水場ニ運ヒ上ケラル、場合ニ小規模ノ水道テハ此機械ノ運轉ヲ一日中僅カノ時間ニ制限シテ此時間中ニ終日ノ需要ヲ充タヌタケノ水ヲ運ヒ上ケテ置カナケレハナラナイ、タカラ、此貯水場ノ容量ハ十分多大ナモノニシテ置カナケレハナラナイ。ナセナラハ、用水量ニハ時々變化カアツテ、時ニハ平均以上ニ澤山水カ使用セラレテモ、尙ホ不時ノ出火ニ對シテ、十分ニ消防力出來ルタケノ水ヲ準備シテ置カナケレハナラヌカラテアル。ソコテ、大規模ノ水道テハ、普通被給水地テ一晝夜ニ使用スル最大量ノ水ヲ容ル、タケノ貯水池ヲ給水場ニ設クルコトニナツテ居ルカ。シカシ小規模ノ水道テハ常ニ此ノ標準テハ満足スルコトハ出來ナイ。是非トモ出火ノ際ニハ何時テモ少ナクモ二十乃至三十立方米突ノ水ヲ供給スルコトカ出來ル程度ニシテ置カナケレハナラナイ

猶ホ高位貯水場ノ水ハ静止シテ居ナイテ、之レヲ供給スルニツレテ常ニ其全部カ移動スルヤウニシナケレハナラナイ。カウスルニハ先ツ貯水場ハ障壁ヲ造ツテ之ヲ幾ツカノ水室ニ分ケ、ソシテ之ニ流レ込シタ水ハ漸次ニ此ノ各水室ヲ悉ク通過シテ後外部ニ流出スルヤウニスレハ宜シイ。タカ、モシカウイフ設備カ出來ナイ時ハ寧ロ貯水場ニ障壁ヲ設ケナイテ、ソノ入口カラ流レ込シタ水ハ少シモンノ非常用ノ貯藏水ヲ移動セシメナイテ、其儘直ニソノ出口カラ流レ出ルヤウニスルカ宜シイ。サウシナイト貯水場ニ在ル水ノ表面ハ一方水ノ流レ込ム量ト他方ニ之ヲ使用セラル、量ノ多寡ニヨツテ、ソノ高低カアルノミテ一向流動シナイモノタ。タカラ、コノ流動シナイ部分ニ塵埃ヤ細微ノ不潔物カ溜ツテ細菌類ノ含有量カ非常ニ多クナルカラテアル

又、高位貯水場内ノ水流ヲ調節スルニ必要ナ栓ハソノ一個ノ水室ニ設クルカ又事情ニヨツテハ二個ノ水室ニ設クヘキテアル。猶ホ高位貯水場ノ各水室ニハ空氣ノ流通カ十分ナルヤウニ注意シテ置カナケレハナラナイ

尙ホ水源池及ヒ高位貯水場ノ各水室ニハ厚サ一米突乃至一米突半ノ被蓋ヲ設ケテ水カ春夏秋冬イツテモ同様ニ低イ温度ヲ保ツヤウニセナケレハナラナイ

但シ被給水區域附近ニ十分ナ高地カナクテ已ムナク平地ニ給水場即チ高位貯水場ヲ設ケテ水塔ヲ造ラネハナラナイ場合テモ前ニ述ヘタ原則ハ都合ヨク適用シナケレハナラナイノテアル

次ニ被給水地ニ行キ渡ツテ居ル給水管ハナルヘク其ノ中ノ水カ都合ヨク循環スルヤウナ装置ニシテ所謂

死管(之ハ *Totom Drain* ヲ和譯シタルモノニシテ、給水管ノ末端ニテ其中ノ水カ少シモ移動セサル部分ヲ

云フ)カ出來ルノヲ避ケナケレハナラナイ。シカシ、給水セラル、街道カ只一筋シカナイ場合ニハ必スカウスルコトハ出來ナカラウ。モシ其場合ニハ其ノ所謂死管ノ末端ニ消火栓ヲ設ケテ常ニ之ヲ利用シテ給水管ヲ洗滌スルヤウニシテ置カナハナラナイ。モシサウシテ置カナイト給水管ノ末端ニ不潔物カ沈澱シテ終ニハ大害ヲ及ホスヤウニナルカラテアル

又水ノ流通ヲ安全ニスルニハ給水管中ノ高イ所ニ空氣抜キヲ設ケ其ノ低イ所ニ排泄口ヲ備フレハ宜シイ

尙ホ粘土管若クハ「セメント」管ハ水源池以外ニハナルヘク用井ナイヤウニシナケレハナラナイ。即チ例ヘハ水源池カラ高位貯水場ヘ水ヲ導クニ一向壓力ヲ要シナイテ自然ニ流レ行ク場合テモ之ヲ用井ナイ方カ宜シイ。全體コノ粘土管又ハ「セメント」管ハ専ラ下水工事ニ用井ラル、モノテ水道ニハ用ウヘキモノテナイノテアル

扱一般ニ水道工事ハ總テ此等ノ原則ヲ遵守シテ設計シ且ツ非常ニ周到ナ注意ヲ加ヘテ指導ヒラルルモ尙ホ十分完全トイフ程度ニハ出來上ラナイノカ常テアル。然ルニ若シ其ノ最善ノ設計ニ缺點カアツタナラ、直ニ衛生上憂慮スヘキ結果カ起ルノハ當然ノコトタ。又工事中ハ周到ナ監督カ絶對ニ必要テアル。若シサウシナイト其ノ工事ノ受負人ハ殊ニ小規模ノ場合ニハ些シモ専門的智識ノナイ者タカラ、必ス缺點カ出來ル。シカモ其缺點タルヤ工事竣工ノ後ニハナカク分ラナイカヨシ分ツタトスルモ容易ニ之ヲ修正スル事

カ出来ナイカラ、非常ナ損害トナルノテアル

次ニ水道ヲ敷設スル經費ハ住民ノ數ニヨツテ非常ニ差違カアルノハ勿論テアル。シカシ經費問題ヲ解決スルニ就テ最モ重大ナ關係ヲモツテ居ルモノハ第一、水カ自然ニ給水場即チ高位貯水場へ流レ込ムカ、又ハ人工的設備ニヨツテ運ハネハナラヌカ第二、給水場へノ導水距離ハ長イカ短イカ、第三、水ヲ揚クルニ水力機械カ使用セラルヘキカ、又ハ蒸氣機械若クハ瓦斯機械カ適用セラルヘキカト事テアル今若シ、給水場へ水ヲ運フニ人工的設備ヲ要シナイトスレハ其ノ運送費ハ節約セラル。タカラ此場合ニハ給水場へ流レ込ム水ノ一立方米突ノ價ハ他ノ事情カ同様ナラ人工的ニ運フ同量ノ水ノ價ヨリハ其ノ運送費用タケ廉クナル譯タ。シカシ此ノ利益モ水カ給水場へ流レ込ム距離カ非常ニ長イト終ニハ無効ニナルナセナラハ水ヲ流レ込マスル工事ノタメニ要スル費用ノ利子カ唧筒仕掛テ水ヲ揚クル費用ヨリモ大キクナルコトカアルカラテアルタカラ單ニ水カ自然ニ給水場へ流レ込ムカ又ハ人工的ニ揚ケラレネハナラヌカト云フ點ノミテハ自然ニ流レ込ム水ノ一立方米突ノ價カ人工的ニ揚ケラル、同量ノ價ヨリ廉イトイフ決定ハ出来ナイノタソコテ一般ニイヘハ自然ノ水力テ流込ム比較的遠方ニアル水源ヲ選フ方カ近クノ地下水ヲ唧筒テ揚クルヨリハ廉價ナノテアルカシカシ水源ヲ選定スル場合ニハ前ニ述ヘタヤウナ利害得失ヲ十分ニ考量シテ之ヲ決定シナケレハナラナイ

多クノ場合ニ郡部ハ水道ノ工事ヲ負擔スルコトカ出来ル状態テナイ。タカ丁度カ、ル發達ノ不十分ナ小サイ地方カ最モ水道ノ必要ナ所テアル。ソコテ、其ノ住民一人ノ頭ニ其ノ工事費ヲ割り當テ、見ルト意外ニ

多額ニ上ルモノテアル斯ル場合ニハ州政府又ハ縣官廳テ金ノ出来ルヤウニ周旋シテヤラナケレハナラヌ。即チ自ラ保證シテ低利ノ公債ヲ募ルトカ又ハ一時的補助金ヲ與ヘテ工事費ヲ拵ヘテ遣ルトカスルノタ。尤モ各州政府テハ年々之ニ對シテ一定額ノ金子カ其ノ豫算ニ編入セラレテ居ルテアル。但シ州立若クハ公立ノ火災保險局カ設置シテアル地方テハ其保險局カラ當該自治體ニ相應ニ補助金ヲ提供スヘキテアル。ナセナラハ水道ヲ敷設スレハ消防カ十分ニ行キ届クカラ火事ノ危険モ少クナツテ其ノ損害モ減少スルカラテアル。又之ヲ國民經濟上カラ見ルト火災保險局カ火災ノ豫防ニ對シテ其ノ積立金ヲ支出シテ之レヲ補助スルノハ火災ノタメニ烏有ニ歸シタ建物ヲ改築スル費用ヲ提出スルヨリハ當然得策テアルコトカ了解出来ルノタ

扱又水道ハ凡テ隣接シテ居ル數町村カ合同シテ共同水道制ニヨツテ之レヲ敷設スルナラハ其ノ工事費ハ餘程輕減スル。彼ノウユルテムベルセノラウヘ、アルプノ水道ハコノ共同制ノ成リシタ最初ノ模範テアル。ソコテコノ共同制ハ近來獨逸ノ各州ニ流行シテ其ノ數カ著シク増加シタ。即チラインヘッセンニハ極最近ニ三ヶ所オーベルヘッセンニハ二ヶ所ニ共同水道カ出来タカ猶ホ續々計畫セラレテ居ル。又タ新ニ水道ヲ敷設セントスル所へ此ノ巧妙ナ方法ヲ指示スルコトハ特ニ行政官廳並ニ土木局ノ任務トスヘキコトテアル

次ニ水道ニ對スル衛生上最後ノ要件ハ故障ノ起ラナイヤウニ之レヲ管理スルコト、十分ニ注意シテ之レヲ維持スルコト、テアル。元來水道ハ最良ノ設計ニ依リ終始監督シテ始メテ非雖ノナイヤウニ出来上ルノテ

アルカ。漸ク出來上ツタ處テ之レヲ管理スル方法ヲ誤リ之レヲ維持スルニ不注意テアツタナラ直ニ危險ノ状態力起ツテ水道ノ價值ヲ減却スルヤウニナルハカリテナク却テ水道ノタメニ害ヲ生スルヤウナ事ニナル

今述ヘタ次第テアルカラ水道ノ管理ニ就テハ先ツ其ノ基礎トナルヘキ規則ヲ設ケテ水道ヲ引用スル手續及ヒ水道料ノ計算方法等ヲ規定シ且ツナルヘクハ新ニ法律ヲ設ケテ各家主ニ對スル強制加入制ヲ採用スルカ宜シイ。但シ是ニハ理由ノアルコトタ。即チ水道ノ在ル土地ノ住民ハ縦令之ヲ引用シテ居ストモ其ノ利益ヲ受ケテ居ル。例ヘハ之カ爲メニ消防ノ設備カ一層安全ニナツテ居ルコト及ヒ之ニ由ツテ土地ノ衛生状態カ改良セラレタコト等ハ皆其ノ餘澤テアルカラタ。タカラ又若シ強制加入制ヲ法律ヲ規定スルコトカ出來ナイ場合ニハ加入者ノ納ムル水道料ノ幾分カラ今述ヘタヤウナ餘澤ノ報酬トシテ非加入者カ負擔スルコトタケハ必ス規定スヘキコトテアル

猶ホ水道ノ管理ノ中テ殊ニ必要ナコトハ時々水源池ヲ検査シラ其中ニ出來ル沈澱物ヲ取り除クル事テアル又高位貯水場モ同様ニ絶エス検査シテ掃除シナケレハナラヌ。凡テ此等ノ建設物ニハ常ニ斷シテ外部カラ不潔物カ侵入スルコトハナイト云フ状態テナケレハナラナイノタ。次ニ網狀ニ行キ渡ツテ居ル給水管中殊ニ其末端ノ所謂死管ニハ水ニツレテ流込ム極微細ナ水垢カ溜ルモノテアルカラ其水ノ性質ニ從ツテ三週乃至六週間毎ニ全部ノ給水管ヲ悉ク洗滌シナケレハナラナイ。尙ホ此際各給水管ヲ分界シテ居ル水栓ハ十分働イテ居ルカ又消火栓ハ十分ニ其ノ役ニ立ツヤウナ状態テアルカコレ等ノコトヲ検査シテ見ナケレハナラ

ナイ。但シ小サイ町村テハ此等ノ事ヲ悉皆水道技士ニ一任スルノカ普通テアルカ其報酬カ少イノテ技士ノ方テハ之ヲ副業トシテ勸メテ居ル。コレハ一方テハ此ノ管理ノタメニ多額ノ報酬ヲ要求スルコトモ出來ヌ又一方テハ此ノ小サナ管理ノタメニ特ニ一人ノ技士ヲ雇ウテ置クコトモ出來ナイカラ全ク已ムヲ得ヌ次第テアル。タカラ之レカ爲メニ特ニ技士カ必ス注意シナケレハナラナイ事項ヲ示シタ服務規定ヲ設ケテ置クコトカ必要ナ事テアル

併シ右ノヤウナ次第テ服務規定ヲ設ケタトコロテ到底都合ヨクハ行カヌモノテアルカラ寧ロ在官ノ水道技師、衛生學者、及ヒ行政官吏カ一定ノ時期ニ出張シテ各種ノ設備ハ悉ク整頓シテ居ルカ技士ハ十分ニ其ノ義務ヲ盡シテ居ルカトイフ事ヲ十分ニ検査スルヤウニシナケレハナラナイ。但シトノ位ナ時期ニ此検査ヲ行フヘキカトイヘハソレハ水道ノ種類ニ從ツテ異ルノテアル。シカシ大規模ノ水道カ普通ニ小規模ノ水道ヨリ屢々検査ヲ要スルワケテハナクテ寧ロ之ハソノ水道ノ水カ完全無缺ナモノテアルカソノ建設物ハ完備シテ居テ故障ノ起ルヤウナ虞ハナイカトイフ點ヲ標準トスルノタ。尙ホ其際ニ地下水ヲ引用シテ居ル水道ニ就テハ其ノ井戸ノ内壁ヲ見テ其ノ水ノ表面ノ位置カ年月ヲ經ルニ從ウテ非常ニ低クナリハセヌカ又何カノ事情ノタメニ之カ高クナリハセヌカトイフ事ヲ見定ムル必要カアル。其他既ニ年月ヲ經過シテモ尙ホ其土地ノ水ノ需要量ハ其ノ水源カラ供給スル一定ノ量ニ對シテ事實上相應シテ居ルカトウカ特ニ現在ノ給水量ハ多分現ニ増加シテ居ル等ノ需要ヲ尙ホ十分ニ充ジテ居ルカトウカトイフコトヲモ調査シナケレハナラナイノテアル

之ヲ要スルニ完備シタ水道カ吾人ニ提供スル利益ヲ永ク保存スルノハ唯タ其ノ管理ヲ嚴密ニスルト否トノ一點ニ歸著スルノテアル

諸君吾カ郡部ニ於ケル水道發達ノ跡ヲ追究シテ見レハ吾人ハ非常ナ満足ヲ表シテ茲ニカウイフ事ヲ結論スルコトカ出來ル。即チ吾人ハ殆ント到ル所ニ斯ノ水道ナルモノ、眞價カ日ニ益ス〜認識セラレツ、アルコトヲ結論スルコトカ出來ル。實際吾カ母國ノ南部及ヒ西部ハ其ノ東部ニ比フレハ一層其ノ發達ノ度カ隆盛テアツテ州ニヨツテハ全町村ノ過半全住民ノ殆ント三分ノ二ハ斯ノ完備セル水道ノ利益ノ享有シツ、アルノテアル。然ルニ悲シイ哉小サイ町村テハ却テ斯ノ水道ノ必要カ大ナルニモ拘ラス猶ホ其ノ發達カ遅々タル状態テアル

タカラ、カ、ル地方ヘハ猶ホ將來大ニ之ヲ發達セシメナケレハナラナイノテアル。ソコテ若シ行政官吏、醫師、及ヒ技師ナトカ共同シテ活動スルナラハ萬事都合ヨク出來上ルヘキタ。タカラ、其ノ學問ノ代表者カスノ一般ノ人民ニ幸福ヲ與フル所業ヲ吾カ獨逸聯邦ノ公衆衛生ニ結ヒ附ケタノテアル
此ニ於テ議長辨論ヲ開始ス

樞密顧問、大學教授
ゲル ト ナ ー (エナ)

淑女紳士諸君。予ハ先ツ吾人ノ尊敬スル報告者足下ニ對シテ「郡部ニ於ケル給水事業」トイフ表題ハ其ノ當ヲ得タモノテナイトイフコトヲ一言シテ置カナケレハナラナイ。全體今報告者カ述ヘタ事ハ單ニ郡部ノミノ問題テハナクテ勿論他ノ小都會ニモ關係シタ問題テアル。ソコテ、人口幾萬マテヲ小都會トスルカ

トイフコトハ全ク諸君ノ判定ニ一任シテ此表題ノ事ハ已ニ確定シタコト、假定スルサモナイト予カ爰テ述フル事ヲ單ニ郡部ニノミ關スルコトト思ハル、カモ知レナイカラテアル

予ハ今本論ニ進ム前ニ予カ不意ニ此處テ思出シタ所謂模範的設備ノ例ヲ二ツ三ツ御話シヤウト思フ近頃予ハ鐵鑛泉浴場ニナツテ居ル或ル小都會カラ一種ノ水ヲ贈與セラレタカ此水ハ從來保養ノタメニ其處ニ行ク人カ常ニ健康ニ益カアルトシテ之ヲ飲ムノテアル。サテ、此水ハ井戸カラ出ルノテナクテ或ル水孔カラ出ルモノタ。ソレテ、其水孔ノ上ニハ至極粗雜ナ井戸垣ヲ拵ヘテアルハカリテアル。タカラ此鑛泉孔ニハトシナニ澤山炭酸亞酸化鐵泉カ充滿シテ居テモ電氣仕掛ケテ水ヲ汲ムトキニ其力カ四方ニ及ンテ直ニ周圍カラ雨水ハ勿論河水マテモ容易ヘ流レ込ムノテアル

予ハ又非常ニ健康ニ適スルトイフ或ル避暑地ヲ知ツテ居ルカ、其處ニ行ク客ハ非常ニ滋養ニナル井戸水ヲ飲マサレル「ソノ滋養ニナルワケハ諸君、其レハ雨カ降ルト二十四時後ニハ褐色ニナルノテアル。サウシテ諸君、其處ハ非常ニ牧畜ノ盛ンナ土地テ、糞尿溜ハ凡テ大キクツテシカモ地質ハ鬆粗ナ砂石テアル

又或ル他ノ町テ予ハ其ノ水道ノ水カ丁度或ル村ノ下カラ引カレテ居テシカモ、其ノ主ナ水源ハ牛厩ノ眞下ニナツテ居ルノヲ見タカ。コノ水道ハ今ハ廢サナケレハナラナイノテアル。又、他ノ或ル町テ近年窒扶斯カ大變ニ流行シタ事カアツタ。ソコテ其ノ原因ヲヨク研究シテ見ルト、其處ノ水道ハ或ル村ノ下カラ引カレテ居テソノ約四十米突許リ上ニ三人ノ窒扶斯患者ヲ出シタ家カアツタ。モト此水道ハ三十年許リ以前ニ

或ル技師カ造ツタモノテアルカカライフ事ニ就テハ一般ニ未タ十分ノ智識カナイ時分テアツタカラコノ出來事ニ對シテハ技師ノ責任ヲ問フワケニモ行カナイ。兎ニ角一般ニ水ヲ土地ノ下ノ方カラ引クコトハ非常ニ危険テアルコトヲ予ハ切ニ警告スル。シカシ恨ムラクハ丘陵地方テハ多クハ土地ノ下ノ方カラ水ヲ引クヤウニナツテ居ルノテアル

又爰ニ一ツ妙ナ實例カアル。或ル盜賊カ或ル魚類飼養池ノ魚ヲ漁リ取ツタコトカアル。サテ此盜賊モソノ澤山ナ魚ヲ一時ニ喰ヒ盡スコトハ出來ナカラウカ實際トウシタラウ。彼ハ水源池ノ蓋ヲ振テ開ケテ其ノ中ニ魚ヲ藏匿シテ置イテ入用ナトキニ取り出シテ喰ツタノテアツタ。コレハ隨分諸君ニ御勸メシテヨイ遣リ方テアルト思フ

又他ノ場合ニ其ノ水源池カ或ル水車濠ノ下ニ在ツテ之レヲ管理スルニハコノ水車濠ヲ十五米突許リ移轉サスルヨリ他ニ仕方カナイヤウニナツテ居ル。水道モアツタ。又カウイフモノモアル。チヨツト斷ツテ置クカコレハ殆ント自治市一般ノ話タ。即チ水源池位ノ置カ淺クテシカモ不注意ニ設置シテアルノテ秋ニ蚯蚓カ地下ニ潜ム頃ニナルト、三四匹モ一團トナツテ詩聖シルラーノ所謂厭ラシイ塊ニコングラカツテ水漉ニクツ着イテ居ル。現ニ或ル村テハ非常ニ雨カ降ツタ後テ水道ノ給水管カラ蚯蚓ノ出タ家カ五十軒許リモアツタトイフコトテアル。又予ハ曾テ外國ノ或ル大都會カラ招聘セラレテ往ツテ見ルト水道カ役ニ立ナイヤウニナツテ居タ。コレハ則チ其地ニ洪水ノアツタ時ニ蛭カ澤山水源池ノ粗雜ナ蓋ヲ通り越シテ水ノ中ニ這入り込シテ終ニ此淨水池ニ定住スルヤウニナツテ居タカラテアツタ

又或ル田舎テコンナ事カアツタ。即チ所謂技師先生カ村ノ真ン中テ澤山水ノ出ル古井戸ノアル近所へ、直徑約三米突許リノ大井戸ヲ設ケテコレニベンジン、モートルヲ備へ附ケタカ。サテ一方テ其ノ水ヲ汲ミ出シテ水面カ二米突程低クナルト不潔ナ水カ二百五十リートル許リ地中ニ這入り込ム。ソコテ此ノ不潔ナ水ハ二十四時間以内ニ間ノ砂地ヲ通り越シテ十五米突モ隔ツタ大井戸へ吸ヒ込マルノテアルコトカ分ツタ

扱諸君ハ泉水若クハ井戸水ヲ水源トスル水道ニ就テハ郡部及ヒ小都會ノ管理法ニ十分ナ監督力必要テアルコトヲ既ニ御認メニナツタテアラウカ貯水池ヲ水源トシテ居ル場ニモ亦同様テアル。先日予ハ或ル溜池へ水カ注入スル所ニ一ツ其ノ前池ヲ拵ラヘテ置イテコノ前池カラ水ヲ引用シテ居ルノヲ見タカ其ノ目的ハ新鮮ナ水ヲ直接ニ引用シヤウトイフノテアツタ。トコロカコレハ予ノ考ニ據ルト根本的誤解カラ起ツタモノテアル。全體水トイフモノハ古クナレハナル程其ノ中ニ含有スル病菌カ澤山死シテ一層清潔ニナツテ且ツ其ノ温度モ一層ヨク平均シテ居ルノテアル。但シコレニ就テハ特ニ溜池カ清潔ニ構造シテアツテ且ツ常ニ清潔ニスルトイフ事カ其ノ前提トナツテ居ナケレハナラナイ。予ハ此ノ前池ナルモノハ水垢ヲ沈澱サスルニハ便利タカソレカラ直接ニ水ヲ引クノハ大ニ誤レルモノト考ヘル

次ニ報告者ハ給水量ニ就テ一人前幾許ノ量ヲ要スルカトイフコトヲ内務省ノ指令ニ報告シテナイト言ハレタカ。シカシ予ハ此内務省ノ訓令ニハ敢テ異議ヲ唱ヘナイ。是ハ寧ろ態ト省略シテアルノタト思フ。即チ各個人カ要スル水ノ量ハ容易ニ之ヲ限定シ得ラル、モノテナイカラタ。若シ吾人ノ尊敬スル報告者シユミ

ツト君ノ説ニ據ツテ郡部テ一人前百乃至百二十リートルノ水ヲ給與セラル、ニ至ラハソレハ非常ニ結構ナ
コトアル。シカシカウナレハ又直ニ一人前百乃至百二十リートルタケノ負擔ヲシナケレハナラナイコト
ニナル。トコロテ予ハ曾テ一人前二十五リートル以上ハ供給スルコトカ出來ナイ水ノ不足ナ或ル小サイ村
ニ招待セラレテ其水道會議ニ列席シタコトカアツタ。ソコテ予ハ一人前十五リートルテハ餘リ不足テハナ
イカト言フト其村ノ一代表者カ之ニ答ヘテ曰フニハ然リ、博士ヨ全ク少イシカシ我々ハ是レテ態々水ヲ擔
クコトヲ免ル、ノテアル閣下モ一度水ノ一杯ニ這入ツテ居ル桶ヲ擔イデ丘ヲ上ツテ御覽ナサイトイフノテ
アツタ。ソコテ其時予ハ敢テ自分ノ説ヲ主張シナイテ、十五リートルノ水ヲ満足シテ置イタ。ソシテ數年
後ニ再ヒ其村ニ行ツタカ、彼等ハ益ス其ノ水ノ少イコトヲ感シテハ居ルモシカモ之ニ満足シテ誰モ水道ヲ
止メヤウト思フモノハナカツタ

次ニ水ノ壓力ノ關係ニ就テモ亦前同様ノコトアル。殊ニ小サナ自治體テハ全部へ悉ク同様ノ壓力ヲ備へ
タ水ヲ供給シヤウトイフコトハ多クノ場合ニ不可能ナル。ナセナラハサウスル爲メニ機械ヲ据附クル財
力モナイカ又サウシヤウトイフ意思モナイノテアルカラタ。ダカラ壓力ハ少クテモ満足シテニ居レナケハ
ナラナイガ又其ノ代リニ高イ火災保險料ヲ拂ハナケレハナラナイカラ結局同シ様ナ事ニナルワケテア
ル

次ニ又一村落テ其ノ全體ノ利害關係カ同様ナル場合ニハ萬事都合カ宜シイガサウテナクテ上村ト下村
トテ其ノ利害關係カ違フ場合ニハ大變ニ困ル事カ出來ル。即チ下村ノ方テハ水カ十分ニアツテ山ノ手ノ方

ニハ水カナイトイフ場合ニハ非常ナ爭論カ出來ル。下村ノ者ハカウイフ、我々ハ彼等ノ爲メニ餘計ナ金ヲ
拂フコトハ出來ナイ我々ニハ十分水カアルノタトカウイフ關係ガアルカラ彼等ノ請求ヲ十分ニ判決シナケ
レハナラナイ。サウシナイト其ノ水道計畫モ多クハ失敗ニ終ルノテアル

モハヤ時間カ少イカラ予ハ他ノ點ニ就テハ極簡單ニ述ベヤウト思フ。サテシユミツト君ハ水源池及ヒ貯水
場へハ十分ニ空氣ヲ流通サセナケレハナラナイ言ハレタカ予ハ是レニ就テハ人ニ從ツテ種々異見カアル
タラウト思フ。ソコテ予自身ノ意見ヲ述ヘテ見レハ則チ、空氣ノ流通ハ成ルヘタ少クセナケレハナラナイ。
即チ大氣ノ平均壓力ヲ享受スルタケノ程度ニシテ置カナケレハナラナイノテアル。現ニ予ハ曾テ此ノ通氣
管カラ牛酪ヲ附ケタ麵麩ヲ一片取り出シタ事カアルノヲ猶ホ明ラカニ記憶シテ居ル。タ、シ之レハ其ノ邊
ニ遊ンテ居タ子供カ其處ニ押シ込シタモノテアツタノタ。コンナ事ハ扱置イテモ又諸君地下テハ空氣ハ流
通シテ居ナイ。タカラ、深イ地下水ニハ一般ニ酸素ハナイカ、唯タ適量ノ炭酸ヲ含有シテ居ル。兎ニ角空氣
ノ流通問題ハ猶ホ未決ノモノテアルカラ希クハ技術家諸君ニ於テ十分ナ研究ヲ遂ケラレタイモノテア
ル

猶ホチヨツト茲ニ給水管ノ腐蝕スル事ニ就テ一言シテ置キタイ。予ハ彼ノ石灰ノ少ナイチユーリンケンノ
僻地テハ給水管ノ錆ガ強クテ非常ナ打撃ヲ受クルダラウトイフ事ヲ明言スル。ソシテ又我々ノ此會議カ若
クハ技術家諸君ノ會議テ必ズ此ノ給水管ノ腐蝕ノ問題ガ大ニ攻究セラル、時期カ來テ、シカモ其時期ハ遠
カラサル將來ニ在ルトイフコトヲ豫想スルノテアル。サテ此ノ給水管ノ錆ニ對シテモ亦彼ノ空氣ノ流通ハ

重大な關係カアル。即チ、一方テハ炭酸カナクナツテ、又一方デハ酸素カ這入り込ムトイフニツノ事實カ此ノ錯ニハ重大な原因トナルノテアル。シカシ諸君子ハ此點ニ就テハ茲ニ是タケニ止ムル。今日ハ唯タコソナ事モアルトイフコトヲ述ヘタノミテ予ハ満足スルノテアル

サテ又シユミツク君ハ完全ナ水源池ヲ造レルホト堪能ナ左官ノアランコトヲ望マレタカ諸君水源池ノ完全モノ、高位貯水場ノ善ク出來タモノ又ハ給水管ノ整然タル据附ヲ希望スルナラハ予ハ之レヲ正當ナ技師ニ委任スル外ハナイト思フ。トコロカ現ニ醫師ハ吾人カ救醫ノ爲メニ害ヲ受クルコトハヨク認メテ居ル。然ルニ吾人カ敬スル同僚醫師諸君ヨ吾人カ救醫者ニ困メラル、ヨリモ尙ホ救技師ノ害ハ多イノテアル。今日技術家ニシテ其ノ名ヲ辱シメナイ者ハ果シテ幾人カアル。ダカラ諸君、左官ヨリモ先ツ技師ヲ選擇シナケレハナラナイ。即チ、吾人ハ水道敷設ニ就テハ先ヅコノ救技師ヲ排斥シナケレハナラナイノテアル

モシサウ出來タトスレハ小都會ヤ小村落ノ給水問題ハ萬事都合ヨク行クノテアル。シカシ悲シイ哉今日猶ホ多クノ場合ニ手際ヨク出來テ居ナイ。ダカソレモソノ筈テ小規模ノモノハ、葉鐵鍛冶屋トカ又ハ田舎建築師ノ職工場ニ居テ漸ク一人前ニナツタ人物ナンカ、直ニ自ラ之ヲ設計シテ、又自ラ之ヲ仕上クルノテアルカラタ

猶ホ町村ヲ補助スル爲メニ、先ツウユルテムベルヒニ始マリ次テ一般南獨逸ニ種々設立セラレタヤウナ官廳ヲ設クルノカ良策テアルトイフ辯明ガアツタ。蓋シ、エーマン氏ノ大功績ハ吾人ノ一般ニ認ムル所テアルカ。シカシ水道ノ設計ニ就テ總テノ土木技師ニ自由競争ノ餘地ヲ與ヘナイトイフコトハ果シテ其ノ當ヲ得タモノテアルカ。予ハ此點ニ於テ大ニ疑問ヲ存スル。吾人ハ他ノ方法ニ由ツテモ亦之ヲ補助スルコトヲ得ルノテアル。例ヘハ前辯士カ既ニ明瞭ニ説明セラレタ如ク其町村ノ爲メニ金ヲ調達スルモヨシ。又斯道ニ熟達シタ人物ヲ派出シテ其ノ設計ヲ監督スルモ可ナリテアル。現ニ當局者中ニ我々此會ニ列席セル士カ興味ヲ有スル方面ニ素養アル人物カナイテハナイノテアル。尙ホ幸ニモ今ハ將ニ技術家ノ一新時期テ、既ニ高等技術學校テモ衛生學及ヒ衛生工藝ヲ教授スルニ到ツタノテアル。シカシ予ハ猶ホ凡テ小町村ニ至ルマテ給水事業力大ニ發展スル時機ハ小規模ノ水道計畫ニモ容易ク適當ナル技師ヲ得テ、所謂救技術ガ全ク閉息スル時ニ在リト確信スルモノテアル

顧問 醫ドクトル ニツケー (ベルレベルヒ)

諸君子ハ人口八萬ヲ有スル地方ヲ監督シテ居ルカ。今ヨリ九年前ニ予カ就任シタ時ハ其ノ中六千人ノミカ水道ノ給水ヲ受ケテ居タノテアル。トコロカ今ハ三萬六千人カ水道カ給水セラレテ残りノ四萬四千人ハ尙ホ單獨ノ井戸テ水ヲ汲ンテ居ル。ソシテ、ブランデンブルヒ縣ト同様ナ關係テ近イ内ニハ之ニ變更ヲ加ヘナイコトニナツテ居ル

サテ土地視察ノ制度カ布カレテ以來、予ハ絶エス此地ノ給水ノ事ニ關係シテ居ルノテ管轄内ノ殆ント全農家ヲ巡視シタカ實ニ驚クヘキ幾多ノ事實ヲ見聞シタノテアル即チ井戸ト糞尿溜トカ丁度兄弟ノヤウニ仲好

ク相並へテ造ツテアル。ソコテオ百姓ニオ前方ノ井戸水ノ質ハトウタト聞クト彼等ハ皆水自慢ヲスル尤トモ今迄永イ間ニ只一人トウモ自分方ノ井戸水ハ役ニ立タナイト言フ者カアツタカ先生素敵ナ大酒飲テアツタ

ソコテ、予ノ記録ニ據ツテ見レハ、予ハ五年間ニ約四千九百個ノ井戸ヲ檢視シタカ其中テ約千百個ハ「アピシニエン」式噴水(地下ニ挿入シタル鐵管ヨリ地下水ヲ噴出セシムル裝置ニシテ獨逸語ニテ又「ラムブムベ」或ハ「レーレンブルンネン」トモ云フ。但シ英人ガアピシニエン遠征ノ際適用シタルニヨリテ此名アリ)テ残りノ三千八百個ハ掘井戸テアツタ。ナホ其掘井戸ノ中テ六百五十個ハ其周壁カセメント造リテ千五百ハ煉瓦テ疊マレテ又千五百ハ野石即チ河原石ヲ積マレテアツタカ、其外又一種特別ノ構造テ其ノ周壁カ切石トイフ砂石ノ板テ造ラレテ居ル井戸モ幾許カアツタ。尙ホ其上ニ予ハ厚板テ組ミ立テタ丁度木ノ箱ノ蓋ト底トヲ取り去ツタヤウナ奇態ナ井戸ヲ遠地近地ニ見タカ其中テ其ノ板ハ全ク朽チテ井戸ノ周壁ハ只樹木ノ根テ出來テ居ルモノカアツタケレト其井戸ノ位置カ良イノテ從來會テ之ニ不潔物カ浸入シタコトカナイノヲ認メタ

猶ホ此ノ三千八百ノ掘井戸ノ中テ二千ハ唧筒カ備ヘ附ケテアツテ其他ノ千八百ハ蓋ノナイ撥約瓶井戸轆轤井戸若クハ車井戸テアツタカ其ノ中ノ過半ハ最初カラ蓋カナカツタノテアル

カクテ予ハ此地方ノ給水設備ヲ進歩サスル爲メニ多數ノ井戸所有者ト會議ヲシタカ大ニ優待セラレテ長官ノ報告ニ依レハ予カ抗議シタ事柄ニ就テハ只一度反對カ起ツタカ之モ其後撤回セラレタト云フコトテアル

サテ土地視察ハ一定ノ期間即チ五年毎ニ一回行ハネハナナイノテアルカラ予ハ就任以來既ニ二回巡視シタカ。茲ニ予ハ非常ニ喜フヘキ現象ヲ見タノテアル。即チ「アピシニエン」式噴水ノ數カ約三分ノ一増加シテ、蓋ノナイ井戸カ約四分ノ一ヲ減シテ居タコトテアル

然ルニ悲シイ哉吾入ヲ保護シテ給水設備ヲ完全ナラシムヘキ法律規定ハ從來少シモ進歩ノ形跡ヲ現ハサナイノテアル。先ツ之ニ關係アルモノヲ擧ケテ見レハ第一ニ普國テ有名ナ共アムイキス、ラシドレヒト通國アムイキス、ラシドレヒト法第二編第十七章第十條(獨逸ニテハ普通ニ之ヲ「メートルヘン、フューア、アツレス」ノ國法ト稱セリ)ノ規定テアル。之ハ凡テ公衆ハ個人トモニ及ホサントスル危險カアル場合ニハ、之ヲ避クル爲メニ必要ナ處置ヲスル權限ヲ行政警察權ニ附加シタ規定テアル、次ハ獨逸刑法ノ第三百六十七條テアル。此規定ハ唯タ井戸ノ周壁及ヒ被蓋カ不完全ナ點ノミテ、刑罰ヲ加フルモノテアル。サテ終リニ、此等ノ規定ニ關スル高等行政裁判所ノ判決ニ就テ其ノ一二ヲ述ヘヤウト思フ。先ツ紀元千八百九十七年十二月十日ノ判決ニ據レハ

或ル井戸ヲ閉鎖シテ、之ヲ使用セシメナイヤウニスルニハ、其ノ井戸水ニ病毒カアル爲メニ或ル病氣カ傳播シタトイフ證憑カ舉カルノヲ待ツニハ及ハナイテ、其ノ水ニ不潔ノ徵證カアツテ、病原菌侵入ノ虞レカアル場合ニハ、之ヲ行フコトカ出來ル

又同千九百〇二年十二月十九日及ヒ同千九百〇三年十月十六日ノ都合二度ノ判決モ前ト同意味テアル。次ニ紀元千八百九十六年六月十九日ノ判決例及ヒ同千九百〇三年一月二十日ノ判決例ニヨレハ

行政警察ハ、完全ナ飲用水ヲ得ル爲メニ相當ナ設備ヲ爲サシムル權限ヲ保有シテ居ル

又同千八百九十七年三月三十日及同千九百〇二年十月十日ノ判決例モ前ト同意テアル。最後ニ紀元千九百〇二年十二月五日ノ判決ハ、之ニ一種ノ制限ヲ與ヘタモノテアル。即チ

或ル井戸ニ衛生上有害ナ水カ存在スル場合ニ、之ヲ閉鎖スルコトハ、唯其ノ所有主カ之ヲ専用スルノテナイ場合ニノミ、之ヲ命スルコトヲ得ルノテアル

タカ、若シ其井戸ノ所有主カ、其ノ家庭ニ家族以外ノ人物ヲ雇傭シテ居ル場合ニハ、其井戸ノ閉鎖ヲ命スルコトカ出來ルカ否ヤノ問題ハ、尙ホ未タ解決セラレテ居ナイ

サテ、法律規定カ右ノ状態テアルカラ、吾人カ地方ノ給水上、猶ホ其ノ衛生ヲ進歩セシメヤウトスルニハ、先ツ特別ナ井戸規則ヲ發布スルヤウニ盡力スルヨリ外ニ、其道ハナイノテアル。元來予ハ報告者シユミツク君トハ、稍其根本的意見ヲ異ニシテ居ル。即チ、予ハ大ニ井戸規則ニ信頼スル者テアツテ、若シ個々ノ井戸テハ到底給水スルコトカ出來ナイ場合ニ遭遇シタナラハ、茲ニ始メテ水道ヲ敷設スヘキモノタト思フ。トコロカ、予ハ曾テ普國ノ衛生官吏團體カ、其ノ千八百九十五年ノ會議テ、頗ル痛切ニ井戸規則ノ發布ヲ懇懇シタコトヲ記憶シテ居ルカ、ソノ盡力ノ實際ノ効果ハ、遺憾ナカラ頗ル僅少ナモノテアツテ、予ハ今日マテニ只下エルサスト又新ニシユレスウイツヒ縣下トニ、其ノ實施セラル、ノヲ見ルノミテアル但シ、他ノ地方ニモ其ノ規則カ行ハレテ居ルカ否ヤハ、予ハ知ラナイノテアル

給水工事 監督署長 シエルテル (ハンブルヒ)

予ハ先ツ提出者シユミツク君ニ質問シタイコトカアル。即チ、ヘツセンノ共同水道テハ家々カ之ニ加入

スルニハ其ノ下水ニ對シテ如何ナル條件ヲ要スルノテアルカ。此事ニ就テ予ハ單ニ田舎ハカリテナク、多少市街ニナツテ居ル町村ヲモ、同様ニ考察シテ居ルノテアルカ、若シ之ニ加入スルニハ其家ノ下水道ニヨツテ排除セラル、ヤウニナツテ居ル場合ニ限ルノテハナカラウカ、此點カ知リタイノテアル元來之ハ重大ナ問題テアツテ予ノ知ル所テハ之ニ就テ種々ノ見解カ下サレテ居ルタカラ予ハ之ニ就テ諸君カラ對反説カ發表セラル、モ大ニ感謝スルノテアル

予ハ茲ニ提出者足下ニ大賛成ヲ表シテ左ノ通り敢テ意見ヲ發表スル。即チ給水上ノ關係ハ凡テ輕便ヲ主トスヘキモノテアツテ、下水ニ就テ餘リ嚴重テ一般ニ地方ノ町村テハ費用ノ關係カラ、之ヲ實行スルカ出來ナイヤウナ規則ヲ設ケテ、水道ニ加入スルコトヲ困難ニスルノハ甚タ其處置ヲ誤レルモノト予ハ確信スルノテアル

大學教授試補 醫學博士 ゼルター (ボン)

諸君、郡部町村ノ給水ニ就テハ、實際屢々非常ナ困難ナ場合ニ遭遇スルモノテアル。現ニボン町ノ内テ其ノ一部ハ非常ニ不便ナ状態テアル。即チ其ノ大部分テハ、水ノ表面カ高クテ殆ント地面ニ達シテ居ルノテ良好ナ井戸ヲ設クルコトハ、殆ント不可能ナ有様テアルノタ。カ、ル土地テハ他ノ地方ノ水道ニ加入スルコトカ、其ノ唯一ノ救済策トナルモノテアル。トコロカ、之レハ多クハ意ノ如クナラナイモノテ、先方テハ水カ餘計ニアル場合テモ、容易ニ之ヲ分與スルコトヲ欲サナイモノテアル。ソコテ又水道ヲ敷設シヤウトシタカ、町内全部ヲ之ニ加入サセヤウトスルニハ、別ニ法律上ノ準則カナイカラ、土地ノ醫師及ヒ議

員ナトノ非常ナ外交的手腕ヲ要スルノテアルタカラシテ斯ル場合ニ適應スル法律ヲ制定スルコトハ、之ヲ給水上并ニ地方衛生上ノ利益カラ打算シテ予ハ茲ニ之ヲ切望スル價値アリト信スル者テアル

市
ドクトル 醫學
フエルスマン (ハンブルヒ)

尊敬スル出席者諸君、予ハ報告者足下カ水道ノ敷設ヲ慫慂セラレタノハ、正ニ其當ヲ得タモノトシテ、滿場一致之ニ賛成セラル、コト確信スル。シカシ予ハ又報告者カ此原則ヲ述フルニ就テ、聊カ極端ニ走ツタ嫌ヒカアルヤウニ思フ。即チ、水道ヲ活用スルコトカ出來ナイ場合モアリ又井戸ヲ改良スレハ別ニ差支ヘナク給水セラル、場合モ澤山ニアルノテアル

予カ茲ニ抗議スル事柄ハ、ハンブルヒカ出席セラレタシエルテル君ノ演説テ既ニ半ハ豫想セラレタモノテアル

扱子ハ若シ或ル地方ニ水道ヲ敷設セントスル場合ニハ次ニ述フル問題ニ就テ必ス熟考シナケレハナラナイトイフコトヲ御注意スル即チ吾人カ人家ニ供給スル水ハ、果シテトウナルカ。吾人カ一度之ヲ人家ニ供給スレハ其水ハ必ス不潔ニナル。サテ其ノ不潔ニナツタ水ハ、又トウナルカ

此處マテ考ヘ來ツタナラハ、吾人ハ又此不潔ナ水ヲ收容スルニ足ルヘキ排水道カアルカ、トウカトイフ疑問ヲ起サナケレハナラナイ

コ、テ予ハ又、ベルレベルヒカラ御出席ノニツケル君ニ告ケタイコトカアル。我々ハ既ニ七ヶ年以來、井戸規則ヲ具ヘテ居ル。ソコテ、予ハ親シク多數ノ井戸ヲ視テ、殊ニ其ノ二千許リニ就テハ十分ニ探知シ

テ居ルカ、其ノ中テ我カ井戸規則ヲ遵奉シテ造ツタモノテ元來水カ惡イトカ、又ハ其後不潔ニナツタトイフ井戸ハ、只ノ一ツモ見當ラナイ。ソシテ猶ホ、予ハ我カハンブルヒノ井戸規則ニ從ツテ、糞尿溜カラ十米突ノ間隔ヲ保ツテ居レハ、井戸水ノ汚染スルコトヲ防クニハ全ク十分テアルトイフコトヲ、自信スルニ至ツタノテアル

之ヲ要スルニ予ハ一度家屋ニ給水シテ後、復タ之ヲ排除スルニ足ルホトノ下水道カ備ハツテ居ル場合ニハ、無論水道ノ敷設ニ賛成スルモノテアル。シカシ、コノ下水道カ克斯ク完全ニナイ場合ニハ、井戸規則ヲ發布スル方カ得策タト信スルノタ。ナセナラハ、予ハ適當ナ井戸規則ハ、衛生上非難ノナイ水ヲ、吾人ニ供給スルコトヲ保證スルモノテアルトイフ事ヲ、經驗ニヨツテ知り且ツ自信スルニ至ツタカラテアル

ケルン市細菌研究所長
大學教授ドクトル
ツァブレウスキイ

諸君給水トイフ事ハ傳染病ノ流行ニ重大ナ關係カアルモノ、一ツテアル。縦令吾人カ都會テ完全ナ水道ヲ造ツテ、傳染病ヲ豫防シテ居テモ、若シ之レカ田舎カラ這入ツテ來ルヤウテハ、折角ノ設備モ何ノ役ニモ立タナイコトニナル。概シテコレハ井戸ノ惡イ關係カラ起ルモノテアルカシカモ田舎ニハ到ル所ニ此缺點カアル。タカラ之ヲ救済スルニハ、唯嚴重ナ井戸規則ヲ全國ニ發布スルヨリ外ニ道ハナイ。ソシテ一ツノ井戸ヲ掘ルニモ、前以テ許可ヲ得ナケレハナラナイ事ニスル必要カアルソコテ又其ノ許可ヲ判定スルニハ特ニ多方面ニ渡ツタ智識カ必要ナノテアル。例ヘハ彼ノ井戸ト糞尿溜トハ少クモ十米突ヲ隔テナケレハナラヌトイフヤウナ規定ナトハ、全ク價値ノナイモノテアル、場合ニ從ツテハ井戸カ糞尿溜カラ只一米

突タケ雖レテ居テモ、至極安全ナコトカアル。即チ地下水カ反對ノ方向ニ流テ居ル場合ナトハ、ソレテ何ノ心配モナイノテアル。タカラシテ地下水カトンナ方向ニ流レテ居ルカトイフコトヲ知ルノハ、非常ニ必要ナコトテアル、トコロカ、之ハ唯永イ間ノ經驗ヲ知ルヨリ外ハナイカ或ル中央官衙ニ其ノ經驗ヲ集積シテアルカモ知レナイ。ソシテ、給水設備カ大キケレハ大キナ程、自然益ス深イ注意ヲ要スルモノテアルカ、之ニ就テ予ハ我カケル人ニ於ケル關係ヲ想ヒ出ス。彼ノケルンノホツホキルヘンニ地下水設備ヲ建設スルニ當ツテハ、非常ニ大規模ノ試験ヲ行ツタノテアル。先ツ給水装置ヲ設置スル地域ヲ澤山ニ區分シテ、其ノ各區ニ試験的井戸ヲ掘ツテ、其ノ澤山ナ井戸ニ就テ水面ノ高キヲ測リ且ツ水ノ化學的酸素ヲ分析シタ上テ始メテ水道ノ設計ニ取掛リ、建設ヲ進行シタノテアル。猶ホ其他ニ、井戸ノ使用セラル、程度モ、亦問題ニナルノテアル。例ヘハ、井戸ニ蒸氣唧筒ヲ据附ケテ盛ンニ其ノ水ヲ汲ミ出ストキハ、其井戸ノ水面カ非常ニ下ツテ、十分ニ隔タツテ居ル所マテモ其影響ヲ及ホシテ、其ノ邊ノ水ヲ引附クルコトニナル。或ル時、予ハ或ル井戸水ノ温度カ二十五度ニ昇ツテ居ルノヲ見タカ、トウシテカウイフ高温ニナツタカトイフニ、之レハ或ル蒸氣機關テ其ノ水蒸氣カラ復歸セシメタ水ヲ棄テタノカ、彼ノ井戸ノ水カ蒸氣唧筒ヲ引揚ケラレタ跡ヘ、地中ヲ通過シテ引込マレテ居タカラテアツタ

予ハ又茲ニ、彼ノ樞密顧問ゲルトナー君カ舉ケラレタ例ニ、尙ホ一ツ加ヘヤウト思フ。予ハ曾テ或ル城ヲ見タカ其城ノ周圍ニハ恐ロシイ大キナ堀カアツタ、トコロカ、其堀ヘハ山ノ手ノ村ノ下水カ皆流れ込ンテ居ル。勿論、城ニハ別ニ下水道モアリ、又水道モ二ツマテアル。ソシテ、ソノ一ツノ水道ノ給水管ハ

堀ノ中ヲ通過シテ居ルカ、曾テ此給水管ニハ破損ノ箇所カ出來タ、サテソコテ城ノ内テ水道ノ栓ヲ開ケテ水ヲ出スト、其ノ破損シタ所カラ彼ノ村ノ下水カ流れ込ンタ堀ノ水カ直ニ陰壓テ給水管ヘ引込マレテ、出テ來ルヤウニナツタ事カアツタ

又水道ハ一般ニ地上水ノ關係カライヘハ、最モ有利ナモノテアルコトハ少シモ疑フヘキ餘地ハナイカ又一方ニ大ニ不利益ナ點モアル。即チ地下水ノ量カ十分ニナイ時ハ非常ナ損害カ起ルコトテアル彼ノ和蘭ノ記事ヲ見ルト、近頃給水事業カ發達シタ爲メニ、地下水カ減少シテ其ノ表面カ下ツタノテ諸所ノ高イ砂地ハ全ク乾燥シテ、凡テ根ノ淺イ草木ハ枯レ果テ、唯大根ヲ深ク地下ニ下シテ居ル喬木ノミカ漸ク生存シテ居ルトイフコトテアル

辯論ハ爰ニ終リ、次ニ結論ヲ與ヘラル

報告者樞密建築顧問

シユミツク (タルムスタツト)

諸君、吾輩ハ先刻辯士諸君カラ現存シテ居ル所ノアラユル悪イ水道、及ヒ不完全ナ周壁若クハ被蓋ヲ備フル悪イ井戸ノ談ヲ聽イタ。然リ、諸君、ソレタカラ今日吾輩ハ、トウスレハ此ノ不完全ナ状態ヲ改良スル事カ出來ルカ、トンナ給水設備カ最モ適當ナモノテアルカトイフ事ヲ協議スル爲メニ、茲ニ會合シタノテアツテ、辯士諸君ノ中ニハ全ク予ト同一ノ意見ヲ述ヘラレタ人モアツタノテアル

扱テ予ハ茲ニ尙ホ二三點ニ就テ重ネテ辯論シヤウト思フ。先ツハンブルヒテハ、井戸カ糞尿溜カラ只十米突ヲ隔タツテ居レハ、決シテ何等ノ危險モナイトイフ説明カアツタ。之レハ全ク事實ニ相違ハナイ。勿

論井戸カ便所若クハ糞尿溜カラ只一米突シカ隔タツテ居ナクトモ、何等ノ悪影響カナイ場合モアル。シカシ、之レハ特ニ凡テノ關係カ好都合ニナツテ居ル場合ノコトテ、一般ニハ言ヒ得ナイモノテアルコトハ既ニ予ノ報告ニ明ラカニ説明シタノテアル。全體、コノ事實ハ地質ノ關係ニ由ツテ異ルモノテ、地下水ノ關係ハ甚タ僅カナモノテアル。ナセナラハ、コノ地下水ハ場合ニ由ツテハ、又十米突モ吸ヒ上ケラル、モノテアルカラテアル。ナホ、地下ノ水流カ低クナル程度ハ、蒸氣機械若クハ其他ノ機械ニハ關係シナイモノテ之レハ全ク地下ノ水流ノ強弱ト地下水ノ引キ揚ケラレタ分量トニ從ツテ變化スルモノテアル。

次ニ第一番ノ辨士、樞密顧問ゲルトナー君ハ、給水管ノ錆フル事ト空氣ノ流通ヲ不十分ニスル事トニ就テ述ヘラレ且ツ場合ニ由ツテハ、此ノ二ツノ事カ互ニ大關係カアル事ヲ辯セラレタ。勿論、コノ給水管ノ錆トイフ事ハ、又何時カ十分ニ討議セラレナケレハナラナイ問題テアル。シカシ、之レハ重ニ水中ニ在ル炭酸ニ因ツテ起ルモノテ、例ヘハ、現ニマイン河畔ノフランクフルトヲ實行シテ居ルヤウニ水ヲ給水管ニ輸送スル前ニ、先ツ排氣法カ又ハ他ノ適當ナ方法テ、炭酸ヲ水カラ排除シテ置カハ、普通錆ヲ生スル虞ハナイノテアル。シカシ、兎ニ角炭酸ヲ含有シテ居ル水ヲ、給水管ニ輸入シテ、其ノ錆ヲ發成スルヤウナ危険ハ、成ルヘク避ケナケレハナラナイコトテアル。

サテ又其ノ次ニ、技師ノ中ニハ所謂數技師カ澤山ニアツテ、地方ヘ非常ナ害毒ヲ流スコトヲ述ヘラレタカ之レハ確ニ事實テアルタカラ、予ハ田舎テ小規模ノ水道ヲ敷設スルニモ、大規模ノ場合ト其ノ困難ハ同一テアツテ、同様に智識ヲ要スル事ヲ述ヘタノテアル。勿論コノ數技師ハ放逐スヘシタ。ソシテ、地方テモ確ニ適當ナ土木技師ヲ採用シナケレハナラナイテアル。ケニ、予ハ近頃マテ此ノ土木技師テアツタニモ拘ハラヌ、之レヲ非難スルノテアルカラ、コンナ者ハ又トナカラウ。サテ郡村ノ中テモ適當ナ土木技師カ得ラル、所テハ、之ヲ採用スレハ別ニ差支ヘハナイカ、只之レカ得ラレナイ所カアルカラ、之ニ必要ナ助力ヲ與フル官吏ヲ希望スルノテアル。

凡テ効力ノ不十分ナノヲ忍フトイフ危険ハ之ヲ無遠慮ニ言ハ、多クハ費用ノ點カラ起ルノテアル至極小サイ町村テハ感能ナ技師一人ニ對スル報酬ヲモ全ク拂ヒ兼スルノテアルタカラ政府ノ官廳テ之レカ爲メニ無償カ若クハ僅少ノ報酬テ其ノ設計ヲ行フコトニシタナラハ該町村ノ爲メニハ非常ナ幸福テアル若シサウナラハ實ニ土木技師カ小規模テ其ノ設計ヲスルヨリモ餘程ノ廉價トナルノテアル悲シイ哉吾カブランデンブルヒテハ町村ノ給水事業ニ就テ其ノ一部ハ頗ル不安ノ状態ニ在ルコトヲ予ハ認メテ居ルタカラ予ハ當分已ムヲ得ナイ所ヘハ緊急ニ井戸ノ改良ヲ勸ムル積リテアルカ、シカシ先ツ成ルヘクハ井戸ニ代フルニ整然タル水道ヲ以テスルコトヲ之レニ勸告セサルヲ得ナイノテアル彼ノヘツセンテハ住民僅カニ八十五人ノ村落テナホ水源池高位貯水場並ニ其ノ附屬物全部ヲ具ヘタ水道ヲ造ツテ居ルトイフ事實ハ實ニ吾人ニ重要ナ實例ヲ與ヘタモノテアル蓋シコレハ其ノ住民ニハ之レカ爲メニ他ノ慾望ヲ犠牲ニ供スルモノホ満足スルトイフ精神カアリ又政府ニハ此重大ナ問題ニ就テ必ス其ノ貧乏ナ町村ヲ保護シナケレハナラヌトイフ鞏固ナ洞察力カアツタカラ茲ニ始メテ斯ノ大成功ヲ遂ケタノテアル。

次ニ諸君小サナ郡村テハ水道ノ敷設ニ伴ウテソノ排水カ出來得ヘキカ否ヤトイフ問題カ提出セラレタカコ

ノ排水トイフ事ハ小サナ都會テハ確ニ重要ナコトアルカ田舎テハ左程ニナイノテアル即チ田舎テハ水道ヲ敷設シタ爲メニ自然ニ増加スル下水ハ喜ンテ收容セラル、モノテアル。ナセナラハ糞尿溜ヘ注入スル汚水カ入用ナノテコノ汚水ハ農業ト離ル、コトノ出來ナイ關係カアルノテアルカラタソシテ田舎テハ此ノ汚水溜トカ尿溜トカイフモノニ就テハ決シテ心配ハナイモノテ百姓ハ澤山ニ水カ出來テ糞尿溜ヲ一層大キクスルコトカ出來ルナラ非常ニ喜フモノテ之ヲ後ニ肥料ニ供スルノテアル

最後ニボンカラ出席ノゼルター君ハ給水計畫ニ關スル交渉ニ就テ屢ハ大困難ニ遭遇スルコトヲ述ヘラレタレハ事實疑ヒモナク、ソノ通りテアルシカシ吾人ハ凡テ斯ル困難ニ對シテハ將ニ奮闘カコセンコトヲ欲スルモノテアルタカラ予ハ諸君即チ行政官吏及ヒ醫師並ニ技師諸君カ其ノ共同事業トシテ之カ爲メニ盡瘁セラレンシテ尙ホ給水事業ノ缺點カ吾カ獨逸母國ニ存スル間ハ力ノ及フ限り之ヲ排除セラレンコトヲ切望シタ次第テアル

議長、樞密顧問
大學教授、ドクトル
シヨツテリウス

諸君子ハ報告者足下ニ對シ足下力與ヘラレタル立派ニシテ且ツ有益ナル提言ニ向ツテ大ニ之ヲ感謝シ且ツ辯論者諸君ニ對シ同シク敬意ヲ表シテ茲ニ今日ノ會議ヲ終ル

○ステベンソン及マルフキー兩氏衛生及公衆衛生論抄譯

(一八九四年刊行)

第十四章 屠獸所

ステベン 及マルフキー兩氏衛生及公衆衛生論(一八九四年刊行)抄譯

都市衛生行政廳ハ自ら適當ト認ムルトキハ屠獸所ヲ設備スルコトヲ得

町村行政廳モ亦此條例ノ規定ニ準據シテ屠獸所ヲ設備スルコトヲ得然レトモ實際ニ屠獸所ヲ設備スルモノハ少シ然レトモ中ニハ成績ノ良好ナルモノアリ

衛生行政廳カ自ら屠獸所ヲ設備スル場合ニ付多クノ地方條例中ニハ他ノ場所ニ於テ屠獸ヲ行フヲ禁スル旨ノ條項ヲ包含セルモノアリ然レトモ一八七五年公衆衛生條例中ニハ何等カ、ル規定タモ存スルコトナシ一八四七年都市改良條例ノ規定中ニハ屠獸所ノ監督ニ關シ一八七五年公衆衛生條例ノ規定ト相關連セルモノアリ然レトモ是等ノ條項中ニハ一八一八四八年公衆衛生條例ノ公布前ニ地方條例ニ依リテ屠獸所ヲ設備シ管理スルノ目的ヲ以テ團結スルコトヲ許サレタル私人ノ權利ヲ侵害スルヲ得ルノ規定アルコトナシ是等ノ條例ノ規定スル所ニ從ヘハ屠殺所ニハ既得權ヲ有スルモノト然ラサルモノトノ二種アリ後者ハ特ニ行政廳ノ免許ヲ受ケサルヘカラサルモノトス前者ハ免許ヲ要スルコトナシト雖、登録ヲ受ケサルヘカラス免許又ハ登録ヲ受ケサル場所ニ於テ屠殺ヲ行フモノハ罰金刑ニ處セララル

一八九〇年公衆衛生條例中改正法律ノ公布前ニ於テ免許ヲ得タル屠獸所ニ付テハカ、ル制限アルコトナシ

ト雖其後ノ免狀ハ行政廳ノ適當ト認ムル所ニ從ヒ十二月ヨリ少カラサル期間ヲ限り有効ト認メラル、ニ過ス

地方政務局カ公布シタル屠獸所設備準則中ニハ左ノ事項ヲ掲記セリ

- 一 屠獸所ハ人家ヲ距ルコト百呎以上ノ地ニ建ツルコトヲ要ス且ツ屠獸所ノ空氣ハ少クトモ兩面ヨリ外氣ト直接ニ交換セラレ得ヘキ構造ナルコトヲ要ス
- 二 屠獸所ニ附屬スル繋畜所モ亦人家ヲ距ルコト百呎以上ナルコトヲ要ス
- 三 屠獸所ノ孰レノ部分ト雖地下ニ設クルコトヲ得ス
- 四 屠獸所ヘノ通路ハ四分ノ一以上ノ傾斜ニ於テ存スルコトヲ得ス且ツ人家又ハ商店ヲ通過スルコトヲ得ス
- 五 屠獸所ハ平家ナルコトヲ要ス
- 六 屠獸所ニハ水桶又ハ其他ノ容器ヲ備ヘ其底ハ地上六呎以上ノ高サニ在ルコトヲ要ス
- 七 屠獸所ニハ適當ナル換氣ノ裝置ヲ爲スヘシ
- 八 屠獸所ノ床ハ土壘青又ハコンクリートヲ以テ叩キ上ケ且ツ傾斜ト並ニ溝トヲ有セサルヘカラス溝ニハ鐵網ヲ張り且ツ鐵網ノ横木ハ一時ノ八分ノ三ヲ超ユルコトヲ得ス屠獸所ノ下水ニ付テハ更ニ相當ノ設備ヲ爲スコトヲ要ス
- 九 屠獸所ノ壁ノ表面ハ滑澤ニシテ堅牢ナル材料ヲ以テ相當ノ高サマテ包ミ上クヘシ

十 廁トイレット 便所トイレット、汚水溜ハ屠獸所内ニ設クルコトヲ得ス屠獸所ハ厩、廁、便所、又ハ汚水溜ニ連結スルコトヲ得ス

十一 屠獸所ニ附屬スル繋畜所ノ床ハ適當ニ叩キ上ケ、排水ノ裝置ヲナシ且ツ換氣ノ裝置ヲ爲スコトヲ要ス、繋畜所ノ上ニハ人ノ住室ヲ設クルコトヲ得ス

一八四七年都市改良條例第一二八條ニハ行政廳ハ命令ヲ以テ屠獸所ノ免許登録及監督ノ規定ヲ設ケ且ツ獸畜ヲ殘酷ニ取扱フヘカラサルコト屠獸所ハ清潔ニ保持スヘキコト汚物ハ少クトモ毎二十四時間毎ニ除去スヘキコト及適當ナル水ヲ備フヘキコト等ニ付規定スヘシト規定セリ

尙地方政務局カ發セル準則中種々ノ事項ニ付規定セル中ニハ屠殺ハ出來得ル限り僅少ナル苦痛ヲ與フルノ方法ヲ擇フヘシト規定セリ

監督官吏ハ屠獸所ヘ臨檢シ獸肉カ販賣ニ適セサルコトヲ發見セルトキハ之ヲ試驗所ニ送リカ、ル獸肉ノ廢棄ヲ命スル爲ニ必要ノ手續ヲナスノ義務ヲ負フ

獨逸國ウエストフアール州ヘンデル市長ドルトル、マッシエル氏著

○屠獸場強制設備法及其効力ニ關スル意見

自序

壹千八百七十一年署名者カ此工業ノ都會ナル市長ノ職ニ就任シタル以來夙ニ屠獸場ハ公設ヲ企圖シ其設計ニ關スル調書ノ蒐集ニ從事セリ然ルニ壹千八百八十一年三月九日ヲ以テ公布セル普魯西國ノ屠獸場建設法ハ凡ヘテ屠獸肉ノ取得及需要ニ因リ人體及生命ニ影響スル各種ノ危害ヲ防止スルノ目的ヲ以テ市町村屠獸場ノ公設ヲ促シタル規定アリ恰モ好シ予カ年來ノ計畫ナル屠獸場ノ設備強制法ヲ都市ノ行政上ニ實行スルニ至ルヘキ好時機ヲ附與セラレタルニ外ナラス蓋シ普國屠獸場法施行ノ前後ニ於テ予カ公務上ノ調査ニ憑リ將又學理上ヨリ親シク研究セル處ニ依ルモ左記ノ事實ハ茲ニ明記スルヲ得ヘシ

其一 獨逸國內ニ於テハ公設ノ屠獸場就中一私人ノ屠獸用ニモ共通シ且當世ノ施設ヲ完備シタル屠獸場ノ數甚タ多カラス殊ニ其強制設備法ヲ勵行シタル都市ノ數ハ一層僅少ナリ

其二 多數ナル首府王宮又ハ大學所在ノ都市并ニ州ノ大ナル都市例ヘハ「ハンブルヒ」「ダルムスタット」「ゴータ」「ハルレー」「ケーニヒスベルヒ」「マインツ」「ニュルンベルヒ」等ニ於テモ未タ前記ノ屠獸場ヲ有セス又ハ現ニ屠獸場アルモ舊式ノ構造ニシテ當世ノ用ニ適セス若クハ唯個人營利上ノ施設ノミヲ以テ種々ノ獸畜ヲ屠殺シ不完全ノ處理ヲ爲スモノニ過キス

其三 要スルニ各都市ハ勿論近世ノ發達セル地方町村ニ於テモ其工業政策「Tubularialis: ms」ニ適應シタル屠獸場ノ公設及營業ハ衛生行政及同警察上ノ命令ニ依リ漸行ヲ期セサルヘカラス予ハ此屠獸場強制法ノ必要ヲ歴史法律經濟及統計學概シテ云ヘハ國家學上ヨリ考查立案シ一般公衆ノ同情

ヲ得ンカ爲メニ此年六月八日「ウイッテン」ニ開設セル「ウエストフオーレン」州聯合市會ノ席上ニ於テ屠獸場ノ強制設備法及効力ニ就キテ演說ヲ試ミタリ當時其集會ニ列席セラレシ「ウエストフオーレン」州ノ行政長官「ハーゲマイステル」閣下并ニ「ローゼン、アルンスベルヒ」及「リーベルマン、ミュンステル」ノ地方行政長官諸氏ヨリ予ノ演說ヲ印刷シテ頒與センコトヲ望マレタリ

然ルニ予ヲシテ更ニ此希望ニ應スルノ止ムヲ得サルニ至ラシメタルモノアリ即チ豫テ屠獸場強制設備法ニ反對ナル論者争フテ予ノ演說ヲ論駁シ就中本年七月三日發兌ノ獨逸屠獸者新聞「Deutschen Fleischzeitung」ノ紙上ニ於テ吾人ハ如何ニ發言スヘキ歟「Wie man stim mu ng」ト題シテ左ノ如ク云ヘリ

本年六月八日ノ聯合市會ニ於テ「ヘエールデ」市長「ドクトル、マツシエル」氏ハ屠獸場ノ強制法及其効力ニ就キテ演說セリ其演說ハ「Westfa: Ischenpost」ノ筆記ニ依リ一覽セルカ從來屠獸場強制論者ノ數々唱導セルモノヲ敷衍シタルニ過キスシテ特ニ斬新ナル所説モ見ヘス而シテ彼組合管理ニ屬スル公設屠獸場カ獨逸全國内ニ於テ最低廉ナル獸肉ノ價格ヲ有スル事實ニ關シテハ一言ノ之レニ及ヘルナシ且又其所說中「ケルン」「ミュールハイム」「ブラウン、シワイグ」等ノ諸市ニ於テ屠獸場強制設備法實施ノ結果其ノ獸肉ノ價格ヲ下落スルニ至ラシメタリト云ヘル事例ハ果シテ眞實ナリヤ否ヤ予ハ更ニ此事實如何ニ關スル市長貴下ノ詳細ナル説明ヲ煩ハサ、ルヲ得ス其他新聞ニ掲ケアル演說筆記ニ依レハ演說者ハ屠獸場強制設備法實施ノ爲メ市ノ財政上好個ノ收入ヲ爲スヲ得タリト明言セリ想フニ論者自身ハ未タ普國屠獸場法第五條ノ規定ヲ閱讀セサル者ナラン果シテ如何ナル方便ニ因リ屠獸場強制法カ都市ノ財政ニ收益ヲ附與

スルニ至リシ乎予ハ再ヒ之レニ關スル詳細ノ實驗說ヲ謹聽センカ爲メ敢テ市長貴下ニ予ノ紙面ヲ提供スルヲ各マス蓋シ當時ノ演說ヲ傍聽シツ、アリシ多數ノ市長及市會議員中偶マ其事業ノ誤謬ナル點ヲ覺知シタル者之レ無キニ非ルヘシト雖トモ概シテ普國屠獸場法ノ規定ヲ實際記憶セサリシ者モ或ハ多カリシナラント推測セラル畢竟聯合市會ノ目的ハ相互ノ思想及ヒ智識ヲ交換スルニ在ルヲ以テ以上ノ如キ屠獸場法ノ規定ヲ記憶セサル者アルトキ同時ニ其内容ヲ指示スル者アリシナラハ演說ニ所謂普國法カ如何ナル方便ニ由リ屠獸場ノ公說ヲ以テ其財政ヲ豐富ナラシメタル乎其真相ヲ會得シタル者多カリシナラムニ否ラサリシハ甚タ遺憾ノ思ナキ能ハス蓋シ普國ノ屠獸場法ハ他ノ聯邦政府ニ於テ之レヲ模範トシテ同一ノ規定ヲ爲セルモノナルカ伯林府ニ於ケル家畜收容所及屠獸所ノ組織ヲ見ルニ全ク兩者ノ會計ヲ區別シアリテ實際市長ハ家畜收容所ノ會計ヨリ收益ヲ得タルモ未タ屠獸所ノ經濟ヨリハ何等ノ收益セルモノナシト云ヘリ果シテ然ラハ斯カル法律ノ應用ニ關スル事實ノ錯誤ハ市長及市會議員ノ集會席上ニ於テ之レニ對シ匡正ノ意見ヲ述フル者無カルヘカラス要スルニ聯合市會ニ於テ屠獸者ヲ代表シタル出席者ノ之レナカリシ所以ニ歸セサルヲ得ス左レハ屠獸場ノ設ケアル都市ニ於テハ屠獸者ノ首長ヲ市會議員ニ選出シ當業者ノ利害ヲ監視匡正スルノ方針ニ出テサルヘカラス前記ノ場合ニ於テモ一人ノ訴求スル者無カリシ爲メ亦タ一人ノ審判官ヲモ出テサリシ事實トス加之屠獸場法ヲ案スルニ屠獸者ニ附與スルニ僅少ノ權利ヲ以テシ其報酬ニ關スル規定ノ如キモ同様ノ事態アルノミナラス公設屠獸場ノ強制法及屠殺手数料ノ收入ヲ以テ都市ノ財政ヲ充實セシメント期スルハ實際不可能ノ事實タルヲ疑ハス之レヲ要スルニ發議者タ

ル市長貴下ヲ始メ「ウエストフットレン」全州ノ市會カ同等ノ權利義務ノ下ニ在ル市民ノ一部ノ財囊ヨリ全市ノ財源ヲ充實セシメントシ僅ニ屠獸者ノ如キ可憐ノ營業ニ拘泥シテ市内全般ノ治安ヲ計畫セント欲スル如キ拙劣ノ手段ヲ止メ寧ロ他ノ立法上ニ於ケル賢明ノ立案ヲ攻究セラレンコトヲ望マサルヲ得ス

以上ノ如キ論評ヲ始メントシテ其他ノ印刷物、雜誌類ニ於テ類リニ予ノ演說ヲ非難セルモノモ尠ラス今マ反對者ノ所說ニ對シ予ノ主張スル處ノ論據ヲ明白ニ指摘シテ辨妄ノ一端トナスヘシ

其一 屠獸場強制設備法ハ場合ニ依リ市ノ財政ニ收入ヲ附與シ居レザ

其二 何レノ地方ニ於テモ強制法實施ノ爲メ獸肉ノ價格騰貴セス却テ同法ヲ施行シタル多數ノ都市ニ於テ其價格ノ下落シタル例證アリ

其三 適法ノ設備ヲ有スル市町村屠獸場ニ於テ徵收セル手数料ノ額ハ舊來ノ屠獸者組合ニ於ケル屠獸場ノ手数料ニ比較シ廉價ナリトス

其四 公益ノ保護及公衆ノ利用ニ適應シ且ツ衛生法ノ完全ニ行届キタル設備ハ市町村ノ管理ニ屬セル公設屠獸場ニ於テ始メテ其成效ヲ見ルヲ得ヘシ

市町村ニ於テ公設屠獸場ヲ經營スルニ就テハ多少ノ妨害ヲ被ルコトヲ覺悟セサルヘカラス偶々其建設ニ反對スル論者ノ爲メニ歲月ヲ空過スルノ憂アリ殊ニ學士、議論家、凡庸ノ哲學者及屠獸者等各般ノ質疑論難ニ對シテ其公務上ニ於テ將又著書雜誌類ニ於テ若クハ市町村會其他ノ公會議事ニ於テ四顧解說ノ勞ヲ採ラ

サルヘカラス而シテ其難局ニ處スル予ノ親友ノ爲メニ本篇ニ叙述セル理論及事實カ有力ノ武器タランコトヲ期セリ近時ニ至テハ衛生行政及同警察法令ノ指導ニ依リ并ニ萬有學及國家學ノ光明ニ由リテ反對論ニ眩惑セル人士ノ漸次減少シ行クヲ見ルハ公益ノ爲メ洵ニ喜フヘキノ現象ナリ云々

千八百八十八年七月「ヘエールデ」ニ於テ

ドクトル マツシエル

目録

第一篇 總論

個人社會及國家ニ於ケル獸肉ノ價值并ニ其取得及需要ニ隨伴スル危害ヲ論ス

第一章

吾人ノ生活ニ於ケル獸肉ノ價值ヲ論ス

- (一) 人類ノ需要物
- (二) 生命ニ必要ナル食物
- (三) 身體及精神ニ於ケル能力ノ根源
- (四) 食物中ニ於ケル獸肉ノ價值
- (五) 食用ニ適スル獸畜ノ種類牛、羊、豚、山羊、馬
- (六) 屠獸及肥獸牛、羊、豚、山羊、馬、驢馬
- (七) 人文ノ發達ニ伴フ獸肉ノ價值

第二章

獸肉ノ取得及需要ニ隨伴スル危害ヲ論ス

- (一) 直接ノ危害
- (二) 間接ノ危害
- (三) 獸肉ノ食用ニ適セサル原因
- (四) 屠殺及獸肉處理ノ場合ニ發生スル危害
- (五) 傳染病ニ感染シ又ハ毒物ヲ含有シ若クハ病毒ノ附着シタル獸肉ノ攝取ヨリ生スル疾病

第二篇 本論

第一章

屠獸場ノ強制設備法ニ依レル獸肉ノ危害防止ヲ論ス

第一節 屠獸場ノ強制設備法ヲ論ス

- (一) 危害ノ防止法一斑
- (二) 強制法ノ意義
- (三) 中古ニ於ケル組合屠獸場并ニ近時ニ於ケル公設屠獸場
- (四) 佛國其他ノ屠獸場制度
- (五) 佛國ノ「カンメルジステーム」
- (六) 獨逸國ノ公設屠獸場
- (七) 伯林府ニ於ケル屠獸場ノ強制設備法
- (八) 「ミュンヘン」府ニ於ケル「カンメルジステーム」ノ失敗
- (九) 獨逸國ノ「ハルレンジステーム」ノ成効
- (十) 「ハルレンジステーム」ノ特質

第二節 屠獸場強制設備法ノ衛生上及危害豫防上ニ於ケル効用

- (一) 交通ノ妨害街路ノ不潔及不淨空氣ノ全滅
- (二) 「ウエストフオーレン」州ノ各都市ニ於ケル家畜及獸肉検査ノ統計

第三節 公設屠獸場ノ重要ナル設備及内規

- (一) 動物ノ浴場
- (二) 淋巴(血清貯藏所)
- (三) 獸肉監視法
- (四) 獸肉副産物ノ適當ナル需要
- (五) 獸肉消費稅
- (六) 風儀正シキ屠殺方法
- (七) 顯微鏡的其他ノ標本蒐集
- (八) 検査職員ノ組織
- (九) 公設屠獸場ノ公益保

護ニ關スル性質

第二章

屠獸場強制設備法ノ反對論ニ對スル辨妄

- (一) 學士其他ノ反對論者
- (二) 獸肉價格ノ騰貴セサル實例
- (三) 屠獸場建設費ノ公債及其償却法
- (四) 檢査及屠獸ノ手數料
- (五) 「ケーニヒスベルヒ」ニ於ケル近時ノ必要ニ適應シタル建設法
- (六) 「ウエストフツーレン」州ノ屠獸場強制法ニ對スル先鞭

第三篇 結論

以上

第一篇 總論

個人社會及國家ニ對スル獸肉ノ價值并ニ其取得及需要ニ隨件スル危害ヲ論ス

第一章 吾人ノ生活ニ於ケル獸肉ノ價值ヲ論ス

凡ヘテ人類ノ生存ハ精神及身體ノ二者ニ因ルコトハ論ヲ俟タス故ニ吾人ノ生涯ハ精神生活ト身體ノ生活トノ二者ニ別レ而カモ此二者カ吾人生存ニ目的ヲ満足セシムルノ必要ヨリ種々ノ物品ヲ需要スルニ至ル概括シテ之レヲ云ヘハ吾人ノ精神及身體ハ其個人及團體ノ生存ヲ圖ルカ爲メニ衣食住ノ三大需要ヲ有セリ就中食物ニ至テハ人生必需物中ニ於ケル最古ノモノニシテ嘗テ神ノ如キ詩人「ヲデッツソニス」ハ左ノ如ク言ヘ

世ノ中ニ疲レタル胃ノ怒ホト不從順ナルモノハ莫ラム彼レノ要求ニ對シテハ何人モ首肯セサルヲ得ス彼レニ苦惱セラル、モノハ 帝王モ貴族モ土民モ農夫モ乞食モ彼レノ悲歎ニ其心神ヲ委セサルヲ得ス蓋シ貧困ナル *Pecherren* ノ如キ并ニ *アウスターリッヘン* 州ノ黑人ノ如キ家屋ト衣服ヲ有セサル者又 *Verill* ノ如キ常ニ快樂ニ生活ヲ爲セル富豪若クハ金殿玉樓ニ起居シ錦繡ニ身ヲ纏ハル、貴人ト雖トモ其ノ日々ノ麵麩ヲ要セサルナキヲ得ス即チ一日モ食物ヲ離レテ平和ニ生活スルコト能ハサルヘシ而シテ吾人ノ生涯ニ於テ其身體及精神ノ嗜好ニ應シテ消費スヘキ種々ナル食用物 *Nahrungsmittel* ノ中ニ於テ其心身ノ營養ニ欠クヘカラサル種類ノ食物ヲ生活必需品 *Lebensmittel* トス蓋シ何人ト雖モ普通ノ食物ノ或ルモノヲ補充シ得サル場合ハ單ニ其嗜好ヲ廢止スルノミニ止マルモ生活ノ必需品ニ缺乏スルトキハ恰カモ鬻狗ノ如ク若クハ *Kalbfleisch* 人喰人種ノ如ク飢餓ニ狂暴シ心身ノ能力ハ忽チ消除シ去リテ最後ノ死ヲ見ルニ至ルヘシ故ニ飢餓勞働及食事ノ三者ハ如何ナル場合ニ於テモ第一ニ吾人ノ研究ヲ要スヘキ事項ニシテ殊ニ「吾人ハ果シテ何物ヲ食スヘキ乎」ト云ヘル腸胃ノ問題ハ獨リ個人ノミナラス社會及國家ニ對シテモ重要ナル意義ヲ存セリ例之或ル國若クハ市町村ノ住民カ久シク食事ニ缺乏スル場合ニ於テハ其地方ニ驚クヘキ *Hungertyplus* 飢餓病ヲ發生シ同時ニ恐ルヘキ社會病的ノ *Painperis missa* (貧民團)ヲ群起セシムルニ至リ結局其地方乃至國家ノ運命ヲ悲境ニ陥ラシムヘシ顧フニ飢饉ノ歲ハ一國革命ノ發動機ト爲ルヲ例トセリ必竟一個人ニ於ケルカ如ク國家ノ體力モ正當ナル食物ノ需要ニ待タサルヘカラサルコトハ夙ニ古聖賢「アリストテレス」「プラトーン」「マルク、アウレリ」及「ゼネカー」等ノ認識セルカ如シ且ツ彼ノ有名ナル佛國革命ノ事例ハ業既ニ其好比喻ヲ吾人ニ教示セ